

データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

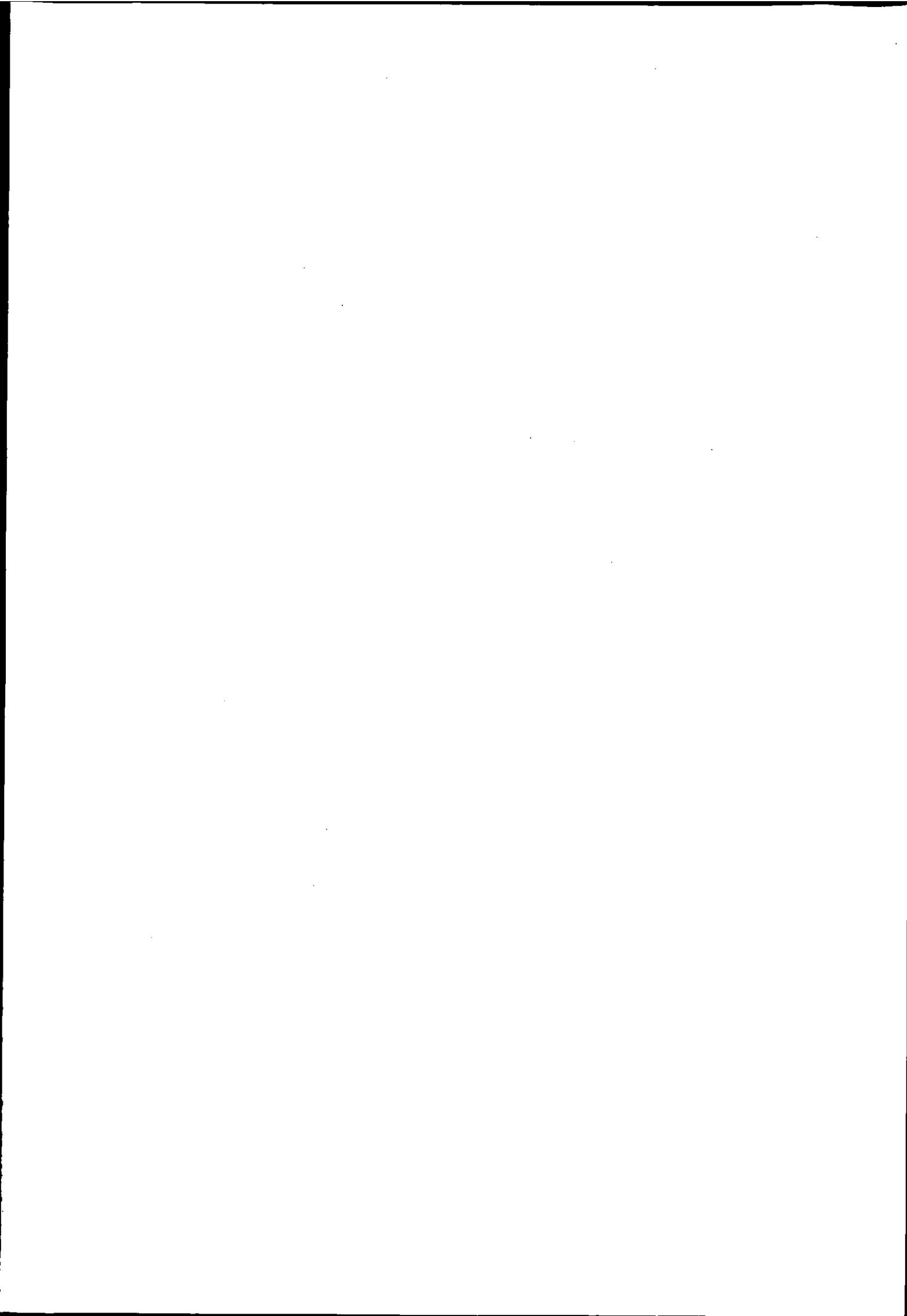
AV/MARCのための
分類索引データベース構築

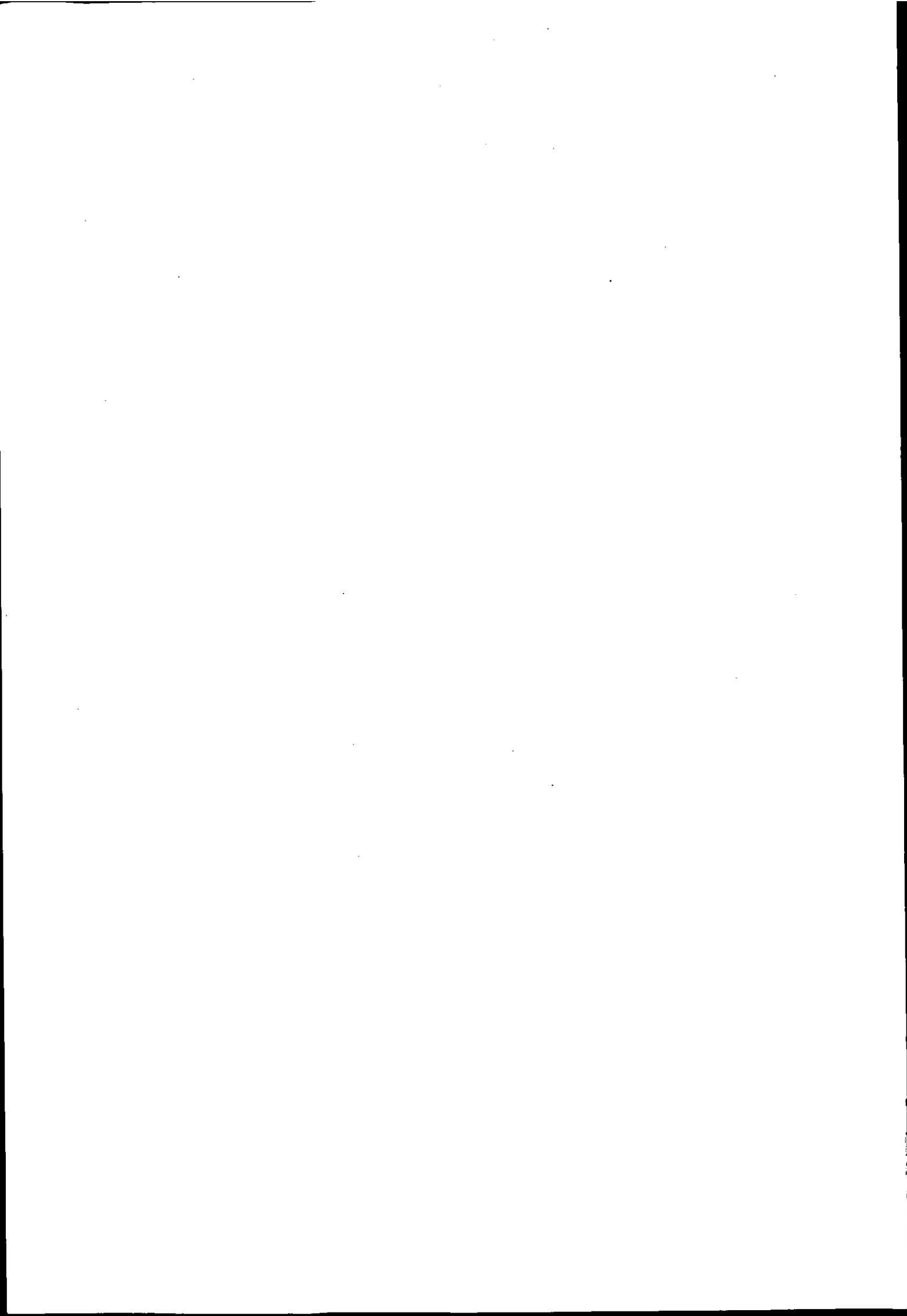
平成 3 年 3 月

財団法人 データベース振興センター

委 託 先 株式会社ダイソメディアサービス

本報告書は、日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受けて作成したものである。





序

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは3割にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスひいてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体等に対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当って、当財団に学識経験者の方々で構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会(委員長 山梨学院大学教授 蓼沼良一氏)を設置している。

この「AV/MARCのための分類索引データベース構築」は平成2年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として、当財団が(株)ダイソメディアサービスに対して委託実施した課題の一つである。この成果が、データベースに興味をお持ちの方々や諸分野の皆様方のお役に立てば幸いである。

なお、平成2年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した課題は次表のとおりである。

平成 3 年 3 月

財団法人 データベース振興センター

平成2年度 データベース構築促進・技術開発委託課題一覧

分野	課題名	委託先
社 会	1 形態学的コメントを含む病理データベースのフィージビリティ調査 2 災害情報データベース支援環境の構築 3 AV/MARCのための分類索引データベース構築 4 気候情報データベースの構築 5 健康の自己管理と病気予防データベースの構築 6 シルバーエイジの実態及び生活に必要な情報のデータベース構築のための調査研究 7 交通事故調査データのデータベース化に関する調査研究	(株)エス・ピー・オー (株)防災都市計画研究所 (株)ダイソメディアサービス (株)エムテーエス雪氷研究所 (株)コンピュータコンビニエンス 美崎高齢者福祉互助会美崎生活館 (財)日本自動車研究所
地域 活性化 中小企業振興	8 アジア太平洋交流データベースの課題性の研究 9 戦略商圏レベルに細分化した地域データと分析・提案手法を統合化した企画支援システムデータベースの構築 10 ネットワーク化された地域情報データベースの有効なマネジメントについての調査研究 11 徳島市中小商業振興データベースの構築 12 九州地域の人材情報データベース構築	(株)西日本新聞社 バラシュート情報開発研究会 札幌凸版印刷(株) セントラル開発(株)情報図書館 RUKIT (株)ニューメディア徳島 (財)九州産業技術センター
海 外	13 海外向け国内先端技術分野中堅企業情報英文データベース構築 14 海外規格(ソ連邦国家規格)データベースの整備 15 政府開発援助(ODA)に関するデータベースの構築調査 16 専門用語データベースシステムの機能に関する調査研究 17 専門家データベース構築事業	コムラインインターナショナル(株) 日本電子計算(株) (財)日本国際協力システム アイ・エヌ・エス(株) (財)海外貿易開発協会
技 術	18 VAN用データベース管理システムの開発 19 レコードマネジメント用辞書管理システムの開発研究 20 建築CAD用拡張可能データベースのプロトタイプ作成 21 先進複合材料データベース・プロトタイプの作成 22 マイクロコンピュータのプログラマブル周辺デバイスのデータベース化 23 書誌データベース用ダイナミック・シソーラスの可能性調査と実験	シャープ(株) (株)オフィス総研 三菱電機(株) (財)次世代金属・複合材料研究開発協会 (社)日本システムハウス協会 (株)紀伊國屋書店

目次

1. 概要	1
1.1 背景	1
1.1.1 AV/MARCとは	1
1.1.2 AV/MARCの役割	1
1.1.3 AV資料検索上の要件	2
1.1.4 AV/MARCのアクセスポイント	3
1.1.5 DDC20およびMLAJ音楽分類表	4
1.1.6 分類索引データベース構築の構想	5
1.2 目的	6
1.2.1 データベースの目的	6
1.2.2 データベースの実際上の運用	6
1.2.3 分類索引データの機能	7
1.3 データベース構築体制	10
1.4 実施概要	10
2. 作業手順	10
3. 実施内容	12
3.1 分類表およびマニュアル類の整備	12
3.1.1 AV/MARC分類表:760の整備	12
3.1.2 LC分類表音楽部門の翻訳	19
3.1.3 各種分類表および件名作業の解説書の翻訳	19
3.1.4 AV/MARC分類マニュアル整備	22
3.2 分類索引データ記入・入力	23
3.2.1 マニュアルの作成	23
3.2.2 データ記入・入力	23
3.2.3 入力した分類索引データの実例	27
3.3 AV/MARC登録済資料の分類実験	27
4. システム構成	28
4.1 構成図	28
4.2 機器構成	28
4.3 ソフトウェア構成	28
5. ファイル仕様	29
6. データベースの機能	29
6.1 データ登録の機能	29
6.2 AV/MARC書誌データ入力時における検索	30
6.3 AV/MARC利用者への分類索引データからのアクセスポイントの提供	30
7. データベースの評価と今後の課題	31
7.1 データベースの評価	31
7.2 今後の課題	31
参考文献	33

資料編

資料 1	AVMC : 760 第2版	35
	1. 分類番号付与について	35
	2. AVMC 760 マニュアル	36
	3. 資料に対するAVMC番号付与	41
	4. AVMC 760 分類表	47
	①ファセット合成のパターン表	47
	②チャート式AVMC本表	52
	③索引	150
	④別表 : ポピュラー音楽	180
資料 2	分類索引データ入力マニュアル	196
資料 3	分類索引レコードフォーマット	204
資料 4	分類索引データ端末操作マニュアル	214

1. 概要

1.1 背景

1.1.1 AV/MARCとは

AV/MARCとは視聴覚(Audio-Visual)資料の機械可読目録(Machine Readable Cataloging)を意味する。つまり、図書館のための視聴覚資料のコンピュータ用目録データである。AV/MARCの事業は1983年に開始され、現在、データベースの件数は、書誌データ約9万件、典拠データ約2万8千件を数える。AV/MARCを利用している全国の約100館の公共図書館、大学図書館に、これまでは、典拠ファイルから抽出されたアクセスポイントが付加された書誌データをオフラインの形で提供してきたが、1991年1月のオンライン・システム導入を契機に、オンラインでAV/MARCデータベースを利用する大学図書館や音楽専門図書館が増加することが予想される。

1.1.2 AV/MARCの役割

日本の公共図書館は次に示すような状況にあり、現在AV/MARCは日本の図書館界に不可欠な存在である。

(1) AV資料を所蔵する図書館の増加および全資料中のその比重の増大化

図書館で扱う資料の種類は近年次第に多様化しつつある。かつて、図書館はその名のとおりに、主として書籍のみをサービスの対象としていた。新聞・雑誌がそれに加わってからもう長い年月が過ぎ、近年はコンパクトディスク、ビデオテープ、ビデオディスクといったAV資料、楽譜、点字資料等に広がり、また、絵画(複製画)を貸し出す図書館やデータベースをアクセスしてそのデータを提供する図書館まで出現している。

その中で現在、最も発展著しいのがAV資料である。AV資料は図書館の黴臭いイメージを一掃し、気軽に楽しめるため図書館に縁遠かった人々までが足を運ぶようになった。その効果に着目し、AV資料のサービスを行う図書館は確実に増えつつある。また、当初はAV資料を利用者増加のための手段として扱う図書館が少なくなかったが、現在はAV資料自体のサービスを目的とし、所蔵数を増加させ、サービスの充実をはかる図書館が多くなっている。

(2) 図書館目録のコンピュータ化

長い間、図書館の目録と言えば、引き出しに入ったカードだった。コンピュータが計算機としての機能から発展し、大量の情報処理に利用されるにつれて、図書館の目録もコンピュータ化されるようになった。それは貸し出しシステムから始まるところが多かったが、次第に目録

の検索システムにまで及ぶようになってきている。これによって、目録の共同化、検索の簡便化および検索機能の充実化がはかれるはずであるが、日本ではまだ手探りの状態で、本格的な運用はこれからである。

目録をコンピュータ化するにあたって、システムと共に不可欠なのはコンピュータで処理できる目録データである。これが文字どおりMARCである。もちろん、それぞれのコンピュータに直接目録データを入力して使うこともできるが、それはコストがかかりすぎて不合理である。MARCの基本思想は、そうした不合理を行わないで、1つの機関が標準的なデータを作成し、それを多くの図書館で利用することによって目録データを作成するコストを低下させることをねらいとしている。

(3) AV資料を整理するための図書館の人材および労力の不足

資料の種類が多様化しているにもかかわらず、日本では図書館の専門職である司書の教育がそれに十分対応できていない。図書の整理技術は身につけているが、AV資料は扱えないという司書が多い。

また、目録のコンピュータ化、共同化、ネットワーク化に伴い、規格化、標準化された目録が必要とされるため、必然的に目録規則が詳細に、厳密になってきている。つまり、誰が目録をとっても同じものができるように目録規則が非常に細かいことまで規定するようになっているので、ひと昔前に比べて、目録作業自体が非常に高度で専門的になった。

加えて、行政改革や人件費削減の政策、就労時間の短縮化等により、図書館の資料整理のための労力も不足しており、現在ではMARCの利用は不可欠である。

1. 1. 3 AV資料検索上の要件

実際上は、AV資料の大部分を音楽作品が占めている。音楽作品にはその特殊性から生じる、一般の図書等の検索には見られない検索上の困難が存在する。特に、西欧系の芸術音楽についてそのことが言える。音楽作品以外のAV資料にも検索のむずかしいジャンルが存在するだろうが、AV資料全体からすると小さな部分を占めているにすぎない。従って、ここではAV資料の検索を考える上で、代表的な、また、特に検索の困難なジャンルとして音楽作品に焦点を当てることとする。音楽作品の主な検索上の要件を次にあげてみよう。

- (1) 限られた作曲者の限られた作品を、種々の演奏者がくりかえし録音、録画している。しかも、「交響曲」「ソナタ」のように固有の名称のない作品が多い。したがって、数多く存在する類似の作品、資料を検索によって区別しなければならない。
- (2) 民族音楽、中世・ルネサンス音楽のように、作曲者やタイトルのないもの、あるいはあっても重要な要素ではないジャンルが存在する。
- (3) 同一演奏手段の小品を集めた、いわゆるオムニバスものが多くみられる。多数の作曲者にわたることも多く、時には演奏者も様々なこともある。このような資料の場合、演奏手段やジャンルがその資料を最も特徴づける要素である。

(4) AV資料、音楽資料に限られたことではないが、著者（作曲者・演奏者等）やタイトルを限定しないで、特定の内容のものを検索したい場合があり得る。

また、公共図書館のほとんどがAV資料を開架している。つまり、実際に資料を見て選べるように並べられている。従って、實際上利用者は目録の検索を行わず、資料の背を見て目的のものを探すことも多い。その場合の要件として次のことも考慮しておく必要がある。

(5) 資料の件数が増加するにつれて、精密な分類体系によって配架しないと利用者にとって資料を探すのに手間を要するようになる。同一項目に分類される資料は10～20点程度にとどめるのが適切である。

目録検索の機能はそのアクセスポイントに左右される。上記のAV資料検索上の要件を十分に満たすことができるように、AV/MARCのアクセスポイントは整備される必要がある。

1. 1. 4 AV/MARCのアクセスポイント

MARCの一般的なアクセスポイントの種類を表 1-1に示す。アクセスポイントは、①と②のように書誌記述中の主要な要素（通常は著者、つまり記述対象の知的・芸術的内容に責任を有する個人、団体、およびタイトル）から検索するためのものと、③と④のように資料の内容から検索する主題検索のためのものとに大別される。ただし、④の分類番号は体系的な検索にも使用されるが、これまではむしろ、資料の置き場所を示す番号（配架記号）としての使用が主だった。

表 1-1 MARCの一般的なアクセスポイントの種類

	アクセスポイント	内容・説明	AV/MARC 入力の有無	類別
①	著者	作曲者、演奏者、演奏団体等	○	書誌記述中の特徴的な要素からの検索用
②	タイトル	統一タイトル、固有タイトル	○	
③	件名標目	・資料の内容を表す、決められた形式の単一または複数の言葉	○	主題検索用 (内容からの検索)
④	分類番号	・資料の内容を表す体系的番号 ・資料の置き場所を示す番号	×	

AV/MARCは、アクセスポイントとして上記の①～③を備えているが、④についてはフォーマットは用意されているものの、データは入力されていなかった。その理由として、使用に耐え得る音楽分類表が見つからなかったことが第一にあげられる。前述のとおり、AV資料の大部分が音楽資料であるため、日本十進分類法(NDC)のような日本の一般的な図書館で使用されている分類表では大まかすぎて十分な取扱いができないし、また、日本の音楽専門図書館で使用している分類表にも普遍的で、決定的なものが見あたらなかったためである。それから、もう一つの理由として、AV/MARCを利用している図書館のほとんどがそれぞれ独自の簡略分類を資料の配架に使用していたため、AV/MARCへの精密な分類データの要求

がほとんどなかったこともあげられる。簡略分類は資料の件数が少ない段階では便利かもしれないが、件数が増加するにつれて、同一項目に分類される資料が増えすぎて十分な機能を果たさなくなることが必至である。

次に、1. 1. 3にあげたAV資料検索上の要件とアクセスポイントの関係を検討してみよう。(1)は音楽資料の検索上、解決していかなければならないむずかしい課題である。そのために主として使用されるアクセスポイントは著者(作曲者、演奏者等)と統一タイトル、時には件名も有効かもしれない。AV/MARCはこれらのアクセスポイントを備えている。しかし、これはそうしたアクセスポイントを備えているだけで解決されるような単純な課題ではない。これは、それらのアクセスポイントを使用していかに必要なものを引き出すかという検索技術の問題であり、今後、音楽関係の図書館人が取り組んでいかなければならない課題である。

(2)~(4)が必要としているのは主題検索である。件名標目ないしは分類番号、およびその他の何らかの検索キーを組み合わせることによってこのような種類の資料にたどり着くことができる。AV/MARCには当社独自のAVSH(AV/MARC音楽作品件名標目表)による件名標目が付与されている。これはアメリカ議会図書館の件名標目表を基にして日本語を付加したバイリンガルの精密な件名標目体系である。しかし、件名標目は語彙設定や標目の形式についての規則が複雑なため、近年発達してきたオンライン・データベースの自然語の組み合わせキーワードによる検索などと比べて、検索し易さの面で問題が指摘されている。図書館を一般の利用者にとって開かれた、使いやすいものにするためには今後、このような面の改善もはからなければならない。

主題検索のもう一つの柱は分類番号であり、(5)が要求しているのもそれである。前述したとおりAV/MARCにはこれまで分類番号が入力されていなかった。分類番号は資料の置き場所を示すだけでなく、体系的な検索を可能にする。分類番号による前方一致検索を用いると、ある分野および体系上の周辺分野の資料を一覧することができる。ただし、これを検索キーとして用いるには分類表を参照し、目的の分野を表す番号を調べることが必要なため、検索の過程にこの1ステップを入れるのは極めて煩わしく感じられる。

通常、内容から資料を検索しようとするとき思いつくのは言葉である。分類番号自体は意味を持たないので記憶しづらい。従って、言葉から分類体系の検索ができればそのような煩わしさを取り除くことができる。コンピュータ時代の分類検索は、分類体系の各々の項目に自然語のキーワードが付され、自然語による分類体系への検索を可能とするシステムが、利用者の利便を考えると必要となる。これが「分類索引データベース」のねらいとするものである。

対象とする資料の大部分が音楽作品であるAV/MARCにとって、優れた音楽分類表を採用し、アクセス・ポイントを付与するための分類索引データベースを構築することが数年来の課題だった。

1. 1. 5 DDC20およびMLAJ音楽分類表

(1) DDC20における音楽部門の全面改訂

DDC(デューイ十進分類法)は米国のメルヴィル・デューイ(Melvil Dewey)が開発し1876年に初版が出版されて以来、世界で最も広く普及している分類法である。その第20版(以下DDC20と略記)が1989年に出版され、特にその780:Musicの部分の全面改訂が注目された。DDCの音楽部門の全面改訂の方針は英国図書館協会のDDC委員会で1974年に決定され、作業が開始された。この改訂作業は1979年に出版された19版には間に合わず、19版の音楽部門は

18版をそのまま引き継いだ。1980年になって780:Musicの改訂案が独立した冊子として出版され、それにさらに改訂が加えられ1989年のDDC20に採用されるという経過をたどった。

DDC20の780:Musicの部分は十進分類法の中に分析合成型の分類手法を全面的に導入したという点で画期的な改訂であるといえることができる。分類法システムは分析合成型と列挙型の2つに大別される。DDCは本来、列挙型の分類法であるが、小規模には分析合成型とも言える手法を用いている部分もあった。しかし、DDCの中で分析合成型の手法を全面的かつ大規模に導入したのは第20版の780:Musicの部分が最初である。列挙型の分類法は付与される分類記号がすべて分類表の中に見つかるので使い易いという利点をもつが、複合主題の扱いに不向きで、一貫性を欠きやすいという欠点をもっている。分析合成型の分類法は複合主題に対しては、各々の要素を表す記号を一定の規則と順序で組み合わせることによって記号全体を構成するという手法をとるので、精密さと一貫性をもって取り扱うことができる。音楽作品のジャンルはいろいろな演奏手段と楽曲形式、伴奏の有無、編曲であるか否か、どういう場面や目的のための作品であるか等の要素の組み合わせによっているので、それらのあらゆる組み合わせを列挙することは困難であり、無駄でもある。従って、音楽作品には分析合成型の分類法が適しているといえることができるだろう。

(2) MLAJ音楽分類表(試案)

音楽図書館協議会(Music Library Association of Japan, 以下MLAJと略記)は、「我国の音楽資料を有する連絡・提携のもとに相互協力活動を推進し、音楽図書館活動の振興をはかり、音楽文化の発展に寄与することを目的とする」(MLAJ会則)団体である。現在、28館の大学図書館、専門図書館が加盟している。

MLAJは1989年9月に分類専門委員会を設置し、音楽専門図書館の立場から音楽分類表の検討および日本十進分類法(Nippon Decimal Classification, 以下NDCと略記)の第9版の「760:音楽」部門の改訂案作成に着手した。分析合成型の概念を取り入れたDDC20の780:Musicの精密性への評価、日本図書館協会(JLA)のNDC改訂にあたってのDDC20の考え方を導入する構想の表明への考慮から、当委員会はDDC20の780:Musicを基に翻訳し、日本での使用に適するように日本音楽の項を付加した、MLAJ音楽分類表(以下MLAJCと略記)の試案をまとめ、1990年3月に発表した。これはNDC第9版試案概要に対する当委員会の意見書と共にJLA分類委員会へも提出された。

1.1.6 分類索引データベース構築の構想

AV資料の大部分が音楽作品であるため、AV/MARCに優れた音楽分類表による分類番号とキーワードをアクセスポイントとして付与することを課題としていた当社は上記のDDC20の780:Music、およびそれを基にしたMLAJCに注目し、分類番号とキーワード、他の主要な分類法体系の番号、その他のデータから成る、一種の典拠データベースである分類索引データベースの構築を行うこととした。採用するのが分析合成型の分類法であることを生かし、分類番号が合成された番号である場合にはそれを構成する要素(ファセット)の番号とキーワードも重要な要素として入力することとした。これにより複合主題の構成要素による組み合わせ検索(ブール演算子検索)が可能となるからである。

実際に発売されているAV資料の傾向およびこのデータベースの目的からMLAJCにさら

に改訂を施し、それをAVMC (AV/MARC分類表):760と呼ぶこととした。

分類索引データベースとAV/MARCの書誌データベースとは、書誌レコードが分類索引データのID番号を持つことによりリンクさせる。また、オフラインで提供されるAV/MARCデータ(書誌)には、分類索引データベースから分類番号やキーワードが抽出されてアクセスポイントとして付加される。

1.2 目的

1.2.1 データベースの目的

このデータベースはAV/MARCの書誌データに対して、アクセスポイントとして分類番号とキーワードの両方を付与することを目的とする。書誌データベースとは別に、AVMCのそれぞれの項目を単位とし、分類番号、および分類番号が合成番号である場合の各々の要素の番号、関連分類番号、キーワード(統一語)、合成番号の各々の要素のキーワード、統一語への参照語等から成る分類索引データベースを作成し、そのレコードIDを書誌データが持つことによって両者のデータベースをリンクさせる方法をとる。分類番号とキーワードを書誌データのアクセスポイントブロックに直接入力することも可能であるが、この方法を用いる方が、常に正確で一貫したアクセスポイントの付与が可能となり、また、労力上からもアクセスポイントの管理上からもはるかに合理的である。

1.2.2 データベースの実際上の運用

(1) AV/MARC書誌データへの分類番号に関するアクセスポイントの入力

書誌データに対して分類番号に関するアクセスポイントを入力する場合、分類索引データベースの検索を行う。適切なデータが見つかったら、その分類索引データのID番号を書誌データの該当フィールドに入力する。これにより、書誌データと分類索引データのリンクが行われる。

(2) AV/MARCオンライン検索の際の役割

AV/MARCオンライン検索においては、分類索引データベースの分類番号やキーワードを利用しての書誌データ検索が可能である。ただし、これは(1)の書誌データと分類索引データのリンクが行われているものに限り検索対象となる。

(3) AV/MARCデータをオフラインで提供する際の役割

書誌データの抽出の際、分類索引データベースから、分類番号やキーワードが抽出されてアクセスポイントとして付加される。ただし、これは(1)の書誌データと分類索引データのリンクが行われているものに限り可能である。

1. 2. 3 分類索引データの機能

分類索引データは種々のデータ項目から構成されているが、大別すると分類番号とキーワードの2種類から成っている。

(1) 分類番号

分類索引データには下記の体系の分類番号が含まれている。

A V M C (A V / M A R C 分類表)

関連分類

DDC (デューイ十進分類法)

LCC (アメリカ議会図書館分類法)

NDC (日本十進分類法)

分類番号の主な役割として次の2点がある。

① アクセスポイントとしての役割

分類番号は資料の内容を表す体系的な記号である。それをアクセスポイントとすることにより、目的の資料を探ることが出来る。特に、作曲者や演奏者、曲名を特定せず、作品の内容や性質から資料を探す場合、また、民族音楽などのように作曲者やタイトルがない、あるいはあっても重要な要素ではない場合に有効なアクセスポイントである。

件名やキーワードも内容を表すアクセスポイントであるが、分類番号は体系的に構成されているため、つまり、関連あるものに近い番号が与えられているため、件名やキーワードのように言葉を特定するのではなく、実質的な内容や性質から資料を探す場合に欠くことのできないアクセスポイントとして重要な意味をもつ。(図1-1)

② 資料の置き場所を示す番号

通常、図書館の資料は分類番号に従って配架される。資料の量が多ければ多いほど精密な分類体系を使用することが必要となる。通常、同一項目に分類される資料は10~20点程度にとどめるのが望ましく、それ以上になる場合にはさらに項目を細分する必要が生ずる。

分類索引データベースのために使用されるA V M C : 760は、D D C 2 0 : 780およびM L A J C を基にした、分析合成型の精密な分類法体系である。これだけ精密な音楽分類表は日本の音楽専門図書館で使用しているものにも類例を見ない。

M A R C は多くの図書館で使用するための標準目録データであるため、そこに付与される分類番号は最も資料を多く所蔵する図書館の使用に絶え得る程度に精密である必要がある。なぜなら、精密なものは大まかなものに容易に変換し得るが、その逆は不可能だからである。分類索引データのA V M C 番号やD D C 2 0 による分類番号に

■分類番号（AVMC番号）による検索

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------------------|
| ① | 764.272 | ① | オーケストラとヴァイオリン |
| ② | 764.2721825 | ② | オーケストラとヴァイオリンの変奏曲 |
| ③ | 764.272186 | ③ | ヴァイオリン協奏曲（オーケストラとヴァイオリン） |

※分類番号で検索すると内容・性質が似通ったものが接近する。

■件名（AVSH 音楽作品件名標目表による）による検索

- ① ヴァイオリンと管弦楽

↑ ↓ 遠く離れてしまう

- ③ 協奏曲（ヴァイオリン）

↑ ↓ 遠く離れてしまう

- ② 変奏曲（ヴァイオリンと管弦楽）

※上と同じものを件名で検索すると、件名標目のあいさお順に配列されているので、内容・性質の似通ったものが接近しない。

図 1-1 分類番号による検索と件名による検索の比較

は、短縮番号を作成するための区切り箇所を示すために、プライム（'）が挿入されている。

(2) キーワード

分類索引データには次の種類のキーワードが入力される。

- ・AVMC番号全体を表すキーワード（統一語） （例）ヴァイオリン協奏曲
- ・合成番号の各々の要素のキーワード （例）オーケストラ
ヴァイオリン
協奏曲形式
- ・統一語への参照語（同義語、下位語）
（例）管弦楽（統一語「オーケストラ」の同義語）

分類番号による検索には特有の機能があり有用であるが、番号自体を検索キーにするためには分類表を参照し、必要とする分野の番号を調べなければならない。分類索引データベースのキーワードはその手間を省き、分類体系を言葉（自然語キーワード）で検索することを可能とする。音楽作品のジャンルは一種の複合主題であり、AVMC:760は分析合成型の分類法であるため、音楽作品の検索の場合は分類番号の要素（ファセット）を表すキーワードによる組み合わせ検索が特に便利であろう。

これまでは、図書館の目録データのアクセスポイントにはキーワードという概念は存在していなかったと言っても過言ではない。件名標目はその役割を担っていたが、語彙設定や標目の形式についての規則が複雑なため、慣れないと使いにくいという印象は拭いきれない。また、日本ではその件名標目でさえ使用している図書館はごくわずかで、内容を表す言葉によって資料を探す手段のない図書館が多かった。

一方、現在の一般のオンライン・データベースの検索方法としてはキーワードによる組み合わせ検索（複数のキーワードを組み合わせることによって対象を絞り込んでいく検索方法）が主流であり、特別の素養のない人でもある程度まではこの方法で必要な情報を探し出すことが可能である。従って、探し易さという点において、一般のオンライン・データベースは図書館のコンピュータによる目録検索より一歩先を行っている。

キーワードによる組み合わせ検索はコンピュータの導入によりはじめて可能になった検索方法であり、やはりコンピュータによって可能になったオンライン・データベースの分野でそれが開発されたのはごく自然なことと言える。

しかし、図書館の目録検索も、キーワードによる組み合わせ検索が主流となる時代に近い将来入っていくことは疑いのないことである。実際、ブリティッシュ・ライブラリー（British Library）では分類番号とキーワードが一体化したようなプレシス（PRECIS）というシステムをすでに運用しているし、アメリカ議会図書館も現在まで発展させてきた件名標目のシステムをキーワード検索のシステムに接近させる試みを行っている。

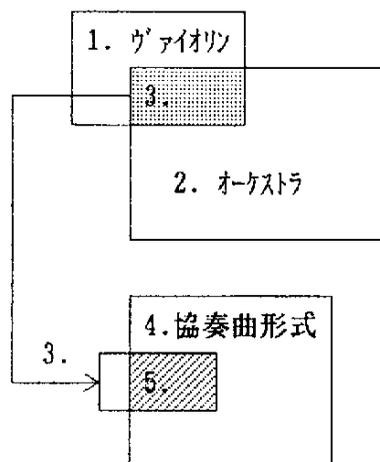
分類索引データのキーワードはイギリスのプレシスの方法を参考に、それを簡略化したものである。AV/MARCを検索する際に、利用者が図書館特有のきまりをおぼえなくても、容易に必要な資料を探し出せるようなキーワード・システムのを確立をめざしている

件名標目との主たる相違は複合主題の取扱い方法にある。件名標目は複数の要素の事前統合であり、複数の要素を統合するにあたって規則が必要なため、必然的にそれによる検索にもその規則の理解が必要となる。分類索引データにおける合成番号の各要素のキーワードは事後統

(a) 組み合わせキーワードによる検索

ヴァイオリン協奏曲 = ヴァイオリン + オーケストラ
 + 協奏曲形式

- 1. ヴァイオリン 500件
- 2. オーケストラ 1,800件
- 3. 1. + 2. 180件
- 4. 協奏曲形式 1,200件
- 5. 3. + 4. 120件
つまり、ヴァイオリン
+ オーケストラ +
協奏曲形式



(b) 従来の件名による検索

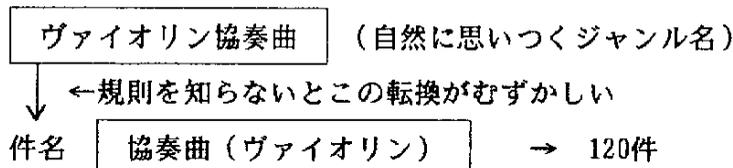


図 1-2 組み合わせキーワードによる検索と件名による検索の比較
 ～「ヴァイオリン協奏曲」の検索の場合

合（検索時統合）システムであるため、オンライン・データベースと同様のキーワードによる組み合わせ検索が可能である。（図 1-2）

1.3 データベース構築体制

データベースの構築は次のメンバーにより行った。

	氏名	所属団体または会社名 役職
技術顧問・総合指導	岸本 宏子	東京芸術大学 講師 電気通信大学 講師
技術指導	鳥海 恵司	(株)ダイソメディアサービス 技術部長
ワーキンググループ	細田 勉	(株)ダイソメディアサービス 技術開発課長
	田島みどり	(株)講談社第一出版センター編集部
	三浦 英	東京芸術大学 助手
	その他	音楽分野の専門家数名

1.4 実施概要

(1) 分類表およびマニュアル類の整備

- (a) AVMC (AV/MARC分類表) :760の整備
- (b) LCC (アメリカ議会図書館分類表) の翻訳
- (c) 各種分類法および件名作業の解説書の翻訳
- (d) AV/MARC分類マニュアル類の整備

(2) 分類索引データの記入・入力

(3) AV/MARC登録済資料の分類実験

2. 作業手順

分類索引データベースの構築のために、その基本的な分類表の整備を中心として、関連分類として入力するいくつかの分類法体系や件名標目に関する資料の翻訳・整備、データフォーマットや入力に関するマニュアルの整備等を行った。それらの手順および関連を図2-1に示す。図2-1において、実線の矢印は分類表や資料等の変遷関係、破線の矢印は作業に使われるマニュアルを示している。

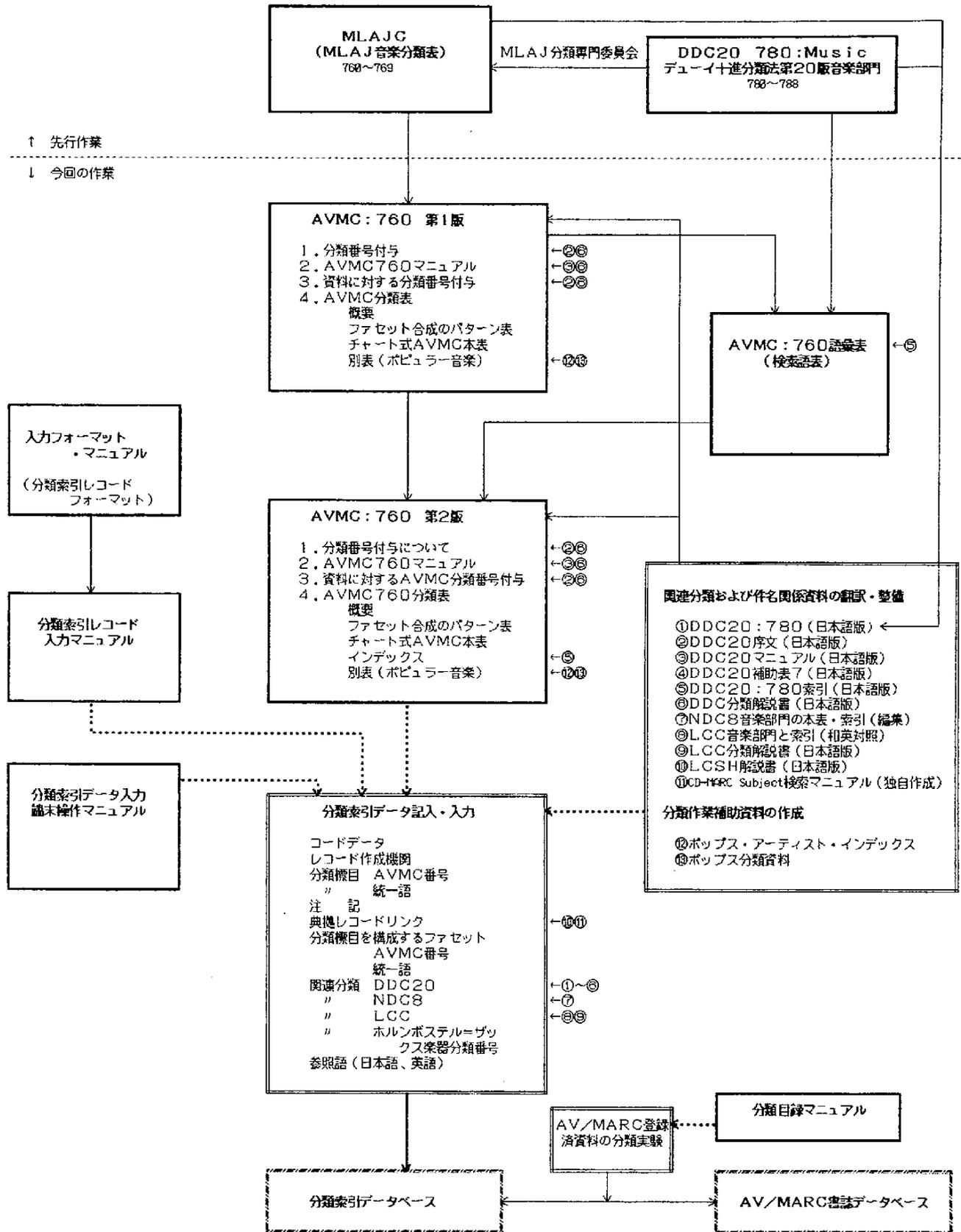


図2-1 分類索引データベース構築実施内容関連図

3. 実施内容

3.1 分類表およびマニュアル類の整備

3.1.1 AV/MARC分類表:760の整備

AV/MARCでは精密なDDC20:Musicを基にしたMLAJCを採用し、その体系に基づく分類番号とキーワードを付与するための分類索引データベースの構築を行うこととした。ただし、実際に発売されているAV資料の傾向、およびこのデータベースの目的からMLAJCにさらに改訂を施し、それをAV/MARC分類表:760(以下AVMC:760と略記)とした。

(1) 基礎とした分類法体系について

(a) DDC20:780 Music

前述した通り、DDCは歴史が古く、欧米を中心に世界で最も広く普及している分類法である。アメリカやイギリスのMARCの多くにはDDC分類番号が付与されているため、この体系やこれを基にした体系を採用することはMARCの国際交流に便利である。DDCの主な特長は

- ①数字のみ(ピリオドは別として)を使用するため、理解・記憶・配列が容易である。
- ②精密な展開が可能である。
- ③補助表(分類表の番号にさらに付加して使用する番号の表)が充実している。
- ④記号法が分野の階層性を明確に表現する。
- ⑤助記性(特定の数字が意味を持ち、記憶が容易なように配慮されている。)

のようにまとめられる。逆に、欠点としては

- ⑥記号が長くなりすぎる。
- ⑦学問分野の体系を無理に十進分類の体系に押し込んだことに起因する不合理性。

という点も指摘されている。

DDCは常時改訂作業が進められている。最新の第20版、DDC20(1989年)では780:Music部門が分析合成型の手法を全面的に導入して大改訂された。この部門に固有の特長としては

- ⑧精密さと一貫性をもって複合主題に分類番号を与えることが可能である。特に、いろいろな演奏手段、および楽曲形式、その他の要素の組み合わせによっている音楽作品のジャンルの取扱に非常に有効である。

という点が重要である。

(b) MLAJC(試案)

音楽図書館協議会(以下MLAJと略記)分類専門委員会は、DDC20:780Musicを基に翻訳・改訂し、1990年3月にMLAJ分類表試案(以下MLAJCと略記)を発表した。翻訳以外のMLAJCのDDC20:780Musicとの主な相違点は次の通りである。

- ①DDC20の780番台を760番台へ置換した。これは日本十進分類法(以下NDCと略記)の音楽部門が760番台であり、多くの音楽専門図書館が音楽部門以外の分類体

系としてNDCを採用するであろうことへの配慮からとられた措置である。

- ②DDC20本表に表示されている音楽分野に固有の標準細目に加えて、あらゆる分野に適用可能な標準細目も760番台に表示した。
- ③769として日本音楽の項目を追加した。DDC20の789は作曲者および音楽伝統に対して任意使用できるように用意されている箇所であるため、その箇所を利用して日本音楽のための諸項目を展開した。
- ④番号合成に関する注記を「合成パターン表」の形式で図示する方法をとった。その他の注記も記号を用いるパターン化した表示に変更した。

表 3-1 MLAJCからAVMC:760-1への改訂の内容および目的

	改訂内容	改訂の目的
①	<p>(フル)オーケストラ以外のオーケストラ編成およびバンド(以下各種オーケストラ編成等と略記)の部分にも、フルオーケストラと同様の下記の下位項目を設けた。(764.3~764.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種オーケストラ編成と声楽パート 《764.××22》 ・各種オーケストラ編成と1以上の独奏楽器(合集) 《764.××23》 ・各種オーケストラ編成と不特定の1つの独奏楽器 《764.××25》 	<p>このような種類の各種オーケストラ編成もAVMC番号やキーワードにより検索可能にするため。</p>
②	<p>各種オーケストラ編成等と2以上の独奏楽器における場合の独奏楽器の要素の番号の合成方法の変更。DDC20やMLAJCでは2以上の独奏楽器のうち主要な1つしか番号合成に反映できないのを、全て反映できるように変更した。</p>	<p>2以上の独奏楽器の各々から検索可能にするため。</p>
③	<p>独奏楽器と(フル)オーケストラの協奏曲には「協奏曲形式」の番号を付加しないというDDC20の例外規定の削除。</p>	<p>協奏曲形式のもの全てをこの要素から検索可能にするため。</p>
④	<p>ジャズの各項(761.65×)の標題の表現の変更。</p>	<p>様式のわからないジャズの分類の能率化をはかるため。</p>
⑤	<p>ロックの項(761.66)の細分化。</p>	
⑥	<p>ポピュラー音楽(761.63)の下位項目として次を追加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・761.639 日本のポピュラー音楽 ・761.6393 演歌、艶歌、民謡(民俗芸能ではないもの) ・761.6397 日本の子供の歌 	<p>実際に発売されているAV資料、公共図書館で購入するAV資料のうちでポピュラー音楽の占める割合が高いため。</p>
⑦	<p>空いていた番号761.67に「フュージョンの項目」を割り当てた。</p>	
⑧	<p>次の内容のポピュラー音楽に関する別表を付加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分類項目に対応する「含める年代」「主要スタイル/呼称」「特色」「主要ミュージシャン」についての資料 ・ジャンル名索引、アーティスト名索引 	<p>ポピュラー音楽の分類作業を正確に一貫性をもって行うため。</p>
⑨	<p>分類表の前に「分類番号付与」「AVMC760マニュアル」「資料に対する分類番号付与」の章を設けた。</p>	<p>AV/MARCのための分類作業の方針を明示するため。</p>

(2) AVMC:760 第1版の作成

MLAJCから、分類索引データベースの基礎とする分類表AVMCへと発展させるための中間的なステップとして、AVMC:760第1版(以下AVMC:760-1と略記)を作成した。MLAJCからAVMC:760-1への改訂内容、改訂の目的は表3-1の通りである。

(3) AVMC:760語彙表の作成

分類索引データの主要な2本の柱は分類番号とキーワード(索引語)である。従って、AVMCは最終的には、各項目にその索引語を明示する必要がある。そのための準備作業として、AVMC:760のための語彙表(索引語表)の作成を行った。

(a) 索引語の選定

索引語は、AVMC:760-1の標目語、および注記に示されている論題、DDC20の相関索引(Relative index)において該当項目に導かれている語など、表3-2に示すものを対象とし選定した。AVMC:760-1の標目語や注記の論題のほとんどはDDC20か

図 3-2 索引語の選定対象および統一語とするもの

語の種類	AVMCまたは DDC20の和訳	DDC20 (英語)	その他	備考
標目語	★(○)	●		
// (統一語とならなかった)	○	●		
相関索引の語	○	●		
クラスの主要な部分である下位論題	○(★)	●		★の例:オペラ
エントリになっている語の一単位	○	●		
「ここに分類せよ」注記の論題	○(★)	●		★の例:オーケストラ
別名注記の論題	○	●		
立ち見席注記の論題	○	●		
一般的側面注記の論題	○	●		
「定義と範囲の注記」の論題	○	●		
統一語の同義語			○	
参照語の同義語			○	
倒置形統一語の正置語	○			
倒置形参照語の正置語	○	●		
記号	★…統一語(日本語) ●…参照語(英語) ○…参照語(日本語) ★に意識語と音訳語とがある場合、一方が★、必要に応じて他方が○となる。 ○に意識語と音訳語とがある場合、必要な場合には両方○とする。			

らの和訳語であるため、索引語についての疑問が発生する場合には、DDC20の原文に立ち戻って訳語等の再検討を行った。また、それぞれの日本語の索引語に対応する英語も索引語とした。英語の索引語はDDC20の原文を出典とした。

(b) 統一語の選定

AVMCのそれぞれの項目の索引語の中から1語を選び、統一語とした。

①統一語の選定基準

表3-2の★印のものを通常対象とした。分類索引データベースを介在できるオンライン検索の場合は統一語であるにせよ、参照語であるにせよ、索引語として入力されていれば同じように検索が可能であるが、オフラインで提供されるAV/MARCのアクセスポイントには参照語が含まれないので、統一語としてどの語が選定されるかが重要となる。つまり、あるジャンルの資料を探す場合に一般の図書館利用者が自然に思いつく言葉を統一語として選定する必要がある。そこで、統一語とする候補が2以上ある場合には、表3-3の「統一語の選定基準」を考慮して選定した。

表 3-3 統一語の選定基準

ケース	選 択 基 準
a)同義語の選択	次の基準で選択する。 ・一般の利用者に馴染みがあり、検索時に使用するとされる語。 ・用いられた意味以外の意味が少ない語。
b)意識語と音訳語の選択	a)と同一基準で選択する。（「オペラ」「歌劇」）
c)専門用語と日常語の選択	・基本的には日常語を選ぶ。 ・日常語が曖昧だったり、誤った定義で用いられているときには専門用語を選ぶ。
d)古語と現行語の選択	・現行語を選ぶ。
e)同形異義語の扱い	・他の用語に置き換えられるときは置き換える。 ・上記が不適当な場合は限定語句を付加する。

(c) 統一語の形式について

下記の、形式に関する原則に従って、AVMC:760語彙表に統一語の記入を行った。

- ①原則として件名標目と同一の用語を使用するが、件名標目のように形式に関する規則を複雑にしない。そのため、件名の細目にあたるものは使用しない。
- ②統一語をユニークにするための手段として限定語の付加を行う。限定語は丸括弧に入れて付加する。(例) 拍(音楽) ※英語の参照語の倒置形も同様。
- ③当面、オフ・ラインで提供されるAV-MARCデータの分類関係の標目には参照語は含まれない。また、図書館の検索システムの中には前方一致検索しかできない

ものがある。以上の条件を考慮すると、統一語の先頭語は非常に重要性が高いといえることができる。そこで、その項目の統一語が2以上の語から成る場合には、その中の最も特定の語を統一語の先頭語とすることを原則とする。そのための手段として倒置形を用いる。倒置形は次の形を用いる。

(例) リズム (和声--)

※英語の参照語の倒置形は 「Rhythm, Harmonic」

上記原則の③を特に重視し、具体的なケースごとにできるだけ一貫した形式をとるために、表 3-4の「統一語の形式についてのケース別基準」を作成し、目安とした。

(d) 参照語の形式について

統一語の原則に準じて、実際の検索の可能性を考慮しながら参照語の形式を決定した。英語の参照語に関しては特有の問題があるため、下記の方針に従った。

①次の理由により、基本的に単数形を使用する。

- ・一般的には具体的実体を表す語は複数形、抽象的概念を表す語は単数形といった基準もあるが、これは音楽分野に対しては適用しづらい。例えば「ソナタ形式」は作品を指す場合には具体的実体、形式を指す場合には抽象的概念である。
- ・音楽分野のシソーラスの完全なものは世界的に未だ完成されていないので、この問題で参考にできるものは存在しない。
- ・具体的実体を単数形にすることはできるが、抽象的概念を複数形にすることはできない。どちらか一方に揃えなければならないとしたら、単数形しかない。

②大文字使用法については、先頭語、限定語、倒置語のコンマの後の語、固有名詞の最初の文字を大文字とする。

(4) AVMC:760 第2版の作成

AVMC:760-1およびAVMC:760語彙表を基にし、分類索引データベースの基礎分類表の機能を果たすAVMC:760第2版(以下AVMC:760-2と略記)を作成した。AVMC:760の第1版から第2版への改訂内容は以下の通りである。

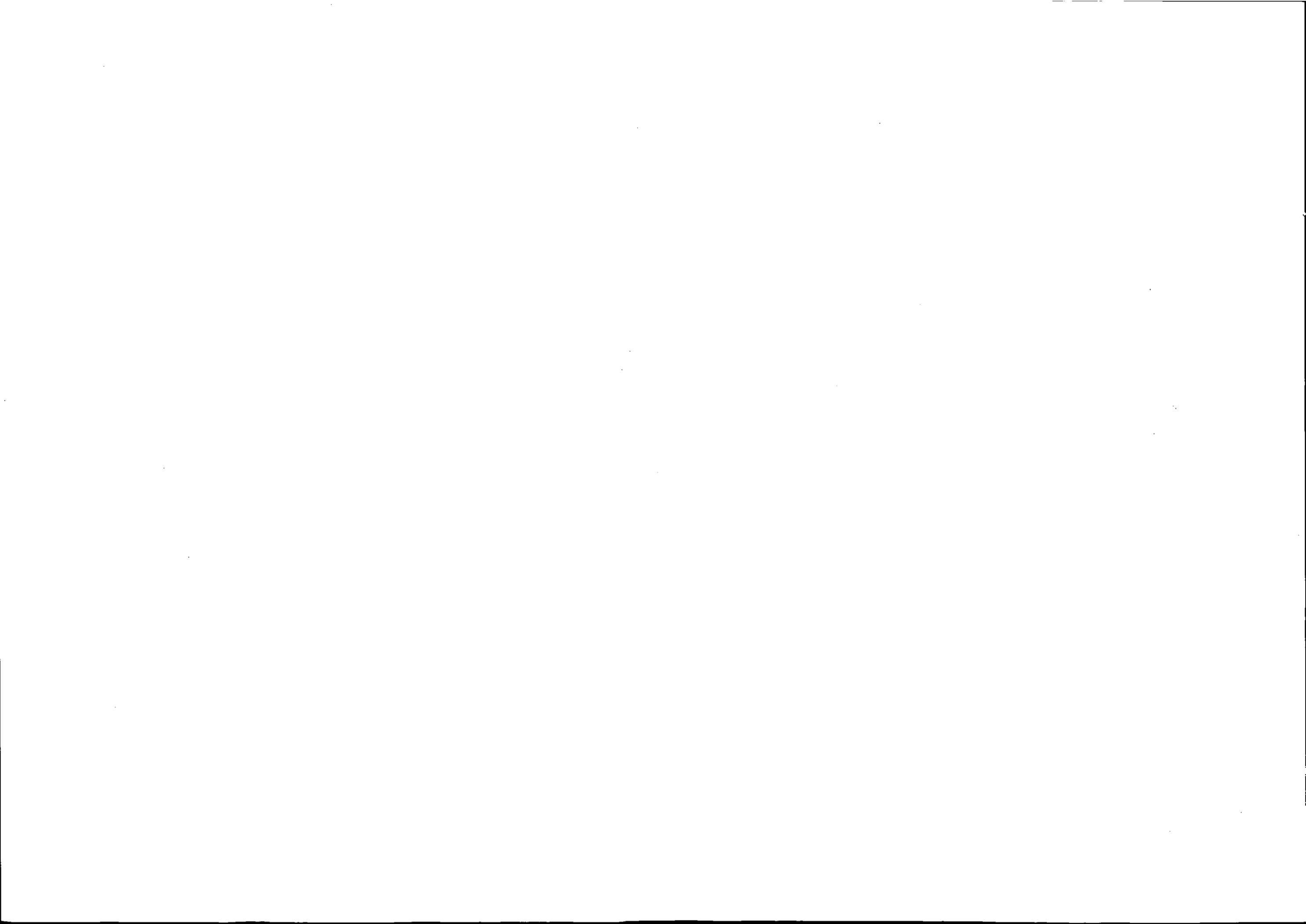
①AVMC:760語彙表の索引語(統一語と参照語から成る)を分類表の各項目に表示した。

②上記の索引語によるインデックスを付加した。

AVMC:760-2については資料1を参照のこと。

表 3-4 統一語の形式についてのケース別基準

語の数	ケース (※形容詞のように使われる名詞を含む。)		統一語と対応する 英語の参照語の先 頭語	実 例			
				(a)統一語の英語形(参照語)	(b)左の限定語	(c)統一語(日本語)[(a)の訳語]	(d)左の限定語
単一語	名詞		A 名詞	◆Value	(Music)	◆評価	(音楽)
複数語	形容詞(※)+名詞	・通常(下記以外) ①最も特定のな語から利用者が検索すると思われない場合。 ②最も特定のな語の訳語が定着していない場合。 ③最も特定のな語が表しているのが具体的なものではない場合。	B 最も特定のな語(通常形容詞)	◆Outdoor music ◆Basic principle ◆Modern jazz ◆General principle	(Music) (Vocal music)	◆野外の音楽 ◆基本原理 ◆モダンジャズ ◆一般原理	(音楽) (声楽)
			C 名詞	◆Early jazz→Jazz, Early ◆Other mode→Mode, Other		◆ジャズ(初期のあるいは1914年以前のー) ◆旋法(その他のー)	
	・形容詞1(※)+形容詞2(※)+名詞 ・形容詞1(※)+形容詞2(※)+形容詞3(※)+名詞	・通常(下記以外) ・形容詞1(および形容詞2)がそれ以外の一体的な成句を説明する語である場合。	D 最も特定のな語(通常形容詞1)	◆Medieval church mode ◆Western popular music ◆Anglican sacred music ◆Baptist sacred music ◆Large-scale vocal work		◆中世教会旋法 ◆西洋のポピュラー音楽 ◆英国国教会の音楽 ◆バプテスト派の音楽 ◆大規模声楽形式	
			E 形容詞2(または形容詞3)	◆Small-scale sacred vocal form →Sacred vocal form, Small-scale		◆宗教声楽曲(小規模なー)	
	A~Eの並列的な表現	・通常(下記以外) ・複数の主題が関連で扱われている項目の場合	F 並列的な表現の先頭語(つまりそのまの形)	◆Language and communication ◆General principle and musical form	(Music)	◆音楽言語および伝達手段 ◆一般原理および音楽形式	
			G 音楽以外の主題を表す語	◆Music and Welsh literature→Welsh literature, Music and		◆ウェールズ文学(音楽とー)	
前置詞(andを除く)句で修飾されるA~F		・最も特定のな語が前置詞句の中にある場合 ・最も特定のな語が前置詞句によって修飾される部分にある場合 ・「修飾される部分+前置詞」が形容詞的に和訳される場合	H 前置詞に導かれる部分が上記のA~Fのどれにあたるか判断の上、その原則により決定する。	◆Music for spring→Spring, Music for ◆Music in specific settings→Setting, Music in specific ◆Folk music of specific racial, ethnic, national groups →Racial, ethnic, national groups, Folk music of		◆春の音楽 ◆状況のための音楽(特定のー) ◆人種、民族、国民の民族音楽(個々のー)	
			I 前置詞句によって修飾される部分が上記のA~Fのどれにあたるか判断の上、その原則により決定する。	◆Common of the mass	(Vocal form)	◆ミサ通常文 [※慣用句なので英語と先頭語が不一致]	(声楽形式)
			J 前置詞に導かれる部分が上記のA~Fのどれにあたるか判断の上、その原則により決定する。	◆Other type of voice→Voice, Other type of		◆声(他の種類の一)	
分詞句によって修飾されるA~F		・最も特定のな語が前置詞句の中にある場合	K 分詞に導かれる部分が上記のA~Fのどれにあたるか判断の上、その原則により決定する。	◆Opera, Persons associated with		◆オペラの関係者	



3. 1. 2 LC分類表音楽部門の翻訳

分類索引データベースには、各々のAVMC番号に対応する他のいくつかの分類法体系の番号を関連分類として入力した。アメリカ議会図書館(Library of Congress、LCと略記)分類表(以下LCCと略記)による分類番号はそのうちの1つであり、そのための準備作業としてこの分類表の音楽部門の翻訳を行った。

LCCはアメリカの中央図書館であるLCのための分類表であるため、体系や項目がアメリカ中心に作られておりDDCよりも普遍性は低い。非十進分類の、典型的な列挙型の分類表で複合主題にもそれぞれ専用の項目が用意されている。記号が階層構造をとっていないので、分野の上下関係を記号から知ることはできない。非常に膨大な資料を扱うLCのために、各分野の専門家によって作られた分類表であるだけあって非常に精密にできている。また、アメリカのMARCデータには全てLCCが付与されているため、LCC番号からAVMC番号への変換、あるいはAV/MARC書誌データへのアクセスが可能になることの意義は大きい。

LCCは全体が19の分野に区分され、分類番号はそれぞれの分野を示すアルファベットを冠している。AVMC:760との対応関係で入力するため、LCCの中の「音楽」の分野(M)のみ、つまりMの音楽作品、MLの音楽書、MTの音楽理論書の部分を翻訳の対象とした。この分類表は非常に細かく項目が設定されている部分があるため、特殊な語に対する適切な訳語が見つからない場合や、原語の英語を見ないと意味がわかりづらいことも多かった。そこで、利用の便を考慮し、この分類表を和英対照の形に編集した。

3. 1. 3 各種分類表および件名作業の解説書の翻訳

(1) DDC 20関係の翻訳・整備

(a) DDC 20:780の整備・編集

前述の通りDDC 20は世界で最も普及している分類法であり、AVMC番号と対応するこの分類法の番号を関連分類として入力することは非常に有益である。その準備作業としてDDC 20:780の日本語版の整備を行った。

分類索引データの基礎分類表であるAVMC:760の基となったMLAJCは、DDC 20:780を翻訳・改訂したもので、その改訂のほとんどが表示方法に関することであるため、追加された769「日本音楽」の項目および760番台に置換されている点以外、ほぼ、MLAJCはDDC 20:780に等しいといえることができる。また、AVMC:760の注記等はMLAJCの表示方法をそのまま採用しているため、DDC 20:780も同一の形式をとる方が使いやすい。従って、DDC 20:780の整備は、MLAJCの760番台を780番台に戻し、一部の訳語を修正し、その他の細かな手直しをするといった比較的小規模な作業で済ませることができた。

(b) DDC 20序文の翻訳

DDC 20第1巻の前づけページにある「デューイ十進分類法への序文」は、この分類

法の基本的な使用方法を詳しく説明している。DDC20による分類付与を行う場合にはこの序文の理解が不可欠であるため、その翻訳を行った。

この序文はDDC20による分類付与の指針として使用されただけでなく、その内容はAVMC:760の中の「1.分類番号付与について」および「3.資料に対するAVMC番号付与」の規則作成の際にも参考として用いられた。

(c) DDC20マニュアルの翻訳

DDC20の第4巻の巻末には「むずかしい分野を分類するための助言を行い、アメリカ議会図書館十進分類部門の方針と実際の規則を説明する」(DDC20序文)膨大なマニュアルが収められている。その中からこのデータベース構築のため必要な次の部分を翻訳した。

①「補助表1」に関するマニュアル

補助表とは分類表の本表の番号に付加して用いる番号表のことである。DDC20の補助表1「標準細目」は資料の形態、主題を取り扱っている条件等によって分類項目をさらに細分するために用意されている。どんな主題にも適用が可能で、音楽の分野でも重要であるため、この補助表1に関するマニュアルの翻訳を行い、分類作業の指針とした。

標準細目は通常分類表の本表に表示されないが、ある主題のもとでの標準細目による細分が特別な意味をもつ場合、およびある主題に固有の標準細目の番号を追加する必要がある場合に限って本表に表示されている。音楽の分野にも表示されている標準細目があり、それと重複しない標準細目のみ補助表1から使用する必要があるためその扱いが煩雑である。そこで、今回編集したDDC20:780やAVMC:760では音楽分野で使用可能な全ての標準細目を表示し、「音楽細目」と呼ぶこととした。この「補助表1」に関するマニュアルはAVMC:760の音楽細目の使用に関するマニュアルとしても使用された。

②「補助表2」に関するマニュアル

補助表2は地域によって分類項目をさらに細分するためのものである。これは、音楽細目の特定の番号(780.23, 780.25, 780.272, 等々)および本表の特定の番号(784.19)にさらに付加して用いられるため、このマニュアルを翻訳し、分類作業の指針とした。これは、AVMC:760の音楽細目の同様項目の使用に関するマニュアルとしても使用された。

③「780音楽」に関するマニュアル

音楽は他の分野と比べ特殊性があるため、本表の番号に関するマニュアルの中でも「780音楽」に関する部分は比較的多くのページを使用している。分類索引データの関連分類としてDDC20:780の番号を付与するための指針とするため、これを翻訳した。

AVMC:760はDDC20:780と、細部は別として基本的な構造が同一であり、基本的にはその取扱方法をそのまま採用する。そこで、このマニュアルに対してAVMC:760の独自性を考慮した修正を施し、AVMC:760に「2.AVMC760マニュアル」として収録した。

(d) DDC20補助表7の翻訳

補助表7は「人々のグループ」によって分類項目をさらに細分するために使用される。

この表の番号は音楽細目の特定の番号(780.24, 780.88)および本表の特定の番号(781.71, 781.74, 782.3)にさらに付加して用いられるため、これを翻訳し分類作業に用いた。また、これはAVMC:760の同様の項目に対してもそのまま使用するため、AVMC:760による分類作業およびAVMC番号の入力においても用いられた。

(e) DDC20:780 索引の編集

DDC20の第4巻の大部分を占める相関索引(Relative Index)は、本表と補助表にある主題(その同義語も含む)のアルファベット順リストである。この中から、780番台の番号に関係する主題のみを選んでパソコン入力し、DDC20:780本表の項目と合体し、重複を削除しながらDDC20:780索引を翻訳・編集した。また、これはAVMC:760語彙表の作成にも用いられた。

(2) DDC分類の解説書の翻訳

一般的な、およびDDCによる分類作業の基本的な方法論、原理・原則を学ぶために、Bohdan S. Wynar著、Introduction to cataloging and classification, 7th edition (Littleton, Colorado: Libraries Unlimited, 1985)の第16章"Classification of library materials"の後半部分、および第17章"Decimal classification"を翻訳し、DDC20:780による分類付与のために用いた。

また、これはAVMC:760の「1.分類番号付与について」および「2.AVMC760マニュアル」「3.資料に対するAVMC番号付与」の規則作成の際にも参考として用いられた。

(3) NDC8音楽部門の編集、索引の作成

日本十進分類法(Nippon Decimal Classification、以下NDCと略記)は日本のほとんどの公共図書館が使用している分類法である。その760音楽は、音楽資料専用の分類表として用いるには問題があるが、小規模なAV資料コレクションに対して公共図書館等において用いる場合もあり得るため、分類索引データの関連分類として入力を行うこととし、そのための準備作業として、AV/MARC用のNDC:760の本表および索引の編集を行った。

(4) LC分類の解説書の翻訳

LCCの構造、それによる分類付与の基本原則を学ぶために、Bohdan S. Wynar著、Introduction to cataloging and classification, 7th edition (Littleton, Colorado: Libraries Unlimited, 1985)の第18章"Library of Congress classification"の部分を翻訳し、LCCによる分類付与作業の指針として用いた。

(5) LCSH関係資料の整備

分類索引データはそのC44フィールドに、AVMC番号に対応するAVSHによる件名標

目の典拠レコード番号を入力することによって件名典拠とリンクする。前述したとおり、AVSHはLC件名標目表(Library of Congress Subject Headings、以下LCSHと略記)を基にして日本語を付加したものであるため、件名付与作業の原則はLCSHのそれにそのまま従っている。しかし、これまで件名作業のマニュアルは不十分な形でしか整備されていなかったため、分類索引データに正確な件名典拠レコードをリンクさせるために下記の資料の整備を行った。

(a) LCSH解説書の翻訳

情報の新しい、優れた解説書として、Lois Mai Chan著、Library of Congress subject headings : principles and application, 2nd edition (Littleton, Colorado : Libraries Unlimited, 1986)を選び、その第1章"Introduction"および第2章"Basic principles"、第3章"Forms of headings"の部分を翻訳した。

(b) CD-MARC Subject 検索マニュアル作成

LCSH検索のツールとしてCD-MARC Subject (CD-ROM)を用いたため、その操作マニュアルを参照し、フロー図の形の検索マニュアルを作成した。

3.1.4 AV/MARC分類マニュアル整備

(1) 分類目録マニュアルの整備

これは、AVMC:760の適用細則にあたり、この分類表の標目語および参照語、注記の言葉や文章の曖昧な部分を明確化したり、分類作業において統一化された取扱いを実現するための規則を追加する役割をもつ。適用細則は通常、分類作業の過程で生じた事例に基づいて設定されるので、作業が進むにつれて次第に増加していく性質のものである。

これまでに整備されている分類マニュアルは、AVMC:760改訂の過程、および少量の音楽録音資料にAVMC番号(合成番号)を付与し、そのデータ入力を行う過程で設定した適用細則のみであるため、その分量は多くない。今後、AV/MARCの書誌データへの分類索引データのアクセスポイント付与を本格的に開始し、合成番号のレコードを追加してゆく過程で、この分類マニュアルの適用細則の分量は大幅に増加していくだろう。

(2) ポピュラー音楽関係の分類作業補助資料作成

多くの音楽分類表においてポピュラー音楽の取扱方法はだまかで、明確な指示を欠いている。それは聴覚を通して広まってゆく、時代の風潮に従って常に変化する、研究対象となることが少なく言葉の定義もあいまいである、等々のこうした音楽の特徴から生じている実状なのだろう。

しかし、実際に発売されている、ないしは公共図書館で購入するAV資料中、ポピュラー音楽の占める割合は芸術音楽よりも高い。そこで、AVMC:760ではDDC20:780やMLAJCよりもその項目の一部をさらに細分して、そうした現状への対応を試みた。また、下記のような補助的な資料を作成することによって、より正確で、一貫性のあるポピュラー音楽の分類

作業が実現するよう努めた。

(a) ポップス・アーティスト・インデックス

これはポピュラー音楽のアーティストの個人名やグループ名からジャンル名が調べられるように作成したインデックスである。AVMC:760別表「ポピュラー音楽」の索引2：アーティスト名は、これにAVMC番号を加えて再編集したものである。

(b) ポップス分類資料

ポピュラー歌曲、映画音楽・TV番組の音楽、ジャズの3つのテーマを設定し、それぞれに含まれるジャンルのピックアップ、各々のジャンルに属する資料の量的傾向の調査、ジャンル名称の定義、問題点の記録等を行い、資料の形にまとめた。これは、AVMC:760のポピュラー音楽の項目改訂のための資料として、また、AVMC:760別表「ポピュラー音楽」を作成するための材料として用いられた。

3.2. 分類索引データ記入・入力

3.2.1 マニュアルの作成

分類索引データの記入・入力を行うのに先立って、下記のマニュアルの作成を行った。

(1) 入力フォーマット・マニュアル

これは、データの入力形式、データ作成・入力方法に関する内容を表の形にまとめたものである。これを基にし、データ作成・入力方法の部分を取り除いて分類索引レコードフォーマット(資料3)を作成した。

(2) 分類索引データ入力マニュアル

これは(1)を基にして、データの形式部分は実際に今回入力するコードやフィールドのみ残り、データの作成・入力方法をよりわかりやすく、詳しく説明したものである。(資料2)

3.2.2 データ記入・入力

データはまず入力用紙に記入してから、端末を使用して入力した。

(1) 入力したデータの種類

(a) AVMC:760本表の番号

①分類索引レコード…AVMC:760にあるものほぼ全部

②項目見出しレコード、補助表レコード…若干

(b) AVMC:760による合成番号

①次のパターンにより合成した番号

- ・楽器名+形式名
- ・各種オーケストラ+独奏楽器
- ・各種オーケストラ+独奏楽器+形式名
- ・各種オーケストラ+形式名
- ・その他

②実際のAV資料に含まれる作品の分類番号

(2) 今回の入力対象項目とデータの作成方法

表3-5 入力対象項目とデータの作成方法

入力対象項目		フィールド	データ作成方法	
			本表の番号	合成番号
コードデータ			マニュアルから	マニュアルから
レコード作成機関・訂正機関		180	マニュアルから	マニュアルから
分類 標目	AVMC番号	A7×	AVMC:760から	★
	統一語(項目名)、ヨミ	A7×	AVMC:760から	※
注記		B×	AVMC:760から	[対象外]
典拠レコード・リンク		C44	[対象外]	★(一部分のみ対象)
分類標目を 構成する ファセット	AVMC番号	C70	[対象外]	AVMC:760から
	統一語、ヨミ	C70	[対象外]	AVMC:760統一語
関連 分類	DDC20	C76	★	★
	NDC8	C77	★(該当する時のみ)	★
	LCC	C78	★(該当する時のみ)	★
	ホルンボステル=ザックス楽器分類番号	C79	★(766~768のみ)	[対象外]
参照語(日本語、英語)		E7×	AVMC:760から	※

★…データ入力者がマニュアル類を参照の上、データを作成した。

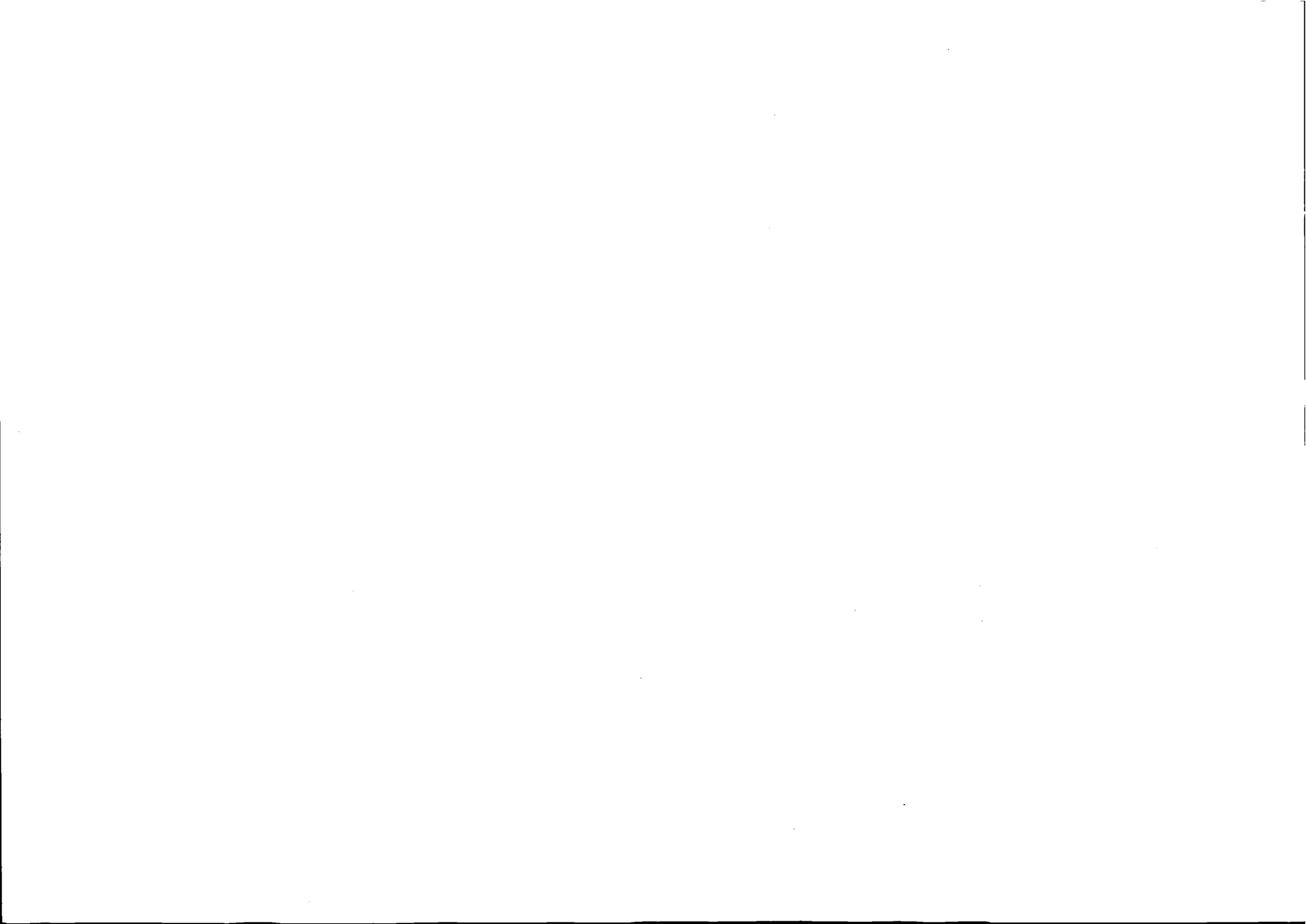
※…「分類索引データの索引語(統一語および参照語)の入力基準」(表3-6)により作成した。

(3) 入力に使用したマニュアル類

- (a) 分類目録マニュアル(3.1.4(1)参照)
- (b) 分類索引データ入力マニュアル(3.2.1(2)参照)(資料2)
- (c) 分類索引データ入力端末操作マニュアル(6.2参照)(資料4)
- (d) その他 項目3.1において整備したマニュアル類等

表 3-6 分類索引データの索引語（統一語および参照語）の入力基準

ケース	統一語として入力する語句 ※(2)において下記の形よりも一般的な表現がある場合にはそれを使用してよい。		参照語として入力する語句 【】…入力順序			備考		
			統一語の英語形	参照語				
				日本語	英語			
(1) 分類標目が主ファセットのみによる番号の場合	→AVMCの統一語(日本語)		→AVMCの欧米語形の統一語	→AVMCの日本語の参照語	→AVMCの欧米語形の参照語			
(2) 分類標目がファセットの合成による番号の場合	「楽器名+形式名」の形の合成番号	楽器名と形式名をそのまま結び付けたものがそのジャンルの名称の慣用形の場合	・短い語の組み合わせ ・片方の語が漢字 →〈楽器名〉〈形式名〉 (例) ピアノソナタ ピアノ変奏曲	→ファセットごとに1つのサブフィールドを使用しその構成順序に配列した英語の標目語 【②-a)】	→〈形式名〉for〈楽器名〉 (例) Sonata for piano 【②-b)】	・統一語(日本語、英語)に別の形があり、一般的に使用される場合それを入力する。 【①】	→〈楽器名〉〈形式名〉 (※この形が適切な場合に限る) (例) Piano sonata 【②-c)】	
		上記以外	→〈楽器名〉(・)〈形式名〉 (例) ハープシコード・ソナタ ピアノ・エチュード		【①】	・形式名/楽器名をその参照語に置き換えたジャンルも存在する場合それを入力する (例) 統一語「ピアノの19世紀以降のポロネーズ」における「ピアノのポロネーズ」 【①】	(例) 統一語「ピアノの19世紀以降のポロネーズ」における「Polonaise for piano」 【②-c)】	
		楽器名と形式名をそのまま結び付けたものはそのジャンルの名称の慣用形ではない場合	→〈楽器名〉の〈形式名〉 (例) ピアノのフーガ ピアノの組曲関連形式		【①】	【②-c)】		
	各種オーケストラと独奏楽器の組み合わせによる合成番号の場合	「オーケストラ」+「独奏楽器」		→〈オーケストラ〉と〈独奏楽器〉 (例) 弦楽オーケストラとヴァイオリン	→〈オーケストラ〉with〈独奏楽器〉 (例) String orchestra with violin 【②-b)】	・独奏楽器名をその参照語に置き換えたジャンルも存在する場合それを入力する 【①】	【②-c)】	
		「オーケストラ」+「独奏楽器」+「形式名」	形式が「協奏曲形式」の場合	→〈独奏楽器〉「協奏曲」(注) (例) ピアノ協奏曲 →〈独奏楽器〉の「協奏曲」(注) (例) 棒(複式打奏体鳴楽器)の協奏曲	→Concerto for〈独奏楽器〉and〈オーケストラ〉 (例) Concerto for violin and string orchestra 【②-b)】	・独奏楽器名をその参照語に置き換えたジャンルも存在する場合それを入力する 【①】	→〈楽器名〉concerto (注) (※この形が適切な場合に限る) (例) Piano concerto 【②-c)】	(注) オーケストラが通常のオーケストラ以外の場合には、そのオーケストラの種類を()に入れて付記する
			形式が「協奏曲形式」以外の場合	→〈オーケストラ〉と〈独奏楽器〉の〈形式名〉 (例) 弦楽オーケストラとフルートのエレジー	→〈形式名〉for〈オーケストラ〉with〈独奏楽器〉 (例) Nooturne for orchestra with guitar 【②-b)】	【①】	【②-c)】	
	「各種オーケストラ」+「形式名」	形式名が下記の場合 ・交響曲形式 ・序曲形式	通常のオーケストラの場合	→〈形式名〉 (例) 交響曲	→〈形式名〉 (例) Overture 【②-b)】	【①】	【②-c)】	
			通常のオーケストラ以外の場合	→〈形式名〉(オーケストラの種類) (例) 交響曲(室内オーケストラ)	→〈形式名〉(オーケストラの種類) (例) Symphony (Chamber orchestra) 【②-b)】	【①】	【②-c)】	
		形式名が上記以外の場合	→〈オーケストラ〉の〈形式名〉 (例) 室内オーケストラの狂詩曲	→〈形式名〉for〈オーケストラ〉 (例) Romance for string orchestra 【②-b)】	【①】	【②-c)】		
	★全般的注意事項	<p>1. 形式名の「形式」という語はそれがないと意味が通じない場合以外は省くこと。(例) 「ピアノのフーガ形式」→「ピアノのフーガ」[Romance form for string orchestra]→「Romance for string orchestra」</p> <p>2. 倒置語を他のファセットを表す語と組み合わせる場合には正置語に戻す。(例) 「フルートの器楽形式(その他のー)」→「フルートのその他の器楽形式」(英語の索引語も同様。ただし、上記(2)-②-a)のみ倒置のままとする。)</p> <p>3. 3つ以上の並列的な要素の集合の表現方法は「AとB、C、(D)」の形にする。(例) 「フルートとオーボエ、バスの協奏曲」</p> <p>※この基準はガイドラインとして設定したもので、これを適用するのが不自然な場合には臨機応変に処置して良い。</p>						



3. 2. 3 入力した分類索引データの実例

図3-1 に入力した分類索引データの実例を示す。

```

■実例1：ヴァイオリン協奏曲
00699njw 22002501 0014
001 00 c90000684≠
009 00 ≠
100 00 $a19900509dc a d ba 0jpn≠
190 00 $a19910201≠
180 00 0 $aJP$bDMS≠
A70 00 0 $a764.2'72'186$tヴァイオリン協奏曲$tヴァイオリン キョウソウキョク≠
C70 00 12 $a764.186$t協奏曲形式$tキョウソウキョク ケイシキ≠
C70 01 10 $a764.2$tオーケストラと特定の1つの独奏楽器$tオーケストラ トクテイノ ヒツノ
トクウ ガッキ≠
C70 02 11 $a767.2$tヴァイオリン$tヴァイオリン≠
C76 00 $v20$a784.2'72'186≠
C77 00 $v8$a764.3942≠
C78 00 $aM1013≠
E70 00 $0eng$tOrchestra with specific solo enstrument$tViolin$tConcerto
form$2ddc20≠
E70 01 $0eng$tConcerto for violin and orchestra≠
E70 02 $0eng$tViolin concerto≠

■実例2：1600年頃-1750年頃のドレスデン地方のホルン協奏曲（室内オーケストラ）
00947njw 22002821 0016
001 00 c90000803≠
009 00 ≠
100 00 $a19900509de a b bax0jpn≠
190 00 $a19910130≠
180 00 0 $aJP$bDMS≠
A70 00 0 $a764.3'2894'186'0943214'09032$t1600年頃-1750年頃のドレス
デン地方のホルン協奏曲（室内オーケストラ）$t1600初 印 1750初 印ノ
ドレスデン チホウノ ホルン キョウソウキョク シツナイ オーケストラ≠
C44 00 $3a85033820≠
C70 00 14 $a760.9032$Z1600年頃-1750年頃$z1600初 印 1750初 印≠
C70 01 13 $a3214$Yドレスデン地方$yドレスデン チホウ$n2≠
C70 02 12 $a764.186$t協奏曲形式$tキョウソウキョク ケイシキ≠
C70 03 10 $a764.32$t室内オーケストラと特定の1つの独奏楽器$tシツナイ オーケストラト
トクテイノ ヒツノ トクウ ガッキ≠
C70 04 11 $a768.94$tホルン$tホルン≠
C76 00 $v20$a784.3'2894'186'0943214'09032≠
C77 00 $v8$a764.3962≠
C78 00 $aM1028≠
E70 00 $0jpn$tバロック時代のドレスデン地方のホルン協奏曲（室内オーケスト
ラ）$tバロック シ'ダイノドレスデン チホウノ ホルン キョウソウキョク シツナイ オーケストラ≠
E70 01 $0eng$tChamber orchestra with specific solo instrument$tHorn
$tConcerto form$yDresden district$zca. 1600-ca. 1750$2ddc20≠

```

図3-1 入力した分類索引データの実例

3. 3 AV/MARC登録済資料の分類実験

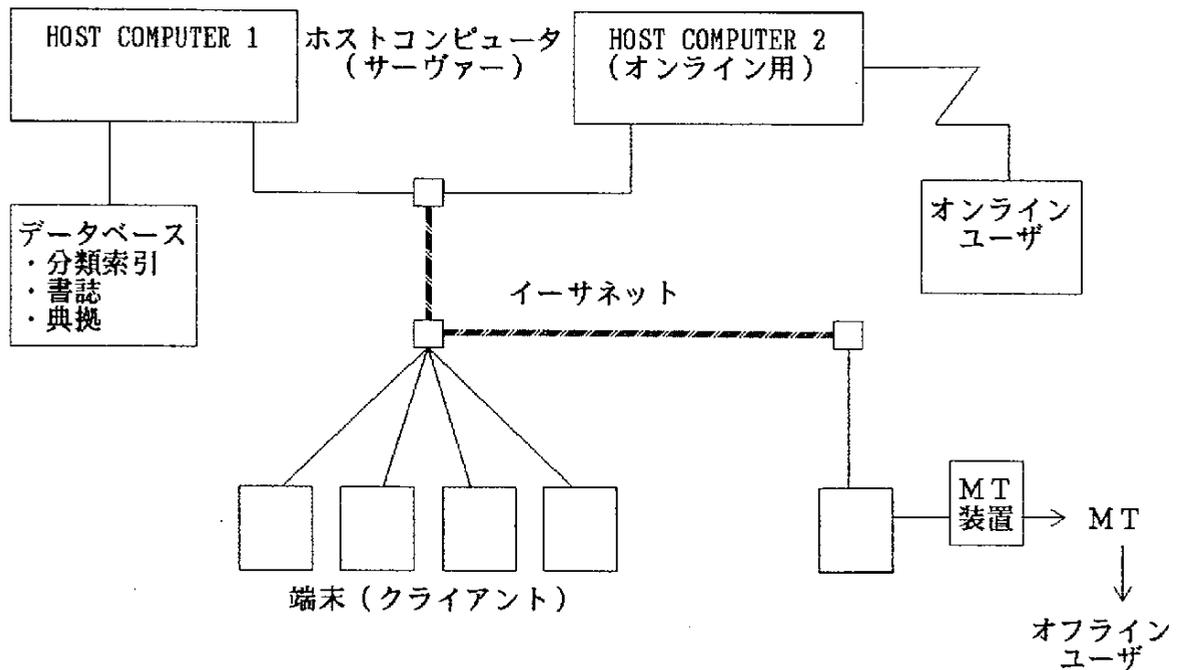
AV/MARC書誌データへの分類索引アクセスポイントの付与は、書誌データの該当フィールドに分類索引データのID番号を入力することにより行われる。AV/MARCの書誌データはこれまでに約9万件蓄積されており、その大部分が音楽資料であるためその分類作業には

今後長い期間を要する。

今回は実験的に、AV/MARC 書誌の中からいくつかの音楽作品を選んで、この作業を行った。

4. システム構成

4.1 構成図



4.2 機器構成

ホストコンピュータ	SONY NEWS NWS-1850
	NWS-1450
磁気ディスク装置	MHC MHD-700
端末装置	SONY QuarterL PCX-300
	NEC PC-9801 RA

4.3 ソフトウェア構成

(1) ホストコンピュータ	
基本ソフトウェア	NEWS OS Ver. 3.4 (UNIX)
通信ソフトウェア	独自開発
データ管理ソフトウェア	独自開発
(2) ユーザ端末	
基本ソフトウェア	MS-DOS Ver. 3.21
通信ソフトウェア	TCP/IP (独自開発)

5. ファイル仕様

資料3「分類索引レコード・フォーマット」を参照のこと。

6. データベースの機能

6.1 データ登録の機能

次の手順により分類索引データの入力および登録を行う。詳しい操作方法については、資料4「分類索引データ入力端末操作マニュアル」を参照のこと。

①新規入力に利用する入力済分類索引レコードの検索を行う。(資料4-II. ㉔参照)

```
AV/MARC分類索引レコード検索
分類標目  :
ファセット:
索引語    :
PRECIS    :
ID番号    :
```

[Enter->検索] [Esc->戻る]

図6-1 分類索引レコード検索画面

- ②画面に表示されたデータを修正・追加することにより新規データの作成を行う。
(資料4-II. ㉕参照)
- ③[F10]により新規ID番号の付番を行う。(資料4-II. ㉖参照)
- ④端末への保存を行う。(資料4-II. ㉗参照)
- ⑤ホストコンピュータへの保存を行う。(資料4-II. ㉘参照)

6.2 AV/MARC 書誌データ入力時における検索

①分類索引レコードの検索を行う。(資料4-II, ④参照) (検索画面は図6-1参照)

②書誌データのフィールド671の\$3に分類索引レコードのID番号を入力する。これにより、書誌レコードと分類索引レコードのリンクが行われる。

6.3 AV/MARC 利用者への分類索引データからのアクセスポイントの提供

AV/MARCのオフラインによる提供の場合には、書誌データ抽出の際、典拠と同様に分類索引データベースから抽出されたアクセスポイントが付加される。これは上記6.2の、分類索引データとのリンクが行われている書誌データのみ対象とされる。

ただし、オフラインの場合、アクセスポイントとして提供される分類索引データは下記の項目に限られる。

表6-1 オフラインのMARCにおいて分類索引データから提供されるアクセスポイント

フィールド	データ項目名 (識別子)	実 例
A7× (A70)	分類標目	\$a分類番号 \$T統一語 \$t統一語ヨミ 764.2'72'186 ヴァイオリン協奏曲 ヴァイオリン キョウソウキョク
C70	分類標目を構成するファセット	① \$a番号 \$T統一語 \$t統一語ヨミ 764.186 協奏曲形式 キョウソウキョク ケイシキ
		② \$a番号 \$T統一語 \$t統一語ヨミ 764.2 オーケストラ オーケストラ
		③ \$a番号 \$T統一語 \$t統一語ヨミ 767.2 ヴァイオリン ヴァイオリン
C76	\$aDDC20分類番号	784.2'72'186
C77	\$aNDC8分類番号	764.39
C78	\$aLCC分類番号	M1012

7. データベースの評価と今後の課題

7.1 データベースの評価

分類索引データベースを構築するにあたって目的としていたのは、主に次のような機能だった。

- ①AV/MARCの書誌に精密な分類法体系による分類番号を付与する体制を整える。
- ②自然語キーワードによる分類法体系への検索を可能とする。
- ③複合主題（合成番号）に対して、その構成要素（ファセット）による組み合わせ検索を可能とする。
- ④他の主要な分類法体系の分類番号からの検索も可能とする。

これまでの構築作業によって、上記の目的をおおむね満足させることができる分類索引データベースを構築することができたと言えるだろう。ただし、利用者の大半がAV/MARCをオフラインで利用している現状では、このデータベースの長所を十分に発揮できるとは言えない。また、現状のシステムではデータベースの規模に制約があり、参照語等を十分に備えていると言えない面もある。

7.2 今後の課題

当初の目的をおおむね満足させることができる分類索引データベースの構築はできたが、それが効果を発揮していくためには下記のような課題に取り組み、実現していく必要があるだろう。

(1) AV/MARC書誌データベース等とのリンク作業

このデータベースはAV/MARCの書誌データに精密な分類法体系による分類番号を付与し、それを言葉からも検索できるようにするためのものである。従って、書誌データと分類索引データのリンク作業を行って初めてその機能を発揮することができる。

また、件名標目や統一タイトルの典拠データとのリンクを行うことによって、それを仲介しての、またはそれから分類索引データを仲介しての書誌データの検索が実現される。

(2) 分類目録マニュアルの充実をはかる

優れた分類法体系を採用し、それによる分類索引データベースを構築したとしても、その使い方、つまり上記(1)の書誌データや典拠データとのリンクの方法が適切でなかったとしたら、それは十分な機能を発揮することができない。従って、実際の分類作業を行うなかで、分類方法の確立を行い、それを適用細則の形にまとめ、分類目録マニュアルの充実をはかっていくことが重要である。

(3) 日本音楽の項目(769)のデータベース化

AVMC:760はMLAJCを基に改訂して作成された。MLAJCは769として日本音楽の諸項目を展開しているが、今回のデータベース構築では労力的な限界から、一部の実験的な例外を除いて、769の部分のデータ入力を行わなかった。

AV/MARCは日本のAV資料を対象とした図書館目録データベースであり、そこで扱う資料には邦楽、雅楽、日本民謡等、日本固有の音楽が少なくない。従って、MLAJCの769の展開の妥当性を再検討した上で、この部分のデータベース化をはかっていく必要がある。

(4) 音楽以外の分野のデータベース化

AV資料の大部分を音楽資料が占めているが、映画、文芸、紀行等々、音楽以外の資料も存在しており、それらに対しても分類索引データのアクセスポイントを付与する必要がある。

MLAJCやAVMCは音楽分野以外はNDC(ほとんどの日本の公共図書館が採用している分類表)を用いることを意図し、その原典であるDDC20の音楽部門が780番台であるのを、NDCと同じ760番台に移行させた。従って、音楽分野以外はNDCによってデータベース化する予定であるが、それに先だって、AV資料の分類にNDCがそのまま対応できるかどうかの検討を行った上で、場合によっては部分的な修正が必要となるかもしれない。また、NDCの改訂の動向も考慮に入れる必要があるだろう。

(5) 利用方法の追求、それに対応したデータベースおよびシステムの改善

このデータベースはAV/MARCを検索するためのデータベースであるため、その特性を生かした検索方法の追求、およびそれとフィードバックした形でのデータ構造や検索システムの改善が、利用しやすいものを確立していくためには欠くことができない。難しい決まりをおぼえなくとも、自然に思いついた言葉で検索し、いかに目的のAV資料にたどり着けるようになるかについての追求は、分類索引以外の検索方法の同様の追求と相まって、オンライン・パブリック・カタログ(特別の知識がなくても検索できるオンライン目録)を現実のものに近づけていくだろう。

参考文献

■フォーマット関係

- 1) Hopkinson, Alan. *UNIMARC handbook*. With the assistance of Sally H. McCallum and Stephen P. Davis. London : IFLA International Office for UBC, 1983. -- 264, [69] p.
- 2) *USMARC format for authority data : including guidelines for content designation*. Prepared by Network Development and MARC Standards Office. Washington, D.C. : Library of Congress, 1987. -- 1 v. (various pagings)

■分類法

- 3) Dewey, Melvil. *Dewey decimal classification and relative index*. Ed. 20. Edited by John P. Comaromi ... [et al.] Albany, N.Y. : Forest Press, 1989. -- 4 v.
- 4) Dewey, Melvil. *DDC, Dewey decimal classification, proposed revision of 780 Music : based on Dewey decimal classification and relative index*. Prepared under the direction of Russell Sweeney and John Clews, with assistance from Winton E. Matthews, Jr. Albany, N.Y. : Forest Press, 1980. -- xxxiv, 101 p.
- 5) Library of Congress. Subject Cataloging Division. *Library of Congress classification, Class M*. 3rd ed. Washington, D.C. : Library of Congress, 1978. -- x, 228 p.
- 6) もりきよし. 日本十進分類法. 新訂8版/日本図書館協会分類委員会改訂. 東京: 日本図書館協会, 1978年5月. -- 635 p.
- 7) コンピュータ時代の図書館と主題検索: 音楽図書館協議会第7回公開講座 1984年3月7日~9日『オンラインネットワークを目指してその2』記録集/平尾行蔵, 松下鈞共編. 東京: 音楽図書館協議会, 1984年12月. -- vi, 65, 97 p.
- 8) Chan, Lois Mai. 目録と分類/上田修一[ほか]訳. 東京: 勁草書房, 1987年1月. -- vii, 418 p.
- 9) DDCの成立とその第20版の意義/丸山昭二郎. 日本の榮譽を得た米国人: 図書館人6人の叙勲/シオドア・F・ウェルチ; 永田治樹訳. 東京: 紀伊國屋書店, 1989年2月. -- 40 p.

■件名

- 10) Library of Congress. Subject Cataloging Division. *Library of Congress subject headings*. 13rd ed. Washington, D.C. : Library of Congress, 1990. -- 3 v.
- 11) Library of Congress. *CDMARC subjects*. Washington, D.C. : Library of Congress, 1990. -- 1 v. (CD-ROM)
- 12) Library of Congress. *CDMARC subjects, reference manual*. Washington, D.C. : Library of Congress, 1990. -- vii, 92 p.
- 13) Library of Congress. Office for Subject Cataloging Policy. *Subject cataloging manual : subject headings*. Washington, D.C. : Library of Congress, 1990. -- 2 v.
- 14) Chan, Lois Mai. *Library of Congress subject headings : principles and application*. 2nd ed. Littleton, Colo. : Libraries Unlimited, 1986. -- xvi, 511 p.

■書誌

- 15) Library of Congress. *National union catalog, AV material*, 1982. Washington, D.C. : Library of Congress, 1983. -- 1 v.
- 16) Library of Congress. *National union catalog, AV material*, 1983-1990. Washington, D.C. : Library of Congress, 1983. -- microfiche.
- 17) Library of Congress. *National union catalog, books on music, and sound recordings*, 1986-1989. Washington, D.C. : Library of Congress, 1987-1990. -- 6 v.
- 18) The British Library. National Bibliographic Service. *British catalogue of music*, 1990. London : The British Library, 1990. -- 2 v.
- 19) 国立国会図書館. J-BISC : JAPAN MARC ON DISC. 東京 : 日本図書館協会, 1990年. -- 1 v. (CD-ROM)

■典拠

- 20) Library of Congress. *CDMARC names*. Washington, D.C. : Library of Congress, 1990. -- 3 v. (CD-ROM)
- 21) Library of Congress. *CDMARC names, reference manual*. Washington, D.C. : Library of Congress, 1990. -- xviii, 68, 9 p.

■PRECIS

- 22) Austin, Derek. *PRECIS : a manual of concept analysis and subject indexing*. 2nd ed. With assistance from Mary Dykstra. London : The British Library, 1984. -- xi, 397 p.

■シソーラス

- 23) シソーラス構築法 / Jean Aitchison, Alan Gilchrist著 ; 内藤衛亮 [ほか] 訳. 東京 : 丸善, 1989年7月. -- vii, 195 p.
- 24) Lancaster, F.W. 情報システムのためのシソーラスの構築と利用 / 村松多美子, 鈴木祐滋 訳. 東京 : 情報科学技術協会, 1989年4月. -- 82 p.

■楽器分類法

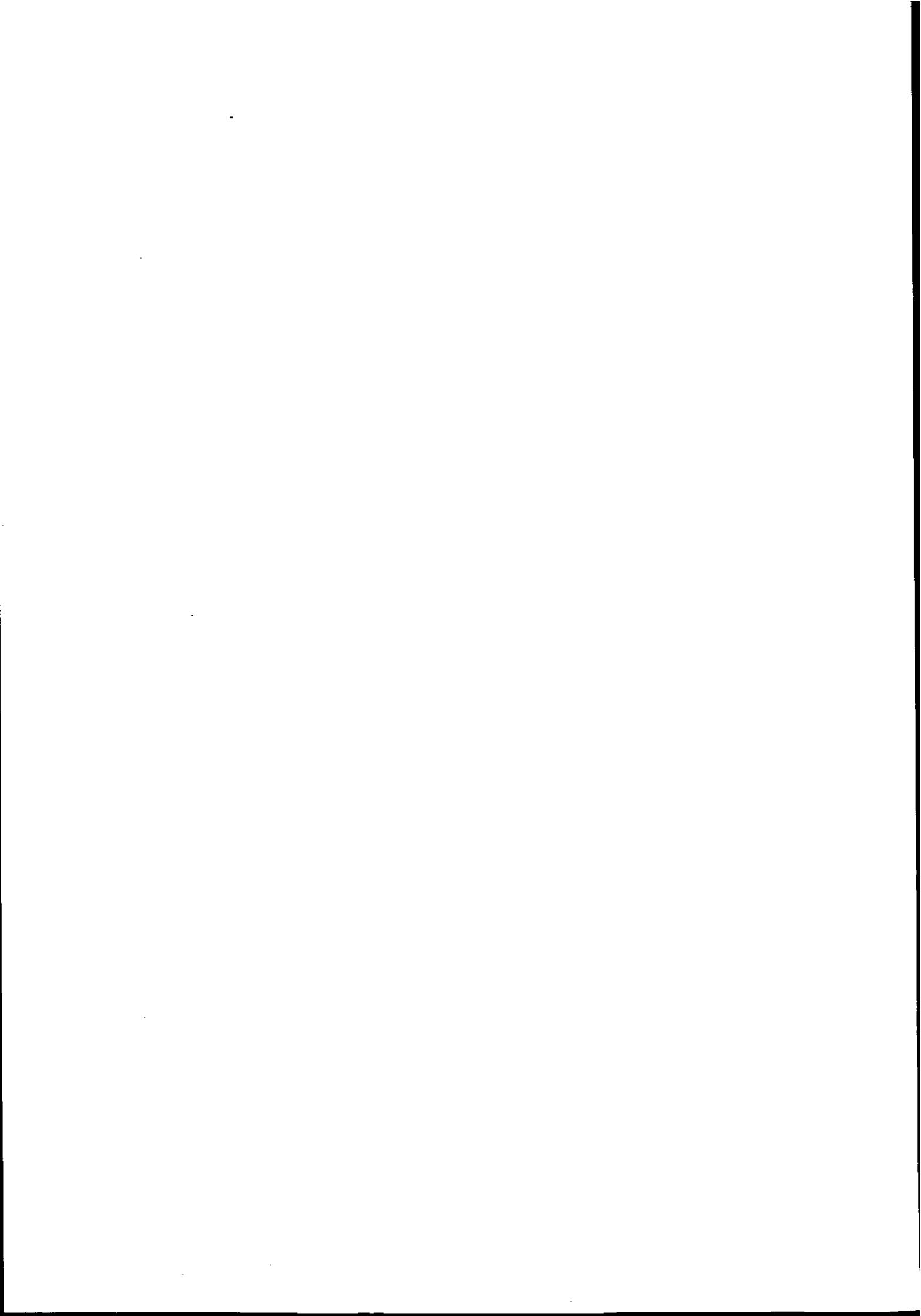
- 25) Hornbostel, Erich M., and Curt Sachs. "Classification of musical instruments" *Galpin Society journal* vol. 14 (1961)

■ポピュラー音楽

- 26) ポピュラー・ロック・ジャズ音楽単語解説集 : 楽典から技術用語まで. 第3版. 東京 : リットーミュージック, 1984年1月. -- 322 p.
- 27) Whitburn, Joel. ビルボード・トップ40アルバム1955~1986 / 小倉エージ訳. 東京 : 音楽之友社, 1989年11月. -- 385 p.
- 28) 油井正一. ジャズの歴史物語. 第6版. 東京 : スイング・ジャーナル, 1977年3月. -- 441 p.
- 29) Stuessy, Joe. *Rock and roll : its history and stylistic development*. Englewood Cliffs, N.J. : Prentice Hall, 1990. -- xiii, 418 p.
- 30) キーワード・ロック編集部. キーワード事典 ロックの冒険. 東京 : 洋泉社, 1987年12月. -- 201, vi p.
- 31) 宝島編集部. ロック名盤カタログ. 東京 : JICC出版局, 1990年9月. -- 277 p.

資料編

資料 1	AVMC : 760 第2版	35
	1. 分類番号付与について	35
	2. AVMC 760 マニュアル	36
	3. 資料に対するAVMC番号付与	41
	4. AVMC 760 分類表	47
	①ファセット合成のパターン表	47
	②チャート式AVMC本表	52
	③索引	150
	④別表 : ポピュラー音楽	180
資料 2	分類索引データ入力マニュアル	196
資料 3	分類索引レコードフォーマット	204
資料 4	分類索引データ端末操作マニュアル	214



AV/MARC分類表：760 第2版

以下は、ダイソメディアサービス社の提供するAV/MARCにおける分類作業に必要なマニュアル群であり次の部分から構成される。

- 1 分類番号付与について
- 2 AVMC760マニュアル
- 3 資料に対するAVMC番号付与＝書誌レコード作成用フローチャート
- 4 AVMC760分類表
 - ファセット合成のパターン表
 - チャート式AVMC760本表
 - 本表の索引
 - 別表（ポピュラー音楽、楽器名、ほか）

！ 分類番号付与について

① 使用する分類表

AV/MARCの公式分類表は、AVMC (AV/MARC Classification) である。この他に参考情報としてLCC (Library of Congress Classification: Class M) およびNDC (Nippon Decimal Classification)、DDC (Dewey Decimal Classification)の番号を付与する。

② 分類番号付与の原則

A 基本原則 目録対象資料に対して、著作内容を最も要約し論議されている主要な主題を、図書館等における資料配列のためのまた目録利用者に注目させるための分類番号を付与する。分類番号は少なくとも著作の20%を占める主題に付与する。

B 分類番号の数 必要な分類番号の数は目録対象資料によって異なる。1番号で十分なこともある。一般的には6個を上限とするのが適切である。特別な場合には分類番号数が10個にもなることがある。書誌目録においては1資料に対して、また典拠目録においては1著作に対して11個以上の分類番号を付与してはならない。

C 特定性 主題の範囲を最もよく表現する、特定化された番号を付与する。当該主題に対する適切な分類番号が作成できない場合には、その主題の上位の主題に分類する。

D 2個または3個の互に関連する主題 もし、著作（または資料）に含まれる主題が2または3で、それらがある1つの上位主題が確立されており、しかもその上位主題がそれら以外の主題を含まない場合には、2個または3個の狭義の分類番号を付与する代わりに、1個の広義番号を付与する。

E 「3」の規則 上位主題が4以上の下位主題を含んでおり、目録対象では2個または3個の下位主題しか扱っていないならば、上位主題ではなく、適切な2個または3個の下位主題の番号を付与する。

③ AVMC番号付与の具体的手順

「資料に対するAVMC番号付与＝書誌レコード作成用フローチャート」による。

2 AVMC760マニュアル

① AVMCの全体構成

760.0001-.0999	音楽と関連する他の主題
760.1-.9	音楽細目
761	一般原理および音楽形式
761.1	基本原理
761.2	音楽要素
761.3	作曲
761.4	音楽実技
761.5	音楽の種類(例:特定状況のための)
761.6	音楽伝統(例:民俗、ポピュラー)
761.7	宗教音楽
761.8	[一般的]音楽形式
762-768	声および楽器
762-763	声および音楽
762	音楽 声
763	単声のための音楽
764-768	楽器およびその音楽
764	楽器と合奏およびその音楽
765	1パートに1つの楽器のみの音楽
766-768	個々の楽器およびその音楽
766	鍵盤楽器、機械楽器、電気・電子楽器、打楽器
767	弦楽器
768	管楽器
769	日本の音楽
769.01-.09	日本音楽細目
769.1	一般原理および音楽形式
769.2-769.3	声および楽器
769.2-769.3	音楽 声
769.2	本来音楽として成立した音楽
769.3	パフォーマンスを伴う音楽
769.4-769.9	楽器と器楽
769.4	雅楽・管弦打の合奏
769.5	弦打、管弦、管打の合奏
769.6-769.8	個々の楽器およびその音楽
769.6	打楽器
769.7	弦楽器
769.8	管楽器

② 分類の適用順位

日本音楽	769
声および楽器	769.2-769.3
音楽形式	769.13
宗教音楽	769.17
音楽伝統	769.16
音楽の種類	769.15
音楽実技	769.14
作曲	769.13
音楽要素	769.12
音楽の基本原理	769.11
日本音楽細目	769.01-.09

西洋音楽

声および楽器	762-768
音楽形式	761.9
宗教音楽	761.7
音楽伝統	761.6
音楽の種類	761.5
音楽実技	761.4
作曲	761.3
音楽要素	761.2
音楽の基本原理	761.1
音楽細目	760.1-1.9

③ 資料形態について：音楽文献 vs. 楽譜および録音（映像）資料

音楽と他の主題との大きな相異は、楽譜や録音（映像）という資料形態としての音楽と音楽に関する文献を区別する必要があることである。

この分類表では両者に別番号をば用意してはいるが、利用館は請求記号に他の記号を用いることでこれを区別することができる（「4 AVMC分類表 ①概要」を見よ）。

④ 番号の合成について

・番号の合成によって、分類表に含まれるいくつかの要素（ファセット＝相）を同時に示すことができる。番号合成に対する指示はその都度示される。

・番号の合成は、ファセット・コネクタ「0」または「1」を用いて、分類表のある部分を別の部分に付加することによって行われ、次のような表現を可能とする。

ギタリストによる／スペイン人の／民俗音楽の／録音資料
ピアノのための／ポロネーズの／楽譜

・この分類表を、文献にのみ用いるのであれば合成要素は多くなり、次のようになる。文献には、演奏媒体に関する要素が含まれないためである（「声」は人声、「楽器」は音を発生させる工芸品で、両方とも音を発生させる演奏手段）。

ロックンロール・クリスマス音楽 761.723166

クリスマス 761.723

ファセット指示子 1

ロックンロール 66 (761.66より)

ファセット・コネクタ「1」により、分類表の場所から番号が採られていることが判る。

⑤ 音楽の基本原理について 761

761.2 音楽要素は音塊の構築および音楽創作に用いる時間を含む。

作曲技術に含めた方がよい要素は761.3に置いた。

761.4 演奏、記録、および音楽演奏の熟達に必要なものを置いた。

761.5-1.7 音楽が演奏されるあらゆる時、場所、理由。

761.5 は、たとえば、海の音楽、愛国音楽、テレビ音楽、デビューのための音楽など。

761.6 民俗、ジャズなどの音楽伝統。西洋芸術音楽を優先させて760-768に分類し、その他の音楽伝統は761.6に、日本の音楽は769に分類する。

761.7 宗教音楽全般。

761.8 ロンド、主題と変奏、およびオスティナートなどの一般的な音楽形式。これらは目録対象が声や楽器を特定しない場合にのみ用いる。

声を特定している音楽形式 →762.1-4

楽器を特定しているもの →764.18

・761に見いだされるカテゴリーの楽曲は、演奏手段（声楽曲または器楽曲）762-768に分類する。

例：オルガン用の宗教音楽 → オルガン音楽

・761.382-388 原曲の声、楽器、アンサンブルによる〔区分〕

これらの細目は他の番号と合成するためにのみ用い、単独では使用しない。

これらの細目は原曲の声、楽器、アンサンブルを示すために声、楽器、アンサンブルの番号に付加する。

（例）ヴァイオリン音楽のピアノ用編曲 766.213872、

ピアノ曲 768.2

ヴァイオリン曲の編曲 13872

声、楽器、アンサンブルのための編曲全般は762-768に分類する。

(例) 不特定楽器へのヴァイオリン音楽の編曲 } どちらも
不特定楽器のための音楽のヴァイオリン用編曲 } 767.2138

• 761.47 伴奏(通奏低音を含む)

文献に147(761.47より)を付加した場合は、作品に対する伴奏(通奏低音を含む)法を示す。

(例) 767.2147 { 文献の場合 →ヴァイオリン曲の伴奏法を意味し、
楽譜の場合 →通奏低音付きヴァイオリン曲を意味する。
(767.2はヴァイオリン曲を意味する)

⑧ 音楽細目について 768

• 標準細目(T1)のいくつかが、音楽では拡大解釈されている(音楽細目=mT1)。

(例) 「-026 楽譜、録音(映像)資料、テキストのに関する文献」の場合
番号 意味

767.2 ヴァイオリン音楽に関する文献、および

767.2 ヴァイオリンの楽譜、および

767.2 ヴァイオリン音楽の録音資料

767.2 026 ヴァイオリンの楽譜に関する文献

767.2 026 6 ヴァイオリン音楽の録音資料に関する文献

• ある場所に関する音楽と、ある場所の中での音楽は区別しない

(例) パリ人の歌劇/パリにおける歌劇 → 762.1 0 94436

ウィーン音楽/ウィーンで演奏される音楽 → 76 0.943613

• 768.079 vs. 770 他の舞台芸術と関係する音楽に焦点をあてた著作に用いる。総体としての舞台芸術 → 770

• 768.268 歌唱または音楽と共に吟唱する言葉および他の音声

この細目は他の番号と合成するためにのみ用い、単独では使用しない。ほとんどの場合762-763で用いる。

(例) 歌曲の歌詞 762.420268

ただし、声が器楽作品の1要素であるときには764-768で用いる。

(例) 合唱交響曲の歌詞 764.221840268.

• 768.269 筋書、要約

この細目は他の番号と合成するためにのみ用い、単独では使用しない。ほとんどの場合762-763で用いる。

(例) 歌劇の筋書 762.10269

ただし、声が器楽作品の1要素であるときには764-768で用いる。

(例) 合唱交響曲の要約 764.221840269.

• 768.89 vs. 761.62 特定人種、民族、国民に関する音楽 vs. 民俗音楽

人種、民族、国民と音楽全般との関係を論じた著作は768.89に分類する。

(例) アフロ=アメリカンの作曲家、オペラ歌手、ジャズ指揮者に関する著作 768.8996073

その人種等に固有の音楽を論じた著作は761.62に分類する

(例) アフロ=アメリカンの音楽 761.6296073

疑わしい場合は761.62に分類する。

⑨ 作曲家の扱い

• 作曲者は分類番号に反映されない(利用館が作成するローカルデータでは、カッター番号または当該館独自の他の方式によって作曲者を示すことになる)。

• AUMC760.92(T1-092)の用法について

○伝記

○作曲者の全般的評論

○音楽のある局面の発展に関係した作曲家(協奏曲形式の発展に果たしたハイドンの役割など)

○ある作曲者の作品群に関する評論(ラヴェルのピアノ曲への評論など)

×個々の作品の評論→当該作品と同じ番号

×個々の作品分析の合集

⑩ 声および声楽について 762-768

• この分類表では、第一に特性によって音楽を配列している。

すなわち声楽なら

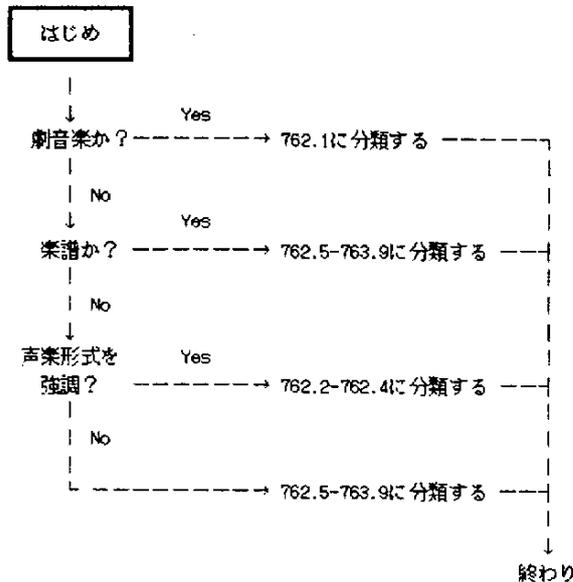
{ 劇音楽(762.1)

{ 非劇音楽(762.2-4)

{ 非劇音楽は宗教(762.2-3)

{ 世俗(762.4)

- ・声楽762-763においては、目録対象資料が楽譜か、文献か、または録音（映像）資料かによってその著作の分類が決まる（次のチャート参照）。



チャートの適用例

歌劇からのソプラノ・アリア [楽譜]	762.1
歌劇以外からのソプラノ・アリア [楽譜]	763.66
ソプラノによる宗教歌曲 [録音資料]	762.25
女声のソプラノ [文献]	763.66

- ・ヴォーカル・スコアを扱う場合には、声質と声の数が考慮される。

例: 762.5-.9 vs 763

762.5-.9	1パートに複数の声を持つ音楽（通常は合唱音楽を意味する）
763	1パートにひとつの声を持つ音楽（重唱および独唱）

- ・非劇音楽のスコアおよびパート 譜の分類手順

↓ 声楽アンサンブルの規模（独唱を含む）
↓ 声の種類（例）男声、高声、ソプラノ、児童
↓ 声楽形式

声楽アンサンブルの規模は、分類表の器楽部分の最初の区分に類似している。合唱音楽は管弦楽（いくつかのパートにおいてパートに2以上の声/楽器）に、単声の組み合わせは室内楽（パートにひとつの声/楽器）に、独唱音楽は独奏音楽に類似している。

声の種類は分類表の楽器部分に類似し、声質（性）と声域の区分は楽器の種類と形態による区分に類似している。

- ・声は最初に性と年齢（女、児童、男）で区別し、次に声域で区別する。

（例） 男声合唱のための世俗歌曲	762.842
男声合唱	762.8
世俗歌曲	42（762.42より）

単声の組み合わせのためのキャロル	763.11928
単声の組み合わせ	763.1
ファセット指示子	19
キャロル	26（762.28より）

⑨ 楽器およびその音楽 764-768

- ・楽器とその音楽は764-768に割り当てられており、実質上はオーケストラ編成（パートに2以上の楽器）から室内楽（パートにひとつの楽器のみ）に、そして単一の楽器にというように大から小へという構成となっている。
- ・この分類表では楽器は、音響学見地から分類したE.M.フォン・ホルンボステルとC.ザックス（Systematik der Musik-

instrumente: ein Versuch. 初版はZeitschrift für Ethnologie 4-5, 1914; Galpin Society Journal 17: 45-63, 1964にA. BainesとK.P. Wachsmannの翻訳がある)を基礎としているので、あらゆる文化圏に適用できる。(非西洋の多くの楽器は相関索引にある(例) ギタ、ひちりき、サンティル、スルナイ、トゥルムなど。)

- この分類表はザックス=ホルンポステルの4重分類を従来の西洋式分類にもなじむように、打楽器(体鳴楽器および膜鳴楽器)、弦楽器(弦鳴楽器)、管楽器(気鳴楽器)のように類語を用いている。この分類表では西洋の技術を用いた楽器、鍵盤楽器や機械楽器の製作に必要な機能分類を行なうことができる。しかしながら、最初の分類は音が作られることで、それに5番目の音響学的区分として楽器分類に電子楽器を追加した。分類表の順序は次のようになっている。

機能による区分

楽器の組合せ(オーケストラおよび室内楽)

鍵盤楽器

機械および風力による楽器

音響学的区分

電子楽器(電気的音声制作機器)

体鳴楽器(振動する発音物質) [打楽器]

膜鳴楽器(太鼓) [打楽器]

弦鳴楽器(弦楽器)

気鳴楽器(管楽器)

- 器楽における2つの主な特徴は、パートごとの楽器数(規模)と、楽器編成である。この2つの特徴は多くの場合、番号を合成しなくてもよい形で分類表に列挙されている。ただし、特定の楽器グループは分類表の他の部分と区別するために合成が必要となる。

(例) 765.832 フルート・アンサンブル(768.32より)
765.862 クラリネット・アンサンブル(768.62より)

- 764.1の細目は特定の楽器のための特定の音楽形式、特定の楽器による演奏、および楽器自身のための番号なので頻繁に使用される。

(例) クラリネット演奏における呼吸技術 768.621932
クラリネット 768.62
ファセット指示子 1
呼吸技術 932(764.1932より)

オルガン・フーガ 766.51872
オルガン 766.5
ファセット指示子 1
フーガ 872(764.1872より)

- 092 楽器およびその音楽の関係者

ある楽器およびその音楽に関係する、またはその楽器のための音楽に関係する音楽家は、その楽器とその音楽に対する番号にT1から092を付加する。

(例) アイザック・スターン(ヴァイオリニスト) 767.2092.

その楽器にのみ関係する個人は楽器のみの番号にT1から092を付加する。

(例) アントニオ・ストラディヴァリ

(ヴァイオリン製作者) 767.219092

実例集

音楽に関する書籍

新しい音楽表現手段 : 記譜法入門 ~~760.148~~
記譜法 760.148

音楽の音響構造 ~~761.234~~
音色 761.234

カントリー音楽の新生活 ~~761.642~~
西洋ポピュラー音楽
カントリー 761.642

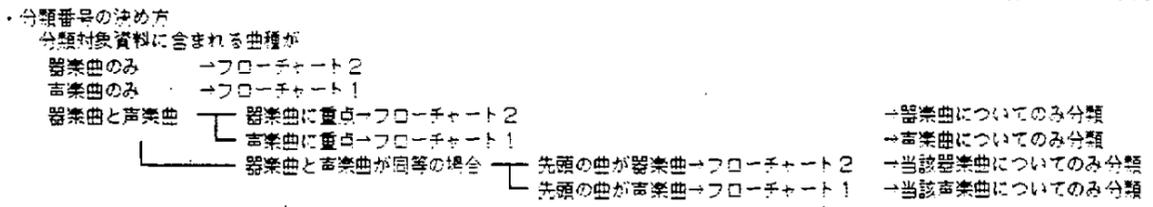
人間と芸術家としてのワーグナー ~~762.1~~
歌劇 762.1
一般伝記および評論 092(T1より)

合唱技術における声の訓練 ~~762.5~~
合唱音楽 762.5
ファセット指示子 1
演奏技術 43(761.43より)

バルトークの管弦楽曲【作品全般の 評論】	764.2082	科学的ピアノ調律とサービス ピアノ	766.21828	「きよこの夜」の物語り キナロル	762.281723	ブラームス、ハイドンの主題 による交奏曲	764.21825
オーケストラ	764.2	ピアノ	766.2	キナロル	762.28	オーケストラ	764.2
作曲家	092 (T1より)	ファセット指示子	1	ファセット指示子	1	ファセット指示子	1
		調律	928 (764.1928より)	クリスマス音楽	723 (761.723より)	交奏曲	925 (764.1825より)
バルトークの管弦楽曲【5つの小品 の評論】	764.2	弓奏の起源	767.19369029	楽譜		ゲルリオーフ、ロメオとジュリエット： 交響曲	764.22184
オーケストラ	764.2	管奏楽器	767	合唱のための管楽隊集：混声合唱 甲種曲およびオルガン：デーヴ ッド・ロメルロックス	762.527	音楽パートつきオーケストラ	764.22
		ファセット指示子	1	混声合唱曲	762.5	ファセット指示子	1
		弓の技術	9369 (764.19369より)	管楽隊	27 (762.27より)	交響曲形式	94 (764.184より)
		歴史	09 (T1より)	リース、プレス・オン・ミー、 プレス・オブ・ゴッド：無伴奏 女声合唱団アンセム	762.6265	シューラー、オーボエ、ホルン ヴァイオリンのための三重奏曲	765.42189
ブラス・バンドの総譜作成	764.9139	バプロ・カザルス：伝記	767.4092	合唱曲：女声 アンセム	762.6	木管、金管、弦楽の アンサンブル	765.42
ブラス・バンド	764.9	チェロ	767.4	アンセム	265 (762.265より)	ファセット指示子	19
ファセット指示子	1	演奏者	092 (760.92より)	シューベルトの連作歌曲	763.247	三重奏曲	9 (765.19より)
編曲	99 (761.99より)	ツンター音楽のデノソグラフィ	767.702660166	合唱	763.2	ショパン、マズルカ ピアノ	766.21894
		ツンター	767.7	連作歌曲	47 (762.47より)	ピアノ	766.2
ベートーヴェンの弦楽四重奏曲 【評論】	765.7194	録音資料	0266 (760.266より)			ファセット指示子	1
室内アンサンブル：弦楽器	765.7	音楽のデノソグラフィ	760.166			マズルカ形式	894 (764.1894より)
ファセット指示子	19						
四重奏曲	4 (765.14より)						
ベートーヴェンのピアノ曲における フーガ	766.21872	ロンドンのオルガン	766.51842				
ピアノ	766.2	オルガン	766.5				
ファセット指示子	1	ファセット指示子	19				
フーガ	872 (764.1872より)	ロンドン	421 (T2より)				

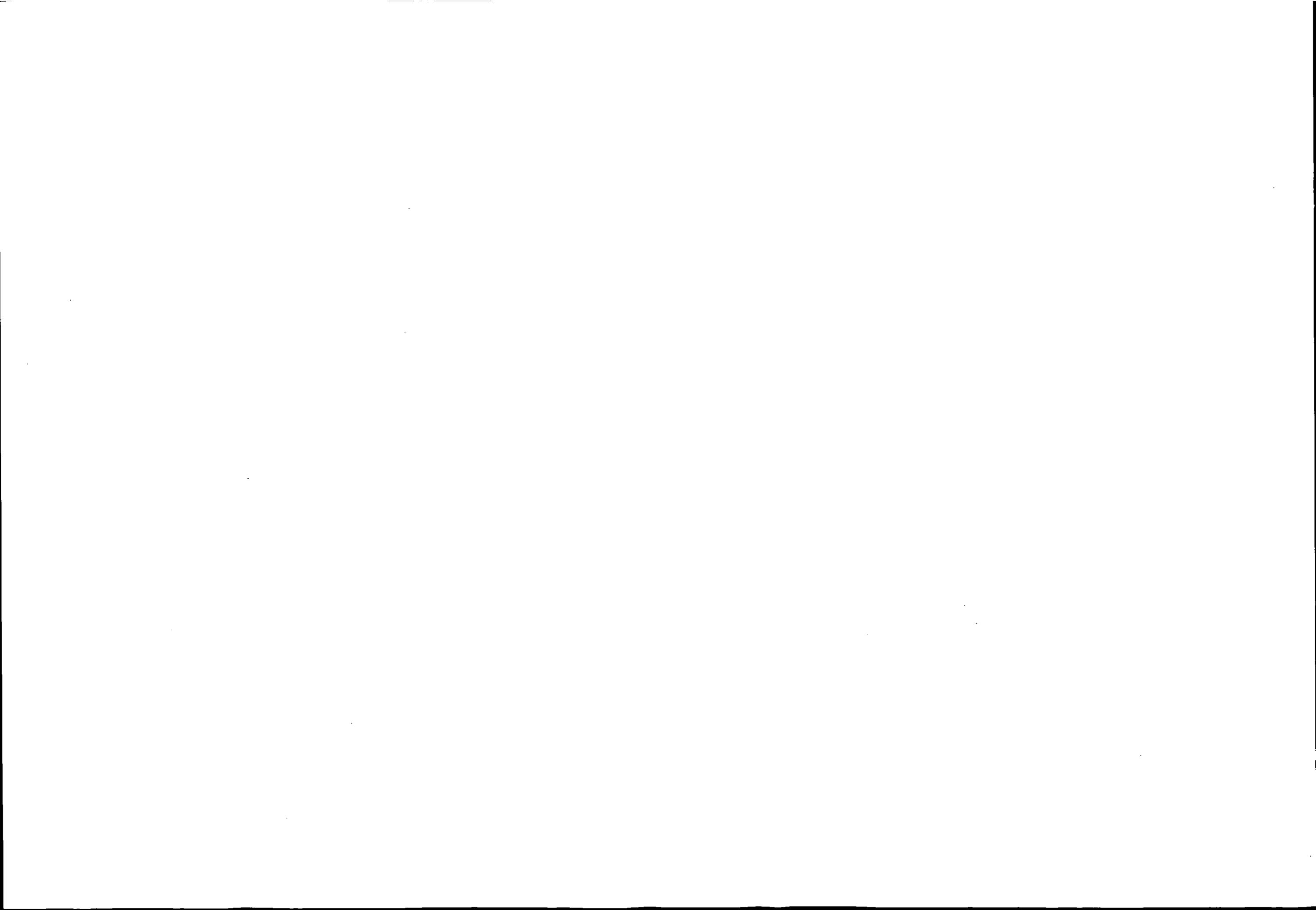
3 資料に対するAVMC番号付与=書籍レコード作成用フローチャート

付与する分類番号の数	総合番号①	重出②	分出番号③/④	分類番号の総数
! 資料に含まれる作品が1	必要	!	不要	!
! 資料に含まれる作品が2だが曲種は1	必要	!	不要	!
! 資料に含まれる作品が2で 曲種が2	必要	(1)	(必要 Max 2)	2または3
! 資料に含まれる作品が3以上だが曲種は1	必要	!	不要	!
! 資料に含まれる作品が3以上で 曲種が2またはそれ以上	必要	(1)	(必要 Max 2またはそれ以上)	2以上 6以内 Max 10

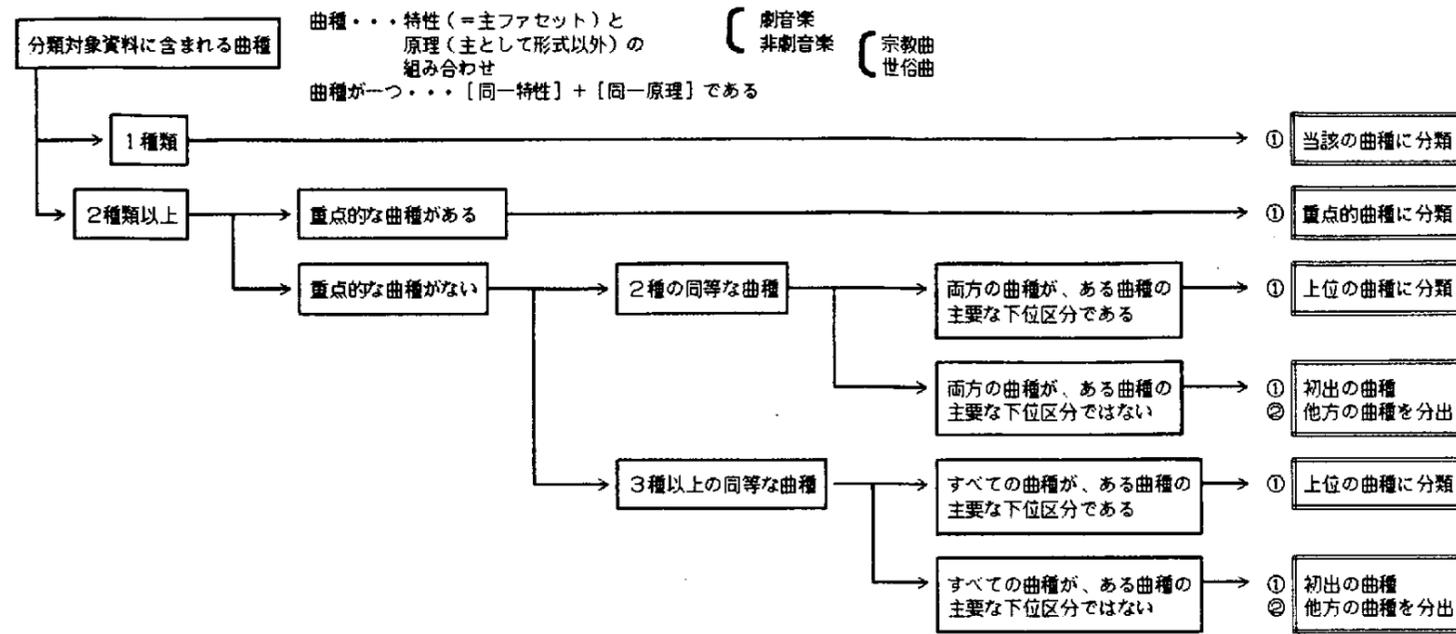


重点的な曲種/媒体etc., があるとは

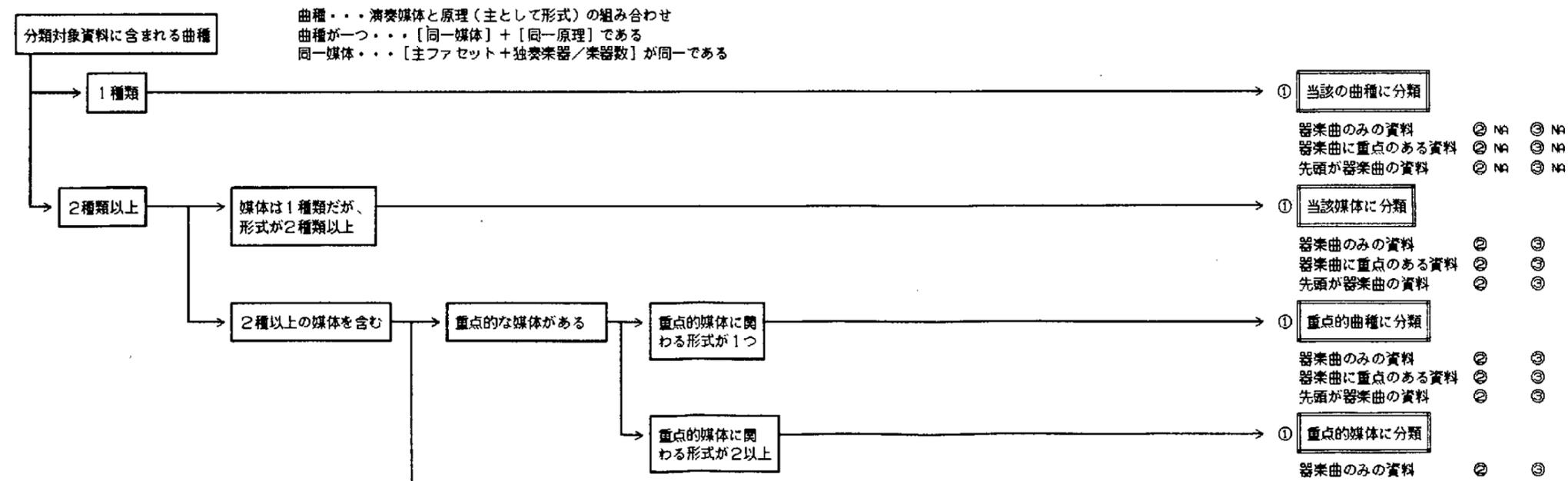
- ・当該曲種/媒体etc.の占める ①演奏時間が長い、あるいは ②曲数が多い場合をいう。(いずれも 全体の20%以上で他のいずれより50%以上多いとき)
- ・さらに、この曲種/媒体etc. が ③タイトルに採られているか ④先頭にある場合は、これも判断基準に加えられよう。

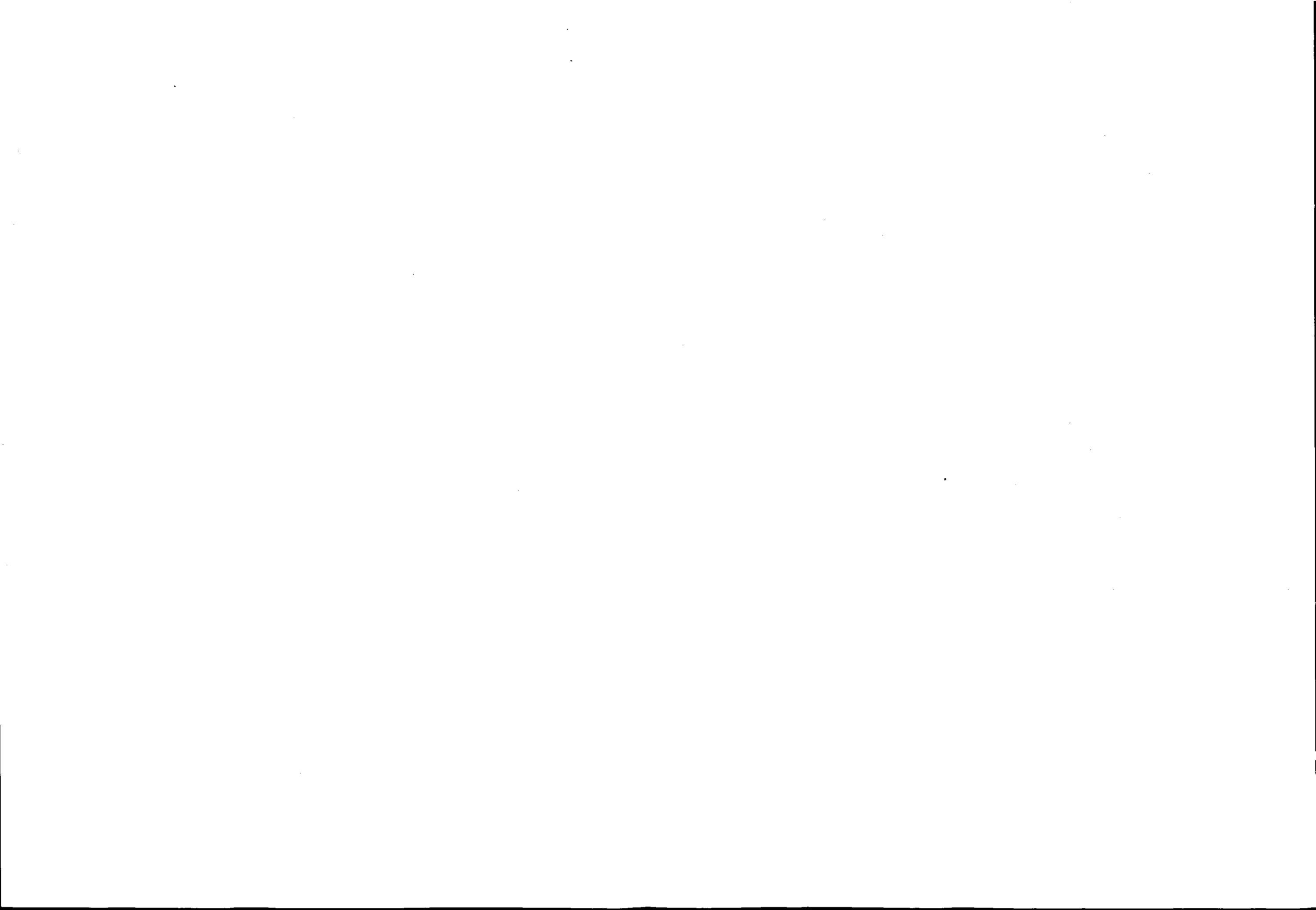


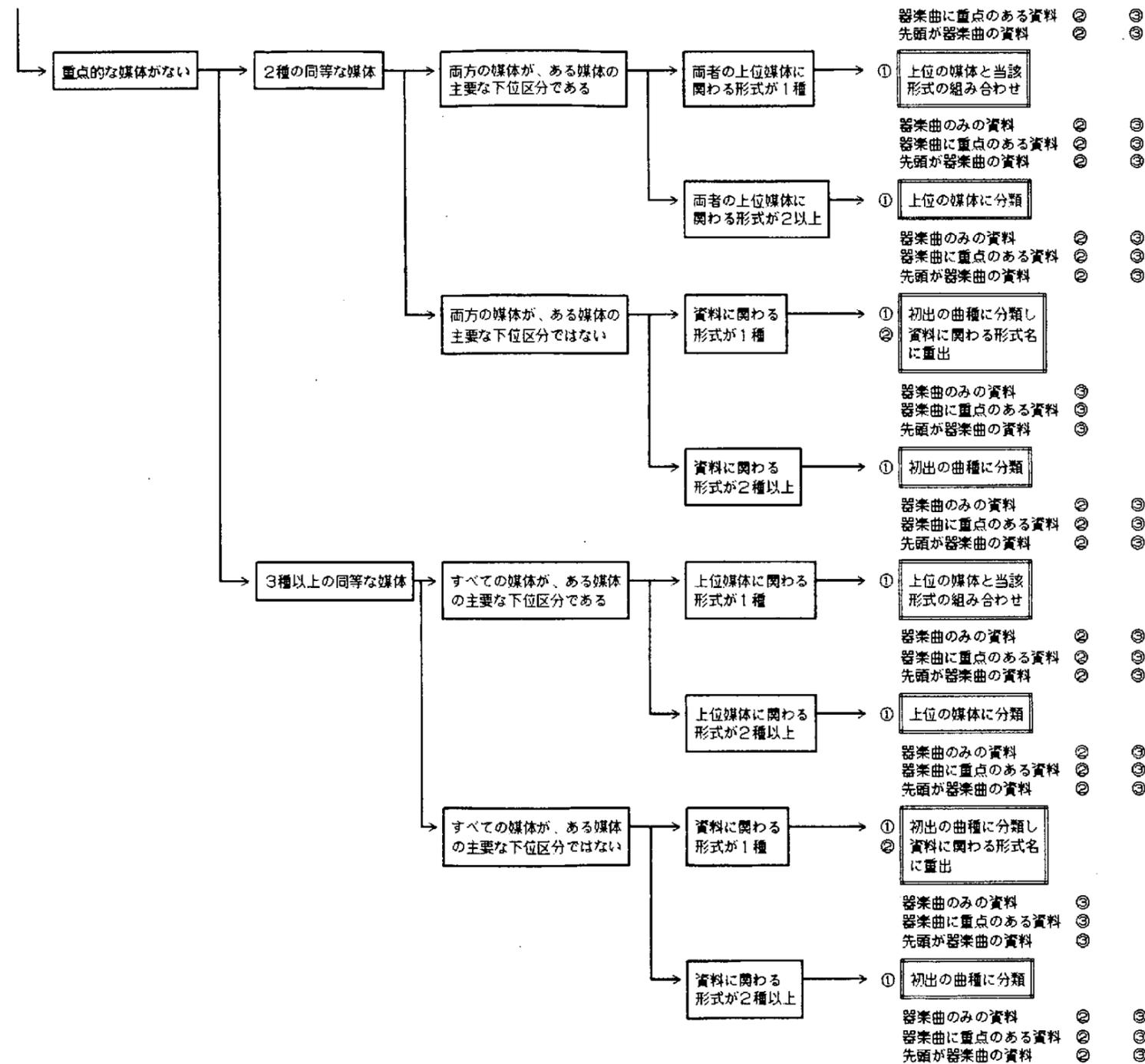
フローチャート1：声楽用

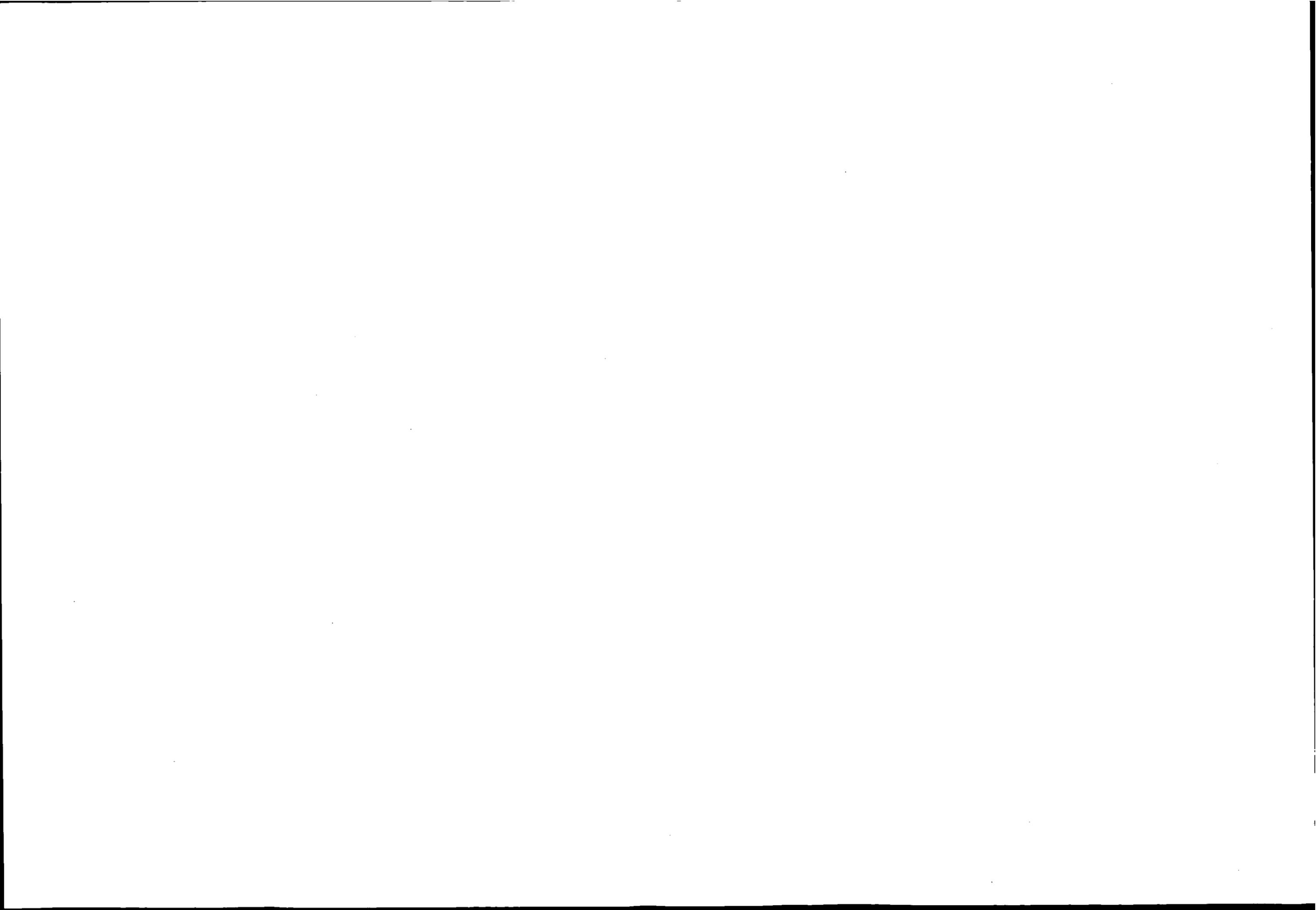


フローチャート2：器楽用









4 AVMC760分類表

この分類表は、AV/MARCのために DDC20版に基づいて作成されたものである。基本的には NDCとの整合性をはかるために、DDCの730番代を760番代に置き換えた。日本での使用に適するように、日本音楽の項が加えられ、それに伴う若干の手直しが行われている。(平成2年11月現在、日本音楽関係の詳細は検討中)

- 任意事項：楽譜を文献と区別するために、文字や記号を前に付す。 例) Gマイソ用楽譜 8762.7 または 8762.7
またミュージックを他のスコアから区別するために特定の文字等を前に付す。 例) M8767.2
録音資料にも同様の方法を用いる。 例) Gマイソを録音した資料 8767.2
または M8767.2

別法：スコア、歌詞、録音資料を文献から区別するために760.228-760.269を付加。 例) Gマイソ曲のミュージック 767.20265

Gマイソ社で制作する書誌データでは、スコア、歌詞、録音資料の区別はしていない。
番号の合成に際しては、760.272.0または1を(単独または組合わせて)3回以上はしないことを原則とする。

例) Gマイソのスコア 762.421661592 / X 762.42166159209

- 任意事項：必要なだけ付加する
Gマイソ社で制作する書誌データでは、760.272.0または1を3回以上用いることもありうる。

-AUMC7602174

① ファセット合成のパターン表

表1 a DDC760.901-.905 (AUMC760.901-.905) への注記による

ファセット・コード	細区分	例
(01) 予想・予測 (02) 統計・図版 (021) 統計 (022) 図版 (05) 定期刊行物 (07) 博物館・コレクション、展示、収集物		
(074) 博物館・コレクション、展示	+ (T2の449)	1) アメリカン・ミュージアム・オブ・ナチュラリ・ヒストリーにあるコレクション 074 749 = (074) + (749) 2) アメリカン・ミュージアム・オブ・ナチュラリ・ヒストリーの古代物品コレクション 0301 074 749 = (0301) + (074) + (749)
(075) 収集物		

表1 b DDCのT1-099-099 への注記による

ファセット・コード	細区分	例
(01) 予想・予測 (02) 統計・図版 (021) 統計 (022) 図版 (05) 定期刊行物 (07) 博物館・コレクション、展示、収集物		
(074) 博物館・コレクション、展示	+ (T2の449) ※	1) アメリカン・ミュージアム・オブ・ナチュラリ・ヒストリーにあるコレクション 074 749 = (074) + (749) 2) アメリカン・ミュージアム・オブ・ナチュラリ・ヒストリーのアメリカン・コレクション 0901 074 749 = (0901) + (074) + (749)
(075) 収集物		
(09) 歴史的・地理的扱い	+ (T1の099-099) (2回まで)	1) 20世紀 0904 2) 田舎の 091734 二重に用いる場合 一回目=出身・原産地 二回目=現在地 1) アメリカ人の 09438 = (09) + (438) 2) カナダ人の 09438 0971 = (09) + (438) + (0971)

※任意規定：(T2の449)の代わりに、(DDCの217-219//NDCの地理区分)を用いる

表2 DDC781.2-.8 (AUMC761.2-.9) の注記による

ファセット・コード	引用箇所	例
(01-09) 音楽細目	(760.11-.9)	演奏会 078 = (760.78)
(1) 一般原理	(761.11-.9)	1) ロック音楽 166 = (761.66) 2) ロック音楽の90-94 166 144 = (761.66) + (761.44)

表3 DDC781.621-.629 (AUMC761.621-.629) の注記による

ファセット・コード	引用箇所	例
(001-003) 音楽細目	(760.11-.9)	スウェーデン人の民俗音楽の演奏会 761.62 61 0078 = (761.62) + (61) + (00) + (760.78)
(009) 歴史的、地理的、個人の扱い		
(00901-00905) 時代区分		1775-1875時代のスウェーデンの民俗音楽 761.62 61 009031 = (761.62) + (61) + (0090) + (760.9031)
(01) 一般原理	(761.11-.9)	1) 春のためのスウェーデンの民俗音楽 761.62 61 01 5242 = (761.62) + (61) + (01) + (761.5242) 2) 春のためのスウェーデンの民俗音楽のリズム 761.62 61 01 5242 1224 = 761.62 61 01 5242 + (761.224)
(02) 他の音楽伝統からの様式上の影響	(761.62-.69)	1) シンセサイザーに影響されたスウェーデンの民俗音楽 761.62 61 025 = (761.62) + (61) + (02) + (761.65) 2) シンセサイザーに影響されたスウェーデンの民俗音楽の演奏会 761.62 61 025 078 = 761.62 61 025 + (760.78)
(03-09) 個々の大陸、国、場所	(72の329)	ニューヨーク市のスウェーデンの人民俗音楽 761.62 61 0 7471 = (761.62) + (61) + (0) + (7471)

表4 DDC781.63-.69 (AUMC761.63-.69) の注記による

ファセット・コード	引用箇所	例
(01-09) 音楽細目	(760.11-.9)	演奏 078 (760.78)
(1) 一般原理および他の音楽伝統からの様式上の影響		
(11-15) 一般原理	(761.11-.9)	1) 春の音楽 15 242 = (15) + (761.242) 2) 春の音楽の旋律 15 242 124 = 15 242 + (761.24)
(16) 他の音楽伝統による様式上の影響	(761.62-.69)	1) 民俗音楽の影響 16 2 = (16) + (761.62) 2) 民俗音楽に影響された音楽の演奏会 16 2 078 = 16 2 + (760.78)

表5 a DDC781.711-.718 (AUMC761.711-.718) の注記による

ファセット・コード	引用箇所	例
{001-009} 音楽細目	{760.13-.9}	ルuter派の宗教音楽の演奏会 761.71 61 00 78 = (761.71) + {261} + {00} + (760.78)
{01-06} 一般原理	{761.13-.6}	1) ルuter派の宗教音楽の和声リズム 761.71 61 0 256 = (761.71) + {261} + {0} + (761.256) 2) ルuter派の宗教音楽の和声リズムの鑑賞 761.71 61 0256 117 = 761.71 61 0256 + (760.117)

表5 b DDC781.74-.79 (AUMC761.74-.79) の注記による

ファセット・コード	引用箇所	例
{001-009} 音楽細目	{760.13-.9}	19th教音楽の演奏会 761.76 00 78 = (761.76) + {00} + (760.78)
{01-06} 一般原理	{761.13-.6}	1) 19th教音楽の和声リズム 761.76 0 256 = (761.76) + {0} + (761.256) 2) 19th教音楽の和声リズムの鑑賞 761.76 0 256 117 = 761.76 0 256 + (760.117)

表6 a DDC782.1-.4 (AUMC762.1-.4) の注記による

ファセット・コード	引用箇所	例
{01-09} 音楽細目	{760.13-.9}	演奏会 078 = (760.78)
{1} 一般原理と音楽形式		
{11-17} 一般原理	{761.13-.6}	1) ロック音楽 1 66 = {1} + (761.66) 2) ロック音楽のリズム 1 66 144 = 1 66 + (761.144)
{18} 音楽形式	{764.182-.189}	1) シカモ形式 18 22 = {18} + (764.1822) 2) シカモ形式による作曲 18 22 13 = 18 22 + (761.13)

表6 b DDC782.5-.9 (AUMC762.5-.9) / DDC783.12-.19 (AUMC763.12-.19) / DDC783.3-.9 (AUMC763.3-.9) の注記による

ファセット・コード	引用箇所	例
{01-09} 音楽細目	{760.13-.9}	演奏会 078 = (760.78)
{1} 一般原理と音楽形式		
{11-17} 一般原理	{761.13-.6}	1) ロック音楽 1 66 = {1} + (761.66) 2) ロック音楽のリズム 1 66 144 = 1 66 + (761.144)
{18} 音楽形式	{764.182-.189}	1) シカモ形式 18 22 = {18} + (764.1822) 2) シカモ形式による作曲 18 22 13 = 18 22 + (761.13)
{2-4} 非劇的声楽形式	{762.2-.4}	世俗カター 48 = (762.48)

表7a DDC762.322 (AUMC762.322) の注記による

ファセット・コネクタ	引用箇所	例
{001-009} 音楽細目	{760.32-.9}	メソジスト派の礼拝用音楽の演奏会 762.322 7 00 78 = {762.322} + {7} + {00} + {760.78}
{01-07} 一般原理	{761.32-.7}	1)メソジスト派の復活日(日曜日)用の音楽 762.322 7 0 727 = {762.322} + {7} + {0} + {761.727} 2)メソジスト派の復活日(日曜日)用の音楽の作曲 762.322 7 0 727 13 = 762.322 7 0 727 + {761.13}
{08} 音楽形式	{764.182-.189}	1)メソジスト派の礼拝用前奏曲 762.322 7 08 928 = {762.322} + {7} + {08} + {764.18928} 2)メソジスト派の礼拝用前奏曲の作曲 762.322 7 08 928 13 = 762.322 7 08 928 + {761.13}

表7b DDC762.34-.39 (AUMC762.34-.39) の注記による

ファセット・コネクタ	引用箇所	例
{001-009} 音楽細目	{760.34-.9}	19 th 世紀の礼拝用音楽の演奏会 762.3 6 00 78 = {762.3} + {6} + {00} + {760.78}
{01-07} 一般原理	{761.34-.7}	1)19 th 世紀の春の礼拝用音楽 762.3 6 0 5242 = {762.3} + {6} + {0} + {761.5242} 2)19 th 世紀の春の礼拝用音楽の作曲 762.3 6 0 5242 13 = 762.3 6 0 5242 + {761.13}
{08} 音楽形式	{764.182-.189}	1)19 th 世紀の礼拝用前奏曲 762.3 6 08 928 = {762.3} + {6} + {08} + {764.18928} 2)19 th 世紀の礼拝用前奏曲の作曲 762.3 6 08 928 13 = 762.3 6 08 928 + {761.13}

表8a DDC764-788 (AUMC764-768) の注記による

ファセット・コネクタ	引用箇所	例
{01-09} 音楽細目	{760.764-.9}	演奏会 078 = {760.78}
{1} 一般原理、音楽形式、楽器		
{11-17} 一般原理	{761.143-.7}	演奏技術 143 = {761.143} 楽器演奏の技術 →193
{18-19} 音楽形式および楽器	{764.18-.19}	1)ソナ形式 193 = {18} + {764.183} 2)楽器演奏の技術 193 = {18} + {764.183}

表8b DDC765.2-.9 (AUMC765.2-.9) の注記による

ファセット・コマダ	引用箇所	例
{01-09} 音楽細目	{760.1 1-10 }	演奏会 078 = {760.78}
{1} 一般原理、音楽形式、楽器		
{11-17} 一般原理	{1} + {761.1 1-10 }	1) 宗教音楽 17 = {761.17} 2) 宗教音楽のワルツ 17 145 = 17 + {761.145}
{18} 音楽形式	{18} + {764.18 1-19 }	ワルツ形式 18 846 = {18} + {764.18846}
{19} 楽器数	{19} + {765.19 1-19 }	八重奏 19 8 = {19} + {765.19}

② チャート式AVMC本表(次頁以下)

AVMC本表の分類番号は、AVMCの基本番号と合成番号番号から成る。AVMC基本番号の大半はDDC番号からとられている(統一語に◎または○が付されているもの)が、AVMC独自のものも含まれる(統一語に●が付されているもの)。AVMC基本番号の総数は948であり、典拠レコードにC70フィールドを持たない。AVMC合成番号は、DDC(およびAVMC)の定める方法によって、AVMCのために作成されたもので(統一語に★が付されているもの)、順次増加していくものであり、C70フィールドを持つ。

「分類番号」欄以外に引用される分類番号のうち、760-769は、特に指示のない限りAVMC番号であるが、その他の番号は、その都度、DDC、NDCの別が示される。なお、AVMC番号が存在するのは760-769のみであり、AV/MARCにおいては、その他の番号は原則としてNDCを使用する。

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (760.00) + (NDCの他の部分から桁数字000-999)</p> <p>[例] 1) 音楽と文学 (760.00) + (800)</p> <p>2) 音楽とウェイズ文学 (760.00) + (881)</p> <p>3) 音楽と舞台芸術 (760.00) + (790)</p>	<p>760</p> <p>> 760.000 1-.099 9 .0 79 .0 8 .0 891</p>	<p>①音楽</p> <p>①音楽と関連する他の主題</p> <p>①舞台芸術(音楽と---)</p> <p>①文学(音楽と---)</p> <p>①ウェイズ文学(音楽と---)</p>
	<p>> 760.1-.9 .1</p>	<p>①音楽編目</p> <p>①方法論と諸規則(音楽の---)</p> <p>規則(音楽)</p>
<p>[構成法] (011) + (DDCの000.1-.8)</p> <p>[例] 1) エド・ユタ・モリグとシミュレーション 011 3 (011) + (003.8)</p> <p>2) 予測・予想 011 2 (011) + (003.2)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">DDC番号の使用については保留</p>	<p>011</p> <p>0112</p> <p>0113</p>	<p>①体系(音楽)</p> <p>マレション・リグチ(音楽)</p> <p>シミュレーション(音楽)</p> <p>モリグ(シミュレーション)(音楽)</p> <p>①予測・予想</p> <p>予想(音楽)</p> <p>①エド・ユタ・モリグとシミュレーション</p> <p>コンピュータ・シミュレーション(音楽)</p>
	<p>012</p> <p>013</p> <p>.14</p> <p>014</p> <p>.148</p> <p>.149</p> <p>.15</p> <p>.16</p> <p>.162</p> <p>.164</p>	<p>①分類(音楽)</p> <p>①評価(音楽)</p> <p>①音楽言語および伝達手段</p> <p>伝達手段(音楽)</p> <p>用語法(音楽)</p> <p>①語源学(音楽)</p> <p>①記譜法、略譜法、符号(音楽)</p> <p>五線譜記譜法</p> <p>コア・ジョア</p> <p>トニック・ソルファ</p> <p>ネマ</p> <p>符号(音楽)</p> <p>略譜法(音楽)</p> <p>①編集法(音楽)</p> <p>楽譜の校訂</p> <p>①分析的解説および曲目解説</p> <p>曲目解説</p> <p>①書誌、目録、索引(音楽)</p> <p>索引(音楽)</p> <p>スコアとパート譜の書誌</p> <p>スコアとパート譜の目録</p> <p>目録(音楽)</p> <p>①書誌および目録(音楽書、論文等の---)</p> <p>目録(音楽書、論文等の---)</p> <p>音楽書、論文等の書誌および目録</p> <p>①書誌および目録(楽譜の---)</p> <p><syn>楽譜の書誌および目録</p> <p><syn>スコアとパート譜の書誌および目録</p> <p>楽譜の書誌および目録</p> <p>手書き楽譜の書誌および目録</p> <p>目録(楽譜の---)</p> <p>目録(手書き楽譜の---)</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>		<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない</p>
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p style="text-align: center;">A V M C 基本標目語</p>		<p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位</p> <p><v> 参照語: 別名注記の論題</p>

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Music</p> <p>Relation of music to other subjects Performing arts, Music and the Literature, Music and Welsh literature, Music and</p>	<p>音楽に焦点をあわせた著作 760.0 7902ではない 60.0 89166ではない →AUMC2174760.079 vs 770</p>
<p>Standard subdivision, Modified (Music) Philosophy and theory (Music) <u> Theory (Music)</p>	<p>Q1 方法論 一般原理、音楽理論→761</p>
<p>System (Music) <c> Operations research (Music) <c> Simulation (Music) <c> Model (Simulation) (Music) Forecasting and forecast (Music) <u> Forecast (Music)</p> <p>Computer modeling and simulation (Music) <u> Computer simulation (Music)</p>	<p>Q1 ハレ・ジョン・ワグネルとモデル (モデル・ジョン) 学習・教授の場合→078</p> <p>特定時期・地域におけるある主題の予測・予想 →該当主題へ 例) 音楽についての予測・予想</p> <p>{760.112} + $\left\{ \begin{array}{l} (0901-0905) \text{ 時期} \\ (093-099) \text{ 地域} \end{array} \right.$</p>
<p>Classification (Music) Value (Music) Language and communication (Music) <u> Communication (Music) <h> Terminology (Music) Etymology (Music) Notation, abbreviation, symbol, Musical <s> Staff notation <s> Tablature <s> Tonic sol-fa <s> Neumes <u> Symbol (Music) <u> Abbreviation, Musical Editing (Music) <i> Editing music Analytical guide and program note (Music) <u> Program note Bibliography, catalog, index (Music) <u> Index (Music) Scores and parts, Bibliography of (Music) Scores and parts, Catalog of (Music) <u> Catalog (Music) Bibliography and catalog of music literature <u> Catalog of music literature <u> Music literature, Bibliography and catalog of Bibliography and catalog of scores and parts (Music) <u-inv> Score and parts, Bibliography and catalog of <u-inv> Score and parts, Bibliography and catalog of <u-inv> Score and parts, Bibliography and catalog of [of <s-drc> Manuscript score and parts, Bibliography and catalog <u-inv> Catalog of score and parts <s> Catalog of manuscript score and parts</p>	<p>X例) 五線譜 (線譜表をもつ記譜法一般を含む)、マフ、 スタフ・マフ、トニック・マフ X1 盲人用楽譜を含む 別の楽譜形式への書き替え→760.149</p> <p>科学的原理→761.2 任意規定 DDC016.78 NDC027.9に分類する</p> <p>X例) 手書きスコアと楽譜の書誌および目録</p>

音楽細目使用可のもの Q1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/Q2「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む (Including...) 注記」/X2「包含 (Contains...) 注記」/X3「例 (Examples:) 注記」

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-eng 単数形の語	
	-olu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）										
	760.166 .2 .202 207 208 21 212 .216 218 22 221 222 223 224	①ディスクグラフィ（音楽） 書誌（音楽の録音資料の---） ディスクグラフィ 目録（音楽の録音資料の---） 録音資料の目録（音楽の---） 録音資料の書誌（音楽の---） ②推項目（音楽） ③梗概および大要（音楽） 大要（音楽） ④1-モスな扱い（音楽） ⑤視覚的取扱い（音楽） ⑥図表化した資料（音楽） 一般の統計（音楽） 統計学的統計（音楽） ⑦表、公式、明細（音楽） 公式（音楽） 明細（音楽） ⑧リスト、目録明細（音楽の---） 主題目録（音楽） テーマ索引（音楽） 目録明細（音楽の---） ⑨基準（音楽） ⑩図版、模型、ミニチュア（音楽） ミニチュア（音楽） 模型（音楽） ⑪下書き図（音楽） 図（下書きの---）（音楽） ⑫絵画、絵画的図版（音楽） 絵画的図版（音楽） スナップ（音楽） デザイン（音楽） 絵画（音楽） 図版（音楽） ⑬地図及び関連形態、配置図（音楽） 図解（音楽） 配置図（音楽） ⑭模型、ミニチュア（音楽） ミニチュア（音楽）										
[構成法] (760.23) + (T2の1. 202) [例] イタリアの音楽家 760.23 41 = (760.23) + (41)	223	①職業、趣味としての主題（音楽） 趣味（音楽） 職業（音楽）										
[構成法] (024) + (T7の03-03) [例] エンジン用 024 62 = (024) + (62)	224	②特定タイプの利用者用のもの（音楽）										
[構成法] (025) + (T2の1. 202) [例] 和歌州の詩名簿 025 771 = (025) + (771)	225	③名簿（個人と団体の---）（音楽） <h>個人名簿（音楽） 会員名簿（職業と教育等に関する情報などを 含む---）（音楽） 公職にあるものの名簿（音楽） 名簿（音楽分野の---）										
	.26	④楽譜、録音資料、テキストに関する著述 スコアに関する著述（音楽） テキストに関する著述（音楽） 録音資料に関する著述（音楽）										
() = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない												
<table border="0"> <tr> <td>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語</td> <td rowspan="3">}</td> <td><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</td> </tr> <tr> <td>○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語</td> <td><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</td> </tr> <tr> <td>● 統一語：AUMC独自の基本標目語</td> <td><u> 参照語：ユニットになっている標目語の単一位</td> </tr> <tr> <td>★ 統一語：AUMCの合成標目語</td> <td></td> <td><v> 参照語：別名注記の論題</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">A V M C 基本標目語</p>			◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	}	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)	○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語	<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題	● 統一語：AUMC独自の基本標目語	<u> 参照語：ユニットになっている標目語の単一位	★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題
◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	}	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)										
○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語		<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題										
● 統一語：AUMC独自の基本標目語		<u> 参照語：ユニットになっている標目語の単一位										
★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題										

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Discography (Music)</p> <p><d> Bibliography of music recorded on phonorecords</p> <p><s> Biodiscography</p> <p><d> Catalog of music recorded on phonorecords</p> <p><d-inv> Phonorecord, Catalog of music recorded on</p> <p><d-inv> Phonorecord, Bibliography of music recorded on</p> <p>Miscellany (Music)</p> <p>Synopsis and outline (Music)</p> <p><u> Outline (Music)</p> <p>Humorous treatment (Music)</p> <p>Audiovisual treatment (Music)</p> <p>Tabulated and related material (Music)</p> <p><s> General statistics (Music)</p> <p><s> Statistical graph (Music)</p> <p>Table, formula, specification (Music)</p> <p><u> Formula (Music)</p> <p>Specification (Music)</p> <p>List, inventory, catalog of music</p> <p><c-syn>Thematic catalog (Music)</p> <p><c-syn>Thematic catalog (Music)</p> <p><u> Inventory of music</p> <p><u> Catalog of music</p> <p>Standard (Music)</p> <p>Illustration, model, miniature (Music)</p> <p><u> Miniature (Music)</p> <p><u> Model (Music)</p> <p>Drafting illustration (Music)</p> <p><inv> Illustration, Drafting</p> <p>Picture and related illustration (Music)</p> <p>Pictorial chart (Music)</p> <p>Sketch (Music)</p> <p>Pictorial design (Music)</p> <p>Drawing (Music)</p> <p><h> Illustration (Music)</p> <p>Map and related form, plan, diagram (Music)</p> <p><u> Diagram (Music)</p> <p><u> Plan (Music)</p> <p>Model and miniature (Music)</p> <p><u> Miniature (Music)</p>	<p>音楽の録音 (シングル、ディスク、ワイヤ、テープ、フィルム) の書誌・目録</p> <p>※1 例) ハワイディスクグラフィ</p> <p>物語りの梗概および筋書き→762.00269</p> <p>まじめな意図のない場合のみ</p> <p>※1 一般の統計および統計学的統計 統計および分野のまたがる統計集→DDC310 NDC350</p> <p>01 テマ索引 個々の作曲家のテーマ索引→760.92</p> <p>01 特定の時代・場所における基準 漫画、戯画→760.207 統計グラフ→760.21</p> <p>01 特定の時代・場所における下書き図</p> <p>01 絵画、絵画的図版、デザイン、スケッチなど →DDC2174T1-0222 vs T1-0223</p> <p>→DDC2174T1-0222 vs T1-0223 T1-0223 vs 912 200</p> <p>音楽におけるジュエリー・オブジェ→760.11</p>
<p>Profession, occupation, hobby, The subject a</p> <p><u> Hobby (Music)</p> <p><u> Occupation (Music)</p>	<p>01 職業教育が主など 特定の人々の職業、趣味としての音楽</p>
<p>Types of users, Works for specific (Music)</p>	<p>→DDC2174T1-015 vs T1-024: T7より T1-024 -24054 児童用 T1-024 vs T1-08 -24055 青少年用</p>
<p>Directory of persons and organizations (Music)</p> <p>Directory (Music)</p> <p>Membership list containing directory information (Music)</p> <p>Public officials, Directory of (Music)</p> <p>Directory of employees of specific occupational categories (Music)</p>	<p>01 公職にある者、特定の職業の者の名簿、就職に関する情報などを含む会員名簿</p>
<p>Music scores, recordings, texts, Treatise on</p> <p><i> Score, Treatise on (Music)</p> <p><u> Texts, Treatise on (Music)</p> <p><u> Music recordings, Treatise on</p>	<p>760-769の他の番号に付加して、スコア、録音資料、テキストおよびそれらに関する著述を示すことが出来る</p> <p>任意規定1 楽譜と録音資料の区別で使用 →AUMC760序文 / →AUMC2174760音楽細目</p> <p>任意規定2 ここに音楽関係の法律を収める</p>
<p>音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / 02「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ※1「含む (Including...)」注記 / ※2「包含 (Contains...)」注記 / ※3「例 (Examples:)」注記</p>	
<p><g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p> <p><c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題</p> <p><s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題</p> <p><i> 参照語: DDC20の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題</p> <p>-tia 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)</p> <p>-tii 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)</p> <p>-sng 単数形の語</p> <p>-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)</p> <p>-syn 同意語</p> <p>-inv 倒置語</p> <p>-drc 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)			
	> 760.262-.265 .262 .263 .264 .265 .266 .267 .268 .269 27	①楽譜 ①手書き楽譜 <syn>手稿譜 自筆スコア スコア帳 ①印刷楽譜 ①演奏用楽譜 <inv>楽譜(演奏用ー) 指揮者用スコア スコア(指揮者用ー) スコア(フルー) スコア(ピアノ・ウオーグラー) スコア(演奏用ー) ノート譜(演奏用ー) ピアノ・ウオーグラー・スコア フルスコア ①練習用総譜 <dro>総譜(練習用ー) スコア(★ケットー) スコア(ミュージアー) ★ケット・スコア ミュリア・スコア ①録音資料(音楽のー) <inv>音楽録音資料 ①ガイオ資料(音楽のー) ①言葉・他の音声(歌唱・音楽と吟唱するー) 歌詞に関する著述(音楽) 詩に関する著述(音楽) 台本に関する著述(音楽) リフレットに関する著述 ①筋書、要約(音楽) 筋書に関する著述(音楽) 要約に関する著述(音楽) ①特許、標章(音楽)			
【構成法】(0272) + (T2の1、3-9) 【例】日本における特許 0272 52 = (0272) + (52)	272	①特許			
	> 760.275-278 275 277 278	①IDマーク(音楽) サービス・マーク(音楽) ①商標、サービス・マーク(音楽) ①所有者マーク(音楽) ①芸術家、職人のマーク(音楽) 職人のマーク(音楽)			
() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない					
<table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 </td> <td style="vertical-align: middle; padding-left: 10px;"> } AVMC基本標目語 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 	} AVMC基本標目語	<ul style="list-style-type: none"> <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 	} AVMC基本標目語	<ul style="list-style-type: none"> <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題 			

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Score</p> <p>Manuscript (Music)</p> <p>Manuscript (Music)</p> <p><s> Autograph score</p> <p><s> Sketch book</p> <p>Printed music</p> <p>Performance score and parts</p> <p>Score and parts, Performance</p> <p><sdnc> Conducting score</p> <p><s> Score, Conducting</p> <p><s> Score, Full</p> <p><s> Score, Piano-vocal</p> <p><u> Score, Performance</p> <p><u> Parts, Performance</p> <p><sdnc> Piano-vocal score</p> <p><dnc> Full score</p> <p>Study score</p> <p>Score, Study</p> <p><h> Score, Pocket</p> <p><h> Score, Miniature</p> <p><hdnc> Pocket score</p> <p><hdnc> Miniature score</p> <p>Sound recording of music</p> <p><i> Recording of music, Sound</p> <p>1 Video recording of music</p> <p>2 <inv> Recording of music, Video</p> <p>Words and other vocal sounds to be sung or recited with music</p> <p>1 Text, Treatise on (Music)</p> <p>2 <s> Lyric, Treatise on (Music)</p> <p><s> Poem, Treatise on (Music)</p> <p><s> Screenplay, Treatise on (Music)</p> <p><s> Libretto, Treatise on</p> <p>Story, plot, synopsis</p> <p><u> Plot, Treatise on (Music)</p> <p><u> Synopses, Treatise on (Music)</p> <p>Patent and identification mark (Music)</p>	<p>→NDC320の細目を優先 →AUMC760の音楽細目</p> <p>全般的著作→760.26</p> <p>歌唱・音楽と吟唱する言葉・他の音声 →760.269</p> <p>*1 楽譜、自筆スコアを含む 任意番号 資料形態を区別 詳細→AUMC760序文</p> <p>任意番号 資料形態を区別 詳細→AUMC760序文</p> <p>演奏用スコア→760.264 学習用スコア→760.265</p> <p>楽譜出版→DDC070.5794 NDC</p> <p>楽譜印刷→DDC686.284 NDC</p> <p>*3 (例) 74スコア、指揮者用 スコア、ピアノ・ヴォーカルスコア</p> <p>任意番号 資料形態を区別 詳細→AUMC760序文</p> <p>任意番号 資料形態を区別 詳細→AUMC760序文</p> <p>音楽の録音資料→761.49</p> <p>録音・録画に関する全般的著作 ガイダンス資料→760.267</p> <p>任意番号 資料形態を区別 詳細→AUMC760序文</p> <p>任意番号 資料形態を区別 詳細→AUMC760序文</p> <p>*3 (例) リアリック、歌詞、詩、台本</p> <p>01 歌詞はここに収める</p> <p>ここで扱うのは、音楽との関連において扱われる言葉のみ</p> <p>文学と言葉の関わり→DDC800 NDC300</p> <p>民俗と言葉の関わり→DDC399 NDC380</p> <p>宗教と言葉の関わり→DDC200 NDC160</p> <p>単独では使用しない：他の番号と合成する場合のみ用いる →AUMC760.760.268</p> <p>全般的著作→762.00268</p> <p>筋書、要約→760.269</p> <p>*3 (例) シナリオ</p> <p>単独では使用しない：他の番号と合成する場合のみ用いる →AUMC760.760.269</p> <p>全般的著作→762.00269</p>
<p>Patent (Music)</p>	
<p>Identification mark (Music)</p> <p><u> Service mark (Music)</p> <p>Trademark and service mark (Music)</p> <p>Ownership mark (Music)</p> <p>Artists' and craftsmen's mark (Music)</p> <p><u> Craftsmen's mark (Music)</p>	<p>全般的な著作→760.27</p>

音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの *1「含む (Including...)」注記 / *2「包含 (Contains...)」注記 / *3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tia 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-syn 同意語 -inv 倒置語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-sng 単数形の語	
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
	760.28	<p>◎補助的措置；設備、什器、資料(音楽)</p> <p>什器(音楽) 資料(音楽) 設備(音楽)</p>
<p>[構成法] {0288} + {DDCの004-006} (冗長にならない限り)</p> <p>[例] デジタル・マイクロ・コンピュータ 0285 416 = {0285} + {004 416}</p>	0285	<p>◎データプロセ(音楽) 研究におけるデータプロセ(音楽) コンピュータ利用(音楽)</p>
<p>DDC番号の使用については保留 →DDCマニュアル T1-0113 vs T1-0285 T1-0285 T1-0285 ,, vs T1-068 510.T1-0151 vs 004-006.T1-0285</p>	0287 0289 029	<p>◎実験、計量(音楽) 計量(音楽) 研究における計量(音楽) 実験室用マニュアル(音楽) マニュアル(実験室用—)(音楽)</p> <p>◎整備、修理(音楽) 修理(音楽)</p> <p>◎安全基準(音楽) 基準(安全—)(音楽)</p> <p>◎商業関係の雑資料(音楽) 雑資料(音楽分野の商業関係の—) 商品・サービスのリスト(音楽分野の販売・リース・無料配布用の—)</p>
<p>[構成法] {0294} + {T2の4-9}</p> <p>↑ 当該商品の販売される土地</p> <p>[例] マシナ商品リスト 0294 72 = {0294} + {72}</p>	0294	<p>◎商業用カタログとダイレク(音楽) カタログとダイレク(商業用—)(音楽) 広告(音楽) ダイレク(商業用—)(音楽) ちらし(音楽)</p>
<p>[構成法] {0296} + {T2の4-9}</p> <p>↑ 当該商品の販売される土地</p> <p>[例] カタ用購買案内 0296 71 = {0296} + {71}</p>	0296	<p>◎購買案内、消費者レポート(音楽) 消費者レポート(音楽)</p>
	0297 0299 03	<p>◎評価マニュアル、購買マニュアル(音楽) 価格動向(商業関係の—)(音楽) 購買マニュアル(商業関係の—)(音楽)</p> <p>◎労働、時間、資材の見積(商業関係の—)(音楽) 資材の見積(商業関係の—)(音楽) 時間の見積(商業関係の—)(音楽) 調査(商業関係の量に関する—)(音楽) 見積(商業関係の労働、時間、資材の—)(音楽) 量に関する調査(商業関係の—)(音楽)</p> <p>◎辞書、辞典、エントランス(音楽) エントランス(音楽) 辞典(音楽)</p>
<p>{ } = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語：DDC28の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC28の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p>参照語：DDC28の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p>参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p>参照語：エントランスになっている標目語の一単位</p> <p>参照語：別名注記の論題</p> <p style="text-align: center;">A VMC基本標目語</p>		

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Auxiliary technique and procedure; apparatus, equipment, material (Music) <hu> Equipment (Music) <hu> Material (Music) <hu> Apparatus (Music)</p>	<p>音楽実技→761.4 楽器→764 楽譜→760.26 録音資料→760.266</p>
<p>Data processing (Music) <c> Research, Data processing in (Music) <m> Computer application (Music)</p>	<p>〇I 研究におけるデータ処理 データ処理の工学的側面 → T1-0295 X T1-02854 学際的著作 → DDC004 II コンピュータ・プログラミング、コンピュータ・シミュレーション → T1-0113</p>
<p>Testing and measurement (Music) <u> Measurement (Music) <s> Testing in research (Music) <c> Laboratory manual for testing (Music) <c> Laboratory manual for testing (Music) Maintenance and repair (Music) <u> Repair (Music)</p> <p>Safety measure (Music) <inv> Measure, Safety Commercial miscellany (Music) <inv> Miscellany, Commercial (Music) Products and services offered for sale, lease, or free distribution, Listing of (Music)</p>	<p>✕I 研究における計量 〇I 実験室用マニュアル 教育におけるテスト → T1-076</p> <p>工業・生産と用法・作業が異なる番号の時は使い分ける 織機の整備と修理 → 〇 DDC681.76770298 X DDC677.02850298 工具の整備と修理 → DDC620.0046 しかし 整備運用 → T1-0682 安全性のための技術に関してのみ使用 (以下略) 〇I 販売・リース・無料配布用の商品・サービスのリスト 非売品のコレクション・展示のリスト → T1-074 → DDCマニュアルT1-0294 vs T1-074</p>
<p>Trade catalog and directory (Music) Catalog and directory, Trade (Music) <s> Advertisement (Music) <u> Directory, Trade (Music) <s> Commercial circular (Music)</p>	<p>第三者の評価・比較を經ていない製品・サービスのリスト ✕I ちらし、広告を含む 〇I 製品一覧、価格表、無料品・サービスのリスト、販売・リース用 内容見本 → DDCマニュアルT1-0294 vs T1-074 第三者の評価・比較を經たもの → T1-0296</p>
<p>Buyers' guide and consumer report (Music) <u> Consumer report (Music)</p>	<p>第三者の評価・比較を經た製品・サービスのリスト ✕I 単一商品を扱ったものを含む 評価マニュアル、購買マニュアル → T1-0297</p>
<p>Evaluation and purchasing manual (Music) <c> Price trend (Music) <u> Purchasing manual (Music)</p> <p>Labor, time, materials, Estimate of (Music) <u> Material, Estimate of (Music) <u> Time, Estimate of (Music) <c-inv> Surveying, Quantity (Music)</p> <p><dro> Estimate of labor, time, materials (Music)</p> <p>Quantity surveying (Music)</p> <p>Dictionary, encyclopedia, concordance (Music) <u> Concordance (Music) <u> Encyclopedia (Music)</p>	<p>評価法、買い方の手引で実際の商品がリストされていないもの 〇I 価格動向を含む 第三者の評価・比較を經たもの → T1-0296 第三者の評価・比較を經ていないもの → T1-029 コルカタ用価格動向 → T1-075 調達管理 → T1-0687 〇I 量に関する調査 (クワイ)</p> <p>学際的性格の辞書 → DDC413 II NDC 学際的性格の (百科) 辞典 → DDC030 II NDC → DDCマニュアルT1-014 vs T1-03</p>

音楽細目使用可のもの 〇I 「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / 〇Q 「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕I 「含む (Including...)」注記 / ✕Q 「包含 (Contains...)」注記 / ✕E 「例 (Examples:)」注記

- | | | |
|---|---|----------------------|
| <g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題
(全下位区分に適用可の観点) | <d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題
-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) | -syn 同意語
-inv 倒置語 |
| <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 | -tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) | -dro 正置語 |
| <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 | -sng 単数形の語 | |
| <i> 参照語: DDC20の相関索引の語 | -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ) | |

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] (分類番号) + (04) + (T1の01-09)</p> <p>[例] フランスのparticipatory democracy DDC323.042 0944 = (DDC323) + (042) + (0944)</p> <p>DDC番号の使用については保留</p>	<p>760.24</p>	<p>◎特別なピック（音楽）</p>
<p>[構成法] (060) + (T2の3-9)</p> <p>[例] フランス国内の諸団体 060.44 = (060) + (44)</p>	<p>760.603-609</p>	<p>◎逐次刊行物（音楽） 内部諸団体の逐次刊行物（音楽）</p> <p>◎団体と経営（音楽）</p> <p>◎団体（音楽） 会員名簿（音楽団体の--） 規則（音楽団体の--） 経営上の会誌・報告書（音楽団体の--） 支部設立許可（音楽団体の--） 歴史（音楽団体の--）</p> <p>◎団体（国際--）（音楽） ◎団体（国、州、地方の--）（音楽） 国の団体（音楽） 州の団体（音楽） 地方の団体（音楽）</p>
	<p>760.680 760.681 760.682 760.683 760.684 760.685 760.687 760.689 7</p>	<p>◎経営管理（音楽） <inv>管理（経営--）（音楽）</p> <p>◎団体と財政の管理（音楽） 管理（団体と財政の--）（音楽） 企業の創業（音楽） 財政の管理（音楽）</p> <p>◎工場管理（音楽） 工場管理（音楽） 管理（工場--）（音楽）</p> <p>◎人事管理（音楽） 管理（音楽関係の人事--）（音楽）</p> <p>◎上級経営管理（音楽） 経営管理（音楽関係の上級--）（音楽）</p> <p>◎製品管理（音楽） 管理（音楽関係の製品--）（音楽）</p> <p>◎資材管理（音楽） 管理（音楽関係の資材--）（音楽）</p> <p>◎流通管理（音楽） 管理（音楽関係の流通--）（音楽）</p> <p>◎教育、研究、演奏および関連事項（音楽） 学習プログラム（主題別の--）（音楽） 教育実習（音楽） 器具の使用（教授・学習の--）（音楽） 訓練指導者（音楽）</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語</p> <p>★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p>A VMC基本標目語</p> <p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語：1セットになっている標目語の単単位</p> <p><v> 参照語：別名注記の論題</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Special topic (Music)	指示のある場合のみ使用
Serial publication (Music) <c> House organ (Serial publication) (Music)	O1 内部諸団体はここ 学際的逐刊→T1-050 特定分野に関するもの→T1-025 逐刊形式のケルケリ→T1-025 団体の経営報告→T1-06
Organization and management (Music)	
Organization (Music) <g> Membership list (Music organization) <g> Regulation (Music organization) <g> Administrative proceedings and report (Music organization) <g> Chapter (Music organization) <g> History (Music organization) Organization, International (Music) Organization, National, state, provincial, local (Music) <u> National organization (Music) <u> State organization (Music) <u> Local organization (Music)	O2 一般的側面（歴史、支部、規則、会員名簿、経営上の会誌・報告書） 全般的著作→T1-06 学際的団体→T1-060 教育、研究及び関連分野の団体→T1-07 企業→DDC339.7 NDC335 政府行政→DDC350 NDC317.2 ケルケリ情報を含む会員名簿→T1-025 経営に関係しない会誌・報告書→各分野 世界中の国内団体のリスト→T1-06 →DDC7274T1-0601-T1-0609 T1-0609 vs T1-072
Management (Music) Management (Music) Management, Organization and financial (Music) <inv> Management, Organization and financial (Music) <s> Initiation of business enterprise (Music) <u> Financial management (Music) Plant management (Music) <c> Energy management (Music) <inv> Management, Plant (Music) Personnel management (Music) Management, Personnel (Music) Executive management (Music) Management, Executive (Music) Production, Management of (Music) Management of production (Music) Material, Management of (Music) Management of material (Music) Distribution, Management of (Music) 1 2 <h-inv> Marketing, Management of (Music) Management of distribution (Music) Education, research, related topic (Music) <c> Study program, Subject-oriented (Music) <s> Practice teaching (Music) <s> Apparatus in study and teaching, Use of (Music) <s> Training teacher (Music)	企画やプロジェク以外の実行理論と方法 通常の事項の実行に関しては用いない ×1 企業の創業を含む （詳細は略） （DDCにおける使用法の詳細→T1-060の参照注記） O1 1274-管理に関する全般的著作 （詳細は略） （詳細は略） （詳細は略） （詳細は略） （詳細は略） （詳細は略） ×1 教授・学習の器具・用具の使用を含む 訓練指導者を含む 主観別の学習プログラム、教授・学習資源に関する全般的著作 →DDC7274T1-07 vs 016, 026

音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/O2「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む (Including...)」注記 / ×2「包含 (Contains...)」注記 / ×3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点）	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-t1a 意訳語（統一語・参照語が音訳語の場合）	-inv 倒置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-t1i 音訳語（統一語・参照語が意訳語の場合）	-drc 正置語
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
	760.7(Cont.)	資料源（教授・学習の---）（音楽） 用具の使用（教授・学習の---）（音楽）
[構成] {070} + {T2の1/3-9} [例] フランスの教育 070 44 = {070} + {44}	761-709	①地理的扱い（音楽の教育、研究、演奏）
	711	②学校、教育課程（音楽） 学校（音楽） 教育課程（音楽）
[構成法] {070} + {T2の1/3-9} [例] アルゼンチンの学校と教育課程 0710 82 = {070} + {82}	7101-7109	③地理的扱い（学校、教育課程の---）（音楽）
	760.711-715	④特定レベルの教育の学校、教育課程（音楽）
[構成法] {071} + {T2の1/3-9} [例] 日本の大学課程 0711 52 = {071} + {52}	711	⑤高等教育の学校、教育課程（音楽） 学校、教育課程（高等教育の---）（音楽） 教育課程（高等教育の---）（音楽）
[構成法] {0712} + {T2の1/3-9} [例] 経済的開発途上地域の中等教育 0712 1724 = {0712} + {1742}	712	⑥中等教育の学校、教育課程（音楽） 学校、教育課程（中等教育の---）（音楽） 教育課程（中等教育の---）（音楽） 職業学校（音楽）
	713 7152 7153 7154 7155 72	⑦成人教育の学校、教育課程（音楽） 学校（成人教育の---）（音楽） 教育課程（成人教育の---）（音楽） 公開講座（音楽） 成人教室（音楽） ⑧学校・ワークショップ（成人教育の---）（音楽） ワークショップ（成人教育の---）（音楽） ⑨放送教育の学校、教育課程（音楽） 通信教育（放送教育の---）（音楽） <inv>学校、教育課程（放送教育の---）（音楽） <u-inv>教育課程（放送教育の---）（音楽） ⑩通信教育の学校、教育課程（音楽） <inv>学校、教育課程（通信教育の---）（音楽） <u-inv>教育課程（通信教育の---）（音楽） ⑪現場教育と住み込み（音楽） 職場での現場教育（音楽） 住み込み（音楽教育） ⑫実験・研究（音楽） <t1>リサーチ（音楽） <u>研究（音楽） 科学的方法（音楽） 実験室のフェーズ（音楽） 統計的方法（音楽）
{ } = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通		→ = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない
◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語 AVMC基本標目語		<h> 参照語：DDC20の基本標目語 （統一語に採用されなかったもの） <m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語：エッセイになっている標目語の単単位 <v> 参照語：別名注記の論題

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<c> Resource for study and teaching (Music) <s> Equipment in study and teaching, Use of (Music)	教科書→分類番号のみ（標準細目はいない） それ以外の主題別資料源 タイトリ→T1-025 ビブリオグラフィ→T1-016 図書館→T1-026
Geographical treatment of education, research, related topic (Music)	
School and course (Music) <u> School (Music) <u> Course (Music)	学校・教育課程での経済援助→T1-079
Geographical treatment of school and course (Music)	
Specific level of school ...	全般的著作→T1-071 名いでの特定の活動→T1-072-079
Higher education, School and course in (Music) <drc> School and course in higher education (Music) <u-drc> Course in higher education (Music)	
Secondary education, School and course in (Music) <drc> School and course in secondary education (Music) <u-drc> Course in secondary education (Music) <c> Vocational school (Music)	OI 特定主題の職業学校もここ
Adult education, School and course in (Music) <c> School for adult education (Music) Course in adult education (Music) <c> Extension department and service (Music) <c> Continuing education (Music) Institute and workshop in adult education (Music) <u> Workshop in adult education (Music) Radio and television classes (Music) Correspondence course, Radio and television (Music) Classes, Radio and television (Music) Classes, Radio and television (Music) Correspondence course (Music) Course, Correspondence (Music) Course, Correspondence (Music) In-service training and residency (Music) On-the-job education (Music) <u> Residency (Music) Research (Music) Research (Music) Research (Music) <c> Scientific method (Music) <c> Laboratory manual used in research (Music) <c> Statistical method (Music)	OI 特定主題の学校・教育課程、成人教室など 放送教育の通信教育→T1-07153 OI 職場での現場教育 企業の実地訓練と住み込み→T1-0683 OI 統計・科学的方法に関する全般的著作はここに分類する →DDCマニア#T1-0601-T1-0609 vs T1-072 実験・研究に用いられる実験室のマニアはここに分類する 実験・研究の結果 →各分野（標準細目はいない） オペレーションズ・リサーチ→T1-011 それ以外の研究技術 数学的技法→T1-0151 テータ・プロセッシング→T1-0285 実験（テスト）→T1-0287 システム・アナリシスに用いられる・科学的・統計学的技法→T1-011 実験・研究の財政的援助→T1-079
音楽細目使用可のもの OI「ここに分類せよ注記（Class here ...）」/OJ「一般の観点注記（General aspects）」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む（Including...）注記」/X2「包含（Contains...）注記」/X3「例（Examples:）注記」	
<g> 参照語：「一般の観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点） <c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語：「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語：DDC20の相関索引の語	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -t1a 意訳語（統一語・参照語が音訳語の場合） -t1i 音訳語（統一語・参照語が意訳語の場合） -sng 単数形の語 -plu 複数形の語（特に必要な場合のみ） -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)										
[構成法] (0720) + (T2の1/209) [例] 英国における実験・研究 0720 42 = (0720) + (42)	760.7201-7209	◎地理的扱い(実験研究のー) (音楽)										
	722 723 724 725 74	◎歴史研究(音楽) アースタディ(音楽史研究) ◎記述的研究(音楽) 概観(音楽の記述的研究) 概観の方法論(音楽の記述的研究) ◎実験的研究(音楽) ◎生徒、学習者、徒弟、初心者(音楽) 学習者(音楽) 初心者(音楽) 徒弟(音楽) ◎博物館、コレクション、展示(音楽) ガイブック(博物館などのー)(音楽) カタログ(博物館などのー)(音楽) コレクション(音楽) 展示(音楽) 歴史と紹介(博物館などのー)(音楽) リスト(博物館などのー)(音楽)										
[構成法] (074) + (T2の1/748) [例] アンソルグニアの博物館 074 748 = (074) + (748)	741-749	◎地理的扱い(博物館、コレクション、展示のー) (音楽) コレクション(音楽関係の特定のー) 展示(音楽関係の特定のー) 博物館(音楽関係の特定のー)										
	75 753 755 76 77	◎博物館の活動・仕事(音楽) エクサ-用価格動向(音楽の博物館) 博物館学(音楽) ◎コレクション・展示の計画・準備(音楽) 盗難防止(音楽のコレクションと展示のための) 運搬(音楽のコレクションと展示のための) 記録(音楽のコレクションと展示のための) 登録(音楽のコレクションと展示のための) 保管(音楽のコレクションと展示のための) ◎利用者サービス(音楽の博物館) 利用規約(音楽の博物館) ◎練習問題、課題(音楽) 課題(音楽) 解答(音楽) 公務員試験(音楽) テストの評価(音楽) テストの作成(音楽) テスト(音楽) 問題(音楽) ワークブック(問題付きのー)(音楽) ◎特殊な教育および学習方式(音楽) 学習方式(特殊なー)(音楽) 教育方式(特殊なー)(音楽) プログラム教育(音楽)										
() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない												
<table border="0"> <tr> <td>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語</td> <td rowspan="3">} AVMC基本標目語</td> <td><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</td> </tr> <tr> <td>○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語</td> <td><m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題</td> </tr> <tr> <td>● 統一語: AUMC独自の基本標目語</td> <td><u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位</td> </tr> <tr> <td>★ 統一語: AUMCの合成標目語</td> <td></td> <td><v> 参照語: 別名注記の論題</td> </tr> </table>			◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)	○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語	<m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題	● 統一語: AUMC独自の基本標目語	<u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位	★ 統一語: AUMCの合成標目語		<v> 参照語: 別名注記の論題
◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)										
○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語		<m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題										
● 統一語: AUMC独自の基本標目語		<u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位										
★ 統一語: AUMCの合成標目語		<v> 参照語: 別名注記の論題										

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Geographical treatment of research (Music)</p> <p>Historical research (Music)</p> <p><s> Case study (Historical research on music)</p> <p>Descriptive research (Music)</p> <p><c> Survey (Descriptive research on music)</p> <p><c> Survey methodology (Descriptive research on music)</p> <p>Experimental research (Music)</p> <p>Student, learner, apprentice, novice (Music)</p> <p><u> Learner (Music)</p> <p><u> Novice (Music)</p> <p><u> Apprentice (Music)</p> <p>Museum, collection, exhibit (Music)</p> <p><g> Guidebook of museum (Music)</p> <p><c> Catalog of museum holdings (Music)</p> <p><u> Collection (Music)</p> <p><u> Exhibit (Music)</p> <p><c> History and description of museum (Music)</p> <p><c> List of museum holdings (Music)</p>	<p>注記</p> <p>*1 ケ-スタディを含む</p> <p>01 概観とその方法論はここに分類する 事物のコレクション→T1-075</p> <p>辞書 (ディクショナリ) →T1-011 初心者→T1-0880909 生徒・学習者→T1-088375 徒弟→DDC331.55 NDC336.47</p> <p>01 歴史と紹介 (ガイドブック、カド、リスト 非売品も) 学際的性格のもの→T1-069 主題別博物館学の全般的著作→T1-075</p> <p>→DDC727.4T1-0294 vs T1-074</p>
<p>Geographical treatment of museum, collection, exhibit (Music)</p> <p><c> Collection, Specific (Music)</p> <p><c> Exhibit, Specific (Music)</p> <p><c> Museum, Specific (Music)</p>	<p>01 特定博物館、コレクション、展示</p>
<p>Museum activity and service (Music)</p> <p><s> Price tend for collectors (Music)</p> <p><c> Museology (Music)</p> <p>Collections and exhibits, Organizing and preparing (Music)</p> <p><s> Prevention of theft (Collection and exhibit of music)</p> <p><s> Transportation (Collection and exhibit of music)</p> <p><s> Recording (Collection and exhibit of music)</p> <p><s> Registration (Collection and exhibit of music)</p> <p><s> Storage (Collection and exhibit of music)</p> <p>Service to patron (Museum of music)</p> <p><s> Regulation of patrons (Museum of music)</p> <p>Review and exercise (Music)</p> <p><u> Exercise (Music)</p> <p><s> Answer (Music)</p> <p><s> Civil service examination (Music)</p> <p><s> Test evaluation (Music)</p> <p><s> Test construction (Music)</p> <p><s> Testing (Music)</p> <p><s> Question (Music)</p> <p><s> Workbook with problems (Music)</p> <p>Special teaching and learning method (Music)</p> <p><u> Learning method, Special (Music)</p> <p><u> Teaching method, Special (Music)</p> <p><s> Programmed teaching (Music)</p>	<p>*1 コレクター用価格動向を含む</p> <p>01 博物館学はここに分類する 学際的博物館活動→DDC069 NDC069 " 収集→DDC069.4 NDC069.4 趣味的収集→DDC790.132 NDC 特定博物館、コレクション、展示に関する活動・仕事→T1-074</p> <p>ここに当てはまらない特定の博物館学技術→T1-028 例) 収集品の修理・保存→T1-028</p> <p>*1 盗難防止を含む 記録、登録、保管、運搬を含む</p> <p>*1 利用規約を含ま</p> <p>*3 例) アカデミック教育 演奏技術およびレパートリーの習得→761.42</p>

音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの *1「含む (Including...)」注記/*2「包含 (Contains...)」注記/*3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-syn 同意語 -inv 倒置語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-dro 正置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-sng 単数形の語	
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）										
【構成法】 (760.78) + (T2の399) 【例】 ロンドンでのエグゼ 760.78 421 = (760.78) + (421)	760.78	①演奏会 エグゼ リサイタル										
【構成法】 (760.79) + (T2の399) 【例】 フランスの音楽祭 760.79 44 = (760.79) + (44)	.79	②エグゼ、音楽祭、音楽賞、財政援助 音楽賞 音楽祭 財政援助（音楽） 審査（音楽）										
	.8 > 760.91-97 761 762 763 7632 7633 7634 7635 7636 7637 7638 7639 764 7641 7642 7643 7644 7645 7646 7647 7648 7649 765 7651 7652 7653 7654 7655 766 7662	③音楽の歴史と紹介（特定種類の人間の集団に関わる—） ④特定種類の人間（種）に関わる音楽の歴史と紹介 ⑤男性に関わる音楽の歴史と紹介 雄に関わる音楽の歴史と紹介 ⑥女性に関わる音楽の歴史と紹介 雌に関わる音楽の歴史と紹介 ⑦児童に関わる音楽の歴史と紹介 子供に関わる音楽の歴史と紹介 ⑧乳幼児に関わる音楽の歴史と紹介 2才までの子供に関わる音楽の歴史と紹介 ⑨幼児に関わる音楽の歴史と紹介 3-5才の子供に関わる音楽の歴史と紹介 学齢前の子供に関わる音楽の歴史と紹介 ⑩児童に関わる音楽の歴史と紹介 6-11才の子供に関わる音楽の歴史と紹介 学齢期の子供に関わる音楽の歴史と紹介 ⑪青少年に関わる音楽の歴史と紹介 12-20才および20才以上の青少年に関わる音楽の歴史と紹介 ⑫若い男性に関わる音楽の歴史と紹介 ⑬若い女性に関わる音楽の歴史と紹介 ⑭成人の名時期に関わる音楽の歴史と紹介 ⑮青年に関わる音楽の歴史と紹介 ⑯中年に関わる音楽の歴史と紹介 ⑰老年に関わる音楽の歴史と紹介 ⑱親戚に関わる音楽の歴史と紹介 親に関わる音楽の歴史と紹介 養い親に関わる音楽の歴史と紹介 養父母に関わる音楽の歴史と紹介 義父母に関わる音楽の歴史と紹介 ⑲父親に関わる音楽の歴史と紹介 ⑳母親に関わる音楽の歴史と紹介 ㉑祖父母に関わる音楽の歴史と紹介 曾祖父母以上に関わる音楽の歴史と紹介 ㉒子孫に関わる音楽の歴史と紹介 ㉓兄弟姉妹に関わる音楽の歴史と紹介 ㉔社会的・経済的に特色を持つ人間に関わる音楽の歴史と紹介 ㉕社会的・経済的諸階層に関わる音楽の歴史と紹介										
() = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない												
<table border="0"> <tr> <td>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語</td> <td rowspan="3">} AVMC基本標目語</td> <td><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</td> </tr> <tr> <td>○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語</td> <td><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</td> </tr> <tr> <td>● 統一語：AUMC独自の基本標目語</td> <td><u> 参照語：エントリになっている標目語の一単位</td> </tr> <tr> <td>★ 統一語：AUMCの合成標目語</td> <td></td> <td><v> 参照語：別名注記の論題</td> </tr> </table>			◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)	○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語	<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題	● 統一語：AUMC独自の基本標目語	<u> 参照語：エントリになっている標目語の一単位	★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題
◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)										
○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語		<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題										
● 統一語：AUMC独自の基本標目語		<u> 参照語：エントリになっている標目語の一単位										
★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題										

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Performance <g> Concert <g> Recital</p>	<p>02 一般的様相：コンサートおよびリサイタル 学習・教育における器具の使用→760.7 演奏技術→761.43</p>
<p>Competition, festival, award, financial support <u> Award (Music) <u> Festival (Music) <u> Financial support (Music) <s> Adjudication (Music)</p>	<p>*1 審査を含む 音楽祭およびコンサートでの演奏→760.76</p>
<p>History and description of music with respect to kinds of persons</p> <p>Specific miscellaneous kind of persons,</p> <p>Men, <c> Male, Woman, <c> Female, Young people, <c> Child, Infant, Child from birth to age two, Child three to five, <h> Child three to five, <c> Preschool child, Child six to eleven, <h> Child six to eleven, <c> School child, Young adult, <c> Young adult aged twelve to twenty and over twenty, Young man, Young woman, Person in specific stages of adulthood, Early adulthood,</p> <p>Middle adulthood, Late adulthood, Relative, <m> Parent, <c> Foster parent, <c> Adoptive, <c> Stepparent, Father, Mother, Grandparent, <s> Great-grandparent of any degree, Progeny, Brother and sister, Person by social and economic characteristics, Person by social and economic levels,</p>	<p>特別の指示がなければ、.81-.99の2つ以上の側面を持つ複合的主題は最後の番号へ 例) 障害のある児童→ O T1-087 X T1-0834 個人として扱われている特定種類の人間→T1-092 →DDCマユ74T1-024 vs T1-08</p> <p>職業、宗教、人種、民族、国家以外の分け方 全般的の著作→各分野（標準細目は用いない） →DDCマユ74T1-081-T1-087</p> <p>01 雄もここに分類する →DDCマユ74T1-081, 082, 08351と08352</p> <p>01 雌もここに分類する →DDCマユ74T1-081, 082, 08351と08352</p> <p>01 子供はここに分類する</p> <p>2才まで</p> <p>01 3- 5才（学齢前）</p> <p>01 6-11才（学齢期）</p> <p>01 12-20才 20才以上を含む青少年に関する音楽の全般的著作もここに分類する 20才以上の青年→T1-0842 →DDCマユ74T1-081, 082, 08351と08352 →DDCマユ74T1-081, 082, 08351と08352</p> <p>成人に関する音楽の全般的の著作→各分野（T1は用いない）</p> <p>20才以上 12-20才および20才以上を含む 青少年に関する全般的の著作→T1-0835</p> <p>01 養父母、養い親、義父母はここに分類する</p> <p>*1 曾祖父母以上もその関係の程度に関わらずここへ</p> <p>両親からみた子供</p>

音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの *1「含む (Including...)」注記/*2「包含 (Contains...)」注記/*3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意識語（統一語・参照語が音訳語の場合）	-syn 同義語 -inv 倒置語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-tli 音訳語（統一語・参照語が意識語の場合）	-drc 正置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-sng 単数形の語	
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
	760.8621	①上海階級に関わる音楽の歴史と紹介 王族に関わる音楽の歴史と紹介 貴族に関わる音楽の歴史と紹介 財産家に関わる音楽の歴史と紹介 特権階級に関わる音楽の歴史と紹介
	8622	②中流階級に関わる音楽の歴史と紹介 管理職に関わる音楽の歴史と紹介 技術者に関わる音楽の歴史と紹介 ブルジョワに関わる音楽の歴史と紹介 裕福な人に関わる音楽の歴史と紹介
	8623	③下級中流階級に関わる音楽の歴史と紹介 開発された地域の労働者に関わる音楽の歴史と紹介 並の収入がある人に関わる音楽の歴史と紹介
	8624	④下流階級に関わる音楽の歴史と紹介
	8625	⑤奴隷、農奴、日雇い労働者に関わる音楽の歴史と紹介 農奴に関わる音楽の歴史と紹介 日雇い労働者に関わる音楽の歴史と紹介
	863	⑥文化発展の程度による人に関わる音楽の歴史と紹介
	8631	⑥①高い文化程度の人に関わる音楽の歴史と紹介
	8632	⑥②中程度の文化の人に関わる音楽の歴史と紹介
	8633	⑥③低い文化程度の人に関わる音楽の歴史と紹介 文字を持たないものに関わる音楽の歴史と紹介
	8634	⑥④婚姻関係による人に関わる音楽の歴史と紹介
	8635	⑥⑤独身者に関わる音楽の歴史と紹介
	86323	⑥⑥①婚約中の人に関わる音楽の歴史と紹介
	86353	⑥⑥②別居・離婚者に関わる音楽の歴史と紹介 離婚者に関わる音楽の歴史と紹介
	86354	⑥⑥③やもめ・未亡人に関わる音楽の歴史と紹介 <u>未亡人に関わる音楽の歴史と紹介
	86355	⑥⑥④既婚者に関わる音楽の歴史と紹介 内縁の既婚者に関わる音楽の歴史と紹介
	86353	⑥⑥⑤一夫多妻・一妻多夫の人に関わる音楽の歴史と紹介 <u>一妻多夫の人に関わる音楽の歴史と紹介
	8636	⑥⑦性的傾向による人に関わる音楽の歴史と紹介 性的傾向のない人に関わる音楽の歴史と紹介
	8637	⑥⑧異性愛の人に関わる音楽の歴史と紹介
	8638	⑥⑨両性愛の人に関わる音楽の歴史と紹介
	8634	⑥⑩同性愛の人に関わる音楽の歴史と紹介
	86342	⑥⑩①女に関わる音楽の歴史と紹介
	86343	⑥⑩②男に関わる音楽の歴史と紹介
	869	⑥⑪特別な社会的立場の人に関わる音楽の歴史と紹介

[] = ファセット要素 / 網掛け部分を結合する	→ = 見よ	() = 注記・補足 / 観点を示す付加語
網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通	→ = も見よ	[] = 使用しない

◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	} A VMC基本標目語	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)
○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語		<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題
● 統一語：AUMC独自の基本標目語		<u> 参照語：エントリになっている標目語の単位
★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Upper class,</p> <p><s> Royalty,</p> <p><s> Nobility,</p> <p><s> Wealthy,</p> <p><s> Elite,</p> <p>Middle class,</p> <p><s> Managerial middle class,</p> <p><s> Professional middle class,</p> <p><h> Bourgeoisie,</p> <p><s> Well-to-do person,</p> <p>Lower middle class,</p> <p><s> Working class in developed areas,</p> <p><s> Moderate-income person,</p> <p>Lower class,</p> <p>Slave, serf, peon,</p> <p><u> Serf,</p> <p><u> Peon,</p> <p>Person by level of cultural development,</p> <p>Person of high cultural development,</p> <p>Person of medium cultural development,</p> <p>Person of low cultural development,</p> <p><s> Nonliterate,</p> <p>Person by marriage status,</p> <p>Single person,</p> <p>Engaged person,</p> <p>Separated and divorced person,</p> <p><u> Divorced person,</p> <p>Widowed person,</p> <p>Widowed person,</p> <p>Married person,</p> <p><s> Person married in common law,</p> <p>Polygamous person,</p> <p>Polygamous person,</p> <p>Person by sexual orientation,</p> <p><s> Person with no sexual orientation,</p> <p>Heterosexual,</p> <p>Bisexual,</p> <p>Homosexual,</p> <p>Male homosexual,</p> <p><h> Lesbian,</p> <p>Female homosexual,</p> <p>Person of special social status,</p>	<p>※例) 王侯貴族、特権階級、財産家 統治する君主、摂政→T1-0883511</p> <p>※ 裕福な人、技術者、管理職など 下級中流階級→T1-08623</p> <p>※ 並の収入がある人、開発された地域の労働者</p> <p>奴隷、農奴、日雇い労働者→T1-08625 貧民→T1-086942</p> <p>※1 文字を持たないものを含む</p> <p>別居・離婚者→T1-08653 やもめ・未亡人→T1-08654</p> <p>※1 内縁を含む 一夫多妻（一妻多夫）の人→T1-08659</p> <p>※1 性的傾向のないものを含む</p>

History and description of music with respect to

1
2

音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/O2「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの ※1「含む (Including...)」注記/※2「包含 (Contains...)」注記/※3「例 (Examples:)」注記

- | | | |
|--|---|----------------------|
| <g> 参照語：「一般的観点注記」の論題
(全下位区分に適用可の観点) | <d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題
-t1a 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)
-t1i 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) | -syn 同意語
-inv 倒置語 |
| <c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題 | -sng 単数形の語 | -dro 正置語 |
| <s> 参照語：「立ち見席注記」の論題 | -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ) | |
| <i> 参照語：DDC20の相関索引の語 | | |

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
	760.8682	<p>◎反社会的・否社会的な人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>違反者に関わる音楽の歴史と紹介 罪人に関わる音楽の歴史と紹介 否社会的な人に関わる音楽の歴史と紹介 犯罪者に関わる音楽の歴史と紹介 放浪者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎人種的・民族的・国内的・社会経済的・宗教的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>国内的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介 社会経済的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介 宗教的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介 人種的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介 民族的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介 民俗的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎社会的に不利な立場の人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>失業者に関わる音楽の歴史と紹介 戦争犠牲者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎貧困者、極貧者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>極貧者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎産子、捨て子、虐待児、孤児に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p><u>私生子に関わる音楽の歴史と紹介 虐待児に関わる音楽の歴史と紹介 孤児に関わる音楽の歴史と紹介 捨て子に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎未婚の母に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎引退者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎退役軍人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎障害者、病人、天賦の才のある人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>身体障害者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>天賦の才のある人に関わる音楽の歴史と紹介 病人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎視覚障害者に関わる音楽の歴史と紹介 弱視者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎聾啞者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎交通事故で損傷を受けた人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎精神障害者、精神病者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>精神病者に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎成長に障害のある人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎病人、外出できない人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>外出できない人に関わる音楽の歴史と紹介</p> <p>◎天賦の才のある人に関わる音楽の歴史と紹介</p>
	8683	
	8684	
	86942	
	86945	
	86947	
	8696	
	8697	
	87	
	871	
	872	
	873	
	874	
	875	
	877	
	879	

() = ファセット要素 / 網掛け部分を結合する → = 見よ () = 注記・補足 / 観点を示す付加語
 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = も見よ [] = 使用しない

- ◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 } <h> 参照語：DDC20の基本標目語
- 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 } (統一語に採用されなかったもの)
- 統一語：AUMC独自の基本標目語 } <m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題
- A VMC基本標目語 } <u> 参照語：エッセイになっている標目語の一単位
- ★ 統一語：AUMCの合成標目語 } <v> 参照語：別名注記の論題

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Antisocial and asocial person, <s> Offender, <s> Convict, <u> Asocial person, <s> Criminal, <s> Vagrant, Member of nondominant racial, ethnic, national, socio-economic, religious groups, <u> Member of nondominant national groups, <u> Member of nondominant socio-economic groups, <u> Member of nondominant religious groups, <u> Member of nondominant racial groups, <u> Member of nondominant national groups, <u> Member of nondominant ethnic groups, Socially disadvantaged person, <s> Unemployed person, <s> War victim, Poverty-stricken and destitute person, <u> Destitute person, illegitimate, abandoned/abused child, orphan, illegitimate child, <u> Abused child, <u> Orphan, <u> Abandoned child, unmarried mother, retired person, veteran of military service, handicapped, ill, gifted person, Physically handicapped person, <u> Gifted person, <u> Ill person, blind and partially sighted person, <u> Partially sighted person, deaf and hard of hearing person, motor-impaired person, Mentally ill and mentally handicapped person, <u> Mentally handicapped person, person with developmental disabilities, ill and shut-in person, <u> Shut-in person, <u> House-bound person, gifted person,</p>	<p><X> 例) 放浪者、犯罪者、違反者、罪人</p> <p>人種的・民族的・国内的・社会経済的・宗教的に優勢でない特定のグループの人 →T1-089</p> <p>優勢ではない特定の宗教グループ→T1-0882</p> <p><X> 例) 戦争犠牲者、失業者</p> <p>人種的・民族的・国内的・社会経済的・宗教的に優勢でない特定のグループに属しているために社会的に不利な立場の人 →T1-08693</p> <p>History and description of music with respect to</p> <p><Q> 身体障害者はここに分類する</p> <p>精神的成長の障害者→T1-0874</p> <p>ほかに当てはまらない場合</p>

音楽細目使用可のもの <Q>「ここに分類せよ注記(Class here …)」/ <Q>「一般的観点注記(General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの <X>「含む(Including…)」注記 / <X>「包含(Contains…)」注記 / <X>「例(Examples:)」注記

- | | | |
|---|--|----------------------|
| <g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題
(全下位区分に適用可の観点) | <d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題
-tla 意訳語(統一語・参照語が音訳語の場合) | -syn 同意語
-inv 倒置語 |
| <e> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 | -tli 音訳語(統一語・参照語が意訳語の場合) | -drc 正置語 |
| <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 | -sng 単数形の語 | |
| <i> 参照語: DDC20の相関索引の語 | -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ) | |

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
	760.88	<p>◎職業的・宗教的グループによる人に関わる音楽の歴史と紹介 宗教的グループによる人に関わる音楽の歴史と紹介</p>
<p>[構成法] {088} + {17の089-99} [例] 1) 特定の職業・宗教的グループの入門者 088 0909 = {088} + {0909} 2) 特定の職業・宗教的グループの学習者 088 375 = {088} + {375} 3) 特定の職業・宗教的グループの弁護士 088 344 = {088} + {344} 4) マジック派の人 088 27 = {088} + {27}</p>	088.00-088.99	<p>◎特定の職業的・宗教的グループの人に関わる音楽の歴史と紹介 特定の宗教的グループの人に関わる音楽の歴史と紹介</p>
<p>[構成法] {099} + {15の099-99} [例] 1) 中国人に関わる主題 099951 = {099} + {951} 2) アメリカの中国人に関わる主題 099951073 = 099951 + {073}</p>	.99	<p>◎人種、民族、国民に関係する音楽(特定の--) 国民に関係する音楽(特定の--) 民族に関係する音楽(特定の--)</p>
	.9	<p>◎歴史的、地理的、個人の扱い(音楽) 個人の扱い(音楽) 紹介(音楽) 地理的扱い(音楽) 発展(音楽) 評価(音楽)</p>
<p>[構成法] {0901-0905} + [(表1a)] [例] アンソルニアの古代物品コレクション 0901 074 748 = {0901} + {074} + {748}</p> <p>参考:表1aより</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>アンソルニアにあるコレクション 074 748 {074} + {748}</p> </div>	<p>> 760.901-.905</p> <p>.901 .902 .903 .9031 .9032 .9033 .9034</p>	<p>◎音楽史および様式史の名時代 様式史の名時代(音楽)</p> <p>◎499年以前(音楽) 古代(音楽)</p> <p>◎500年-1499年(音楽) フォス・アンティクァ(音楽) フォス・ノヴァ(音楽) コントラ音楽</p> <p>◎1450年-(音楽) <v>近世の音楽 近代の音楽 中世音楽</p> <p>◎1450年頃-1600年頃(音楽) ルネサンス音楽</p> <p>◎1600年頃-1750年頃(音楽) <s-tli>ヌオーヴェ・シコラ 新音楽 バロック音楽</p> <p>◎1750年頃-1825年頃(音楽) 18世紀の音楽 古典派(音楽) 前古典派(音楽) □□音楽</p> <p>◎1825年頃-1900年頃(音楽) 19世紀の音楽 国民楽派(音楽) □□派(音楽)</p>
<p>{ } = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>		
<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p>AVMC基本標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の単一位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Person by occupational and religious groups, <u> Person by religious groups,	
Person by specific occupational and religious groups, <u> Person by specific religious groups,	History and description of music with respect to →DDC20#761.62 vs 761.62
Racial, ethnic, national groups, Music with respect to specific <u> National groups, Music with respect to specific <u> Ethnic groups, Music with respect to specific	民族音楽→761.62 日本の音楽→769 →DDC20#760.89 vs 761.62
Historical, geographical, persons treatment (Music) <u> Person, Treatment of (Music) <g> Description (Music) <u> Geographical treatment (Music) <g> Development (Music) <u> Critical appraisal (Music)	Q2 一般的様相：発展、紹介、評価 曲目解説での評価→760.15
Period of stylistic development of music <inv> Stylistic development of music, Period of To 499 (Music) <h> Ancient time (Music) 500-1499 (Music) <s> Ars antiqua (Music) <s> Ars nova (Music) <s> Gothic music 1450- (Music) Modern music Modern music <s> Medieval music Ca. 1450 to ca. 1600 <s> Renaissance music Ca. 1600 to ca. 1750 Nuove musiche <s> Nuove musiche <s> Baroque music Ca. 1750 to ca. 1825 <s> 18th century music <s> Classicism (Music) <s> Preclassicism (Music) <s> Rococo music Ca. 1825 to ca. 1900 <s> 19th century music <s> Nationalism (Music) <s> Romanticism (Music)	民族・国・地域に限定されない楽派・様式 時代区分は西洋音楽のものだが、西欧音楽に限定せず 民族または国で限定されない音楽のすべての時代をここに収める 全般的著作→760.9 特定地域一般の歴史的時代→760.91 特定大陸・国家・地方の歴史的時代 →760.93-.99 X3 例)ゴシック様式、アラブ・アンティク、アラブ・ノヴァ、中世音楽 Q1 近世・近代の音楽はここに分類する 1900-1999年→760.904 2000-2099年→760.905 X3 例)ルネサンス音楽 X3 例)ロマンティック音楽、「新音楽」 X3 例)前古典派、古典派、ロココ様式、18世紀の音楽 1750年頃以前のロココ様式、18世紀前半の音楽→760.9032 X3 例)ロマン派、国民楽派、19世紀の音楽 19世紀前半の音楽→760.9033 20世紀の国民楽派→760.904

音楽細目使用可のもの Q1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/Q2「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む (Including...)注記」/X2「包含 (Contains...)注記」/X3「例 (Examples:)注記」

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)																				
<p>[構成法] (0901-0905) + [(表1a)] 参考:表1aより</p> <p>ハンガリーにあるコレクション 074 748 (074) + (748)</p>	<p>768.904 .905</p>	<p>①1900年-2000年(音楽) アヴァンギャルド(音楽) 印象派(音楽) 新古典派(音楽) ②2000年-2099年(音楽) 21世紀(音楽)</p>																				
<p>[構成法] (091) + (T2の13-19) [+ (表1a)]</p> <p>[例] 1) 熱帯 091 3 = (091) + (3) 2) 熱帯の統計 091 3 021 = (091) + (3) + (021)</p>	<p>.91 .92</p>	<p>③地域、場所一般による扱い(音楽) 場所一般による扱い(音楽) 地域による扱い(音楽)</p>																				
<p>[構成法] (0922) + (T2の3-9)</p> <p>[例] イタリに関する主題の数 092245 = (0922) + (45)</p>	<p>.922</p>	<p>④音楽関係者 <i>i>音楽家 <v>作曲家</p>																				
<p>[構成法] (09) + (T2の3-9) [+ (表1b)]</p> <p>[例] 1) アメリカ合衆国における当該主題 09 73 = (09) + (73) 2) アジアにおける当該主題 09 81 = (09) + (81) 3) 北米における当該主題 09 7 = (09) + (7) 4) ハンガリーのデジタル・コレクション 0901 074 748 = (0901) + (074) + (748) 5) *-ランド人の 09 438 = (09) + (438) 6) カタの*-ランド人の 09 438 0971 = (09) + (438) + (0971)</p>	<p>.93-99 .94 > 761-768 761</p>	<p>⑤特定大陸、国家、地方、または地球外の世界の別による扱い(音楽) 国家による扱い(音楽) 地方による扱い(音楽) 地球外の世界による扱い(音楽)</p> <p>⑥ヨーロッパ音楽</p>																				
		<p>⑦原理、形式、アカパル、声、楽器(音楽) 音楽伝統(日本の音楽をのぞくすべての---)</p>																				
		<p>⑧一般原理および音楽形式 <v>音楽理論</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>概要</p> <table border="0"> <tr> <td>761.01-09</td> <td>音楽細目</td> <td>.5</td> <td>音楽の種類</td> </tr> <tr> <td>.1</td> <td>基本原理</td> <td>.6</td> <td>音楽伝統</td> </tr> <tr> <td>.2</td> <td>音楽の諸要素</td> <td>.7</td> <td>宗教音楽</td> </tr> <tr> <td>.3</td> <td>作曲</td> <td>.8</td> <td>音楽形式</td> </tr> <tr> <td>.4</td> <td>音楽技法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	761.01-09	音楽細目	.5	音楽の種類	.1	基本原理	.6	音楽伝統	.2	音楽の諸要素	.7	宗教音楽	.3	作曲	.8	音楽形式	.4	音楽技法		
761.01-09	音楽細目	.5	音楽の種類																			
.1	基本原理	.6	音楽伝統																			
.2	音楽の諸要素	.7	宗教音楽																			
.3	作曲	.8	音楽形式																			
.4	音楽技法																					
<p>(09) = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない</p>																					
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>	<p>A VMC基本標目語</p>	<p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: ネットになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>																				

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>1900-2000 (Music) <s> Avant-garde (Music) <s> Impressionism (Music) <s> Neoclassicism (Music) 2000-2099 (Music) 21th century (Music)</p>	<p>×3 例) 印象派、新古典派、アヴァンギャルド音楽 初期の印象派→760.9034</p>
<p>Areas, regions, places in general, Treatment by (Music) <u> Places in general, Treatment by <u> Regions, Treatment by</p>	<p>歴史と記述 人物は地域等に関係なく→T1-092 特定大陸・国家・地方の歴史的時代→760.93-.99 人の種類に関する歴史と記述→T1-08</p>
<p>Person associated with music Musician Composer</p>	<p>×3 作曲家、演奏家、批評家 01 一人の作曲者のテーマ索引はここに分類する 一般的テーマ索引→760.216</p>
<p>Persons associated with music. Collected treatment of</p>	
<p>Continents, countries, localities, extraterrestrial worlds, Treatment by specific (Music) <u> Countries, Treatment by specific (Music) <u> Localities, Treatment by specific (Music) <u> Extraterrestrial worlds, Treatment by specific (Music)</p> <p>European music</p>	<p>当該主題の場所別の特定事例の歴史と記述 表1bの二つ以上が同時に有効な時は、T1冒頭の優先順位 表に従う 例) 統計学の雑誌→○T1-021 ×T1-05 例外 (074)で、当該主題の博物館・コレクション、展示は 時代に関わりなくここへ 例) アラウの20世紀美術のコレクション →○DDC709.81074 ×DDC709.810904 人間は場所等に関係なく→T1-092 特定大陸、国、土地に限定されない場所→T1-091 特定種類の人に関する歴史と記述→T1-081-087 職業的・宗教的グループの歴史と記述→T1-088 居住する大陸、国、土地で人種的・民族的・国内的・社会 経済的・宗教的に優勢でない人々の歴史と記述→T1-089 →DDCマニアT1-0902 T1-0922 vs T1-093-099 T1-093-099とT2-3-9 ヨーロッパ起源の音楽と、ヨーロッパ以外の音楽の対照を強調して 論じている著作にのみ用いる</p>
<p>Principle, form, ensemble, voice, instrument (Music) Traditions other than Japanese, Music of all</p>	<p>01 日本の音楽を除くすべての音楽伝統をここに分類する 日本の音楽→769 761-768の2つ以上の細目を含む複合主題→後の番号が優 先(特に指示がない限り) 例1) ヨハン・セバスティアン・バッハのフィロソファ ○767.4183 ×764.183 例2) ヴィヴァルディ ○762.323165 ×761.65 全般的著作→760</p>
<p>General principle and musical form Music theory</p>	<p>01 音楽理論はここに分類する 761の細目は声・楽器・編成を限定しない主題にのみ用 いる 特定できる場合は当該主題に分類し、指示に従って付加 例) 音楽のリトラル 761.44 歌劇(音楽形式)のリトラル 762.1144</p>

音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/02「一般的観点注記(General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む(Including...)注記」/×2「包含(Contains...)注記」/×3「例(Examples:)注記」

<p><g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p>	<p><d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意識語(統一語・参照語が音訳語の場合)</p>	<p>-syn 同意語 -inv 倒置語</p>
<p><g> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題</p>	<p>-tli 音訳語(統一語・参照語が意識語の場合)</p>	<p>-dro 正置語</p>
<p><e> 参照語: 「立ち見席注記」の論題</p>	<p>-sng 単数形の語</p>	
<p><i> 参照語: DDC20の相関索引の語</p>	<p>-plu 複数形の語(特に必要な場合のみ)</p>	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
	.01-.09 761.1 .11 .12 .17	①音楽編目(一般原理および音楽形式) ②基本原理(音楽) ①心理学的原理(音楽) ①宗教的原理(音楽) ①芸術的原理(音楽) 音楽鑑賞 鑑賞(音楽) 趣味(音楽美学) 美学(音楽)
[構成法] (詳細番号) + (表2) 参考:表2より 1)演奏会 078 = (760.78) 2)ロック音楽 166 = (761.66) 3)ロック音楽のリレー 166 144 = (761.66) + (761.44)	> 761.2-.8 .2 .22 .222 .224 .226 .23 .232 .233 .234 .235 .236 .237 .238 .239 .24 .246 .247 .248 .25 .252 .254	③他の原理および音楽形式 ①音楽の要素 科学的原理(音楽) 概要 761.22 時間 .23 楽音 .24 旋律 .25 和声 .26 調性 .28 構造 ①時間(音楽の要素) ①拍(音楽の要素) <テンポ>(音楽の要素) ①リズム ①ミラー(音楽の要素) ①楽音 音(音楽の要素) ①音高 ①音量 ①音色 ①アタックおよび減衰(音楽の要素) 減衰(音楽の要素) ①無音 休止(音楽の要素) ①音程 ①協和音 ①不協和音 ①旋律 ①音階および音階組織 音階組織 ①装飾音 トリル ①主題(音楽の要素) 固定楽想 対主題(音楽の要素) ライトモチーフ ①和声 対位法に関する全般的著作(和声とー) 和声構造 ①和音 フルハーモニー ①終止形
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p>AUMC基本標目語 <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: ネットになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)									
<p>[構成法] (761.256) + (表2) 参考: 表2より</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1) 演奏会 078 = (761.256)</p> <p>2) ロック音楽 166 = (761.266)</p> <p>3) ロック音楽のリハーサル 166 144 = (761.266) + (761.244)</p> </div>	<p>761.256</p> <p>.258</p> <p>.26</p> <p>.262</p> <p>.263</p> <p>.264</p> <p>.265</p> <p>.266</p> <p>.267</p> <p>.268</p> <p>.269</p> <p>.28</p> <p>.282</p> <p>.283</p> <p>.284</p> <p>.285</p> <p>.286</p> <p>.3</p> <p>.32</p> <p>.33</p>	<p>①和声リズム リズム(和声ー)</p> <p>①調性 調の関係</p> <p>①調組織</p> <p>①全音階</p> <p>①中世教会旋法 旋法 西洋の民俗音楽の旋法</p> <p>①旋法(その他のー)</p> <p>I-IV モラル旋法 古代モラル旋法 ビザンツ教会旋法 民俗音楽の旋法 ラガ</p> <p>①アトナリティー 五音音階</p> <p>①全音音階 <syn>六音音階</p> <p>①アトナリティー</p> <p>①トナリティー 12音音楽 12音組織 音列</p> <p>①微分音音階</p> <p>①テクスチャー</p> <p>①モディイ</p> <p>①ヘロメニー</p> <p>①ポリメニー</p> <p>①メロメニー</p> <p>①対位法</p> <p>①作曲</p> <p>①作曲(不確定性および偶然性によるー)</p> <p>偶然性の音楽 偶然性による作曲 偶然性の音楽 不確定性による作曲</p> <p>①レリ作法</p>									
<p>[構成法] (760.33) + (760.330-9) [例] レ音楽の演奏会 760.33 078 = (760.33) + (760.330)</p>	<p>.330 1-.330 9</p>	<p>①音楽編目(レリ作法)</p>									
<p>[構成法] (761.33) + (761.22-28) [例] レ化されたリズム 761.33 24 = (761.33) + (761.224)</p>	<p>.331</p> <p>.331 1</p> <p>.331 2</p> <p>.331 7</p>	<p>①基本原理(レリ作法)</p> <p>①心理学的原理(レリ作法)</p> <p>①宗教的原理(レリ作法)</p> <p>①芸術的原理(レリ作法)</p> <p>鑑賞(レリ作法) 趣味(レリ作法) 美学(レリ作法)</p>									
<p>[構成法] (761.33) + (761.22-28) [例] レ化されたリズム 761.33 24 = (761.33) + (761.224)</p>	<p>.332-.338</p>	<p>①名要素(レリ作法)</p>									
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない</p>											
<table border="0"> <tr> <td>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語</td> <td rowspan="4">} AVMC基本標目語</td> <td><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</td> </tr> <tr> <td>○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語</td> <td><m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題</td> </tr> <tr> <td>● 統一語: AUMC独自の基本標目語</td> <td><u> 参照語: 1ユニットになっている標目語の単一位</td> </tr> <tr> <td>★ 統一語: AUMCの合成標目語</td> <td><v> 参照語: 別名注記の論題</td> </tr> </table>			◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)	○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語	<m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題	● 統一語: AUMC独自の基本標目語	<u> 参照語: 1ユニットになっている標目語の単一位	★ 統一語: AUMCの合成標目語	<v> 参照語: 別名注記の論題
◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)									
○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語		<m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題									
● 統一語: AUMC独自の基本標目語		<u> 参照語: 1ユニットになっている標目語の単一位									
★ 統一語: AUMCの合成標目語		<v> 参照語: 別名注記の論題									

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Harmonic rhythm <iry> Rhythm, Harmonic Tonality Key relationship Tonal system Diatonicism Medieval church mode Mode <s> Western folk music mode Mode, Other Echoi <i> Greek mode <s> Ancient Greek mode <s> Echoi Folk music mode <s> Raga Macrotonality <s> Pentatonicism Whole tonality Whole-tone scale Atonality Dodecaphony <h> Twelve-tone system <h> Twelve-tone system <h> Note row Microtonality Texture Monody Heterophony Polyphony Homophony Counterpoint Composition (Music) Composition, Indeterminacy and aleatory (Music) <u> Aleatory music <u> Aleatory composition (Music) <i> Chance composition <u> Indeterminacy composition (Music) Serialism</p>	<p>調の関係 調組織→761.26 O1 中世の旋法および西洋の民俗音楽の旋法に関する全般的著作はここに分類する その他の旋法→761.264 X3 例) 古代ギリシア旋法、ビザンツ教会旋法、インドのラガ 西洋の民俗音楽の旋法→761.263 全音階的全音より広い単位による音階 X1 五音音階を含む 全音階的全音による音階 無調性の音楽 ドナテ・カフネー→761.268 セー音楽に関する全般的著作→761.33 全音階的半音より狭い音程による音階 単旋律による音楽 2以上の演奏者による部分的な2レを伴う単旋律音楽 2以上の旋律 対位法→761.286 *E2オニー→761.285 相互に従属的な2以上の旋律 独立した2以上の旋律 和声および対位法に関する全般的著作 →761.25 偶然性を基礎とした諸作曲形式</p>
<p>Standard subdivision, Modified (Serialism)</p>	
<p>Basic principle (Serialism) Psychological principle (Serialism) Religious principle (Serialism) Artistic principle (Serialism) <s> Appreciation (Serialism) <s> Taste (Serialism) <s> Aesthetics (Serialism)</p>	<p>美学、鑑賞、趣味→761.3317 X1 美学、鑑賞、趣味を含む</p>
<p>Specific element (Serialism)</p>	<p>オマリティ→761.267</p>
<p>音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記(Class here …)」/O2「一般的観点注記(General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む(Including-)」注記/X2「包含(Contains-)」注記/X3「例(Examples:)」注記</p>	
<p><g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語：「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語：DDC28の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -t1a 意識語(統一語・参照語が音訳語の場合) -t1i 音訳語(統一語・参照語が意識語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] (分類番号) + (表2)</p> <p>[構成法] (761.34) + (DDCの004-006) (冗長にならない限り)</p> <p>[例] デジタル・マイクロコンピュータの使用 761.34 416 = (761.34) + (004.16)</p> <p>DDC番号の使用については保留</p>	<p>761.34</p> <p>.344-.346</p>	<p>①コンピュータによる作曲</p> <p>②エレクトリック音楽（作曲）</p>
<p>(分類番号) + (表2)</p> <p>参考：表2より</p> <p>1) 演奏会 878 = (761.78)</p> <p>2) ロック音楽 166 = (761.66)</p> <p>3) ロック音楽のリレー 166 144 = (761.66) + (761.44)</p>	<p>.36</p> <p>.37</p> <p>.374</p> <p>.377</p> <p>.38</p>	<p>①即興演奏</p> <p>①編曲法 トランスクリプション（作曲）</p> <p>①管弦楽法 クリヤオーケストレーション</p> <p>②ガラルースおよびガロフィー（作曲） ガロフィー（作曲） ガラルース（作曲）</p> <p>①編曲</p>
<p>[構成法] (761.38) + (762-768)</p> <p>[例] ヴァイオリン曲の編曲 761.38 72 = (761.38) + (767.2)</p>	<p>.382-.388</p>	<p>①原作の声、楽器、楽器群による区分（編曲）</p>
<p>[構成法] (分類番号) + (表2)</p> <p>参考：表2より</p> <p>1) 演奏会 878 = (761.78)</p> <p>2) ロック音楽 166 = (761.66)</p> <p>3) ロック音楽のリレー 166 144 = (761.66) + (761.44)</p>	<p>.4</p> <p>.42</p> <p>.423</p> <p>.424</p> <p>.426</p> <p>.43</p> <p>.432</p> <p>.434</p> <p>.436</p> <p>.438</p> <p>> 761.44-.48</p> <p>.44</p> <p>.45</p> <p>.46</p> <p>.47</p> <p>.47 (作品への付加 ファセットとして 用いる場合)</p> <p>.48</p> <p>.49</p>	<p>①音楽実技</p> <p>①音楽技能およびレパートリーの習得</p> <p>①リトリーディングおよびスコアリーディング リトリーディング 視覚的技術（音楽） スコアリーディング</p> <p>①聴音および聴覚訓練 聴覚訓練法 聴覚技術（音楽） 聴覚訓練</p> <p>①記憶法（音楽）</p> <p>①演奏技術 ガイダート</p> <p>①演奏時間</p> <p>①和声付け</p> <p>①移調</p> <p>①アコーディオン技術</p> <p>①個々の演奏技術</p> <p>①練習（音楽） リレー（音楽技術）</p> <p>①指揮法</p> <p>①解釈（音楽） リレー</p> <p>①伴奏法</p> <p>①演奏低音付き</p> <p>①呼吸および共鳴（音楽） 共鳴の技術（音楽） 呼吸技術（音楽）</p> <p>①音楽の録音</p>
<p>{ } = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語</p> <p>○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語</p> <p>● 統一語：AUMC独自の基本標目語</p> <p>★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p>A V M C 基本標目語</p> <p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語：ユニットになっている標目語の単位</p> <p><v> 参照語：別名注記の論題</p>		

	統一語と参照語 (欧米語形)	注記
	Computer composition (Music)	デジタル・コンピュータの使用 → O 761.34 X 761.344
	Computer science aspect (Musical composition)	
1 2	<ul style="list-style-type: none"> . Extemporization <h> Improvisation Arrangement (Music) <s> Transcription (Musical composition) Orchestration Orchestration Paraphrase and parody (Musical composition) <u> Parody (Musical composition) <u> Paraphrase (Musical composition) Arrangements (Music) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 例) トランスクリプション 編曲 → 761.38
	Arrangements of music divided by original voice, instrument and ensemble	単独では使用しない (他の番号との合成にのみ用いる) → A708T = 「… (編曲)」 → AUMARC 目録マニュアル CL1004 → DDCマニュアル 761.382-.388
	<ul style="list-style-type: none"> Technique of music Musical skills and learning a repertoire, Technique for acquiring Sight and score reading <u> Sight reading Visual technique (Music) <u> Score reading Listening and ear training <i> Listening training method Aural technique (Music) <u> Ear training Memorizing (Music training method) Performance technique <i> Vibrato (Music) Playing time Harmonization Transposition Ensemble technique Specific performance technique Rehearsal and practice (Music) <i> Rehearsal (Musical technique) Conducting Interpretation (Music) <s> Rubato Accompaniment 1 <s> Continuo, With 2 <s> Thorough bass, With 3 <s-syn> Basso continuo, With Breathing and resonance (Music) <u> Resonance (Musical technique) <u> Breathing (Musical technique) Recording of music 	<ul style="list-style-type: none"> 作曲技術 → 761.3 O1 視覚技術はここに分類する O1 聴覚技術はここに分類する 即興 → 761.36 個々の演奏技法 → 761.44-.48 楽器演奏の技術 → 764.193 全般的著作 → 761.43 ※ 含む ※1 通奏低音を含む → AUMCマニュアル 761.47 通奏低音を含むカンツォーネや独奏曲にのみ用いるが、通奏低音の声部を鍵盤楽器等 (ループソート、オルガン、リュート etc) 単一の楽器で演奏している独奏曲には用いない → A708T = 「… (通奏低音付き)」 → AUMARC 目録マニュアル CL1002 楽器演奏に伴う呼吸および共鳴 → 764.1932 録音および再生装置 → DDC621.3893 NDC547.33 音楽録音資料の扱い → 760.266

音楽細目使用可のもの O1 「ここに分類せよ注記 (Class here …)」 / O2 「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ※1 「含む (Including-)」注記 / ※2 「包含 (Contains-)」注記 / ※3 「例 (Examples-)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-t1a 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-t1i 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] (編修番号) + (表2) 参考：表2より</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1) 演奏会 878 = {761.52}</p> <p>2) ロック音楽 166 = {761.53}</p> <p>3) ロック音楽の70-90 166 144 = {761.53} + {761.54}</p> </div>	<p>761.5</p> <p>.52</p> <p>.522</p> <p>.522 2</p> <p>.522 8</p> <p>.523</p> <p>.524</p> <p>.524 2</p> <p>.524 4</p> <p>.524 6</p> <p>.524 8</p> <p>.53</p> <p>.532</p> <p>.534</p> <p>> 761.535-.539</p> <p>.535</p> <p>.536</p> <p>.538</p> <p>.539</p> <p>.54</p> <p>.542</p> <p>.544</p> <p>.546</p> <p>.55</p> <p>.552</p> <p>.554</p> <p>.556</p> <p>.56</p> <p>.57</p>	<p>① 特定種類の音楽</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>概要</p> <p>761.52 特定日時のための音楽</p> <p>.53 特定状況のための音楽</p> <p>.54 特定メディアのための音楽</p> <p>.55 公共娯楽音楽</p> <p>.56 標題音楽</p> <p>.57 活動の伴奏音楽</p> <p>.58 冠婚葬祭のための音楽</p> <p>.59 その他の主題を反映する音楽</p> </div> <p>② 特定日時のための音楽</p> <p>日時のための音楽</p> <p>③ 曜日の音楽（1週間の---）</p> <p><dr> 1週間の曜日の音楽</p> <p>日の音楽</p> <p>④ 日曜日の音楽</p> <p>⑤ 土曜日の音楽</p> <p>⑥ 1日の時刻の音楽</p> <p>朝の音楽</p> <p>午後の音楽</p> <p>夕べの音楽</p> <p>夜の音楽</p> <p>⑦ 季節の音楽</p> <p>⑧ 春の音楽</p> <p>⑨ 夏の音楽</p> <p>⑩ 秋の音楽</p> <p>収穫の音楽</p> <p>⑪ 冬の音楽</p> <p>⑫ 特定状況のための音楽</p> <p>⑬ 野外の音楽</p> <p>街頭音楽</p> <p>⑭ 屋内の音楽</p> <p>⑮ 個々の屋内</p> <p>⑯ 家庭の音楽</p> <p>⑰ 宮廷の音楽</p> <p>⑱ 劇場の音楽</p> <p>⑲ エンターテインメントの音楽</p> <p>⑳ 特定媒体のための音楽</p> <p>マスメディアの音楽</p> <p>㉑ 映画音楽</p> <p>㉒ ラジオ音楽</p> <p>㉓ テレビ音楽</p> <p>㉔ 公共娯楽に伴う音楽</p> <p>娯楽（演奏）</p> <p>㉕ 劇音楽</p> <p>劇付随音楽</p> <p>㉖ 舞曲</p> <p><syn> 舞踊音楽</p> <p>㉗ バレ音楽</p> <p>㉘ 標題音楽</p> <p>㉙ 行為に伴う音楽</p> <p>就任の音楽</p> <p>入会儀式の音楽</p>
<p>(編修) = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>	
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語</p>	<p>A VMC基本標目語</p>	<p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語：エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語：別名注記の論題</p>

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Kind of music</p> <p>Times, Music for specific</p> <p><i> Times, Music for Days of week, Music for Days of week, Music for</p> <p><i> Days, Music for Sunday, Music for Saturday, Music for Times of day, Music for</p> <p><s> Morning music <s> Afternoon music <s> Evening music <i> Night music</p> <p>Seasons, Music for Spring, Music for Summer, Music for Autumn, Music for</p> <p><s> Harvest music Winter, Music for Setting, Music in specific</p> <p>Outdoor music <s> Street music Indoor music</p> <p>Indoor settings, Music in specific</p> <p>Domestic setting, Music in Court setting, Music in Theater setting, Music in Concert hall, Music in Media, Music for specific</p> <p><i> Mass media music Film music Radio music Television music Public entertainment, Music accompanying</p> <p>1 <h-inv> Music accompanying public entertainments</p> <p>2 <i> Entertainment (Performance) Dramatic music Incidental dramatic music Dance music Dance music Ballet music</p> <p>Program music</p> <p>Activities, Music accompanying <s> Inauguration, Music accompanying <s> Initiation rite, Music accompanying</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p>×3 例) 朝、正午、午後</p> <p></p> <p>×1 収穫を含む</p> <p>×1 街頭音楽を含む 個々の屋内→761.535-.539</p> <p>宗教的な集会での音楽→761.7 全般的著作→761.534</p> <p>ここに分類するのはバックグラウンド・ミュージックまたは4-ト音楽のみ 映画の音声同期→DDC778.5344 NDC テレビ番組の音声同期→DDC778.59 NDC 劇付随音楽はここに分類する</p> <p>01 声楽の劇音楽→762.1 バレ音楽→761.556</p> <p>バレ曲、バレ組曲のいずれにもバレレ・ファセット (1556) を付加する →AUMARC目録マニ74 CL1007 音楽以外の概念の音楽表現 例) 海を表わしている音楽 音楽以外の概念を表わす音楽形式 →764.18 例) 夜想曲 764.18966 ×3 例) 就任、入会 冠婚葬祭のための音楽→761.58 その他の主題を反映する音楽→761.59</p>
<p>音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む (Including-...)」注記/×2「包含 (Contains-...)」注記/×3「例 (Examples:)」注記</p>	
<p><g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p> <p><c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題</p> <p><s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題</p> <p><i> 参照語: DDC20の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題</p> <p>-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)</p> <p>-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)</p> <p>-sng 単数形の語</p> <p>-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)</p> <p>-syn 同意語</p> <p>-inv 倒置語</p> <p>-drc 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (表1の番号) + (表2) 参考: 表2より</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1) 演奏会 078 = {761.78}</p> <p>2) ロック音楽 166 = {761.66}</p> <p>3) ロック音楽のリハーサル 166 144 = {761.66} + {761.44}</p> </div>	<p>761.58</p> <p>.582</p> <p>.583</p> <p>.584</p> <p>.586</p> <p>.587</p> <p>.588</p> <p>.59</p> <p>.592</p> <p>.593</p> <p>.594</p> <p>.595</p> <p>.599</p> <p>.6</p>	<p>①冠婚葬祭のための音楽 風習(音楽)</p> <p>②誕生および幼年期の音楽 割礼の音楽 産褥の音楽 出産の音楽 洗礼命名式の音楽 洗礼の音楽 幼年期の音楽 幼児の洗礼の音楽</p> <p>③思春期の音楽 成人式(宗教儀式)の音楽 通過儀礼の音楽 ハズミツクノの音楽 ハクミツクノの音楽</p> <p>④成年期の音楽 成年の音楽 デビューの音楽</p> <p>⑤求愛および婚約の音楽 婚約の音楽 求婚の音楽</p> <p>⑥結婚式および結婚の音楽 結婚の音楽 婚礼音楽</p> <p>⑦死に伴う音楽 哀悼の音楽 火葬 死者埋葬の音楽 葬式 通夜(音楽) 埋葬音楽</p> <p>⑧その他の主題を反映する音楽 ⑨抵抗の音楽 ⑩労働の音楽 ⑪スナッフおよび余暇の音楽 余暇の音楽 ⑫海洋生活の音楽 ⑬愛国的、政治的、軍事的音楽 軍事的音楽 政治的音楽 歴史的事件を記念する音楽</p> <p>⑭音楽伝統</p> <p><inv> 伝統(音楽--)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>概要</p> <p>761.62 民俗音楽</p> <p>.63 *ビュラ音楽</p> <p>.64 西洋の*ビュラ音楽</p> <p>.65 ジョリス</p> <p>.66 ロック(ロックD-L)</p> <p>.68 西洋芸術(クラシック)音楽</p> <p>.69 非西洋芸術音楽</p> </div>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語: エントリになっている標目語の単一位</p> <p><v> 参照語: 別名注記の論題</p>	<p>.62</p> <p>⑭民俗音楽</p>

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Stages of the life cycle, Music accompanying</p> <p><i> Custom, Music accompanying social</p> <p>Birth and infancy, Music accompanying</p> <p><s> Circumcision, Music accompanying</p> <p>Confinement (childbirth), Music accompanying</p> <p><i> Childbirth, Music accompanying</p> <p><i> Christening, Music accompanying</p> <p><s> Baptism, Music accompanying</p> <p><u> Infancy, Music accompanying</p> <p><s> Infant baptism, Music accompanying</p> <p>Attainment of puberty, Music accompanying</p> <p><i> Confirmation (Religious rite), Music accompanying</p> <p>Attainment of puberty, Music accompanying</p> <p><i> Bath mitzvah, Music accompanying</p> <p><s> Bar mitzvah, Music accompanying</p> <p>Attainment of majority, Music accompanying</p> <p><i> Majority (Age), Music accompanying</p> <p><s> Debut, Music for</p> <p>Courtship and betrothal, Music accompanying</p> <p><u> Betrothal, Music accompanying</p> <p>Courtship, Music accompanying</p> <p>Weddings and marriage, Music accompanying</p> <p><u> Marriage, Music accompanying</p> <p><i> Wedding music</p> <p>1 Dying and death, Music accompanying</p> <p>2 <u> Death, Music accompanying</p> <p><s> Mourning, Music for</p> <p><s> Cremation, Music for</p> <p><i> Dead, Music accompanying disposal of the</p> <p><s> Funeral, Music for</p> <p><i> Wake (Music)</p> <p>1 <s> Funeral music</p> <p>2 <s> Burial, Music for</p> <p>Music reflecting other themes and subjects</p> <p>Protest music</p> <p>Work music</p> <p>Sports and recreation, Music about</p> <p><u> Recreational music</p> <p>Sea life, Music about</p> <p>Patriotic, political, military music</p> <p><u> Military music</p> <p><u> Political music</p> <p>Historical events, Music commemorating</p> <p>1 Traditions of music</p> <p>2 <i> Musical tradition</p> <p>Tradition, Musical</p>	<p>※ 例) 幼児の洗礼および割礼の音楽 産褥のための音楽はここに分類する</p> <p>※ 例) bar mitzvahsの音楽 参考: bar mitzvah ハ"ル=ミツハ- 19th 教の成人式 bath mitzvah ハ"ス=ミツハ- 19th 教の女子成人式</p> <p>※ 例) 社交会へのデビューの音楽</p> <p>※ 例) 埋葬、火葬、葬式、哀悼の音楽</p> <p>○1 歴史的な事件を記念する音楽はここに分類する</p> <p>特定の伝統を強調した著作</p> <p>西欧の芸術音楽の系譜に属するもの以外はすべてここに分類する 例外: 日本の音楽→769</p>
<p>Folk music</p>	<p>□承によって受け継がれるその文化圏固有の音楽 特定の場所の音楽・お遊び演奏→760.9 →AUMC760.89 vs. 761.62</p>

音楽細目使用可のもの ○1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/○2「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む (Including...)」注記/×2「包含 (Contains...)」注記/×3「例 (Examples:)」注記

- | | | |
|---|---------------------------|----------|
| <g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題
(全下位区分に適用可の観点) | <d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 | -syn 同意語 |
| <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 | -tia 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) | -inv 倒置語 |
| <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 | -tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) | -drc 正置語 |
| <i> 参照語: DDC28の相関索引の語 | -sng 単数形の語 | |
| | -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ) | |

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] (761.620) + (760.901-.905) [例] 民俗音楽の演奏会 761.620 078 = {761.620} + {078}</p>	761.620 01-.620 07	◎音楽編目（民俗音楽）
	.620 08 .620 09	◎特定種類の人間の集団の民俗音楽の歴史および紹介 ◎歴史的、地理的、人間の扱い（民俗音楽）
<p>[構成法] (761.620.090) + (760.901-.905) [例] 1775年の民俗音楽 761.620 090 31 = {761.620.090} + {760.903}</p>	.620 090 1- .620 090 5	◎時代区分（民俗音楽）
	.620 091-.620 099 .620 092	◎地理的および人間の扱い（民俗音楽） ○民俗音楽家
<p>[構成法] (761.620) + (761.65) [例] 1) 春のための民俗音楽 761.620 5242 = {761.620} + {761.5242} 2) 春のための民俗音楽のリズム 761.620 5242 144 = 761.620 5242 + {761.144}</p>	.620 1-.620 5	◎一般原理（民俗音楽）
<p>[構成法] (761.6206) + (761.65+.65) [例] 1) 民俗音楽のジ・アスによる影響 761.6206 5 = {761.6206} + {761.65} 2) ジ・アスに影響された民俗音楽の演奏会 761.6206 5 078 = 761.6206 5 + {760.78}</p>	.620 6	◎他の音楽伝統からの様式上の影響（民俗音楽）
<p>[構成法] (761.62) + (75.13) [+ (表3)] [例] スペイン人の民俗音楽 761.62 61 = {761.62} + {61} 参考：表3より</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1) スペイン人の民俗音楽の演奏会 761.62 61 0078 = 761.62 61 + {000} + {760.78}</p> <p>2) 1775年時代のスペイン人の民俗音楽 761.62 61 009031 = 761.62 61 + {0090} + {760.903}</p> <p>3) 春のためのスペイン人民俗音楽 761.62 61 01 5242 = 761.62 61 + {001} + {761.5242}</p> <p>4) 春のためのスペイン人民俗音楽のリズム 761.62 61 01 5242 1224 = 761.62 61 01 5242 + {761.1224}</p> <p>5) ジ・アスに影響されたスペイン人の民俗音楽 761.62 61 025 = 761.62 61 + {002} + {761.65}</p> <p>6) ジ・アスに影響されたスペイン人の民俗音楽の演奏会 761.62 61 025 078 = 761.62 61 025 + {760.78}</p> <p>7) ニューヨーク市のスペイン人の民俗音楽 761.62 61 0 7471 = 761.62 61 + {0} + {7471}</p> </div>	.621-.629	◎人種、民族、国民の民俗音楽（個々の一） 国民の民俗音楽（個々の一） 人種の民俗音楽（個々の一） 民族の民俗音楽（個々の一）
<p>{ } = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽編目は、内容が標準編目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語</p>	<p>A VMC基本標目語</p>	<p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 （統一語に採用されなかったもの） <m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語：1:1になっている標目語の単位 <v> 参照語：別名注記の論題</p>

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Standard subdivision, Modified (Folk music)	
History and description of folk music with respect to kinds of persons Historical, geographical, persons treatment (Folk music)	
Historical period (Folk music)	
Geographical and persons treatment (Folk music) <i> Folk musician	個々の人種、民族、国民の民俗音楽の地理的扱い →761.621-.629
General principle (Folk music)	
Stylistic influence of other traditions of music (Folk music)	
Racial, ethnic, national groups, Folk music of specific <u> National groups, Folk music of specific <u> Racial groups, Folk music of specific <u> Ethnic groups, Folk music of specific	

音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here …)」/O2「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む (Including…)」注記/X2「包含 (Contains…)」注記/X3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点）	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tia 意訳語（統一語・参照語が音訳語の場合）	-syn 同意語 -inv 倒置語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-tli 音訳語（統一語・参照語が意訳語の場合）	-drc 正置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-eng 単数形の語	
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] (表4番号) + (表4)</p> <p>参考: 表4より</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1) 演奏 078 = (760078)</p> <p>2a) 春の音楽 15 242 = (15) + (761.242)</p> <p>2b) 春の音楽の旋律 15 242 124 = 15 242 + (761.242)</p> <p>3a) 民俗音楽の影響 16 2 = (16) + (761.62)</p> <p>3b) 民俗音楽に影響された音楽の演奏会 16 2 078 = 16 2 078 + (761.62)</p> </div>	<p>> 761.63-.69</p>	<p>◎その他の音楽伝統</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>概要</p> <p>761.63 *ビュラ音楽</p> <p>.639 日本の*ビュラ音楽</p> <p>.6393 演歌など</p> <p>[.6394] 日本の西洋*ビュラ音楽</p> <p>[.6395] 日本のジャズ</p> <p>[.6396] 日本のロック</p> <p>.6397 日本の子供の歌</p> <p>.64 西洋の*ビュラ音楽</p> <p>アメリカの*ビュラ音楽</p> <p>.642 カントリー&ウエスタン</p> <p>.643 ブルース</p> <p>.644 ソウルミュージック</p> <p>.65 ジャズ</p> <p>.652 初期のジャズ</p> <p>.653 トランジショナル・ジャズ</p> <p>.654 メインストリーム・ジャズ</p> <p>.655 モダン・ジャズ</p> <p>.656 アヴァンガード・ジャズ</p> <p>.657 ハイブリッド・スタイル</p> <p>.66 ロック</p> <p>.662 初期のロック</p> <p>.663 アリテックニク・ロックの時代</p> <p>.664 多様化の時代</p> <p>.665 80年代のロック</p> <p>.67 フュージョン（音楽）</p> <p>[.68] 西洋芸術（クラシック）音楽</p> <p>.69 非西洋芸術音楽</p> </div>
	<p>.63</p> <p>.639</p> <p>.6393</p> <p>[.6394]</p> <p>[.6395]</p> <p>[.6396]</p> <p>.6397</p>	<p>◎*ビュラ音楽</p> <p><syn>*ジャズ</p> <p>*ビュラ音楽（西洋以外のー）</p> <p>◎*ビュラ音楽（日本のー）</p> <p>日本の*ビュラ音楽</p> <p>●演歌、艶歌、民謡（民俗芸能ではないもの）</p> <p>民謡（民俗芸能ではない）</p> <p>（日本のー）</p> <p>演歌</p> <p>艶歌</p> <p>●西洋*ビュラ音楽（日本のー）</p> <p>●ジャズ（日本のー）</p> <p>●ロック（日本のー）</p> <p>●日本の子供の歌</p>
	<p>.64</p>	<p>◎西洋*ビュラ音楽</p> <p>スキャット</p> <p>ラグタイム</p>
	<p>.642</p> <p>.643</p> <p>.644</p>	<p>アメリカの*ビュラ音楽</p> <p>◎カントリー</p> <p>◎ブルース</p> <p>リズム・アンド・ブルース</p> <p>◎ソウルミュージック</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する</p> <p>網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語</p> <p>○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語</p> <p>● 統一語: AUMC独自の基本標目語</p> <p>★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語</p> <p>⇨ = も見よ [] = 使用しない</p> <p>A VMC基本標目語</p>	<p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位</p> <p><v> 参照語: 別名注記の論題</p>

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Traditions of music, Other than folk music</p> <p>→ ※761.63音楽の細分→別表16</p> <p>→ ※761.64音楽の細分→別表16</p> <p>→ 西洋の※761.65音楽の細分→別表16</p> <p>→ ※761.66の細分→別表16</p> <p>→ ※761.67の細分→別表16</p>	<p>全般的著作→761.6 761.63-.66 は762.42に対して付加ファセットとして用いられ て、*ヒュー・ソングのタイプを示すことが多い</p>
<p>Popular music</p> <p>Pops</p> <p>Popular music, Non-Western</p> <p>Popular music of Japan</p> <p><dro> Japan, Popular music of</p> <p>Enka and folk song of Japan</p> <p><u> Folk song of Japan</p> <p><u> Enka</p> <p><u> Enka</p> <p>Western popular music of Japan</p> <p>Jazz of Japan</p> <p>Rock of Japan</p> <p>Children's song of Japan</p>	<p>*ヒュー音楽一般：西洋以外の*ヒュー音楽はここに分類 する</p> <p>西洋の*ヒュー音楽→761.64 特に日本との関連で論じている著作→769.163-.168</p> <p>いわゆる「流行歌」はここに分類する 特に日本との関連で論じている著作→769.163 民俗芸能としての日本民謡→769.36</p> <p>→761.64 特に日本との関連で論じている著作→769.164</p> <p>→761.65 特に日本との関連で論じている著作→769.165</p> <p>→761.66 特に日本との関連で論じている著作→769.166 特に日本との関連で論じている著作→769.167</p>
<p>Western popular music</p> <p><s> Skiffle</p> <p><s> Ragtime</p>	<p>例 ラグタイム、ワグイ、スキッフル</p> <p>西洋の*ヒュー音楽の作品はほとんどが歌→762.42164 ジマス→761.65 ロック→761.66</p>
<p>American popular music</p> <p>Country music</p> <p>Blues</p> <p><c> Rhythm and blues</p> <p>Soul music</p>	<p>例 アル・ゴブズ音楽はここに分類する 例 リズム・アンド・ブルースはここに分類する</p>
<p>音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/O2「一般的観点注記(General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む(Including...)注記」/X2「包含(Contains...)注記」/X3「例(Examples:)注記」</p>	
<p><g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p> <p><c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題</p> <p><s> 参照語：「立ち見席注記」の論題</p> <p><i> 参照語：DDC20の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題</p> <p>-tia 意訳語(統一語・参照語が音訳語の場合)</p> <p>-tii 音訳語(統一語・参照語が意訳語の場合)</p> <p>-sng 単数形の語</p> <p>-plu 複数形の語(特に必要な場合のみ)</p> <p>-syn 同意語</p> <p>-inv 倒置語</p> <p>-dro 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] (表4番欄) + (表4)</p> <p>参考: 表4より</p> <p>1) 演奏 078 = (760.78)</p> <p>2a) 春の音楽 15 242 = (15) + (761.242)</p> <p>2b) 春の音楽の旋律 15 242 124 = 15 242 + (761.24)</p> <p>3a) 民俗音楽の影響 16 2 = (16) + (761.62)</p> <p>3b) 民俗音楽に影響された音楽の演奏会 16 2 078 = 16 2 078 + (760.78)</p>	<p>761.65</p> <p>.65 092</p> <p>.652</p> <p>.653</p> <p>.654</p> <p>.655</p> <p>.656</p> <p>.657</p> <p>.66</p> <p>.66092</p> <p>.662</p> <p>.663</p> <p>.664</p> <p>.665</p> <p>.67</p> <p>[.68]</p> <p>.69</p>	<p>①ジャズ</p> <p>○ジャズ音楽家 <i-tli>ジャズ・ミュージシャン</p> <p>●ジャズ（初期のあるいは1914年以前の—）</p> <p>●ジャズ（トラディショナルジャズあるいは1915-1934年の—） カンサス・シティ・ジャズ サウスウエスト・ジャズ シカゴ・ブレイク・バンド（ジャズ） ディキシーランド・ジャズ ニューオーリンズ・ジャズ ニュー・オーリンズ・ジャズ ハード・ジャズ</p> <p>●メロストリーム・ジャズあるいは1935-1944年のジャズ スイング（音楽）</p> <p>●ビバップ・ジャズあるいは1945-1954年のジャズ クール・ジャズ ハード・ビバップ ハード・ビバップ フュージョン・ジャズ</p> <p>●アバンギャルド・ジャズあるいは1955-1969の ジャズ</p> <p>●ジャズ（ハード・スタイルあるいは1955-1969年 およびそれ以後の—） フュージョン（ジャズ） ソフト・ジャズ サート・ストリーム・ジャズ <g-tla>アフリカ系フュージョン音楽（ジャズ）</p> <p>●ロック</p> <p>ソフト・ロック フォーク・ロック ロック・ロール</p> <p>○ロック・ミュージシャン <i-tla>ロック音楽家</p> <p>●ロック（初期のロックあるいは50年代の—）</p> <p>●ブリティッシュ・ロックの時代あるいは60年代のロック</p> <p>●ロック（多様化時代のロックあるいは70年代 の—）</p> <p>●ロック（80年代以後の—）</p> <p>●フュージョン（音楽）</p> <p>①芸術音楽（西洋—） 西洋芸術音楽 <syn>クラシック音楽</p> <p>①芸術音楽（非西洋—） 非西洋芸術音楽</p>
<p>[] = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p>A VMC基本標目語</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p> <p><t> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語：1ユニットになっている標目語の1単位</p> <p><v> 参照語：別名注記の論題</p>	

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Jazz</p> <p><i> Jazz musician</p> <p><i> Jazz musician Jazz, Early</p> <p>Jazz, Traditional</p> <p><s> Kansas City jazz</p> <p><s> Southwest jazz</p> <p><s> Chicago breakdown (Jazz)</p> <p><s> Dixieland jazz</p> <p><s> New York jazz</p> <p><s> New Orleans jazz</p> <p><s> Harlem jazz</p> <p>Mainstream jazz</p> <p><s> Swing (Music)</p> <p>Modern jazz</p> <p><s> Cool jazz</p> <p><s> Bop</p> <p><s> Bebop</p> <p><s> Progressive jazz</p> <p>Avant-garde jazz</p> <p>Hybrid style (Jazz)</p> <p><s> Afro-Cuban music (Jazz)</p> <p><s> Indo-jazz</p> <p><s> Third stream jazz</p>	<p>01 ジャズの起源はここに分類する</p> <p>*3 例) ニューオーリンズ、ディキシーランド、サウスウエスト、カンガス・シチー、ハーレム、白人ニューヨークスタイル、シカゴ・ブレイクダウン</p> <p>*1 スwingを含む</p> <p>*3 例) ハップ (ビートハップ)、ハードハップ、クールジャズ、フュージョンジャズ、アヴァンギャルド・ジャズ → 761.656</p> <p>*3 例) アフロ・キューバン、サード・ストリーム、インスト・ジャズ</p>
<p>Rock (Music)</p> <p><u> Acid rock</p> <p><s> Soft rock</p> <p><s> Folk rock</p> <p><h> Rock'n'roll</p> <p><i> Rock musician</p> <p><i> Rock musician Rock, Early</p> <p>British rock</p> <p>Rock of the 70's</p> <p>Rock of the 80's and after</p>	<p>*3 例) アシッド・ロック、フォーク・ロック、ハード・ロック、ソフト・ロック</p>
<p>Fusion (Music)</p>	<p>同時にいくつかのジャンルに属する西洋のポピュラー音楽</p>
<p>Art music, Western</p> <p><drc> Western art music</p> <p>Classical music</p>	<p>多くの音楽伝統のひとつとしてのクラシック音楽</p> <p>01 芸術音楽に関する包括的著作はここに分類する</p> <p>芸術 (クラシック) 音楽に関する一般的な著作 → 760</p> <p>非西洋芸術音楽 → 761.69</p>
<p>Art music, Non-Western</p> <p><drc> Non-Western art music</p>	<p>日本の芸術音楽 → 769</p>

音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの *1「含む (Including...)」注記/*2「包含 (Contains...)」注記/*3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<g> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)						
	761.7	◎宗教音楽 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 概要 761.700 1-.700 9 音楽細目 .701-.706 一般原理 .71 キリスト教宗教音楽 .72 キリスト教の年間行事の音楽 .73 古代(ギリシア・ローマ)および ケルムの諸宗教の音楽 .74-.79 その他の宗教の音楽 </div>						
[構成法] (761.70) + (760.34-.9) [例] 宗教音楽の演奏会 761.70 078 = (761.70) + (760.78)	.700 1-.700 9	◎音楽細目(宗教音楽)						
[構成法] (761.70) + (761.24-.8) [例] 1) 宗教音楽の和声リズム 761.70 256 = (761.70) + (761.256) 2) 宗教音楽の和声リズムの鑑賞 761.70 256 117 = 761.70 256 + (761.117)	.701-.706	◎一般原理(宗教音楽)						
	.71	◎キリスト教宗教音楽 教会音楽						
[構成法] (761.710) + (760.34-.9) [例] キリスト教宗教音楽の演奏会 761.710 078 = (761.710) + (760.78)	.710 01-.710 09	◎音楽細目(キリスト教宗教音楽)						
[構成法] (761.710) + (761.24-.8) [例] 1) キリスト教宗教音楽の和声リズム 761.710 256 = (761.710) + (761.256) 2) キリスト教宗教音楽の和声リズムの鑑賞 761.710 256 117 = 761.710 256 + (761.117)	.710 1-.710 6	◎原理(キリスト教宗教音楽の一般一)						
[構成法] (761.71) + (77の24-28) [+ (表5a)] [例] ハンガリスティック派の宗教音楽 761.71 61 = (761.71) + (261) 参考: 表5aより <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 1) ハンガリスティック派の宗教音楽の演奏会 761.71 61 00 78 = 761.71 61 + (00) + (760.78) 2) ハンガリスティック派の宗教音楽の和声リズム 761.71 61 0 256 = 761.71 61 + (0) + (761.256) 3) ハンガリスティック派の宗教音楽の和声リズム の鑑賞 761.71 61 0256 117 = 761.71 61 0256 + (760.117) </div>	.711-.718 .712 .713 .7141 .7151 .7161 .717	◎キリスト教宗教音楽(個々の教派の一) ○D-M・カトリック教会の音楽 ○英国国教会系教会の音楽 ○L-M教会の音楽 ○長老派教会の音楽 ○ハンガリスティック派の宗教音楽 ○カギヤム教会の音楽						
[構成法] (761.72) + (表2) [例] キリスト教の年間行事の音楽 761.72 078 = (761.72) + (760.78)	.72 .722	◎キリスト教の年間行事の音楽 教会暦(音楽) ◎待降節の音楽						
() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">} —</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エッセイになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題 </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; font-weight: bold;">AUMC基本標目語</td> </tr> </table>			◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語	} —	<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エッセイになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題	AUMC基本標目語		
◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語	} —	<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エッセイになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題						
AUMC基本標目語								

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Sacred music	冠婚葬祭に伴なう宗教音楽→761.58 一般的にキリスト教音楽を意味する「教会音楽」→761.71 宗教声楽曲→762.22
Standard subdivision, Modified (Sacred music)	
General principle (Sacred music)	
Christian sacred music <i> Church music	キリスト教の年間行事の音楽→761.22
Standard subdivision, Modified (Christian sacred music)	
General principle (Christian sacred music)	
Christian sacred music of specific denomination <i> Roman Catholic sacred music <i> Anglican sacred music <i> Lutheran sacred music <i> Presbyterian sacred music <i> Baptist sacred music <i> Methodist sacred music	
Christian church year, Music of <i> Church year (Music) Advent, Music of	

音楽細目使用可のもの 01 「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / 02 「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの *1 「含む (Including...)」注記 / *2 「包含 (Contains...)」注記 / *3 「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点）	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意識語（統一語・参照語が音訳語の場合）	-inv 倒置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語（統一語・参照語が意識語の場合）	-drc 正置語
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (表2) + (表2) 参考: 表2より</p> <p>1) 演奏会 078 = (760.78) 2) ロック音楽 166 = (761.66) 3) ロック音楽のリレー 166 144 = (761.66) + (761.44)</p>	<p>761.723 .724 .725 .725 5 .726 .727 .728 .729 .729 3 .729 4 .73</p>	<p>⑥ クリスマスの音楽 クリスマス・シーズンの音楽 ⑥ 公現祭の音楽 <syn> 神現祭の音楽 <syn> 顕現(音楽) ⑥ 四旬節の音楽 ⑥ 受難節の音楽 ⑥ 聖週間(音楽) <s-syn> 洗足木曜日の音楽 しゅろの主日の音楽 聖木曜日の音楽 聖金曜日の音楽 ⑥ 復活日の音楽 復活節の音楽 ⑥ 昇天節の音楽 ⑥ 聖霊降臨日および三位一体主日の音楽 三位一体主日の音楽 ⑥ 聖霊降臨祭の音楽 <syn> 聖霊降臨日 ⑥ 三位一体主日の音楽 ⑥ 古代およびキリストの諸宗教の宗教音楽 ゲルマンの宗教音楽 古代ギリシアの宗教音楽 古代ローマの宗教音楽</p>
<p>[構成法] (表2) + (T7の294-298) + (表5b) [例] 19th教音楽 761.76 = (761.76) + (298) 参考: 表5b</p> <p>1) 19th教音楽の演奏会 761.76 00 78 = 761.76 + (760.78) 2) 19th教音楽の和声リスト4 761.76 0 256 = 761.76 + (表) + (761.256) 3) 19th教音楽の和声リスト4の鑑賞 761.76 0 256 117 = 761.76 0 256 + (760.117)</p>	<p>.74-.79 .743 .745 .76 .771 .79512 .79514</p>	<p>⑥ 宗教音楽(その他の宗教の---) ○ 仏教音楽 ○ ヒンズー教の音楽 ○ 19th教の音楽 ○ カム教の音楽 ○ 儒教の音楽 ○ 道教の音楽</p>
<p>[構成法] (表2) + (表2) 参考: 表2より</p> <p>1) 演奏会 078 = (760.78) 2) ロック音楽 166 = (761.66) 3) ロック音楽のリレー 166 144 = (761.66) + (761.44)</p>	<p>.8</p>	<p>⑥ 音楽形式 形式分析(音楽) 形式(音楽)</p>
<p>[構成法] (表2) + (表2)</p>	<p>.82</p>	<p>⑥ 音楽形式(個々の---)</p>
<p>[構成法] (表2) + (表2)</p>	<p>.822 .822 2 .822 3 .822 5</p>	<p>⑥ 二部形式、三部形式、ダカキ形式 三部形式 ダカキ形式 ⑥ 二部形式 ⑥ 三部形式 ⑥ ダカキ形式</p>
<p>[] = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>	<p>A VMC基本標目語</p>	<p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>

	統一語と参照語 (欧米語形)	注記
1 2	Christmas day, Music of <i> Christmas music Christmas season, Music of Epiphany, Music of Epiphany, Music of Epiphany, Music of Lent, Music of	Q1 クリスマス・シーズンはこちらに分類する 顕現→761.724
1 2	<syn> Lenten music Passiontide, Music of Holy week, Music of <s> Maundy Thursday, Music of <s> Palm Sunday, Music of <s> Maundy Thursday, Music of <s> Good Friday, Music of <s> Easter Sunday, Music of Easter season, Music of Eastertide, Music of Ascensiontide, Music of Pentecost and Trinity Sunday, Music of <u> Trinity Sunday, Music of Pentecost, Music of <h> Whitsunday Trinity Sunday, Music of Classical and Germanic religions, Sacred music of <u> Germanic religions, Sacred music of <u> Classical Greek religions, Sacred music of <u> Classical Roman religions, Sacred music of	聖週間→761.726 ×1 しゅろの主日、洗足木曜日、聖金曜日を含む
1 2	Easter season, Music of Eastertide, Music of Ascensiontide, Music of Pentecost and Trinity Sunday, Music of <u> Trinity Sunday, Music of Pentecost, Music of <h> Whitsunday Trinity Sunday, Music of Classical and Germanic religions, Sacred music of <u> Germanic religions, Sacred music of <u> Classical Greek religions, Sacred music of <u> Classical Roman religions, Sacred music of	Q1 復活節はこちらに分類する 昇天節→761.728
	Religions, Sacred music of other specific <i> Buddhist sacred music <i> Hindu sacred music <i> Judaic sacred music <i> Islamic sacred music <i> Confucianist sacred music <i> Taoist sacred music	
	Musical form Formal analysis (Music) <syn> Form of music	Q1 形式分析 声、楽器、アンサンブルを特定しない著作はこちらに分類する 特定の声、楽器、アンサンブルに対する著作→当該番号 例) グラース作曲「シュマンの主題による変奏曲」 ○766.21825 ×761.825 音楽形式→761.2-.4 器楽形式→764.183-.189
	Musical form, Specific Binary, ternary, da capo forms <u> Ternary form <u> Da capo form Binary form Ternary form Da capo form	
	音楽細目使用可のもの Q1「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/Q2「一般的観点注記(General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む(Including...)」注記/×2「包含(Contains...)」注記/×3「例(Examples:)」注記	
	<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語: DDC20の相関索引の語	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意識語(統一語・参照語が意識語の場合) -tli 音訳語(統一語・参照語が意識語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ)
		-syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (表2番号) + (表2) 参考:表2より</p> <p>1) 演奏会 078 = {760.78}</p> <p>2) ロック音楽 166 = {761.66}</p> <p>3) ロック音楽のリレー 166 144 = {761.66} + {761.44}</p>	<p>761.923 .824 .825 .826 .827 .828</p>	<p>①有節形式 ②ロク形式 シタラ・ロク形式 ③変奏形式 主題と変奏形式 変奏曲形式 ④ハ・ラレス形式 ハ・ロク形式 ⑤グラウト・ハ形式 ハ・ラレス形式 ハ・ラレス形式 ハ・ラレス形式 ⑥定旋律形式</p>
	<p>762</p>	<p>①声乐 形式(声乐)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>概要 762.001-.009 音楽細目 .01-.08 一般原理・音楽形式 .1 劇的声乐形式 歌劇 .2 非劇的声乐形式 .3 礼拝(典礼・儀式) .4 世俗形式 .5 混声 .6 女声 .7 児童 .8 男声 .9 その他の種類の声</p> </div>
<p>[構成法] (表2番号) + (表2) [例] 声乐の演奏会 762.00 78 = {762.00} + {760.78}</p>	<p>.001-.009 .00269 .0092</p>	<p>①音楽細目(声乐) ○筋書、要約(声乐) 要約(声乐) シタラ(声乐) 筋書(声乐) ○歌手 声乐家</p>
<p>[構成法] (表2番号) + (表2) [例] 1) 声楽曲のリレー 762.0 44 = {762.0} + {761.44} 2) 愛国的声楽曲のリレー 762.0 599 1224 = {762.0} + {761.599} + {761.224}</p>	<p>.01-.07</p>	<p>①一般原理(声乐)</p>
<p>[構成法] (表2番号) + (表2) [例] フル形式の声楽曲 762.08 846 = {762.08} + {764.18846}</p>	<p>.08</p>	<p>①音楽形式(声乐)</p>
<p>[構成法] (表2番号) + (表6a) 参考:表6aより</p> <p>1) 演奏会 078 = {760.78}</p> <p>2a) ロック音楽 1 66 = {1} + {761.66}</p> <p>2b) ロック音楽のリレー 1 66 144 = 1 66 + {761.44}</p> <p>3b) シカ・ハ形式 18 22 = {18} + {764.1822}</p> <p>3b) シカ・ハ形式による作曲 18 22 13 = 18 22 + {761.13}</p>	<p>.1-.4</p>	<p>①声乐形式</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>		
<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 } ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 } ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 } AUMC基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の単一位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
Strophic form Rondo form <s> Sonata-rondo form Variation form <s> Theme and variations form <i> Variations (Musical forms) Paraphrase form <s> Parody (Musical form) Ground bass form <h> Ostinato form <s> Chaconne form <s> Passacaglia form Cantus firmus form	✕3 例) ソナタ・ロンド形式 ✕3 例) 主題と変奏 ✕1 音楽のパロディを含む ✕3 例) ショパン、パッサカリア
Vocal music <i> Form of music (Vocal)	声のパートを伴うオーケストラ作品→764 単声のための音楽→763
Standard subdivision, Modified (Vocal music) Story, plot, synopsis (Vocal music) Synopsis (Vocal music) Scenario (Vocal music) Plot (Vocal music) <i> Singer <i> Vocalist	
General principle (Vocal music)	
Musical form (Vocal music)	音楽形式→762.1-.4
Vocal form	01 個々の声質およびアカペラに対する音楽形式はここに分類する 全般的著作→762

音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕1「含む (Including...) 注記」/✕2「包含 (Contains...) 注記」/✕3「例 (Examples:) 注記」

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
[構成法] (AUMC番号) + (表6a) [構成法] (AUMC番号) + (表6a)	762.1	①オペラ <t1a> 歌劇 劇的声楽形式 児童用歌劇
	.109 2	①オペラの関係者 オペラ歌手 劇的声楽形式の関係者 <u-syn>歌劇の関係者
	.109 4	①3-Dimの歌劇
[構成法] (AUMC番号) + (表6a) 参考:表6aより 1) 演奏会 078 = {760.78} 2a) ロック音楽 1 66 = {1} + {761.66} 2b) ロック音楽のリハール 1 66 144 = 1 66 + {761.144} 3b) タカホ形式 18 22 = {18} + {764.1822} 3b) タカホ形式による作曲 18 22 13 = 18 22 + {761.13}	.12 .13 .14 .15 .2 .22 > 762.23-.29 .23 .24 .25 .26 .265 .27 .28 .281723 .29	①オペレッタ ②ソングレビュー ③ミュージカ <syn>ミュージカル・ブレイ 劇(音楽) 劇(音楽-) ハラット・オペラ レグユー ④仮面劇 ⑤非劇的声楽形式 ⑥宗教的声楽形式 宗教音楽(声楽形式) ⑦個々の宗教的声楽形式 ⑧ワトリ 受難曲(イリス・キリストの-) ⑨大規模声楽形式 カタラ ⑩宗教歌曲 歌曲(宗教-) 宗教音楽(歌曲) 宗教声楽曲(小規模な-) スピリチュアル ⑪モテ ⑫アム ⑬賛歌 <t1i>ヒ ⑭キ ○クリスマス ⑮典礼音楽形式 典礼音楽(声楽形式)

() = ファセット要素/網掛け部分を結合する
 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通
 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語
 ⇨ = も見よ [] = 使用しない

- ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語
 - 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語
 - 統一語: AUMC独自の基本標目語
 - ★ 統一語: AUMCの合成標目語
- AUMC基本標目語
- <h> 参照語: DDC20の基本標目語
(統一語に採用されなかったもの)
 - <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題
 - <u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位
 - <v> 参照語: 別名注記の論題

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Opera Opera <h> Dramatic vocal form <s> Children, Opera for	声や合唱の種類は関係ない 歌劇およびその関連形式 演技が主要な音楽要素となっている音楽形式 台詞の有無は関係ない ✕ 例) 児童用歌劇 ○ 演奏会用の版（ヴァージョン）はここに分類する
Opera, Persons associated with <i> Opera singer <u> Dramatic vocal form, Persons associated with Opera, Persons associated with European opera	○ 歌劇およびリサイタル歌手として同程度に知られている歌手 主としてオペラ指揮者として知られている指揮者の伝記はここに分類する 主としてリサイタル歌手として知られている歌手の伝記 →762.42168092 歌劇およびオーケストラ指揮者として同程度に知られている指揮者の伝記 →764.092 エドヴィンとそれ以外の歌劇の対比を強調して論じている著作にのみ用いる
Operetta Singspiel Musical play Musical play <i> Play (Music) <inv> Play, Musical <s> Ballad opera <s> Revue Masque Nondramatic vocal form Sacred vocal form <i> Sacred music (Vocal form) Sacred vocal form, Specific Oratorio <s> Passion of Jesus Christ Large-scale vocal work Cantata Sacred song <inv> Song, Sacred <i> Sacred music (Song) Sacred vocal form, Small-scale <s> Spiritual Motet Anthem Hymn Hymn Carol <i> Christmas carol Liturgical form <i> Liturgical music (Vocal form)	音楽以外の部分で演技が主要な要素となっている音楽形式 ✕ 例) オペレッタ、ミュージカル、レグュー 仮面劇→762.15 世俗形式→762.4 個々の宗教的音楽形式→762.23-.29 全般的著作→762.22 礼拝→762.3 ✕ 例) 受難曲 ○ カンタータ カンタータの全般的著作はここに分類する オトリオ→762.23 世俗カンタータ→762.48 ✕ 例) ステリウム ○ 小規模な宗教音楽曲はここに分類する 賛美歌（賛歌、ヒム）と呼称される歌曲（→762.27）および キリオンと呼称される歌曲（→762.28）以外はここに分類する 典礼に関係のなくとも、宗教的な内容であればここに分類する 例) 黒人霊歌 エテック→762.26 賛美歌→762.27 キリオン→762.28 楽譜なしの賛美歌歌詞→DDC245 NDC196.5 賛美歌についての全般的著作で楽譜なし→DDC264.2 NDC196.5 キリオン→762.28

音楽細目使用可のもの ○1「ここに分類せよ注記（Class here ...）」／○2「一般的観点注記（General aspects）」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕1「含む（Including...）注記」／✕2「包含（Contains...）注記」／✕3「例（Examples:）注記」

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点）	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意識語（統一語・参照語が音訳語の場合）	-inv 倒置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語（統一語・参照語が意識語の場合）	-drc 正置語
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] {760.378} + {表6a} 参考：表6aより</p> <p>1) 演奏会 078 = {760.378}</p> <p>2a) ロック音楽 1 66 = {表6} + {761.66}</p> <p>2b) ロック音楽のリハーサル 1 66 144 = 1 66 + {761.144}</p> <p>3b) サカサ形式 18 22 = {表6} + {764.1822}</p> <p>3b) サカサ形式による作曲 18 22 13 = 18 22 + {761.13}</p>	<p>762.292</p> <p>> 762.294-.298</p> <p>.294</p> <p>.295</p> <p>.296</p> <p>.297</p> <p>.298</p> <p>.3</p> <p>.32</p>	<p>◎聖歌 代詠（典礼） リクシア レスポソリウム <s-tli>サブリッジ <s-tla>連禱 <s-tla>応唱</p> <p>◎テキスト（個々のー）</p> <p>◎詩篇</p> <p>◎聖書のテキスト（典礼音楽形式） アメン カテイクム（典礼音楽形式） 主の祈り（典礼音楽形式） 聖書</p> <p>◎聖書以外のテキスト（典礼音楽形式）</p> <p>◎トロース</p> <p>◎典礼劇</p> <p>◎礼拝（音楽形式） 儀式（音楽形式） 典礼（音楽形式） 礼拝式（音楽形式）</p> <p>◎キリスト教の礼拝（音楽形式） 教会の礼拝（音楽形式） キリスト教宗音楽（礼拝のための音楽形式）</p>
<p>[構成法] {762.322} + {T7の21-28} + {表7a}</p> <p>[例] ヌツ派の礼拝用音楽 762.322 7 = {762.322} + {27} 参考：表7aより</p> <p>1) ヌツ派の礼拝用音楽の演奏会 762.322 7 00 78 = 762.322 7 + {00} + {760.78}</p> <p>2a) ヌツ派の復活日（日曜日）用音楽 762.322 7 0 727 = 762.322 7 + {0} + {761.727}</p> <p>2b) ヌツ派の復活日（日曜日）用音楽の 作曲 762.322 7 0 727 13 = 762.322 7 0 727 + {761.13}</p> <p>3a) ヌツ派の礼拝用前奏曲 762.322 7 08 928 = 762.322 7 + {08} + {764.18928}</p> <p>3b) ヌツ派の礼拝用前奏曲の作曲 762.322 7 08 928 13 = 762.322 7 08 928 + {761.13}</p>	<p>.322</p> <p>.3222</p> <p>.3223</p> <p>.32241</p> <p>.32251</p> <p>.32261</p> <p>.3227</p>	<p>◎キリスト教の各教派の礼拝（音楽形式）</p> <p>○ローマ・カトリック教会の音楽（礼拝のための 音楽形式） グレゴリア聖歌</p> <p>○英国国教会の宗教音楽 英国国教会の典礼聖歌</p> <p>○ルーテル教会の音楽（礼拝のための 音楽形式）</p> <p>○長老派教会の音楽（礼拝のための 音楽形式）</p> <p>○バプティスト派の宗教音楽（礼拝のための 音楽形式）</p> <p>○メソヂスト教会の音楽（礼拝のための 音楽形式）</p>
<p>[構成法] {760.378} + {表6a} 参考：表6aより</p> <p>1) 演奏会 078 = {760.378}</p> <p>2a) ロック音楽 1 66 = {表6} + {761.66}</p> <p>2b) ロック音楽のリハーサル 1 66 144 = 1 66 + {761.144}</p> <p>3b) サカサ形式 18 22 = {表6} + {764.1822}</p> <p>3b) サカサ形式による作曲 18 22 13 = 18 22 + {761.13}</p>	<p>> 762.323-.326</p> <p>.323</p> <p>.323 2</p>	<p>◎典礼式（個々のー）（音楽形式）</p> <p>◎ミサ（音楽形式）</p> <p>◎ミサ通常文（音楽形式）</p> <p>◎I（音楽形式）</p>
<p>{ } = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>		<p>→ = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p>A VMC基本標目語</p>		<p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語：エントリになっている標目語の一単位</p> <p><v> 参照語：別名注記の論題</p>

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Chant</p> <p><s> Suffrage (Liturgy)</p> <p><s> Litany</p> <p><s> Responsorium</p> <p><s> Suffrage (Liturgy)</p> <p><s> Litany</p> <p><s> Responsorium</p> <p>Text, Specific</p> <p>Psalm</p> <p>Biblical text (Liturgical form)</p> <p><s> Amen</p> <p><s> Canticle (Liturgical form)</p> <p><s> Lord's Prayer (Liturgical form)</p> <p><i> Bible</p> <p>Non-Biblical text (Liturgical form)</p> <p>Trope</p> <p>Liturgical drama</p> <p>Service (Vocal form)</p> <p><h> Rite (Vocal form)</p> <p><h> Liturgy (Vocal form)</p> <p><i> Public worship (Vocal form)</p> <p>Christian service (Vocal form)</p> <p><i> Church service (Vocal form)</p> <p><i> Christian sacred music (Vocal form for public worship)</p>	<p>×1 リツリウムを含む 例) 連禱 (リツリウム)、代禱 (サツリウム)</p> <p>○1 単旋律聖歌はここに収める グレゴリア聖歌→762.3222 英国国教会聖歌→762.3223</p> <p>全般的著作→762.29 詩編が中心的視点のもの →聖務日課762.324</p> <p>×3 例) 主の祈り (Lord's Prayer)、アメン、カテキスム 詩篇→762.294</p> <p>ミサの部分→762.323 典礼文へのつけたし 典礼劇→762.298</p> <p>個々の宗教が定めた形式につけられた音楽 個々の宗教が使用するテキスト自体→当該宗教 キリスト教会の典礼および儀式→DDC264 NDC196</p>
<p>Christian service of specific denomination (Vocal form)</p> <p><i> Roman Catholic sacred music (Vocal form for public worship)</p> <p><i> Gregorian chant</p> <p><i> Anglican sacred music (Vocal form for public worship)</p> <p><i> Anglican chant</p> <p><i> Lutheran sacred music (Vocal form for public worship)</p> <p><i> Presbyterian sacred music (Vocal form for public worship)</p> <p><i> Baptist sacred music (Vocal form for public worship)</p> <p><i> Methodist sacred music (Vocal form for public worship)</p>	<p>各教派の個々の礼拝→762.323-.326</p>
<p>Liturgy, Specific (Vocal form)</p> <p>Mass (Vocal form)</p> <p>1 Common of the mass (Vocal form)</p> <p>2 <syn> Ordinary of the mass (Vocal form)</p> <p><s> Kyrie (Vocal form)</p>	<p>全般的著作は762.32に分類する 通常文と固有文の両方を含む音楽 1350年ー現在までのミサ曲はほぼ通常文に限られるので 762.3232に分類する (例外) レクイエム・ミサ→762.3238 ミサの個々の部分の音楽→当該部分を含む分類番号 例) グレゴリアン (昇階唱) →ミサ固有文 762.3235 マリイ、グロリア、クルス、サンクトゥス、ベネディクトゥス、アニマス・デイを含む レクイエム・ミサの通常文部分→ミサ通常文 762.3238</p>

音楽細目使用可のもの ○1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/○2「一般的観点注記 (General aspects)」
音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む (Including...)」注記/×2「包含 (Contains...)」注記/×3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tia 意識語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意識語の場合)	-dro 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (760.323) + (表6a) 参考:表6aより</p> <p>1) 演奏会 078 = (760.323)</p> <p>2a) ロック音楽 1 66 = (表) + (761.66)</p> <p>2b) ロック音楽のリハ-リル 1 66 144 = 1 66 + (761.66)</p> <p>3b) ガカ*形式 18 22 = (表) + (764.1822)</p> <p>3b) ガカ*形式による作曲 18 22 13 = 18 22 + (761.66)</p>	<p>762.323(Cont.)</p> <p>.323 5</p> <p>.323 8</p> <p>.324</p> <p>.325</p> <p>.326</p> <p>.33</p>	<p>グロリア (音楽形式) クレム (音楽形式) ソングブック (音楽形式) ベネディクトゥス (音楽形式) アムステルダム (音楽形式)</p> <p>◎福音文 (音楽形式) 詠唱 (音楽形式) 昇階唱 (音楽形式) 聖体拝領唱 (音楽形式)</p> <p>結唱 (音楽形式) 入祭文 (音楽形式) 奉献唱 (音楽形式)</p> <p>◎レクティオン (音楽形式)</p> <p>◎聖務日課 (音楽形式) 一時課 (音楽形式) 三時課 (音楽形式) 六時課 (音楽形式) 九時課 (音楽形式) 賛歌 (音楽形式)</p> <p>時禱 (宗教) 時課 (宗教) 終課 (音楽形式) 朝課 (音楽形式) 晩課 (音楽形式)</p> <p>◎朝の祈り (音楽形式) 朝課 (英国国教の礼拝のための音楽形式) 朝課 (英国国教会の礼拝のための音楽形式)</p> <p>◎夜の祈り (音楽形式) 夕べの祈り (英国国教会の礼拝のための音楽形式)</p> <p>◎古代およびケルトの諸宗教の礼拝 (音楽形式) ケルトの宗教の礼拝 (音楽形式) 古代ケルトの宗教の礼拝 (音楽形式) 古代ローマの宗教の礼拝 (音楽形式)</p>
<p>[構成法] (762.34) + (T7の294-299) + (表7b)</p> <p>[例] 19th 教の礼拝用音楽 762.36 = (762.34) + (296)</p> <p>参考:表7bより</p> <p>1) 19th 教の礼拝用音楽の演奏会 762.3 6 00 78 = 762.3 6 + (表) + (760.36)</p> <p>2a) 19th 教の春の礼拝用音楽 762.3 6 0 5242 = 762.3 6 + (表) + (761.6242)</p> <p>2b) 19th 教の春の礼拝用音楽の作曲 762.3 6 0 5242 13 = 762.3 6 0 5242 + (761.62)</p> <p>3a) 19th 教の礼拝用前奏曲 762.3 6 08 928 = 762.3 6 + (表) + (764.18928)</p> <p>3b) 19th 教の礼拝用前奏曲の作曲 762.3 6 08 928 13 = 762.3 6 08 928 + (761.62)</p>	<p>762.34-.39</p> <p>.343</p> <p>.345</p> <p>.36</p> <p>.371</p> <p>.39514</p>	<p>◎その他の宗教の礼拝 (音楽形式) ○仏教音楽 (礼拝) ○ヒンズー教の音楽 (礼拝) ○19th 教の音楽 (礼拝) ○イスラム教の音楽 (礼拝) ○道教の音楽 (礼拝)</p>
<p>(表) = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p>AVMC基本標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<s> Gloria (Vocal form) Credo (Vocal form) <s> Sanctus (Vocal form) <s> Benedictus (Vocal form) <s> Agnus Dei (Vocal form) Proper of the mass (Vocal form) <s> Tractus (Vocal form) <s> Graduale (Vocal form) <s> Communio (Part of service) (Vocal form) <s> Communion service (Vocal form) <s> Sequentia (Vocal form) <s> Introitus (Vocal form) <s> Offertorium (Vocal form) Requiem mass (Vocal form) Divine office (Vocal form) <s> Prime (Vocal form) <s> Tertia (Vocal form) <s> Sexta (Vocal form) <s> Nona (Vocal form) <s> Laudes (Vocal form) <s> Lauds (Vocal form) <i> Office hours (Religion) <i> Office hours (Religion) <s> Completorium (Vocal form) <s> Matin (Vocal form) <s> Vesper (Vocal form) Morning prayer (Vocal form) <i> Matutinum (Vocal form for public worship in Anglican church) <i> Matin of Anglican Church (Vocal form for public worship) Evening prayer (Vocal form) <s> Evensong of Anglican Church (Vocal form for public worship) Classical and Germanic religions, Service of (Vocal form) <u> Germanic religions, Service of (Vocal form) <u> Classical Greek religions, Service of (Vocal form) <u> Classical Roman religions, Service of (Vocal form)	入祭文 (introitus)、昇階唱 (graduale)、続唱 (sequentia)、奉獻唱 (offertorium)、聖体拝領唱 (communio) を含む *2 朝課 (matutinum)、賛歌 (laudes)、一時課 (prima)、三時課 (tertia)、六時課 (sexta)、九時課 (nona)、晩課 (vesperae)、終課 (completorium) 参考: 多くは詩編 (詩編が中心的視点→762.294) エフィカはここ (晩課) 朝の祈り →762.325 夕べの祈り→762.326 *3 例) 英国国教会の朝の祈り *3 例) 英国国教会の夕べの祈り
Religion, Service of other specific (Vocal form) <i> Buddhist sacred music (Public worship) <i> Hindu sacred music (Public worship) <i> Judaic sacred music (Public worship) <i> Islamic sacred music (Public worship) <i> Taoist sacred music (Public worship)	
音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/O2「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの *1「含む (Including...) 注記」/*2「包含 (Contains...) 注記」/*3「例 (Examples:) 注記」	
<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語: DDC20の関連索引の語	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) -tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
[構成法] (AUMC番号) + (表6a)	762.4 .42	<ul style="list-style-type: none"> ① 世俗形式(声楽形式) ② 歌曲(世俗声楽形式)
	.421 680 92	<ul style="list-style-type: none"> ③ 芸術歌曲の関係者
[構成法] (AUMC番号) + (表6a)	.43 .47 .48	<ul style="list-style-type: none"> ④ 詩から派生した世俗声楽形式 ソング バラッド リトル スタンダード ⑤ 連作歌曲 ⑥ 世俗カワラ
[構成法] (AUMC番号) + (表6b) 参考:表6bより <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1) 演奏会 078 (762.78) 2a) ロック音楽 1 66 = (1.66) + (761.66) 2b) ロック音楽のリハール 1 66 144 = 1 66 + (761.144) 2a) サカキ形式 18 22 = (1.18) + (764.1822) 2b) サカキ形式による作曲 18 22 13 = 18 22 ++ (761.13) 4) 世俗カワラ 48 = (762.48) </div>	> 762.5-.9 .5 .5295 > 762.6-.9 .6 .66 .67 .68 .7 .76 .77 .78 .79 .8	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 声楽の演奏手段 ⑧ 混声 合唱 ソング(混声) 合唱 ○聖書(合唱及び混声合唱) ⑨ 声質の種類 ⑩ 女声 ⑪ ソプラノ ソプラノ(女声) ⑫ メゾソプラノ ⑬ テノール コントラト ⑭ 児童 ⑮ ソプラノ(児童) ソプラノ(児童) ⑯ メゾソプラノ(児童) ⑰ テノール(児童) コントラト(児童) ⑱ 変声期の声 ⑲ 男声
() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 AVMC基本標目語	→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の単位 <v> 参照語: 別名注記の論題	

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
Secular form (Vocal form) Song (Secular vocal form)	Q1 歌曲の全般的著作はここに分類する 宗教歌曲→762.25 *「ビュラック」の類はまずここへ分類し、次に必要なファセットを 付加してジャンルを示す→〔762.42〕+〔761.63-69〕 例) フォークス 762.42 1643〔762.42〕+〔761.643〕 フォークソング 762.42 1655〔762.42〕+〔761.655〕 童謡 762.42 16379〔762.42〕+〔761.639〕 演歌 762.42 16393〔762.42〕+〔761.6393〕
Art song. Person associated with	Q1 主としてリサイタル歌手として知られる歌手の伝記はここに 分類する 歌劇およびリサイタル歌手として同程度に知られている歌手の 伝記 →762.1092
Poetry, Secular vocal form derived from <s> Chanson <s> Ballad <s> Ballett <m> Madrigal Song cycle Secular cantata	X3 例) フォーク、リサイタル、ジャンル、リサイタル 連作歌曲とは →AUMARC目録コード CL1006 1) 元来セットの曲 2) 習慣的にセット扱いの曲
Vocal executant Mixed voices Unison voices <i> Part song (Mixed voices) Choral music <i> Bible (Choral and mixed voices) Type of voice Women's voice Soprano voice <i> Treble voice, Women's Mezzo-soprano voice Alto voice <h> Contralto voice Children's voice Soprano voice, Children's Treble voice, Children's Mezzo-soprano voice, Children's Alto voice, Children's <h> Contralto voice, Children's Changing voice Men's voice	劇的声楽形式→762.1 非劇的声楽形式→表6bの(2-4) 声楽形式で、特定の声部構成用のスコアおよびパート譜 →762.5-.9 声楽形式で、特定の声部構成用のものを扱った文献および 録音 →762.1-.4 特定の声楽形式や声部構成のための演奏技術→当該の形式 ・声部構成 例) 合唱曲の呼吸技術→762.5148 歌劇の呼吸技術→762.1148 全般的著作→762 Q1 合唱曲、合唱・重唱の両方を意図した音楽、スコアパートを 伴う合唱曲、斉唱はここに分類する 重唱→763.1 全般的著作→762 Q1 女声・児童合唱の両方を意図した音楽はここに分類す る 児童合唱のための音楽→762.7 女声・児童合唱の両方を意図した音楽→762.6

音楽細目使用可のもの

Q1「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/Q2「一般的観点注記(General aspects)」

音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む(Including...)注記」/X2「包含(Contains...)注記」/X3「例(Examples:)注記」

- <g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題
 (全下位区分に適用可の観点)
 <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題
 <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題
 <i> 参照語: DDC20の相関索引の語

- <d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題
 -tia 意識語(統一語・参照語が音訳語の場合)
 -tli 音訳語(統一語・参照語が意識語の場合)
 -sng 単数形の語
 -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ)

- syn 同意語
 -inv 倒置語
 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (762.86) + (表6b) 参考:表6bより</p> <p>1) 演奏会 078 (762.78)</p> <p>2a) 0の音楽 1 68 = (表) + (761.68)</p> <p>2b) 0の音楽のリハ-ル 1 68 144 = 1 68 + (761.144)</p> <p>3a) タカ-形式 18 22 = (表) + (764.1822)</p> <p>3b) タカ-形式による作曲 18 22 13 = 18 22 ++ (761.13)</p> <p>4) 世俗カ-タ 48 = (762.48)</p>	<p>762.86</p> <p>.87</p> <p>.88</p> <p>.89</p> <p>.9</p> <p>.96</p> <p>.97</p> <p>.98</p>	<p>①トラム(男声) アルト(男声) カウンターテナー カストラト ファルセット</p> <p>②テノール ③バリトン ④バス</p> <p>⑤声(他の種類の---) ⑥語り</p> <p>⑦シュプレヒテザンク スピリチュアル(シュプレヒテザンク)</p> <p>⑧口笛</p>
	<p>763</p>	<p>⑨単声のための音楽 声</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>概要</p> <p>763.001-.009 音楽細目</p> <p>.01-.09 [一般原理および形式]</p> <p>.1 単声の組合わせ</p> <p>.2 単声</p> <p>.3 高声</p> <p>.4 中声</p> <p>.5 低声</p> <p>.6-.8 女声、児童、男声</p> <p>.9 他の種類の声</p> </div>
<p>[構成法] (763.00) + (760.1-.9) [例] 単声用音楽の演奏会 763.00 78 = (763.00) + (760.78)</p>	<p>.001-.009</p>	<p>⑩音楽細目(単声のための音楽)</p>
<p>[構成法] (763.00) + (761.1-.9) [例] 1) 単声用の愛国音楽 763.0 599 = (763.00) + (761.599) 2) 単声用の愛国音楽におけるリズム 763.0 599 1224 = 763.0 599 + (761.1224)</p>	<p>.01-.07</p>	<p>⑪原理(単声のための音楽)</p>
<p>[構成法] (763.00) + (764.182-.189) [例] カ形式による単声用音楽 763.08 846 = (763.00) + (764.1828)</p>	<p>.08</p>	<p>⑫音楽形式(単声のための音楽)</p>
<p>[構成法] (763.00) + (762.2-.4) [例] 単声用の+01 763.09 28 = (763.00) + (762.28)</p>	<p>.09 .09295</p>	<p>⑬非劇的声楽形式(単声のための音楽) ⑭聖書(単声のための音楽)</p>
<p>[構成法] (763.00) + (762.2-.4) [例] 単声用の+01 763.09 28 = (763.00) + (762.28)</p>	<p>.1</p>	<p>⑮単声の組合わせ ⑯ソング(単声)</p>
<p>[構成法] (763.10) + (760.1-.9) [例] 重唱曲の演奏会 763.10 78 = (763.10) + (760.78)</p>	<p>.101-.109</p>	<p>⑰音楽細目(単声の組合わせ)</p>
	<p>.11</p>	<p>⑱一般原理および音楽形式(単声の組合わせ)</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p>AUMC基本標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語: エントになっている標目語の一単位</p> <p><v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

	統一語と参照語（欧米語形）	注記
1	Treble voice, men's <h> Alto voice, Men's Countertenor voice Castrato voice Falsetto voice Tenor voice Baritone voice Bass voice Voice, Other type of <i> Speaking voice	01 カンターナー、ファセット、カストラトはここに分類する
2	<h> Choral speech	
3	<i> Choral speaking Sprechgesang <i> Spiritual (Sprechgesang) Whistle (Voice)	
	Single voice, Music for <m> Voice, The	単声用声楽形式で、特定の声種またはその組合せのためのもののスコアおよびパート譜 →763 単声用声楽形式で、特定の声種またはその組合せを扱った著作・録音→762.1-.4 特定の声楽形式や、特定の声種またはその組合せの演奏技術→当該の声種、組合せ、形式 例) 重唱曲の呼吸技術→763.5148 歌劇の呼吸技術→762.1148
	Standard subdivision, Modified (Music for single voice)	
	Principle, General (Music for single voice)	
	Musical form (Music for single voice)	劇的声楽形式→762.1 非劇的声楽形式→763.09
	Nondramatic vocal form (Music for single voice) <i> Bible (Music for single voices)	
	Single voices in combination <i> Part song (Single voices)	01 重唱はここに分類する 合唱曲、合唱・重唱の両方を意図した音楽→762.5
	Standard subdivision, Modified (Single voices in combination)	
	General principle and musical form (Single voices in combination)	
	音楽細目使用可のもの	01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」
	音楽細目使用・番号組立不可のもの	X1「含む (Including...)」注記 / X2「包含 (Contains...)」注記 / X3「例 (Examples:)」注記
	<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -syn 同意語
	<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) -inv 倒置語
	<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) -drc 正置語
	<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語 -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
[構成法] (763.11) + (761.1) [例] 1) 重唱曲の愛国音楽 763.11 599 = (763.11) + (761.1) 2) 重唱曲の愛国音楽のリール 763.11 599 144 = 763.11 599 + (761.1)	763.111-.117	①一般原理(単声の組合わせ)
[構成法] (763.118) + (764.18) [例] 1) ワク形式による重唱曲 763.118 846 = (763.118) + (764.18) 2) ワク形式による重唱曲のリール 763.118 846 144 = 763.118 846 + (761.1)	.118	②音楽形式(単声の組合わせ)
[構成法] (763.119) + (762.2) [例] 単声の組合わせ用のコード 763.119 28 = (763.119) + (762.2)	.119	③非劇的声楽形式(単声の組合わせ)
[構成法] (表6a) + (表6b) [例] 世俗カンタタなら (表6a) + (762.2)	> 763.12-.19 .12 .13 .14 .15 .16 .17 .18 .19 > 763.2-.9 .2 > 763.3-.9 .3 .4 .5	④声部数による区分(単声の組合わせ) ②二重唱 ③三重唱 ④四重唱 ⑤五重唱 ⑥六重唱 ⑦七重唱 ⑧八重唱 ⑨九重唱以上の組合わせ 九重唱 ①単声 ①単声 ⑤個々の声(単声) ⑥高声(単声の--)(声楽) ⑦中声(単声の--)(声楽) ⑧低声(単声の--)(声楽)
[構成法] (763) + (762.8) [例] オース 763.89 = (763) + (762.8)	.6-.8	④女声、児童、男声(単声の--)(声楽)
[構成法] (表6a) + (表6b) [例] 世俗カンタタなら (表6a) + (762.2)	.9 .96 .97 .98 .99	⑤単声(他の種類の--)(声楽) ⑥語り(単声の--)(声楽) ⑦カプレタガザンガ(単声の--)(声楽) ⑧口笛(単声の--)(声楽) ⑨声の楽器的使用(単声の--)(声楽) ガム 偽声(楽器) ディージェルトゥー ミルトン ロラー(楽器)
[] = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない		
◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 AVMC基本標目語 <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題		

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
General principle (Single voices in combination)	
Musical form (Single voices in combination)	劇的声楽形式→762.1 非劇的声楽形式→763.119
Nondramatic vocal form (Music for single voices in combination)	
Ensemble by size (Music for single voices in combination) Duet (Vocal music) Trio (Vocal music) Quartet (Vocal music) Quintet (Vocal music) Sextet (Vocal music) Septet (Vocal music) Octet (Vocal music) Nonet and larger combination (Vocal music) <u> Nonet (Vocal music) Solo voice Solo voice Single voice. Specific types of High solo voice (Vocal music) Middle solo voice (Vocal music) Low solo voice (Vocal music)	全般的著作→763.1 全般的著作→763.2 O1 声の種類に関する全般的著作はここに分類する 個々の声→763.3-.9 全般的著作→763.2 単声の組合わせ→763.12-.19 女声ソプラノ→763.66 児童ソプラノ→763.76 男声ソプラノおよび男声アルト→763.86 テノール→763.87 女声メゾソプラノ→763.67 児童メゾソプラノ→763.77 バリトン→763.98 女声コントラクト→763.68 児童コントラクト→763.78 バス→763.89
Woman's, child's, man's solo voice (Vocal music)	
Solo voice, Other type of (Vocal music) Speaking solo voice (Vocal music) Sprechgesang, Solo (Vocal music) Whistle, Solo (Vocal music) Voice instrument, Solo (Vocal music) <s> Kazoo <s> Voice disguiser (Musical instrument) <s> Didjeridu <s> Mirliton <i> Roarer (Musical instrument)	×3 例) ティー・ジェット・ラー、ミルトン (加マ) ×1 偽声 (人声の共鳴による音響効果) および大声を含む

音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/O2「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む (Including...)」注記/×2「包含 (Contains...)」注記/×3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)			
<p>[構成法] (760.1-760.9) + (表Ba) 参考:表Baより</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1a) 演奏会 078 = (760.178) 2a) 関係者 092 = (760.092) 2b) ゲイオリスト 767.2092 = (767.2) + (760.92) 2c) ヴァイオリン製作者 767.21092 = (767.2) + (764.19) + (760.92) 2a) 演奏技術 143 = (761.143) 3b) 楽器演奏の技術 193 = (764.193) 4a) サラ形式 183 = (764.183)</p> </div>	<p>> 764-768 764</p>	<p>◎楽器およびその音楽 楽器 器楽</p> <p>◎楽器と楽器群およびその音楽 <i-tla> 風力楽器(バンドおよびオーケストラ) エリファン楽器(バンドおよびオーケストラ) 楽器 楽器群の音楽 楽器群 機械楽器(バンドおよびオーケストラ) 管楽器(バンドおよびオーケストラ) 器楽 全管楽器(バンドおよびオーケストラ) 弦楽器(バンドおよびオーケストラ) 鍵盤楽器(バンドおよびオーケストラ) 打楽器(バンドおよびオーケストラ) 独奏楽器(バンドおよびオーケストラ) 電鳴楽器(バンドおよびオーケストラ) 木管楽器(バンドおよびオーケストラ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>概要 764.01-.09 音楽細目 .1 一般原理、音楽形式、楽器 .2 フル(シンフォニー)オーケストラ .3 室内オーケストラ .4 ライト・オーケストラ .6 鍵盤、機械、電子、打楽器バンド .7 弦楽オーケストラ .8 管楽バンド .9 ブラスバンド</p> </div>			
<p>[構成法] (760.1-760.9) + (760.1-9) [例] 演奏会なら 078 (760.78)</p>	<p>.01-.09 .092</p>	<p>◎音楽細目(楽器と楽器群およびその音楽) ○バンドリーダー</p>			
<p>[構成法] (760.1-760.9) + (761.1-7) [例] 演奏技術 764.143 = (764.1) + (761.43)</p>	<p>.1</p>	<p>◎一般原理、音楽形式、楽器(楽器と楽器群およびその音楽) 一般原理(楽器と楽器群およびその音楽) 音楽形式(楽器と楽器群およびその音楽) 楽器(楽器と楽器群およびその音楽)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>概要 764.11-.17 一般原理 .18 音楽形式 .19 楽器</p> </div>			
<p>[構成法] (760.1-760.9) + (761.1-7) [例] 演奏技術 764.143 = (764.1) + (761.43)</p>	<p>.11-.17</p>	<p>◎一般原理(楽器と楽器群およびその音楽)</p>			
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>					
<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> </td> <td style="vertical-align: middle; padding-left: 10px;"> <p>} AUMC基本標目語</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p> </td> </tr> </table>			<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>	<p>} AUMC基本標目語</p>	<p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>	<p>} AUMC基本標目語</p>	<p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>			

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Instrument and instrumental music <u> Instrument <u> Instrumental music Instrument and instrumental ensemble <i> Aeolian instrument (Band and orchestra) <i> Aeolian instrument (Band and orchestra) <u> Instrument <u> Instrumental ensemble, Music for <u> Instrumental ensemble <i> Mechanical musical instrument (Band and orchestra) <i> Wind instrument (Band and orchestra) <u> Instrumental music <i> Brass instrument (Band and orchestra) <i> Stringed instrument (Band and orchestra) <i> Keyboard instrument (Band and orchestra) <i> Percussion instrument (Band and orchestra) <i> Solo instrument (Band and orchestra) <i> Electrophone (Band and orchestra) <i> Woodwind instrument (Band and orchestra)	全般的著作→764 個々の楽器およびその音楽→766-768 特定の旋律楽器用音楽→767
Standard subdivision, Modified (Instrument and instrumental ensemble) <i> Band leader	
General principle, musical form, instrument (Instrument and instrumental ensemble) <u> General principle (Instrument and instrumental ensemble) <u> Musical form (Instrument and instrumental ensemble) <u> Instrument (Instrument and instrumental ensemble)	
General principle (Instrument and instrumental ensemble)	楽器演奏の技術→764.193

音楽細目使用可のもの ○「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/○「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×「含む (Including...)」注記/×「包含 (Contains...)」注記/×「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点）	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -t1a 意訳語（統一語・参照語が音訳語の場合）	-syn 同義語 -inv 倒置語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-t1i 音訳語（統一語・参照語が意訳語の場合）	-drc 正置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-sng 単数形の語	
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (表2番号) + (表2) 参考: 表2より</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1) 演奏会 078 = { 760.378 }</p> <p>2) ロック音楽 166 = { 761.66 }</p> <p>3) ロック音楽のリハ-サル 166 144 = { 761.66 } + { 761.44 }</p> </div>	<p>764.18</p> <p>.182</p> <p>.182 2</p> <p>.182 3</p> <p>.182 4</p> <p>.182 5</p> <p>.182 6</p> <p>.182 7</p> <p>> 764.183-.189</p> <p>.183</p> <p>.183 2</p> <p>.184</p> <p>.184 5</p> <p>.185</p> <p>.185 2</p> <p>.185 4</p> <p>.185 6</p> <p>.185 8</p> <p>.186</p> <p>.186 2</p>	<p>①音楽形式(楽器と楽器群およびその音楽) 形式(楽器と楽器群およびその音楽)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>概要</p> <p>764.182 一般的音楽形式</p> <p>.183 ソナ形式</p> <p>.184 交響曲形式</p> <p>.185 組曲および関連形式</p> <p>.186 協奏曲形式</p> <p>.187 対位法形式</p> <p>.188 舞曲形式</p> <p>.189 その他の器楽形式</p> </div> <p>①一般的音楽形式(器楽)</p> <p>②二部形式、三部形式、クァー形式(器楽) 三部形式(器楽) クァー形式(器楽)</p> <p>③有節形式(器楽)</p> <p>④ロム形式(器楽) ソタ・ロム形式(器楽)</p> <p>⑤変奏形式(器楽) 主題と変奏形式(器楽) 変奏曲(器楽)</p> <p>⑥ハ・ラース形式(器楽) ハ・ロティ形式(器楽)</p> <p>⑦クワット・ハス形式(器楽) オステイト形式(器楽) ソ・コン形式(器楽) ハ・ウカ形式(器楽)</p> <p>⑧器楽形式</p> <p>⑨ソナ形式</p> <p>⑩ソナ形式</p> <p>⑪交響曲形式 ソフィエツ形式 ⑫協奏交響曲形式</p> <p>⑬組曲および関連形式 カクソ形式</p> <p>⑭ソ・イン・エイト形式</p> <p>⑮ハ・ティ形式</p> <p>⑯ヒート形式</p> <p>⑰組曲形式</p> <p>⑱協奏曲形式 カテソ形式 コンテソ形式</p> <p>⑲インティ形式</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>	

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Musical form (Instrument and instrumental ensemble) <syn> Form of music (Instrument and instrumental ensemble)</p> <p>General musical form (Instrumental) Binary, ternary, da capo forms (Instrumental)</p> <p><u> Ternary form (Instrumental) <u> Da capo form (Instrumental) Strophic form (Instrumental) Rondo form (Instrumental) <s> Sonata-rondo form (Instrumental) Variation form (Instrumental) <s> Theme and variations form (instrumental) <i> Variations (Instrumental) Paraphrase form (Instrumental) <s> Parody form (Instrumental) Ground bass form (Instrumental) <h> Ostinato form (Instrumental) <s> Chaconne form (Instrumental) <s> Passacaglia form (Instrumental)</p> <p>Instrumental form Sonata form Sonatina form Symphony form <s> Sinfonietta form Sinfonia concertante form</p> <p>Suite and related form <s> Cassation form Divertimento form Partita form Serenade form</p> <p>Suite form Concerto form <s> Cadenza form <s> Concertante form</p> <p>Concertino form</p>	<p>注記</p> <p>✕ 例) ソナタ・ロンド形式 ✕ 例) 主題と変奏 ✕ 音楽パロディーを含む ✕ 例) ショパン、パッサカリア</p> <p>全般的著作→764.18 ソナタ・ロンド形式→764.1824</p> <p>✕ 例) シンフォニエッタ、交響詩 複数曲のセットで多楽章形式(第1楽章、第2楽章…)のもの をさす 交響曲 764.2184 vs 管弦楽組曲 764.21858 →AUMC目録マニュアル CL1009</p> <p>✕ 例) カッサシオン 組曲形式は 1) 組曲と命名された曲 2) 明白な組曲構造 組曲関連形式は 1) セットとして作曲された曲 2) 習慣的にセット扱いの曲 →AUMC目録マニュアル CL1005 セットとしての古典組曲はここに分類する →764.1883 参考: 古典組曲</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>アレリュート、シンフォニア、トッカータ(舞曲ではない導入楽章) ↓ フルマント → クラフ → サラバンド → シルク ↑ ヌヌイト、アレ、カクソット、 I-ル、バステI</p> </div> <p>協奏曲に関する全般的著作→764.23 ✕ 例) カデンツァ、エンチェルタンテ 付加ファセットとしては、可能な場合は必ず用いる →AUMC目録マニュアル CL1003 (注意: DDCにおいては、「独奏楽器とオーケストラ」の場合 には付加ファセットとして用いない)</p>

音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記(Class here …)」/O2「一般的観点注記(General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕1「含む(Including…)」注記/✕2「包含(Contains…)」注記/✕3「例(Examples:)」注記

- | | | |
|---|--------------------------|----------|
| <g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題
(全下位区分に適用可の観点) | <d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 | -syn 同意語 |
| <o> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 | -tla 意訳語(統一語・参照語が音訳語の場合) | -inv 倒置語 |
| <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 | -tli 音訳語(統一語・参照語が意訳語の場合) | -drc 正置語 |
| <i> 参照語: DDC28の関連索引の語 | -sng 単数形の語 | |
| | -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ) | |

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
Contrapuntal form	後世には異なる意味で用いられるようになった、バロックおよびそれ以前の器楽形式名で、AUMCでは後世の意味で扱っている場合、古い時代の作品には対位法形式ファセットを付加する 例) 前奏曲、ソフオニアなど →AUMC目録マニュアル CL1008
Fugue form	アリウトとフガの2曲セットはここに分類する →AUMC目録マニュアル CL1008
Invention form	
Canzona form	
Fantasia and ricercare forms (Music)	✕例) インノミネ、チェント
Riccercare forms (Music)	幻想曲と訳されるべき、特にロマン派のファンタジア→764.1894
<s> Innomine form	
<s> Tiento form	
<u> Fancy form (Music)	
Canon form	
Dance form	
European dance form	✕例) ガイヤトル、サルタレロ
<s> Galliard form	古典組曲形式の舞曲→764.1883
<s> Saltarello form	19世紀以降のヨーロッパの舞曲形式→764.1884
Pavane form	
Suite form, Dance of the Classical	✕例) ガヴオット、シチリアーナ
<s> Gavotte form	古典組曲の舞曲が単独で扱われる場合は、ここに分類する →764.1858
<s> Siciliano form	
Minuet form	✕例) キーロップ、マヌエラ・ダンス
European dance form of the nineteenth and later centuries	
<s> Galop form	
<s> Polonaise form	
<s> Mazurka form	
Polka form	✕例) ケークウォーク、ネーダウン
Waltz form	ラテンアメリカの舞曲形式→764.1888
Asian dance form	✕例) ムンガ、サンバ
African dance form	
North American dance form	
<s> Cakewalk form	
<s> Hoedown form	
Latin-American dance form	
<s> Samba form	
<s> Rumba form	
Tango form	
Pacific Ocean islands and other parts of the world.	
Dance form of the	
Instrumental form, Other	○1 小規模および性格的器楽形式はここに分類する
Introductory form	他の音楽または演技の導入に用いる音楽
Fanfare form	
Overture form	
Prelude form	バロック時代のアリウトとフガの組み合わせ→764.1872
Intermediate form	バロック時代の前奏曲はここに分類し、対位法ファセットを付加する →AUMC目録マニュアル CL1008
<s> Intermezzo form	演技の間または後に用いる音楽
<s> Voluntary form	✕例) インテルメッツォ、間奏曲、グランドター
<s> Interlude form	付随劇音楽→761.552
<s> Postlude form	
Improvisatory or virtuoso nature, Form of music of an	✕例) アラベスク、アンロアチュ (即興曲)
<u> Virtuoso nature, Form of music of a	ロマン派の性格小品で描写的でないものはここに分類する
<s> Impromptu form	例) ショパンのスケルツォ、ファンタジー
<s> Impromptu form	ただし、バロック時代およびそれ以前の、対位法形式によるファンタジア →764.1876
Rhapsody form	描写的なロマン派の性格小品はここに分類する
Toccata form	

音楽細目使用可のもの ○1 「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / ○2 「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕1 「含む (Including...)」注記 / ✕2 「包含 (Contains...)」注記 / ✕3 「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tia 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の関連索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>【構成法】（660番号） + {表2} 参考：表2より</p> <p>1) 演奏会 078 = {760:78}</p> <p>2) ロック音楽 166 = {761:66}</p> <p>3) ロック音楽のリハーサル 166 144 = {761:66} + {761:44}</p>	<p>764.189 49</p> <p>.189 6</p> <p>.189 64</p> <p>.189 66</p> <p>.189 68</p> <p>.189 7</p> <p>.189 9</p> <p>.189 92</p> <p>.189 925</p> <p>.189 93</p>	<p>①芸術的練習曲形式 練習曲形式</p> <p>②叙情的・描写的形式 ハ"ラト" 描写的形式 瞑想曲形式 無言歌形式</p> <p>③"ルツ"形式 <syn>悲歌形式</p> <p>④夜想曲形式</p> <p>⑤ロズ形式</p> <p>⑥行進曲形式</p> <p>⑦声楽曲から派生した形式</p> <p>⑧宗教音楽から派生した器楽形式 器楽形式（宗教音楽から派生した --） コラ"ム前奏曲 ⑨コラ"ム形式</p> <p>⑩典礼音楽から派生した器楽形式 器楽形式（典礼音楽から派生した --）</p>
	<p>.19</p> <p>.190 28</p> <p>.192</p> <p>.192 2</p> <p>.192 3</p> <p>.1923092</p> <p>.192 7</p> <p>.192 8</p>	<p>①楽器</p> <p>②補助技術および作業（楽器）</p> <p>③技術および作業（個々の--）（楽器） 作業（個々の--）（楽器）</p> <p>④解説および設計（楽器） 設計（楽器）</p> <p>⑤製作（楽器） <syn>組み立て（楽器） ○楽器製作者</p> <p>⑥検査、測定、確認（楽器） 確認（楽器） 測定（楽器）</p> <p>⑦維持、調律、修理（楽器） <u>調律（楽器） 音律（楽器）</p>
<p>【構成法】（660番号） + {表2} 参考：表2より</p> <p>1) 演奏会 078 = {760:78}</p> <p>2) ロック音楽 166 = {761:66}</p> <p>3) ロック音楽のリハーサル 166 144 = {761:66} + {761:44}</p>	<p>.193</p> <p>.193 2</p> <p>.193 4</p> <p>.193 6</p> <p>.193 62</p> <p>.193 64</p> <p>.193 65</p> <p>.193 66</p> <p>.193 67</p> <p>.193 68</p> <p>.193 69</p> <p>.193 8</p>	<p>①楽器演奏技術</p> <p>②呼吸および共鳴（楽器） 共鳴の技術（楽器）</p> <p>③"フ"（楽器） 唇使用法（楽器） "フ"（楽器）</p> <p>④腕の技術（楽器）</p> <p>⑤前腕の技術（楽器）</p> <p>⑥手首の技術（楽器）</p> <p>⑦手の技術（楽器）</p> <p>⑧左手の技術（楽器）</p> <p>⑨右手の技術（楽器）</p> <p>⑩指の技術（楽器） "フ"（楽器） "フ"の技術（楽器） "フ"（楽器）</p> <p>⑪弓の技術（楽器）</p> <p>⑫脚の技術（楽器） "フ"（楽器）</p>
<p>（660） = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p>A VMC基本標目語</p> <p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 （統一語に採用されなかったもの） <m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語：エントになっている標目語の一単位 <v> 参照語：別名注記の論題</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Artistic etude form <i> Etude form Romantic and descriptive form <s> Ballade <u> Descriptive form <s> Meditation form <s> Song-without-word form Elegy form Elegy form Nocturne form Romance form March form Vocal music, Instrumental form derived from Sacred music, Instrumental form derived from <h/i> Instrumental form derived from sacred music <s> Chorale prelude form Chorale form Liturgical forms, Instrumental form derived from <h/i> Instrumental form derived from liturgical forms	 ×3 例) ハート、冥想曲、無言歌 ×3 例) コラール前奏曲 典礼音楽から派生した器楽形式→764.18993
Musical instrument Auxiliary technique and procedure (Musical instrument) Technique and procedure, Specific (Musical instrument) Procedure, Specific (Musical instrument) Description and design (Musical instrument) <u> Design (Musical instrument) Construction (Musical instrument) Construction (Musical instrument) <i> Musical instrument maker Testing, measurement, verification (Musical instrument) <u> Verification (Musical instrument) <u> Measurement (Musical instrument) Maintenance, tuning, repair (Musical instrument) Tuning (Musical instrument) <s> Temperament (Musical instrument)	個々の楽器→766-768 記述および設計→764.1922 組み立て→764.1923 機械による組み立て→DDC681.8 II NDC ×1 音律を含む
Instrument, Technique for playing Breathing and resonance (Musical instrument) <u> Resonance (Instrumental technique) Embouchure (Instrumental technique) <s> Lipping (Instrumental technique) <s> Tonguing (Instrumental technique) Arm technique (Musical instrument) Forearm technique (Musical instrument) Wrist technique (Musical instrument) Hand technique (Musical instrument) Left-hand technique (Musical instrument) Right-hand technique (Musical instrument) Finger technique (Musical instrument) <s> Vibrato (Instrumental technique) <s> Touch technique (Musical instrument) <s> Fingering (Instrumental technique) Bowing technique (Musical instrument) Leg technique (Musical instrument) <s> Pedaling (Instrumental technique)	演奏技術全般に関する著作→764.143 ×3 例) 唇使用法、フリンク 左手の技術→764.19366 右手の技術→764.19367 ×3 例) タッチ、フィンガリング、ウインドアラート ×3 例) ペダリング
音楽細目使用可のもの 01 「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / 02 「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1 「含む (Including...) 注記」 / ×2 「包含 (Contains...) 注記」 / ×3 「例 (Examples:) 注記」	
<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語: DDC20の相関索引の語	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -t1a 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) -t1i 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）										
[構成法] (764.194) + (T22の499) [例] トイの楽器 764.1943 = (764.194) + (499)	764.194-.199	◎地理的扱い（楽器）										
[構成法] (764.2) + (表8a)	.2	◎オーケストラ ソロオーケストラ フルオーケストラ										
	.209 2	◎オーケストラの関係者										
[構成法] (764.2) + (表8a) 参考：表8aより 1a) 演奏会 078 = (764.2) + (78) 2a) 関係者 092 = (764.2) + (92) 2b) ヴァイオリニスト 767.2092 = (764.2) + (767.2092) 2c) ヴァイオリン製作者 767.21092 = (764.2) + (764.109) + (767.2092) 3a) 演奏技術 143 = (764.2) + (143) 3b) 楽器演奏の技術 193 = (764.2) + (193) 4a) ヴァイオリン形式 183 = (764.2) + (183)	.22 .23	◎オーケストラと声楽パート ◎オーケストラと1以上の独奏楽器協奏曲										
[構成法] 1) 同種の独奏楽器 (764.24) + (2) + (766-768) [+ (表8a)] 2) 異種の独奏楽器 (764.24) + (2) + (766-768) X X* [+ (表8a)]	.24	◎オーケストラと2以上の独奏楽器合奏協奏曲										
[構成法] (764.25) + (表8a)	.25	◎オーケストラと1つの独奏楽器独奏協奏曲										
[構成法] (764.2) + (766-768) [+ (表8a)] [例] 1) 独奏ピアノを伴うオーケストラ 764.2 62 = (764.2) + (766.62) 2) 独奏ピアノを伴うオーケストラのリハーサル 764.2 62 144 = 764.2 62 + 761.144	.26-.28 .262186 .265186 .272186 .273186 .2787186 .2832186 .2852186 .2862186 .2894186	◎オーケストラと個々の独奏楽器 ○ピアノ協奏曲 <it>ピアノ協奏曲 ○オルガン協奏曲 ○ヴァイオリン協奏曲 ○ヴァイオリン協奏曲 ○ギター協奏曲 ○フルート協奏曲 ○オーボエ協奏曲 ○クラリネット協奏曲 ○ホルン協奏曲										
() = ファセット要素／網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足／観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない												
<table border="0"> <tr> <td>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語</td> <td rowspan="3">} AVMC基本標目語</td> <td><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</td> </tr> <tr> <td>○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語</td> <td><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</td> </tr> <tr> <td>● 統一語：AUMC独自の基本標目語</td> <td><u> 参照語：1:100になっている標目語の単一位</td> </tr> <tr> <td>★ 統一語：AUMCの合成標目語</td> <td></td> <td><v> 参照語：別名注記の論題</td> </tr> </table>			◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)	○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語	<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題	● 統一語：AUMC独自の基本標目語	<u> 参照語：1:100になっている標目語の単一位	★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題
◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	} AVMC基本標目語	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)										
○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語		<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題										
● 統一語：AUMC独自の基本標目語		<u> 参照語：1:100になっている標目語の単一位										
★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題										

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
Geographical treatment (Musical instrument)	
Orchestra <h> Symphony orchestra <h> Full orchestra	01 オーケストラ編成に関する全般的著作、オーケストラと室内楽の両方を意図した音楽はここに分類する その他のオーケストラ編成→764.3-.9 室内楽→765
Orchestra, Person associated with	01 歌劇およびオーケストラ指揮者として同程度に知られている指揮者の伝記はここに分類する 主として歌劇指揮者として知られている指揮者→762.1092
Orchestra with vocal parts <c> Orchestra with one or more solo instruments <i> Concerto	01 協奏曲に関する全般的著作はここに分類する 2以上の独奏楽器を伴うオーケストラ→764.24 1つの独奏楽器を伴うオーケストラ→764.25 この番号は合集にのみ用いる オーケストラ等と独奏楽器の組み合わせ 764.2番代のファセット構成法(下記枠内の原則)に準じて、764.3-.9にもファセット付加する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 22) 声楽付き 23) 単・複数独奏楽器(合集) 24) 同種複数独奏楽器 + [2] + (766-768) 24) 異種複数独奏楽器 + [(2) + (766-768)] ×必要回数 25) 単数独奏楽器(不特定) 2) 単数独奏楽器(特定) + (766-768) </div> (764.3-.9) + {表Ba}
Orchestra with more than one solo instruments <s> Concerto grosso	×例) 合奏協奏曲 ※重複使用の順序は分類番号(766-768)順
Orchestra with one solo instrument Solo concerto	01 独奏協奏曲に関する全般的著作はここに分類する 個々の独奏楽器→764.26-.28
Orchestra, Specific solo instruments with <i> Piano concerto <i> Piano concerto <i> Organ concerto <i> Violin concerto <i> Viola concerto <i> Guitar concerto <i> Flute concerto <i> Oboe concerto <i> Clarinet concerto <i> Horn concerto	
音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/02「一般的観点注記(General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む(Including...)注記」/×2「包含(Contains...)注記」/×3「例(Examples:)注記」	
<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語: DDC20の相関索引の語	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意訳語(統一語・参照語が音訳語の場合) -tli 音訳語(統一語・参照語が意訳語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (764-768) +</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>22) 声楽付き .3</p> <p>23) 単・複数独奏楽器(合集) .322</p> <p>24) 同種複数独奏楽器 + (2) + (766-768)</p> <p>23) 異種複数独奏楽器 + [(2) + (766-768)] ×必要回数※</p> <p>25) 単数独奏楽器(不特定) .323</p> <p>2) 単数独奏楽器(特定) + (766-768) .324</p> <p>.325</p> <p>25) 単数独奏楽器(不特定) .326-.328</p> <p>2) 単数独奏楽器(特定) + (766-768) .4</p> </div> <p>+ [(表8a)]</p> <p>※重複使用の順序は 分類番号(766-768)順</p> <p>.422</p> <p>.423</p> <p>.424</p> <p>.425</p> <p>.426-.428</p> <p>.44</p> <p>.4422</p> <p>.4423</p> <p>.4424</p> <p>.4425</p> <p>.4426-.4428</p> <p>.46</p> <p>.4622</p> <p>.4623</p> <p>.4624</p> <p>.4625</p> <p>.4626-.4628</p> <p>.48</p> <p>.4822</p> <p>.4823</p> <p>.4824</p> <p>.4825</p> <p>.4826-.4828</p> <p>.6</p> <p>.622</p> <p>.623</p> <p>.624</p>	<p>> 764.3-.9</p>	<p>①オーケストラ編成およびバンド(その他のー)</p> <p>●室内オーケストラ オーケストラ(室内ー) ●室内オーケストラと声楽バンド</p> <p>●室内オーケストラと1以上の独奏楽器 ●室内オーケストラと2以上の独奏楽器 ●室内オーケストラと不特定の1つの独奏楽器 ●室内オーケストラと特定の1つの独奏楽器</p> <p>●軽オーケストラ オーケストラ(軽ー) サロンオーケストラ ●軽オーケストラと声楽バンド ●軽オーケストラと1以上独奏楽器 ●軽オーケストラと2以上独奏楽器 ●軽オーケストラと不特定の1つの独奏楽器 ●軽オーケストラと特定の1つの独奏楽器</p> <p>●学校オーケストラ オーケストラ(学校ー) <ti>スクールオーケストラ ●学校オーケストラと声楽バンド ●学校オーケストラと1以上の独奏楽器 ●学校オーケストラと2以上の独奏楽器 ●学校オーケストラと不特定の1つの独奏楽器 ●学校オーケストラと特定の1つの独奏楽器</p> <p>●玩具の楽器を含むオーケストラ <inv>オーケストラ(玩具の楽器を含むー) 玩具楽器のオーケストラ ●玩具の楽器を含むオーケストラと声楽バンド ●玩具の楽器を含むオーケストラと1以上の独奏楽器 ●玩具の楽器を含むオーケストラと2以上の独奏楽器 ●玩具の楽器を含むオーケストラと不特定の1つの独奏楽器 ●玩具の楽器を含むオーケストラと特定の1つの独奏楽器</p> <p>●ダンスオーケストラ オーケストラ(ダンスー) ダンスバンド バンド(ダンスー) ●ダンスオーケストラと声楽バンド ●ダンスオーケストラと1以上の独奏楽器 ●ダンスオーケストラと2以上の独奏楽器 ●ダンスオーケストラと不特定の1つの独奏楽器 ●ダンスオーケストラと特定の1つの独奏楽器</p> <p>●鍵盤、機械、電子、打楽器バンド バンド(鍵盤、機械、電子、打楽器ー) 機械楽器バンド 鍵盤バンド 電子バンド バンド(機械楽器ー) バンド(鍵盤ー) バンド(電子ー) ●鍵盤、機械、電子、打楽器バンドと声楽バンド</p> <p>●鍵盤、機械、電子、打楽器バンドと1以上の独奏楽器 ●鍵盤、機械、電子、打楽器バンドと2以上の独奏楽器</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>		<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>
<p>● 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p style="text-align: center;">AUMC基本標目語</p>		<p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>

統一語と参照語(欧米語形)	注記
<p>Orchestral combinations and band, Other</p> <p>Chamber orchestra Orchestra, Chamber Chamber orchestra with vocal parts</p> <p>Chamber orchestra with one or more solo instruments Chamber orchestra with more than one solo instruments Chamber orchestra with one solo instrument Chamber orchestra, Specific solo instrument with</p> <p>Light orchestra Orchestra, Light</p> <p><c> Salon orchestra Light orchestra with vocal parts Light orchestra with one or more solo instruments Light orchestra with more than one solo instruments Light orchestra with one solo instrument Light orchestra, Specific solo instrument with</p> <p>School orchestra Orchestra, School School orchestra School orchestra with vocal parts School orchestra with one or more solo instruments School orchestra with more than one solo instruments School orchestra with one solo instrument School orchestra, Specific solo instrument with</p> <p>Toy instruments, Orchestra with Orchestra with toy instruments</p> <p><i> Toy instrument orchestra Toy instruments with vocal parts, Orchestra with Toy instruments with one or more solo instruments, Orchestra with Toy instruments with more than one solo instruments, Orchestra with Toy instruments with one solo instrument, Orchestra with Toy instruments, Specific solo instrument with orchestra with</p> <p>Dance orchestra Orchestra, Dance</p> <p><h> Dance band Band, Dance Dance orchestra with vocal parts Dance orchestra with one or more solo instruments Dance orchestra with more than one solo instruments Dance orchestra with one solo instrument dance orchestra, Specific solo instruments with</p> <p>Keyboard, mechanical, electronic, percussion band Band, Keyboard, mechanical, electronic, percussion</p> <p><u> Mechanical band <u> Keyboard band <u> Electronic band <u> Band, Mechanical <u> Band, Keyboard <u> Band, Electronic Keyboard, mechanical, electronic, percussion band with vocal parts Keyboard, mechanical, electronic, percussion band with band with one or more solo instruments Keyboard, mechanical, electronic, percussion band with more than one solo instruments</p>	<p>オーケストラ編成とバンド、およびバンドに関する全般的著作 →764 オーケストラ編成全般に関する著作→764.2 室内楽→765</p> <p>独奏楽器等との組み合わせ →764.22/.23 →AU/MARC目録マユア CL1001</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>01 サロン・オーケストラはここに分類する</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p>
<p>音楽細目使用可のもの O「ここに分類せよ注記(Class here...)」/O2「一般的観点注記(General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む(Including...」注記」/X2「包含(Contains...」注記」/X3「例(Examples:)」注記」</p>	
<p><g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p> <p><c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題</p> <p><s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題</p> <p><i> 参照語: DDC20の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題</p> <p>-tla 意識語(統一語・参照語が音訳語の場合)</p> <p>-tli 音訳語(統一語・参照語が意識語の場合)</p> <p>-sng 単数形の語</p> <p>-plu 複数形の語(特に必要な場合のみ)</p> <p>-syn 同意語</p> <p>-inv 倒置語</p> <p>-drc 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (764.625) +</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>22) 声楽付き</p> <p>22) 単・複数独奏楽器(合集)</p> <p>24) 同種複数独奏楽器 + (22) + (766-768)</p> <p>24) 異種複数独奏楽器 + [(22) + (766-768)] ×必要回数※</p> <p>25) 単数独奏楽器(不特定)</p> <p>25) 単数独奏楽器(特定) + (766-768)</p> </div> <p>+ [(表8a)]</p> <p>※重複使用の順序は 分類番号(766-768)順</p>	<p>764.625</p> <p>.626-.628</p> <p>.68</p> <p>.6822</p> <p>.6823</p> <p>.6824</p> <p>.6825</p> <p>.6826-.6828</p> <p>.7</p> <p>.722</p> <p>.723</p> <p>.724</p> <p>.725</p> <p>.726-.728</p> <p>.8</p> <p>.822</p> <p>.823</p> <p>.824</p> <p>.825</p> <p>.826-.828</p> <p>.83</p> <p>.8322</p> <p>.8323</p> <p>.8324</p> <p>.8325</p> <p>.8326-.8328</p> <p>.84</p> <p>.8422</p> <p>.8423</p> <p>.8424</p> <p>.8425</p> <p>.8426-.8428</p> <p>.89</p> <p>.8922</p> <p>.8923</p> <p>.8924</p> <p>.8925</p> <p>.8926-.8928</p> <p>.9</p> <p>.922</p> <p>.923</p> <p>.924</p> <p>.925</p> <p>.926-.928</p>	<p>●鍵盤、機械、電子、打楽器の1つと不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●鍵盤、機械、電子、打楽器の1つと特定の1つの独奏楽器</p> <p>①打楽器の1つ</p> <p>バント(打楽器--)</p> <p>リズム・バント</p> <p>バント(リズム--)</p> <p>●打楽器の1つと声楽の1つ</p> <p>●打楽器の1つと1以上の独奏楽器</p> <p>●打楽器の1つと2以上の独奏楽器</p> <p>●打楽器の1つと不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●打楽器の1つと特定の1つの独奏楽器</p> <p>②弦楽オーケストラ</p> <p>オーケストラ(弦楽--)</p> <p>●弦楽オーケストラと声楽の1つ</p> <p>●弦楽オーケストラと1以上の独奏楽器</p> <p>●弦楽オーケストラと2以上の独奏楽器</p> <p>●弦楽オーケストラと不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●弦楽オーケストラと特定の1つの独奏楽器</p> <p>③管楽器の1つ</p> <p>バント(管楽器--)</p> <p>●管楽器の1つと声楽の1つ</p> <p>●管楽器の1つと1以上の独奏楽器</p> <p>●管楽器の1つと2以上の独奏楽器</p> <p>●管楽器の1つと不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●管楽器の1つと特定の1つの独奏楽器</p> <p>④マチグ・バント</p> <p>バント(マチグ--)</p> <p>●マチグ・バントと声楽の1つ</p> <p>●マチグ・バントと1以上の独奏楽器</p> <p>●マチグ・バントと2以上の独奏楽器</p> <p>●マチグ・バントと不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●マチグ・バントと特定の1つの独奏楽器</p> <p>⑤軍楽隊</p> <p>●軍楽隊と声楽の1つ</p> <p>●軍楽隊と1以上の独奏楽器</p> <p>●軍楽隊と2以上の独奏楽器</p> <p>●軍楽隊と不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●軍楽隊と特定の1つの独奏楽器</p> <p>⑥木管の1つ</p> <p>バント(木管--)</p> <p>●木管の1つと声楽の1つ</p> <p>●木管の1つと1以上の独奏楽器</p> <p>●木管の1つと2以上の独奏楽器</p> <p>●木管の1つと不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●木管の1つと特定の1つの独奏楽器</p> <p>⑦ブラスの1つ</p> <p>バント(ブラス--)</p> <p>●ブラスの1つと声楽の1つ</p> <p>●ブラスの1つと1以上の独奏楽器</p> <p>●ブラスの1つと2以上の独奏楽器</p> <p>●ブラスの1つと不特定の1つの独奏楽器</p> <p>●ブラスの1つと特定の1つの独奏楽器</p>
	765	<p>⑧室内楽</p> <p><i-tla></p> <p>風力楽器(室内アヴァム)</p> <p>イタリアン楽器(室内アヴァム)</p> <p>管楽器(室内アヴァム)</p>

() = ファセット要素/網掛け部分を結合する
 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通
 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語
 ⇨ = も見よ [] = 使用しない

- ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語
 - 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語
 - 統一語: AUMC独自の基本標目語
 - ★ 統一語: AUMCの合成標目語
- A VMC基本標目語
- <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)
 - <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題
 - <u> 参照語: 1つになっている標目語の一単位
 - <v> 参照語: 別名注記の論題

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Keyboard, mechanical, electronic, percussion band with one solo instrument Keyboard, mechanical, electronic, percussion band, Specific solo instruments with Percussion band Band, Percussion Rhythm band Band, Rhythm Percussion band with vocal parts Percussion band with one or more solo instruments Percussion band with more than one solo instruments Percussion band with one solo instrument Percussion band, Specific solo instrument with String orchestra Orchestra, String String orchestra with vocal parts String orchestra with one or more solo instruments String orchestra with more than one solo instruments String orchestra with one solo instrument String orchestra, Specific solo instrument with Wind band Band, Wind Wind band with vocal parts Wind band with one or more solo instruments Wind band with more than one solo instruments Wind band with one solo instrument Wind band, Specific solo instrument with Marching band Band, Marching Marching band with vocal parts Marching band with one or more solo instruments Marching band with more than one solo instruments Marching band with one solo instrument Marching band, Specific solo instrument with Military band Band, Military Military band with vocal parts Military band with one or more solo instruments Military band with more than one solo instruments Military band with one solo instrument Military band, Specific solo instrument with Woodwind band Band, Woodwind Woodwind band with vocal parts Woodwind band with one or more solo instruments Woodwind band with more than one solo instruments Woodwind band with one solo instrument Woodwind band, Specific solo instrument with Brass band Band, Brass Brass band with vocal parts Brass band with one or more solo instruments Brass band with more than one solo instruments Brass band with one solo instrument Brass band, Specific solo instrument with</p>	<p>01 リズム・バンドはここに分類する</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>木管楽器、金管楽器、または両方からなるバンド</p> <p>ブラス・バンド → 764.9 この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p> <p>この番号は、合集にのみ用いる</p>
<p>Chamber music</p> <p><i> Aeolian instrument (Chamber ensemble) <i> Aeolian instrument (Chamber ensemble) <i> Wind instrument (Chamber ensemble)</p>	<p>01 室内楽はここに分類する 鍵盤楽器または他の伴奏楽器を伴う独奏旋律楽器のための作品 → 766-768</p>
<p>音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/02「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む (Including...) 注記」/X2「包含 (Contains...) 注記」/X3「例 (Examples:) 注記」</p>	
<p><g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語：「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語：DDC20の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) -tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)</p> <p>-syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
	765(Cont.)	機械楽器(室内アソファム) 金管楽器(室内アソファム) 弦楽器(室内アソファム) 鍵盤楽器(室内アソファム) 打楽器(室内アソファム) 電鳴楽器(室内アソファム) 独奏楽器(室内アソファム) 木管楽器(室内アソファム)
[構成法] {765.0} + {760.1-09} [例] 室内楽の演奏会 765.0 078 = {765.0} + {760.103}	.001-.009	◎音楽編目(室内楽)
[構成法] {765.0} + {761.1-07} [例] 演奏技術 765.0 43 = {765.0} + {761.03}	.01-.07	◎一般原理(室内楽)
[構成法] {765.0} + {764.100-109} [例] 1) フル形式 765.0 8846 = {765.0} + {764.100000} 2) 楽器演奏の技術 765.0 93 = {765.0} + {764.103}	.08-.09	◎音楽形式および楽器(室内楽) 楽器(室内楽)
	.1	◎楽器数による区分(室内楽)
[構成法] {765.0} + 表8 a	.12 .13 .14 .15 .16 .17 .18 .19	◎二重奏(室内楽) ◎三重奏(室内楽) ◎四重奏(室内楽) ◎五重奏(室内楽) ◎六重奏(室内楽) ◎七重奏(室内楽) ◎八重奏(室内楽) ◎九重奏以上の組合せ(室内楽)
[構成法] {765.0} + (表8 b)	> 765.2-.9 > 765.2-.5	◎各種のアソファム(室内楽) ◎2以上の楽器グループからなるアソファム(室内楽) 金管楽器(2以上の楽器グループからなる室内アソファム) 弦楽器(2以上の楽器グループからなる室内アソファム) 打楽器(2以上の楽器グループからなる室内アソファム)
() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通		
→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない		
◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語		
○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語		
● 統一語: AUMC独自の基本標目語		
★ 統一語: AUMCの合成標目語		
} AUMC基本標目語		
<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)		
<m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題		
<u> 参照語: エントリになっている標目語の単一位		
<v> 参照語: 別名注記の論題		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<i> Mechanical musical instrument (Chamber ensemble) <i> Brass instrument (Chamber ensemble) <i> Stringed instrument (Chamber ensemble) <i> Keyboard instrument (Chamber ensemble) <i> Percussion instrument (Chamber ensemble) <i> Electrophone (Chamber ensemble) <i> Solo instrument (Chamber ensemble) <i> Woodwind instrument (Chamber ensemble)	
Standard subdivision, Modified (Chamber music)	
General principle (Chamber music)	楽器演奏の技術→765.093
Musical form and instrument (Chamber music) <u> Musical instrument (Chamber music)	
Size, Ensemble by (Chamber music)	この区分を765の他の部分に適用する場合には、楽器数を意味する 例外)「打楽器アンサンブル 765.68」では演奏者数を意味する
Duet (Chamber music) Trio (Chamber music) Quartet (Chamber music) Quintet (Chamber music) Sextet (Chamber music) Septet (Chamber music) Octet (Chamber music) Nonet and larger ensembles (Chamber music)	
Kinds of ensembles, Specific (Chamber music) Ensemble consisting of two or more instrumental groups (Chamber music) <i> Brass instrument (Mixed chamber ensemble) <i> Stringed instrument (Mixed chamber ensemble) <i> Percussion instrument (Mixed chamber ensemble)	全般的著作→765 全般的著作→765
音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/O2「一般的観点注記(General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む(Including...)注記」/X2「包含(Contains...)注記」/X3「例(Examples:)注記」	
<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語：「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語：DDC20の相関索引の語	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tia 意訳語(統一語・参照語が音訳語の場合) -tli 音訳語(統一語・参照語が意訳語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

フアセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (詳細編) + {表8b}</p> <p>参考: 表8bより</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1) 演奏会 078 = {760.78}</p> <p>2a) 宗教音楽 17 = {761.17}</p> <p>2b) 宗教音楽のリール 17 145 = {17} + {761.145}</p> <p>3) フルツ形式 18 846 = {18} + {764.18846}</p> <p>4) 八重奏 19 8 = {19} + {765.19}</p> </div>	<p>> 765.2-5(Cont.)</p> <p>.2</p> <p>.22</p> <p>.23</p> <p>.24</p> <p>.25</p> <p>.26</p> <p>.27</p> <p>.28</p> <p>.29</p> <p>.292</p> <p>.293</p> <p>.294</p> <p>.295</p> <p>.296</p> <p>.297</p> <p>.298</p> <p>.299</p> <p>.299 2</p> <p>.299 3</p> <p>.299 4</p> <p>.299 5</p> <p>.299 6</p> <p>.299 7</p> <p>.299 8</p> <p>.299 9</p> <p>.3</p> <p>.32</p> <p>.33</p> <p>.34</p> <p>.35</p> <p>.36</p> <p>.37</p> <p>.38</p> <p>.39</p> <p>.4</p> <p>.42</p> <p>.43</p> <p>.44</p> <p>.45</p> <p>.46</p> <p>.462</p>	<p>電鳴楽器(2以上の楽器グループからなる室内アガアム)</p> <p>木管楽器(2以上の楽器グループからなる室内アガアム)</p> <p>①鍵盤楽器を含むアガアム</p> <p>鍵盤楽器(2以上の楽器グループからなる室内アガアム)</p> <p>①木管、金管、弦楽、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、金管、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、弦楽、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管、弦楽、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管と鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管と鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①弦楽と鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①電子、打、鍵盤楽器を含むアガアム</p> <p>①木管、金管、弦楽、電子、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、金管、電子、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、弦楽、電子、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管、弦楽、電子、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、電子、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管、電子、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①弦楽、電子、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①電子および鍵盤楽器を含むアガアム</p> <p>①木管、金管、弦楽、電子、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、金管、電子、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、弦楽、電子、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管、弦楽、電子、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、電子、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管、電子、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①弦楽、電子、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①電子と鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①電子楽器を含まず、打楽器と鍵盤楽器を含むアガアム</p> <p>①木管、金管、弦楽、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、金管、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、弦楽、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管、弦楽、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①木管、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①金管、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①弦楽、打、鍵盤楽器のアガアム</p> <p>①鍵盤と打楽器のアガアム</p> <p>①鍵盤楽器を含まないアガアム</p> <p>①木管、金管、弦楽のアガアム</p> <p>①木管と金管のアガアム</p> <p>管楽アガアム</p> <p>①木管と弦楽のアガアム</p> <p>①金管と弦楽のアガアム</p> <p>①電子楽器を含むアガアム</p> <p>①木管、金管、弦楽、電子楽器のアガアム</p>
<p>{ } = フアセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>		
<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p>A VMC基本標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エットになっている標目語の単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p><i> Electrophone (Mixed chamber ensemble)</p> <p><i> Woodwind instrument (Mixed chamber ensemble)</p> <p>Keyboard, Ensemble with</p> <p><i> Keyboard instrument (Mixed chamber ensemble)</p> <p>Woodwind, brass, strings, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, brass, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, strings, keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass, strings, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind and keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass and keyboard, Ensemble of</p> <p>Strings and keyboard, Ensemble of</p> <p>Electrophone, percussion, keyboard, Ensemble with</p> <p>Woodwind, brass, strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble</p> <p>Woodwind, brass, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass, strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Electrophone and keyboard, Ensemble with</p> <p>Woodwind, brass, strings, electrophone, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, brass, electrophone, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, strings, electrophone, keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass, strings, electrophone, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, electrophone, keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass, electrophone, keyboard, Ensemble of</p> <p>Strings, electrophone, keyboard, Ensemble of</p> <p>Electrophone and keyboard, Ensemble of</p> <p>Percussion and keyboard, Ensemble without electrophone and with</p> <p>Woodwind, brass, strings, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, brass, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, strings, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass, strings, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Woodwind, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Brass, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>String, percussion, keyboard, Ensemble of</p> <p>Keyboard and percussion, Ensemble of</p> <p>Ensemble without keyboard</p> <p>Woodwind, brass, strings, Ensemble of</p> <p>Woodwind and brass, Ensemble of</p> <p><h> Wind ensemble</p> <p>Woodwind and strings, Ensemble of</p> <p>Brass and strings, Ensemble of</p> <p>Electrophone, Ensemble with</p> <p>Woodwind, brass, strings, electrophone, Ensemble of</p>	<p>電子楽器を含まず、打楽器と鍵盤楽器を含むアングアル →765.3</p> <p>2以上の木管楽器 1つの木管楽器と鍵盤楽器のアングアル →768.2</p> <p>2以上の金管楽器 1つの金管楽器と鍵盤楽器のアングアル →768.9</p> <p>2以上の弦楽器 1つの弦楽器と鍵盤楽器のアングアル →767</p> <p>2以上の電子楽器 1つの電子楽器と鍵盤楽器のアングアル →766.7</p> <p>鍵盤楽器を含まず、打楽器を含むアングアル →765.5</p>
<p>音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/O2「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む (Including...) 注記」/X2「包含 (Contains...) 注記」/X3「例 (Examples:) 注記」</p>	
<p><g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p> <p><o> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題</p> <p><s> 参照語：「立ち見附注記」の論題</p> <p><i> 参照語：DDC20の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題</p> <p>-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)</p> <p>-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)</p> <p>-sng 単数形の語</p> <p>-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)</p> <p>-syn 同意語</p> <p>-inv 倒置語</p> <p>-drc 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] (楽種番号) + (表8b) 参考：表8bより</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1) 演奏会 078 = (760.078) 2a) 宗教音楽 17 = (761.17) 2b) 宗教音楽のワル 17 145 = (17) + (761.145) 3) ワル形式 18 846 = (18) + (764.18846) 4) 八重奏 19 8 = (19) + (765.19)</p> </div>	<p>765.463 .464 .465 .466 .467 .468 .5 .52 .53 .54 .55 .56 .57 .58 .59 .592 .593 .594 .595 .596 .597 .598 .599</p>	<p>①木管、金管、電子楽器のアヴァン ①木管、弦楽、電子楽器のアヴァン ①金管、弦楽、電子楽器のアヴァン ①木管と電子楽器のアヴァン ①金管と電子楽器のアヴァン ①弦楽と電子楽器のアヴァン ①鍵盤楽器を含まず、打楽器を含むアヴァン ①木管、金管、弦楽、打楽器のアヴァン ①木管、金管、打楽器のアヴァン ①木管、弦楽、打楽器のアヴァン ①金管、弦楽、打楽器のアヴァン ①木管と打楽器のアヴァン ①金管と打楽器のアヴァン ①弦楽と打楽器のアヴァン ①電子楽器と打楽器を含むアヴァン ①木管、金管、弦楽、電子楽器、打楽器 ①木管、金管、電子楽器、打楽器 ①木管、弦楽、電子楽器、打楽器 ①金管、弦楽、電子楽器、打楽器 ①木管、電子楽器、打楽器 ①金管、電子楽器、打楽器 ①弦楽、電子楽器、打楽器 ①電子楽器と打楽器</p>
<p>[構成法] (楽種番号) + (楽器表示) [+ (表8b)]</p> <p>注意</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>765.7194 × 3-0の弦楽器 ○ 弦楽四重奏 765.7194094 3-0の弦楽四重奏</p> </div>	<p>> 765.6-.9</p>	<p>①1種類の楽器グループで構成するアヴァン</p>
<p>[構成法] (楽種番号) + (表8b)</p>	<p>.6</p>	<p>①鍵盤楽器、電子楽器、打楽器アヴァン 打楽器アヴァン 電子楽器アヴァン</p>
<p>[構成法] (楽種番号) + (表8b) [+ (表8b)]</p> <p>[例] 1) ピアノアヴァン用の音楽 765.62 = (765.62) + (766.2) 2) 2台のピアノ用の音楽 765.62192 = 765.62 + (765.192)</p>	<p>.62-.65</p>	<p>①鍵盤楽器アヴァン 鍵盤楽器（1種類の楽器グループの室内アヴァン）</p>
<p>[構成法] (楽種番号) + (表8b)</p>	<p>.67</p>	<p>①電子楽器アヴァン 電鳴楽器（1種類の楽器グループの室内アヴァン）</p>
<p>[構成法] (楽種番号) + (766.73-.76) [+ (表8b)]</p> <p>[例] 1) 複数のシンセサイザー用の音楽 765.674 = (765.674) + (766.74) 2) シンセサイザー六重奏曲 765.674196 = 765.674 + (19) + (765.196)</p>	<p>.673-.676</p>	<p>①1種類の電子楽器によるアヴァン</p>
<p>[構成法] (楽種番号) + (表8b)</p>	<p>.68</p>	<p>①打楽器アヴァン 打楽器（1種類の楽器グループの室内アヴァン）</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p style="text-align: center;">AVMC基本標目語</p> <p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語：エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語：別名注記の論題</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Woodwind, brass, electrophone, Ensemble of Woodwind, strings, electrophone, Ensemble of Brass, strings, electrophone, Ensemble of Woodwind and electrophone, Ensemble of Brass and electrophone, Ensemble of Strings and electrophone, Ensemble of Percussion, Ensemble without keyboard and with Woodwind, brass, strings, percussion, Ensemble of Woodwind, brass, percussion, Ensemble of Woodwind, strings, percussion, Ensemble of Brass, strings, percussion, Ensemble of Woodwind and percussion, Ensemble of Brass and percussion, Ensemble of Strings and percussion, Ensemble of Electrophone and percussion, Ensemble with Woodwind, brass, string, electrophone, percussion, Ensemble of Woodwind, brass, electrophone, percussion, Ensemble of Woodwind, string, electrophone, percussion, Ensemble of Brass, string, electrophone, percussion, Ensemble of Woodwind, electrophone, percussion, Ensemble of Brass, electrophone, percussion, Ensemble of String, electrophone, percussion, Ensemble of Electrophone and percussion, Ensemble of</p>	
<p>One instrumental group, Ensemble consisting of only</p>	<p>「1種類の」とは、個々の種類の楽器のことで、楽器属ではない 例) ヴァイオリン2、ヴィオラ1、チェロ1で構成する弦楽四重奏 →765.7194 765.72194 (ヴァイオリン四重奏) ではない 楽器を示す766-768からの付加は、当該楽器を示す番号のみを付加する 付加を指示する脚注には従わない 全般的著作→765</p>
<p>Keyboard, electrophone, percussion ensemble <u> Percussion ensemble <u> Electrophone ensemble</p>	
<p>Keyboard ensemble <i> Keyboard instrument (Single type chamber ensemble)</p>	
<p>Electrophone ensemble <i> Electrophone (Single type chamber ensemble)</p>	<p>一般的な楽器が電氣的に増幅または変質されたものおよびそのアンプ→当該楽器・楽器群 例) ILK・ギター・アンプ 765.787 1人の演奏者のための電子音楽→766.7</p>
<p>Electrophone instrument, Ensemble with only one type of</p>	
<p>Percussion ensemble <i> Percussion instrument (Single type chamber ensemble)</p>	<p>例 2人以上の演奏者用のアンプはここに分類する →765.1の注記 1人の演奏者用の打楽器音楽→766.8</p>

音楽細目使用可のもの 例「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / 例「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む (Including...) 注記」 / ×2「包含 (Contains...) 注記」 / ×3「例 (Examples:) 注記」

<p><g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p>	<p><d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題</p>	<p>-syn 同意語</p>
<p><e> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題</p>	<p>-tia 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)</p>	<p>-inv 倒置語</p>
<p><g> 参照語: 「立ち見席注記」の論題</p>	<p>-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)</p>	<p>-drc 正置語</p>
<p><i> 参照語: DDC20の相関索引の語</p>	<p>-sng 単数形の語</p>	
	<p>-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)</p>	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
[構成法] (765.7) + (表8b) [構成法] (765.7) + (767.87) [+ (表8b)] [例] 1) ギター用の音楽 765.7 87 = (765.7) + (767.87) 2) ギター用四重奏曲 765.7 87 194 = 765.7 87 + (194) + (765.194)	765.7 72-79	◎弦楽アンサンブル 弦楽器(1種類の楽器グループの室内アンサンブル) 標弦楽器アンサンブル ◎弦楽器のみのアンサンブル(1種類の---)
[構成法] (765.8) + (表8b) [構成法] (765.8) + (768.87) [+ (表8b)] [例] 1) 複数のサクソフォン用の音楽 765.8 7 = (765.8) + (768.87) 2) サクソフォン用四重奏曲 765.8 7 194 = 765.8 7 + (194) + (765.194)	.8 .82-88	◎木管アンサンブル 木管楽器(1種類の楽器グループの室内アンサンブル) ◎木管楽器のみのアンサンブル(1種類の---)
[構成法] (765.9) + (表8b)	.9	◎金管アンサンブル 金管楽器(1種類の楽器グループの室内アンサンブル)
[構成法] (765.9) + (768.92-99) [+ (表8b)] [例] 1) 複数のトロンボーン用の音楽 765.9 3 = (765.9) + (768.92) 2) トロンボーン用四重奏曲 765.9 3 194 = 765.9 3 + (194) + (765.194)	.92-99	◎金管楽器のみのアンサンブル(1種類の---)
	> 766-768	◎個々の楽器およびその音楽 独奏楽器 独奏器楽曲
[構成法] (766) + (表8a)	766	◎鍵盤楽器、機械楽器、電子楽器、打楽器 機械楽器 鍵盤楽器(不特定の---) 鍵盤楽器(独奏曲) 弦鳴鍵盤楽器 打楽器 電子楽器
() = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通		→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない
◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 AVMC基本標目語		<h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の一単位 <v> 参照語: 別名注記の論題

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] { 雑形 } + { 表Ba }</p>	<p>766(Cont.)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>概要</p> <p>766.2 ピアノ</p> <p>.3 クラウド</p> <p>.4 ループシット</p> <p>.5 鍵盤管楽器 オルガン</p> <p>.6 機械楽器および風力による楽器</p> <p>.7 電気・電子楽器</p> <p>.8 打楽器</p> <p>.9 太鼓および打楽器効果用の装置</p> </div>
	<p>> 766.2-.5</p>	<p>①鍵盤楽器</p>
	<p>> 766.2-.4</p>	<p>①弦鳴鍵盤楽器</p>
<p>[構成法] { 詳細番号 } + { 表Ba }</p> <p>参考：表Baより</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1a) 演奏会 078 = { 766.76 }</p> <p>2a) 関係者 092 = { 766.92 }</p> <p>2b) ヴァイオリニスト 767.2092 = { 767.2 } + { 766.92 }</p> <p>2c) ヴァイオリン製作者 767.21092 = { 767.2 } + { 764.19 } + { 766.92 }</p> <p>3a) 演奏技術 143 = { 761.43 }</p> <p>3b) 楽器演奏の技術 193 = { 764.193 }</p> <p>4a) ソフト形式 183 = { 764.183 }</p> </div>	<p>.2</p> <p>.2092</p> <p>.28</p> <p>.3</p> <p>.4</p> <p>.4092</p> <p>.5</p> <p>.5092</p> <p>.55</p> <p>.59</p> <p>.6</p> <p>> 766.64-.69</p> <p>.64</p> <p>.65</p> <p>.66</p> <p>.67</p> <p>.68</p> <p>.69</p>	<p>①ピアノ</p> <p>○ピアノスト</p> <p><i>tl</i>ピアノ奏者</p> <p>①アラビア・ピアノ</p> <p>①クラウド</p> <p>①ループシット</p> <p>スピネット</p> <p>チェンバロ</p> <p>○ループシット奏者</p> <p>①オルガン（楽器）</p> <p>鍵盤管楽器</p> <p>○オルガン奏者</p> <p><i>tl</i>オルガニスト</p> <p>①リード・オルガンおよびリガム</p> <p>アメリカン・オルガン</p> <p>スピネット・オルガン</p> <p>ルモウム</p> <p>リガム</p> <p>①電子オルガン</p> <p>鍵盤電子楽器</p> <p>①機械楽器および風力楽器</p> <p>機械楽器（独奏曲）</p> <p>機械楽器</p> <p>風力楽器</p> <p>①機械楽器</p> <p>①機械で打つ体鳴楽器</p> <p>ガロン</p> <p>機械化されたハル</p> <p>①機械橋奏体鳴楽器</p> <p>オルゴール</p> <p>ジグソー</p> <p>①機械鍵盤楽器</p> <p>自動ピアノ</p> <p>ピアノラ</p> <p>①機械弦鳴楽器</p> <p>①機械管楽器</p> <p>フェア・オルガン</p> <p>①風力楽器</p> <p><tl>イタリア楽器</p>
<p>() = ファセット要素 / 網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語：AUMC独自の基本標目語</p> <p>★ 統一語：AUMCの合成標目語</p> <p style="text-align: center;">AUMC基本標目語</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足 / 観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない</p>	<p><h> 参照語：DDC20の基本標目語 （統一語に採用されなかったもの）</p> <p><m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語：上級になっている標目語の一単位</p> <p><v> 参照語：別名注記の論題</p>

統一語と参照語（欧米語形）	注記
Keyboard instrument Keyboard stringed instrument	全般的著作→766 機械鍵盤楽器→766.66 体鳴鍵盤楽器→766.63 全般的著作→766
Piano <i> Pianist <i> Pianist Prepared piano Clavichord Harpsichord Spinet <syn> Cembalo <i> Harpsichordist <m> Organ (Musical instrument) Keyboard wind instrument <i> Organist <i> Organist Reed organ and regal <v> American organ <v> Cabinet organ <v> Harmonium <u> Regal Electronic organ Keyboard electrophone Mechanical and aeolian instrument <i> Mechanical musical instrument (Solo music) <u> Mechanical musical instrument <u> Aeolian instrument Mechanical instrument Mechanical struck idiophone <s> Carillons <s> Mechanized bells Mechanical plucked idiophone <s> Music box <s> Symphonion Mechanical keyboard instrument <s> Player piano <s> Pianola Mechanical stringed instrument Mechanical wind instrument <s> Fair organ Aeolian instrument Aeolian instrument	O1 ヴァージナル、スピネットはここに分類する エンチェルテナ→768.84 アーティオン→768.86 リード・オルガンの別名：アメリカン・オルガン、キビーネット・オルガン、ハーモニウム O1 鍵盤電子楽器に関する全般的著作はここに分類する 演奏手段として使用される鍵盤電子楽器はここに分類する 作曲手段として使用される電子楽器 →766.74 電氣的増幅や電子的変化が加えられていても通常の発音方式による楽器と同じ場所に分類する 例) 電気ピアノ766.2 全般的著作→766.6 X3 例) 機械化されたベル、カゴ O1 機械的な体鳴楽器に関する全般的著作はここに分類する 機械で弾く体鳴楽器→766.65 X3 例) オルゴール、シンフォニア 鍵盤に自動演奏機能が追加された機械楽器 X3 例) 自動ピアノ(ピアノラ) 機械的な鍵盤管楽器→766.68 機械的な弦鳴鍵盤楽器→766.66 X3 例) フェア・オルガン 送風によって鳴る楽器
音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/O2「一般的観点注記(General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む(Including...)」注記/X2「包含(Contains...)」注記/X3「例(Examples:)」注記	
<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語：「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語：DDC20の相関索引の語	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意識語(統一語・参照語が意識語の場合) -tli 音訳語(統一語・参照語が意識語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語(特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (標準番号) + (表8a) 参考: 表8aより</p> <p>1a) 演奏会 078 = (760.78) 2a) 関係者 092 = (760.92) 2b) グァイリニスト 767.2092 = (767.2) + (760.92) 2c) グァイリニ製作者 767.21092 = (767.2) + (764.19) + (760.92) 3a) 演奏技術 143 = (761.43) 3b) 楽器演奏の技術 193 = (764.193) 4a) ソナ形式 183 = (764.183)</p>	<p>766.7 .73 .74</p>	<p>①電鳴楽器 電子楽器 電気楽器 電鳴楽器(独奏曲)</p> <p>①単声電鳴楽器 <syn>単声電子楽器 オトノマシノ テレホン</p> <p>①ソノライザー 電子音楽</p>
	<p>.75 .76</p>	<p>①テープ(電鳴楽器) 具体音楽 磁気テープ ミュージック・エクレート</p> <p>①エレクトラ(電鳴楽器) <syn?>エレクトラ音楽</p>
<p>[構成法] (標準番号) + (表8a) 参考: 表8aより</p> <p>1a) 演奏会 078 = (760.78) 2a) 関係者 092 = (760.92) 2b) グァイリニスト 767.2092 = (767.2) + (760.92) 2c) グァイリニ製作者 767.21092 = (767.2) + (764.19) + (760.92) 3a) 演奏技術 143 = (761.43) 3b) 楽器演奏の技術 193 = (764.193) 4a) ソナ形式 183 = (764.183)</p>	<p>.8 .82 .83</p>	<p>①打楽器 打楽器(独奏曲)</p> <p>①体鳴楽器(振動する発音物質) 板(楽器) さお(楽器) 槽(楽器) 筒(楽器) ブロック(楽器) 棒(楽器) 棒(楽器) 容器(楽器)</p> <p>①複整体鳴楽器 フィルタ</p>
	<p>> 766.84-.87 .84</p>	<p>①複式体鳴楽器 ①打奏体鳴楽器(複式) 複式打奏体鳴楽器</p>
<p>[構成法] {766.84} + {766.8842-.8844} [例] 1) 棒状体鳴楽器 766.84 3 = (766.84) + {766.883} 2) 棒状体鳴楽器の演奏会 766.84 3 078 = 766.84 3 + (760.78)</p>	<p>.842-.848 .842 .843 .844</p>	<p>①発音固体(個々の形状の—)</p> <p>○さお(複式打奏体鳴楽器) さお(打奏体鳴楽器)</p> <p>○棒(複式打奏体鳴楽器) クワイラフオン クワクワシビール ステールドラム 西インド諸島のステールドラム 棒(打奏体鳴楽器) マリカ 木琴 メンガン[?]</p> <p>○槽(複式打奏体鳴楽器) 槽(打奏体鳴楽器)</p>
<p>{ } = ファセット要素/網掛け部分を結合する → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 <h> 参照語: DDC20の基本標目語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 (統一語に採用されなかったもの) ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 AUMC基本標目語 <u> 参照語: 1つになっている標目語の単一位 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Electrophone <m> Electronic instrument <m> Electric instrument <i> Electrophones (Solo music)</p> <p>Monophonic electrophone Monophonic electronic instrument <s> Ondes martenot <s> Theremin Synthesizer Electronic music</p>	<p>Q1 電氣的に制作された、または操作された音声による音楽は、ここに分類する 鍵盤電子楽器→766.59に 鍵盤楽器以外の楽器を電氣的に増幅させたり変化させたりしたもの →当該楽器 例) 電気ギター→767.87 (ギター) 単一音程の音を作る能力のある電子音発生装置 *3 例) オルト・マートノ、テレミン</p> <p>Q1 電子音楽はここに分類する 作曲手段として用いられる電子楽器はここに分類する 演奏手段として使用する鍵盤式電子楽器 →766.59 テープ→766.75 コンピュータ→766.76</p>
<p>Tape (Electrophone) Concrete music <i> Magnetic tape Musique concrete Computer (Electrophone) Computer Music</p>	<p>Q1 ミュージック・コンクレット (具体音楽) はここに分類する</p>
<p>Percussion instrument <i> Percussion instrument (Solo music) Idiophone (Vibrating sonorous solid) <i> Plate (Musical instrument) <i> Rod (Musical instrument) <i> Trough (Musical instrument) <i> Tube (Musical instrument) <i> Block (Musical instrument) <i> Stick (Musical instrument) <i> Bar (Musical instrument) <i> Vessel (Musical instrument) Keyboard idiophone Celesta Set idiophone Percussed idiophone (Set) <syn> Set percussed idiophone</p>	<p>太鼓→766.92-.98 打奏弦鳴楽器→767.7 Q1 定まった音程を持つ打楽器に関する全般的著作はここに分類する 音程が定まらない打楽器→766.88 機械体鳴楽器→766.64 鍵盤体鳴楽器→766.83 複式体鳴楽器→766.84-.87 単式体鳴楽器→766.88</p> <p>Q1 チェレスタはここに分類する 全般的著作→766.84 Q1 発音しない物体で打つ、または発音しない物体を打つことでも発音する固体 例) 地面を棒で打つ 複式体鳴楽器 (ひとつの楽器として構成された、複数の類似発音固体) はここに分類する 弾く体鳴楽器→766.85 摩擦する体鳴楽器→766.96 打ち合わせる体鳴楽器→766.87</p>
<p>Sonorous solid of specific shapes (Set percussed idiophone) Rod (Set percussed idiophone) <i> Rod (Percussed idiophone) Bar (Set percussed idiophone) <i> Uibraphone <i> Glockenspiel <i> Steel drum <i> West Indian steel drum <i> Bar (Percussed idiophone) <i> Marimba <i> Xylophone Mendzan Trough (Set percussed idiophones) <i> Trough (Percussed idiophone)</p>	

音楽細目使用可のもの Q1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/Q2「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの *1「含む (Including...) 注記」/*2「包含 (Contains...) 注記」/*3「例 (Examples:) 注記」

<p><g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)</p>	<p><d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題</p>	<p>-syn 同意語</p>
<p><c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題</p>	<p>-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)</p>	<p>-inv 倒置語</p>
<p><s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題</p>	<p>-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)</p>	<p>-drc 正置語</p>
<p><i> 参照語: DDC20の相関索引の語</p>	<p>-sng 単数形の語 -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)</p>	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] {766.84} + {766.8842-.8844}</p> <p>[例] 1) 棒状体鳴楽器 766.84 3 = {766.84} + {766.883}</p> <p>2) 棒状体鳴楽器の演奏会 766.84 3 178 = 766.84 3 + {766.878}</p>	<p>766.845</p> <p>.846</p> <p>.848</p>	<p>○筒(複式打奏体鳴楽器) 筒(打奏体鳴楽器)</p> <p>○容器(複式打奏体鳴楽器) 容器(打奏体鳴楽器)</p> <p>○パイ(複式打奏体鳴楽器) パイ パイム パイム(打奏体鳴楽器)</p>
<p>[構成法] {766.85} + {表8a}</p>	<p>.85</p> <p>.86</p>	<p>◎橋奏体鳴楽器(複式) 棒(複式橋奏体鳴楽器) 棒(橋奏体鳴楽器) 親指ピアノ さお(橋奏体鳴楽器) さお(複式橋奏体鳴楽器) サハ サハ</p> <p>◎擦奏体鳴楽器(複式)</p>
<p>[構成法] {766.86} + {766.8842-.8844}</p> <p>[例] 1) 複数の容器(訳注:グラス・ホルモカ) 766.86 6 = {766.86} + {766.884}</p> <p>2) 複数の容器のリトサル 766.86 6 144 = 766.86 6 + {766.844}</p>	<p>.862-.868</p> <p>.862</p> <p>.863</p> <p>.864</p> <p>.865</p> <p>.866</p>	<p>◎発音固体(個々の形状の---)(複式擦奏体鳴楽器)</p> <p>○さお(複式擦奏体鳴楽器) さお(擦奏体鳴楽器)</p> <p>○棒(複式擦奏体鳴楽器) サトパイム・パイム・ブロック 棒(擦奏体鳴楽器)</p> <p>○槽(複式擦奏体鳴楽器) 槽(擦奏体鳴楽器)</p> <p>○筒(複式擦奏体鳴楽器) 筒(擦奏体鳴楽器)</p> <p>○容器(複式擦奏体鳴楽器) グラス・ホルモカ 容器(擦奏体鳴楽器)</p>
<p>[構成法] {766.87} + {表8a}</p>	<p>.87</p>	<p>◎相互打奏体鳴楽器</p>
<p>[構成法] {766.87} + {766.8842-.8844}</p> <p>[例] 1) 拍子木 766.87 3 = {766.87} + {766.884}</p> <p>2) 拍子木演奏のリトサル 766.87 3 144 = 766.87 3 + {766.844}</p>	<p>.872-.878</p> <p>.872</p> <p>.873</p> <p>.874</p> <p>.875</p> <p>.876</p>	<p>◎発音物体(個々の形状の---)(相互打奏体鳴楽器)</p> <p>○さお(相互打奏体鳴楽器) パイム・パイム クマス</p> <p>○棒(相互打奏体鳴楽器) カクネット シンバル</p> <p>○槽(相互打奏体鳴楽器)</p> <p>○筒(相互打奏体鳴楽器)</p> <p>○容器(相互打奏体鳴楽器)</p>
<p>{AUMC番号} + {表8a}</p>	<p>.88</p>	<p>◎単式体鳴楽器</p>
<p>{ } = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>		
<p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 → = も見よ [] = 使用しない</p> <p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 } ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 } ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 } AUMC基本標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントになっている標目語の単一位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p> <p>★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>		

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
Tube (Set percussed idiophones) <i> Tube (Percussed idiophone) Uessel (Set percussed idiophones) <i> Uessel (Percussed idiophone) Bell (Set percussed idiophones) <i> Angklung <i> Chime <not in i> Bell (Percussed idiophones)	
Plucked idiophone (Set) <i> Bar (Set plucked idiophones) <i> Bar (Plucked idiophones) <s> Thumb piano <i> Rod (Plucked idiophones) <i> Rod (Set plucked idiophones) <i> Sape <s> Sanza Friction idiophone (Set)	✕ 通常は金属の弾性のある棒で、一方の端を固定し他方をばじいて振動させる 例) サンガ (親指ピアノ) 摩擦して一定の音程を発生する物体
Sonorous solid of specific shapes (Set friction idiophone) Rod (Set friction idiophone) <i> Rod (Friction idiophone) <i> Bar (Set friction idiophone) <i> Sandpaper block <i> Bar (Friction idiophone) <i> Trough (Set friction idiophone) <i> Trough (Friction idiophone) <i> Tube (Set friction idiophone) <i> Tube (Friction idiophone) Vessel (Set friction idiophone) 1 <?> Harmonica (Musical glasses) 2 <i> Musical glasses <i> Uessel (Friction idiophone)	
Concussion idiophone	2以上の類似の発音物体を打ち合わせて振動させる
Sonorous object of specific shapes (Concussion idiophone) <i> Rod (Concussion idiophone) <i> Wind chime <i> Claves Bar (Concussion idiophone) <i> Castanet <i> Cymbal Trough (Concussion idiophone) Tube (Concussion idiophone) Uessel (Concussion idiophone)	
Single idiophone	単一の発音物質による体鳴楽器 O1 音程が定まらない打楽器に関する全般的著作はここに分類する 音程が定まらない個々の打楽器 → 当該楽器
音楽細目使用可のもの O1 「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / O2 「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕1 「含む (Including...)」注記 / ✕2 「包含 (Contains...)」注記 / ✕3 「例 (Examples...)」注記	
<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語: DDC20の相関索引の語	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tia 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) -tii 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
(楽種番号) + (表 8 a)	766.884	
	.884 2	<ul style="list-style-type: none"> ◎打奏体鳴楽器（単式） ◎スティックまたはさお（単式打奏体鳴楽器） さお（単式打奏体鳴楽器） トリアングル
766.8842-.88485 「A706T」の入力形 スティックまたはさお （複式打奏体鳴楽器）	.884 3	<ul style="list-style-type: none"> ◎棒、板、ブロック（単式打奏体鳴楽器） 板（単式打奏体鳴楽器） 鉄鼓 鉄床 [カトコ] ゴング ブロック（単式打奏体鳴楽器） 木魚
棒、板、ブロック （複式打奏体鳴楽器）	.884 4	◎槽（単式打奏体鳴楽器）
槽（複式打奏体鳴楽器）	.884 5	◎筒（単式打奏体鳴楽器）
筒（複式打奏体鳴楽器）	.884 6	◎容器（単式打奏体鳴楽器）
容器（複式打奏体鳴楽器）	.884 8	◎ハム（単式打奏体鳴楽器）
ハム（複式打奏体鳴楽器）	.884 85	◎カハム
カハム（複式打奏体鳴楽器）	.885	◎カハム・ハム（単式打奏体鳴楽器）
	.886	◎がらがら鳴る体鳴楽器
	.887	<ul style="list-style-type: none"> カハム[?] シトス マラカ ラット
	.888	◎撥振奏体鳴楽器
	.889	◎橋奏体鳴楽器（単式）
	.888	<ul style="list-style-type: none"> □琴 さお（単式橋奏体鳴楽器） ジューズ・ホープ 棒（単式橋奏体鳴楽器）
	.9	◎撥奏体鳴楽器（単式）
	.9092	<ul style="list-style-type: none"> さお（単式撥奏体鳴楽器） 槽（単式撥奏体鳴楽器） 筒（単式撥奏体鳴楽器） 鏡 [コキリ]（音楽） 棒（単式撥奏体鳴楽器） ミュージカル・ソー 容器（単式撥奏体鳴楽器）
	766.92-.98	◎太鼓および打楽器効果用の装置
	.92	<ul style="list-style-type: none"> （ト） トス（音楽） 打楽器効果用の装置 ◎太鼓奏者（音楽家） （ト）トス（音楽家）
	.93	◎太鼓
	.94	<ul style="list-style-type: none"> 膜鳴楽器 ◎打奏太鼓
		◎錫形太鼓
		<ul style="list-style-type: none"> クアラ フィンガ
		<ul style="list-style-type: none"> ナッカー ネカー
		◎筒形太鼓
		<ul style="list-style-type: none"> 小太鼓 サト・トス スア・トス
<p>(楽種番号) = ファセット要素 / 網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p>	<p>→ = 見よ () = 注記・補足 / 観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>	
◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	<h>	参照語：DDC20の基本標目語
○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語	<m>	参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題
● 統一語：AUMC独自の基本標目語	<u>	参照語：1ユニットになっている標目語の一単位
★ 統一語：AUMCの合成標目語	<v>	参照語：別名注記の論題

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>Percussed idiophone (Single) Stick or rod (Single percussed idiophone) <u> Rod (Single percussed idiophone) <s> Triangle Bar, plate, block (Single percussed idiophone) <u> Plate (Single percussed idiophone) <s> Anvil <s> Anvil <s> Gong <u> Block (Single percussed idiophone) <i> Temple block (Single percussed idiophone) Trough (Single percussed idiophone) Tube (Single percussed idiophone) Uessel (Single percussed idiophone) Bell (Single percussed idiophone) <i> Cowbell Hand bell (Single percussed idiophone) Rattled idiophone <i> Cabaca <s> Sistrum <s> Maracas <i> Rattle Scraped idiophone <i> Guiro <s> Washboard <s> Football rattle <i> Ratchet Plucked idiophone (Single) <s> Jew's harp <i> Rod (Single plucked idiophone) <s> Jew's harp <i> Bars (Single plucked idiophone) Friction idiophone (Single) <i> Rod (Single friction idiophone) <i> Trough (Single friction idiophone) <i> Tube (Single friction idiophone) <s> Saw (Music) <i> Bar (Single friction idiophone) <s> Musical saw <i> Vessel (Single friction idiophone) Drum and device used for percussion effects Drum <u> Percussion effects, Device used for <i> Drummer (Musician) <i> Drummer (Musician) Drum <i/c> Membranophone Struck drum Kettle-shaped drum <s> Tabla 1 <s> Kettledrum 2 <s> Timpani Naqara <s> Naker Tubular drum <s> Side drum <s> Side drum <s> Snare drum</p>	<p>例) シンバル 766.873 ×3 例) トライアングル ×3 例) 鉄敷、ゴング △→766.8848 ×3 例) マラカス、シストラム 2つの物体からなり、こすりつけられる片方には音を生じさせるための刻みを入れてある体鳴楽器 ×3 例) 洗濯板、フットボール・ラトル ×3 例) 口琴 (シユース・オーブ) ×3 例) ミュージカル・ソー 膜鳴楽器、膜を張って振動させる 全般的著作→766.9 鍋形太鼓→766.93 筒形太鼓→766.94 梓太鼓→765.95 ×3 例) ティンパニ、ナッカー、タブラ ×3 例) 小太鼓 (サイド・ドラム)</p>
<p>音楽細目使用可のもの ○1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/○2「一般的観点注記 (General aspects)」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ×1「含む (Including...)」注記/×2「包含 (Contains...)」注記/×3「例 (Examples:)」注記</p>	
<p><g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点) <c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語: DDC20の相関索引の語</p>	<p><d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合) -tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合) -sng 単数形の語 -plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ) -syn 同意語 -inv 倒置語 -drc 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] [AUMC番号] + [表8a] 参考:表8aより</p> <p>1a)演奏会 878 = (760.198) 2a)関係者 892 = (760.198) 2b)ヴァイオリスト 767.2092 = (767.2) + (760.192) 2c)ヴァイオリン製作者 767.21092 = (767.2) + (764.199) + (760.192) 3a)演奏技術 143 = (76.143) 3b)楽器演奏の技術 193 = (764.193) 4a)サリ形式 183 = (764.183)</p>	<p>766.95</p> <p>.96</p> <p>.97</p> <p>.98</p> <p>.99</p>	<p>◎梓太鼓 大太鼓 タハリン タフリン ホッゴ</p> <p>◎振奏太鼓 ◎播奏太鼓</p> <p>◎撥奏太鼓 ウカ ラクエット ロムボット ロムボット ロムボット</p> <p>◎打楽器効果用の装置 空気銃 サイロン むち モーターネン</p>
	<p>767</p> <p>.2</p> <p>.2092</p> <p>.3</p> <p>.4</p> <p>.4092</p> <p>.5</p> <p>.6</p> <p>.62</p> <p>.63</p> <p>.64</p>	<p>◎弦楽器 弦楽器(独奏曲) 弦鳴楽器 撥弦楽器 旋律楽器(不特定一) リュート属</p> <div data-bbox="964 929 1332 1176" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>概要</p> <p>767.2 ヴァイオリン .3 ヴァイオラ .4 チェロ .5 ダブルベース .6 その他の撥奏弦楽器 ヴァイナル .7 播奏弦楽器 .8 播奏リュート属 .9 ルーアおよび楽弓</p> </div> <p>◎ヴァイオリン ヴァイオリン属 ○ヴァイオリン奏者 ヴァイオリスト</p> <p>◎ヴァイオラ</p> <p>◎チェロ チェロ奏者 チェリスト</p> <p>◎ダブルベース ベース コントラバス</p> <p>◎撥奏弦楽器(その他の一) フルバウジオーネ ヴァイナル ガットウカ リランカ ルンガムル・フルトル ラハーフ カース(?) ベナ(?)</p> <p>◎デステン・ヴァイナル ◎トルアル・ヴァイナル ◎チー・ヴァイナル</p>

() = ファセット要素/網掛け部分を結合する → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語
 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = も見よ [] = 使用しない

- ◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語
 - 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語
 - 統一語: AUMC独自の基本標目語
 - ★ 統一語: AUMCの合成標目語
- A VMC 基本標目語
- <h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)
 - <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題
 - <u> 参照語: エットになっている標目語の一単位
 - <v> 参照語: 別名注記の論題

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Frame-shaped drum</p> <p><s> Bass drum</p> <p><s> Tambourine</p> <p><s> Tambourine</p> <p><i> Bongo</p> <p>Rattle drum</p> <p>Plucked drum</p> <p>Friction drum</p> <p><s> Quica</p> <p><syn> Raguette</p> <p><s> Roemel pot</p> <p><s> Rommel pot</p> <p><s> Rommelpot</p> <p>Percussion effects, Device used for</p> <p><s> Popgun</p> <p><s> Siren</p> <p><s> Whip</p> <p><s> Motor horn</p>	<p>胴の長さが皮面の直径より短いもの ✕ 例) 大太鼓、タバコ</p> <p>複数の小球や吊り下げ物が皮面を打ち鳴らす太鼓 膜の下に弦が結ばれていて、弦を掻き鳴らすことによって 膜に振動が伝わる太鼓 膜を直接摩擦するか、接触した棒や紐が摩擦することで膜 が振動する太鼓 ✕ 例) クイカ、ロメルポット</p> <p>✕ 例) むち、モーターホーン、サイレン、空気銃</p>
<p>Stringed instrument</p> <p><i> Stringed instruments (Solo music)</p> <p><h> Chordophone</p> <p><m> Bowed stringed instrument</p> <p>Melody instrument, Unspecified</p> <p>Lute family</p> <p>Violin</p> <p>Violin family</p> <p><i> Violinist</p> <p><i> Violinist</p> <p>Viola</p> <p>Cello</p> <p><syn> Violoncello</p> <p><i> Violoncellist</p> <p><i> Violoncellist</p> <p>Double bass</p> <p><i> Bass</p> <p>Contrabass</p> <p>Bowed stringed instrument, Other</p> <p><i> Arpeggione</p> <p><m> Uiol</p> <p><i> Gadulka</p> <p><i> Sarangi</p> <p><i> Hardanger fiddle</p> <p><i> Rabab</p> <p><i> Saroz</p> <p><i> Pena</p> <p>Descant viol</p> <p>Treble viol</p> <p>Tenor viol</p>	<p>01 不特定旋律楽器のための音楽 ユーロ属（弦が共鳴する胴から頸部へ張られている楽器）に 関する全般的著作はここに分類する 弦鳴鍵盤楽器→766 機械弦鳴楽器→766.67</p> <p>01 ヴァイオリン属に関する全般的著作はここに分類する ヴァイオリン→767.3 ヴィオラ→767.4 ヴァiola→767.5</p> <p>ヴァiola→767.5</p>

音楽細目使用可のもの 01 「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」 / 02 「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕1 「含む (Including...)」注記 / ✕2 「包含 (Contains...)」注記 / ✕3 「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点）	<d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意識語（統一語・参照語が意識語の場合）	-syn 同意語 -inv 倒置語
<c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題	-tli 意識語（統一語・参照語が意識語の場合）	-drc 正置語
<s> 参照語：「立ち見席注記」の論題	-sng 単数形の語	
<i> 参照語：DDC20の相関索引の語	-plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (詳細番号) + (表8a) 参考: 表8aより</p> <p>1a) 演奏会 078 = (760.78)</p> <p>2a) 関係者 092 = (760.92)</p> <p>2b) ヴァイオリスト 767.2092 = (767.2) + (760.92)</p> <p>2c) ヴァイオリン製作者 767.21092 = (767.2) + (764.10) + (760.92)</p> <p>3a) 演奏技術 143 = (761.43)</p> <p>3b) 楽器演奏の技術 193 = (764.193)</p> <p>4a) ヴァリ形式 183 = (764.183)</p>	<p>767.65</p> <p>.66</p> <p>.69</p> <p>.7</p> <p>> 767.72-.75</p> <p>.72</p> <p>.73</p> <p>.74</p> <p>.75</p> <p>.78</p> <p>.8</p> <p>.82</p> <p>.83</p> <p>.84</p> <p>.85</p>	<p>① ヴァイラ・ダ・ガソガ ハス・ヴァイオリン</p> <p>① ヴァイラ・ダ・モ ① ル・ディ・ガ・ディ ヴァイラ</p> <p>① 演奏弦楽器 打奏弦鳴楽器 ギター</p> <p>① フォー</p> <p>① 楯フォ、筒形フォ、槽状フォ 槽状ギター 筒形ギター トロンボ(?)</p> <p>① 枠フォ、地面フォ、ループ型フォ、筏形フォ 筏形ギター カ 地面ギター ループ型ギター ムグ ンクスト(?) カ(?)</p> <p>① 平板フォ サンデル グ 打奏平板ギター ツイン(?) 洋琴 [パンチ]</p> <p>① 演奏平板フォ アハ ラア・ダ・ルマ エトル エサット・ギター ソル 琴 [チ]</p> <p>アリア・ギター ブリブリカ</p> <p>① ライ クラム(?) クル アカ(?) アケ(?)</p> <p>① 演奏リュート属 長い棹のリュート 短い棹のリュート</p> <p>① 背面が丸いリュート属 ウ ネ グム(?) ン ン ピーガ (琵琶) クム(?)</p> <p>① リュート</p> <p>① マトリフ</p> <p>① 背面が平らなリュート属 ク ク ク ク</p>
<p>() = ファセット要素/網掛け部分を結合する → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 } <h> 参照語: DDC20の基本標目語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 } (統一語に採用されなかったもの) ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 } <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 A VMC基本標目語 } <u> 参照語: エットになっている標目語の一単位 ★ 統一語: AUMCの合成標目語 } <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<p>Viola da gamba <h> Bass viol Viola d'amore Hurdy-gurdy <h> Vielle Plectral instrument Struck stringed instrument Zither Zither Stick, tube, trough zither <u> Trough zither <u> Tube zither <i> Totombito Frame, ground, harp, raft zither <u> Raft zither <i> Kani <u> Ground zither <u> Harp zither <i> Mvet <i> Nkraton <i> Oba Board zither <s> Santir <s> Dulcimer Struck board zither <s> Cimbalom <s> Yang ch'in Plucked board zither <s> Appalachian dulcimer <s> Autoharp <s> Concert zither <s> Psaltery (English) <i> Ch'in <s> Tyrolean zither <s> Psalterium (Latin) Lyre <i> Kerar <i> Crwth <i> Obukano <i> Begana Plectral lute family Long-necked lute Short-necked lute Round-backed lute family <i> Oud <i> Chitarrone <i> Gurumi <s> Sitar <s> Tambura <i> P'i p'a <i> Keroune Lute Mandolin Flat-backed lute family <i> Kuitra <i> Ketjapi <i> San hsien <s> Cittern</p>	<p>01 ツィター、打奏弦鳴楽器に関する全般的著作はここに分類する 橋奏リュート属→767.8 ループおよび楽弓→767.9 全般的著作→767.7</p> <p>X3 例) ツィンパロ、ダムシマー、サンタイル、洋琴 01 打奏平板ツィターはここに分類する 橋奏平板ツィター→767.75</p> <p>X3 例) アパラチアン・ダムシマー、オートループ、コンサート・ツィター、ソールター (ア・サレテリウム)、アリアン・ツィター</p> <p>01 長い棹のリュート、短い棹のリュートはここに分類する</p> <p>X3 例) シター、タンブーラ リュート→767.83 ソルトリオン→767.84</p> <p>X3 例) 琵琶、シタフ ヒウイラ→767.86 キター→767.87 ハンクジョー→767.88 三味線→769.783</p>

音楽細目使用可のもの

01「ここに分類せよ注記(Class here ...)」/02「一般的観点注記(General aspects)」

音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む(Including...)」注記/X2「包含(Contains...)」注記/X3「例(Examples:)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意訳語(統一語・参照語が音訳語の場合)	-syn 同意語
<o> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tli 音訳語(統一語・参照語が意訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-sng 単数形の語	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-plu 複数形の語(特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] (詳細番号) + (表8a) 参考: 表8aより</p> <p>1a) 演奏会 078 = {760.78}</p> <p>2a) 関係者 092 = {760.92}</p> <p>2b) グァイオリン 767.2092 = {767.2} + {760.92}</p> <p>2c) グァイオリン製作者 767.21092 = {767.2} + {764.19} + {760.92}</p> <p>3a) 演奏技術 143 = {761.43}</p> <p>3b) 楽器演奏の技術 193 = {764.193}</p> <p>4a) サラ形式 183 = {764.183}</p>	<p>767.85 (Cont.)</p> <p>.86</p> <p>.87</p> <p>.87092</p> <p>.875</p> <p>.88</p> <p>.89</p> <p>.9</p> <p>.9092</p> <p>.92</p> <p>.93</p> <p>> 767.94-.98</p> <p>.94</p> <p>.95</p> <p>.98</p>	<p>トンプラ ブス^キ 琵琶</p> <p>①ヒコウ ②キター</p> <p>○キター奏者 キターリスト</p> <p>①ハラカ ①ハツジョー</p> <p>○ハツジョー奏者</p> <p>①ウツ ①ハア および楽弓 楽弓</p> <p>○ハア奏者</p> <p>①楽弓 カクク ジキジキ スス^キ (?) ツト^キ (?) ホト^キ (?)</p> <p>①アリアク 複弦楽弓</p> <p>①ハア</p> <p>①弓形ハアおよび角形ハア 角形ハア 弓形ハア ウジ^キ (?)</p> <p>①梓ハア アリツキハア オケストラハア ケトハア</p> <p>①ハア・リュート ゴ アリツキハア</p>
	<p>768</p> <p>.1923</p> <p>.2</p> <p>.21923</p> <p>.29</p>	<p>①管楽器 管楽器(独奏曲) 気鳴楽器 ○管楽器(製作)</p> <div data-bbox="964 1294 1332 1550" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>概要</p> <p>768.2 木管楽器および自由気鳴楽器</p> <p>.3 フルート属</p> <p>.4 リード^キ楽器</p> <p>.5 二重リード^キ楽器</p> <p>.6 単一リード^キ楽器</p> <p>.7 サクソフォン</p> <p>.8 フリーリード^キ楽器</p> <p>.9 金管楽器(リップ・リード^キ楽器)</p> </div> <p>①木管楽器および自由気鳴楽器 自由気鳴楽器 木管楽器(独奏曲) ○木管楽器(製作)</p> <p>①自由気鳴楽器 ブムプラ</p>
<p>[] = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 } ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 } ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 } AUMC基本標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)</p> <p><m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題</p> <p><u> 参照語: エットになっている標目語の単位</p> <p><v> 参照語: 別名注記の論題</p> <p>★ 統一語: AUMCの合成標目語</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記
<ul style="list-style-type: none"> <i> Dombra <i> Bouzouki <s> Biwa Uihuela Guitar <i> Guitarist <i> Guitarist Balalaika Banjo <i> Banjoist Ukulele Harp and musical bow <u> Musical bow <i> Harpist Musical bow <i> Kalangu <i> Jigi-jigi <i> Zuzu <i> Wambi <i> Bodongo Pluriarc <i> Compound musical bow Harp Bow harp and angle harp Angle harp Arched harp Wuj Frame harp Irish harp Orchestral harp Celtic harp Harp-lute Kora Bridge harp 	<p>ウクレ→767.89</p> <p>ひとつの弓に1本以上の弦を張った弦楽器</p> <p>ブリック→767.93</p> <p>複数の弓に弦を張った弦楽器</p> <p>全般的著作→767.9 形状が曲頭で共鳴器付きのハープ</p> <p>支柱が頸の端から共鳴器に連結しているハープ ✕例) オーストラリアンハープ、ウルトハープ</p> <p>弦が駒を通して胴と垂直になっているリュート形のハープ ✕例) コラ</p>
<ul style="list-style-type: none"> Wind instrument <i> Wind instrument (Solo music) <h> Aerophone <i> Wind instrument (Construction) Woodwind instrument and free aerophone <u> Free aerophone <i> Woodwind instrument (Solo music) <i> Woodwind instrument (Construction) Free aerophone <i> Bull-roarer 	<p>鍵盤管楽器→766.5 機械管楽器→766.68</p> <p>個々の木管楽器→768.3-768.8</p> <p>空気が窪みや管へ導かれるのではなく、直接外気に出るかまたは空気が止まったまま楽器の方が動いて空気を振動させる気鳴楽器 ✕例) ブルローラ 打楽器的效果のために用いる気鳴楽器 →766.99</p>

音楽細目使用可のもの Q1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/Q2「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕1「含む (Including...)」注記/✕2「包含 (Contains...)」注記/✕3「例 (Examples:)」注記

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-dre 正置語
<i> 参照語: DDC20の関連索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語(日本語形)
<p>[構成法] {標準番号} + {表8a} 参考:表8aより</p> <p>1a) 演奏会 078 = {760.78}</p> <p>2a) 関係者 092 = {760.92}</p> <p>2b) ヴァイオリニスト 767.2092 = {767.2} + {760.92}</p> <p>2c) ヴァイオリン製作者 767.21092 = {767.2} + {764.19} + {760.92}</p> <p>3a) 演奏技術 143 = {761.43}</p> <p>3b) 楽器演奏の技術 193 = {764.193}</p> <p>4a) ソナ形式 183 = {764.183}</p>	<p>> 768.3-.8 .3 .32 .32092 .33 .34 .35 .36 .363 .364 .365 .366 .367 .37 .38 .4 .49 .5 .52</p>	<p>①木管楽器(個々のー)</p> <p>①フルート 横フルート フルート 横吹きフルート ○フルート奏者</p> <p>①ピッコロおよびファフ ファフ 横笛</p> <p>①バスフルート</p> <p>①演奏フルート、縦吹きフルート、切り込みつきフルート 切り込みつきフルート ケーナ スリング 縦吹きフルート ナーイ フラジオレット フラジオレット ペニーホイッスル</p> <p>①リコーダー ①ソプラノ・リコーダー ①テスチノ・リコーダー ソプラノ・リコーダー ①トランペット・リコーダー アト・リコーダー ①テナー・リコーダー ①バス・リコーダー</p> <p>②複管フルート アルホカ トウ・ネイツェ ナイ ボン・パイアス ボン・パイアス</p> <p>③容器フルート オカリナ ングム(?) シカ(?)</p> <p>④リトム楽器</p> <p>⑤パグ・パイ <syn>パグ・パイ ウレフ・パイ ガイタ コルムス コルム・サ シク・リトム・パグ・パイ ダフ・リトム・パグ・パイ トゥム ネサン・ライア・パイ エオン・パイ</p> <p>⑥タム・リトム楽器 クルム ラット</p> <p>⑦オーボエ ショーム スケーイ ハックフォーン ゲリン(?)</p>
<p>[] = ファセット要素/網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通</p> <p>→ = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 ⇒ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語: DDC20の基本標目語の邦訳語 ○ 統一語: DDC20の合成標目語の邦訳語 ● 統一語: AUMC独自の基本標目語 ★ 統一語: AUMCの合成標目語</p> <p>AVMC基本標目語</p> <p><h> 参照語: DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの) <m> 参照語: あるクラスの主要な部分である下位論題 <u> 参照語: エントリになっている標目語の単位 <v> 参照語: 別名注記の論題</p>		

統一語と参照語（欧米語形）	注記	
<p>Woodwind instrument, Specific Flute family Nose flute Flute 1 <h> Side-blown flute 2 <h> Transverse flute <i> Flutist</p> <p>Piccolo and fife <u> Fife <u> Fife Bass flute Duct. end-blown, notched flute <u> Notched flute <s> Quena <i> Suling <u> End-blown flute <i> Nay <s> Flageolet <s> Flageolet <s> Penny whistle Recorder (Musical instrument) Sopranino recorder Descant recorder <h> Soprano recorder Treble recorder <h> Alto recorder Tenor recorder Bass recorder Multiple flute <i> Alboka <i> Dyoynice <i> Nai <m> Pan pipes <syn> Panpipes Vessel flute <s> Ocarina <i> Nguru <i> Shiwaya Reed instrument</p> <p>Bagpipe Bagpipe <s> Uilleann pipe <i> Gaita <s> Cornemuse <s> Cornemuse Single-reed bagpipe Double-reed bagpipe <i> Tulum <s> Northumbrian pipe <s> Union pipe Double-reed instrument <s> Crumhorn <s> Rackett Oboe <i> Shawm <i> Surunai <i> Heckelphone <i> Jyelling</p>	<p>全般的著作→768.2 鼻フルートはここに分類する ピッコロおよびファイフ（横笛）→768.33 バスフルート→768.34 竜笛→769</p> <p>※例）フラジオレット、ペニーホイッスル リコーダー→768.36を見よ 尺八→769.8331</p> <p>複数のフルートがひとつの楽器としてまとめられたもの</p> <p>※例）オカリナ</p> <p>ダフフルート楽器→768.5 シンフルート楽器→768.6 フルーフルート楽器→768.8</p> <p>※例）コルムーサ、ノザフライア、ウレフ（エウ）パイプ 01 シンフルートおよびダフフルートのパイプはここに分類する</p> <p>※例）クラムホルン、ラケット バグパイプ→768.49</p>	
<p>音楽細目使用可のもの 01「ここに分類せよ注記（Class here ...）」/02「一般的観点注記（General aspects）」 音楽細目使用・番号組立不可のもの ※1「含む（Including...）」注記/※2「包含（Contains...）」注記/※3「例（Examples:）」注記</p>		
<p><g> 参照語：「一般的観点注記」の論題 （全下位区分に適用可の観点） <c> 参照語：「ここに分類せよ注記」の論題 <s> 参照語：「立ち見席注記」の論題 <i> 参照語：DDC20の関連索引の語</p>	<p><d> 参照語：「定義と範囲の注記」の論題 -tla 意訳語（統一語・参照語が音訳語の場合） -tli 音訳語（統一語・参照語が意訳語の場合） -sng 単数形の語 -plu 複数形の語（特に必要な場合のみ）</p>	<p>-syn 同意語 -inv 倒置語 -dro 正置語</p>

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
<p>[構成法] ([辞書番号]) + (表8a) 参考：表8aより</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1a) 演奏会 078 = { 760.078 }</p> <p>2a) 関係者 092 = { 760.092 }</p> <p>2b) ヴァイオリニスト 767.2092 = { 767.2092 } + { 760.092 }</p> <p>2c) ヴァイオリン製作者 767.21092 = { 767.2092 } + { 764.1092 } + { 760.092 }</p> <p>3a) 演奏技術 143 = { 761.143 }</p> <p>3b) 楽器演奏の技術 193 = { 764.193 }</p> <p>4a) ヲリ形式 183 = { 764.183 }</p> </div>	<p>768.53</p> <p>.58</p> <p>.59</p> <p>.6</p> <p>.62</p> <p>.62092</p> <p>.65</p> <p>.7</p> <p>.7092</p> <p>.72</p> <p>.73</p> <p>.74</p> <p>.75</p> <p>.8</p> <p>.82</p> <p>.84</p> <p>.86</p> <p>.863</p> <p>.865</p> <p>.9</p> <p>.92</p> <p>.92092</p> <p>.93</p> <p>.93092</p> <p>.94</p> <p>.94092</p> <p>.95</p> <p>.96</p> <p>.96092</p> <p>.97</p> <p>.974</p> <p>.975</p>	<p>① イングリッシュ・ホルン コーラングレ コール・アングレ ホルン (イングリッシュホルン)</p> <p>② ハースン トゥルリアン</p> <p>③ ダブ・ハースン エトラハースン</p> <p>④ リップ・リット楽器</p> <p>⑤ クラリネット クラリネット ○クラリネット奏者</p> <p>⑥ ハース・クラリネット</p> <p>⑦ サクソフォン ○サクソフォン奏者</p> <p>⑧ ソプラノ・サクソフォン</p> <p>⑨ アルト・サクソフォン</p> <p>⑩ テナー・サクソフォン</p> <p>⑪ バース・サクソフォン</p> <p>⑫ フリー・リット楽器</p> <p>⑬ マウス・オルガン □オルガン 笙 [シオン] ハーモニカ</p> <p>⑭ エサチーナ ハント・エサチーナ</p> <p>⑮ コーディン</p> <p>⑯ ホーン・コーディン コーディン</p> <p>⑰ ピアノ・コーディン</p> <p>⑱ 金管楽器 金管楽器 (独奏曲) リップ・リット楽器</p> <p>⑲ トランペット フランペット フラフ・ホルン ○トランペット奏者</p> <p>⑳ ホルン フランツ・ホルン ホルン (フランダース) ○ホルン奏者</p> <p>㉑ トランペット</p> <p>㉒ ホルン ○ホルン奏者</p> <p>㉓ リュート リュート</p> <p>㉔ リュート リュート リア (E b) 管 バス (B b) 管 ハルトン (イギリスとドイツにおけるB管の呼び名)</p> <p>㉕ ユーフォニアムおよびホルン (アメリカ) <syn>ユーフォニアム ハルトン (アメリカとフランスにおけるB管の呼び名)</p>
<p>[] = ファセット要素/網掛け部分を結合する → = 見よ () = 注記・補足/観点を示す付加語 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 ⇨ = も見よ [] = 使用しない</p>		
<p>◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語 <h> 参照語：DDC20の基本標目語 ○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語 (統一語に採用されなかったもの) ● 統一語：AUMC独自の基本標目語 <m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題 A V M C 基本標目語 <u> 参照語：上位になっている標目語の一単位 ★ 統一語：AUMCの合成標目語 <v> 参照語：別名注記の論題</p>		

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
<p>English horn <i> Cor anglais <i> Cor anglais <inv> Horn, English Bassoon <i> Dulcian Double bassoon <i> Contrabassoon Single-reed instrument</p> <p>Clarinet <i> Murli <i> Clarinetist Bass clarinet Saxophone <i> Saxophonist Soprano saxophone Alto saxophone Tenor saxophone Bass saxophone Free reed Mouth organ Mouth organ</p> <p><s> Sheng <m> Harmonica (Mouth organ) Concertina <s> Bandoneon Accordion Button accordion <m> Melodeon Piano accordion Brass instrument <i> Brass instrument (Solo music) <h> Lip-reed instruments Trumpet</p> <p><i-syn> Alpenhorn <i> Alphorn <i> Trumpeter (Musician) Trombone <i> Trombonist Horn <h> French horn <h-inv> Horn, French <i> Horn player Bugle Cornet <i> Cornetist Flugelhorn <h> Saxhorn Tenor horn <s> E-flat horn <s> B-flat horn <s> Baritone (British and German B-flat horn)</p> <p>Euphonium and baritone (American) Euphonium <u> Baritone (American and French E-flat horn)</p>	<p>ダブフル・バズーン→768.59</p> <p>ハコパイプ→768.49 サクソフォン→768.7 ハス・クラリネット→768.65</p> <p>個々のフル・リードの組合わせからなる楽器 ✕ 例) 笙 ✕ 例) 笙</p> <p>✕ 例) ハンド・オルガン</p> <p>イングリッシュ・ホルン→768.53</p> <p>✕ 例) B♭管ホルン (イギリスやドイツではハットンとも呼ばれる) E♭管ホルン (北アメリカやフランスではアルト・ホルンとも呼ばれる)</p>

音楽細目使用可のもの ①「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/②「一般的観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの ✕①「含む (Including...) 注記」/✕②「包含 (Contains...) 注記」/✕③「例 (Examples:) 注記」

<g> 参照語: 「一般的観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tia 意訳語 (統一語・参照語が音訳語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意訳語の場合)	-dro 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

ファセット構成法と例	分類番号	統一語と参照語（日本語形）
[構成法] [標準番号] + (表8a)	768.98	④チューバ クワーク・オクトーバ スザフォーン クワーク・チューバ
	.99	⑤その他の金管楽器 オフィクレット コレット セルシオン（楽器） ツィンク
() = ファセット要素 / 網掛け部分を結合する 網掛けされている音楽細目は、内容が標準細目と共通 → = 見よ () = 注記・補足 / 観点を示す付加語 ⇨ = も見よ [] = 使用しない		
◎ 統一語：DDC20の基本標目語の邦訳語	A VMC基本標目語	<h> 参照語：DDC20の基本標目語 (統一語に採用されなかったもの)
○ 統一語：DDC20の合成標目語の邦訳語		<m> 参照語：あるクラスの主要な部分である下位論題
● 統一語：AUMC独自の基本標目語		<u> 参照語：エックになっている標目語の一単位
★ 統一語：AUMCの合成標目語		<v> 参照語：別名注記の論題

索引

<50音の部>

太字…統一語
細字…参照語

1週間の曜日の音楽	761.522	1450年- (音楽)	760.903
1種類の楽器グループで構成するアンサンブル	765.6 - .9	1450年頃-1600年頃 (音楽)	760.9031
1種類の電子楽器によるアンサンブル	765.673 - .676	1600年頃-1750年頃 (音楽)	760.9032
1日の時刻の音楽	761.523	1750年頃-1825年頃 (音楽)	760.9033
2以上の楽器グループからなるアンサンブル (室内楽)	765.2 - .5	1825年頃-1900年頃 (音楽)	760.9034
2才までの子供に関わる音楽の歴史と紹介	760.832	1900年-2000年 (音楽)	760.904
二重唱	763.12	2000年-2099年 (音楽)	760.905
二重奏 (室内楽)	765.12	愛国的、政治的、軍事的音楽	761.599
二部形式	761.8222	IDマーク (音楽)	760.275 - .278
二部形式 (器楽)	764.1822	哀悼の音楽	761.588
二部形式、三部形式、ダカダ形式	761.822	アイリッシュグループ	767.95
二部形式、三部形式、ダカダ形式 (器楽)	764.1822	アヴァンギャルド (音楽)	760.904
3-5才の子供に関わる音楽の歴史と紹介	760.833	アヴァンギャルド・ジャズあるいは1955-1969のジャズ	761.656
三重唱	763.13	秋の音楽	761.5246
三重奏 (室内楽)	765.13	アウディオ	768.86
三部形式	761.8223 / 761.822	朝の祈り (声楽形式)	762.325
三部形式 (器楽)	764.1822	朝の音楽	761.523
四重唱	763.14	脚の技術 (楽器)	764.1938
四重奏 (室内楽)	765.14	アリアの舞曲形式	764.1885
五音音階	761.265	アリア・ロック	761.66
五重唱	763.15	アラクおよび減衰 (音楽の要素)	761.235
五重奏 (室内楽)	765.15	オカリナ	761.267
六音音階	761.266	アコースティック (声楽形式)	762.323
6-11才の子供に関わる音楽の歴史と紹介	760.834	アパッチ・ダンス	767.75
六重唱	763.16	アフリカ系キューバ音楽 (ジャズ)	761.657
六重奏 (室内楽)	765.16	アフリカの舞曲形式	764.1886
七重唱	763.17	アロ・キューバ (ジャズ)	761.657
七重奏 (室内楽)	765.17	アメリカのキビュラ音楽	761.64
八重唱	763.18	アメリカ・オルガン	766.55
八重奏 (室内楽)	765.18	アーム	762.295
九重唱	763.19	アレス・アンティカ (音楽)	760.902
九重唱以上の組合わせ	763.19	アレス・ノヴァ (音楽)	760.902
九重奏以上の組合わせ (室内楽)	765.19	アト	762.68
12音音楽 / 12音組織	761.268	アト (児童)	762.78
12-20才および20才以上の青少年に関わる音楽の歴史と紹介	760.835	アト (男声)	762.86
18世紀の音楽	760.9033	アト・サクソフン	768.73
19世紀以降のヨーロッパの舞曲形式	764.1884	アト・リコーダー	768.365
19世紀の音楽	760.9034	アト・ホルン	768.92
21世紀 (音楽)	760.905	アレバシオ	761.252
499年以前 (音楽)	760.901	アレバシオ・オーネ	767.6
500-1499年 (音楽)	760.902	アレバシオン	768.92
		アルボカ	768.37
		アケルン	766.848

統一語と参照語 (欧米語形)	注記
Tuba <i> Wagner tuba <i> Sousaphone <i> Wagner tuba Brass instruments, Other <s> Ophicleide <s> Cornett <s> Serpent (Musical instrument) <s> Cornett	※例) ツバ、オプクレイト、セリフン

音楽細目使用可のもの O1「ここに分類せよ注記 (Class here ...)」/O2「一般の観点注記 (General aspects)」
 音楽細目使用・番号組立不可のもの X1「含む (Including...) 注記」/X2「包含 (Contains...) 注記」/X3「例 (Examples:) 注記」

<g> 参照語: 「一般の観点注記」の論題 (全下位区分に適用可の観点)	<d> 参照語: 「定義と範囲の注記」の論題	-syn 同意語
<c> 参照語: 「ここに分類せよ注記」の論題	-tla 意識語 (統一語・参照語が意識語の場合)	-inv 倒置語
<s> 参照語: 「立ち見席注記」の論題	-tli 音訳語 (統一語・参照語が意識語の場合)	-drc 正置語
<i> 参照語: DDC20の相関索引の語	-sng 単数形の語	
	-plu 複数形の語 (特に必要な場合のみ)	

アカパセ技術	761.438	ヴァイオリン	767.6
アカバ	762.265	ヴァイオリン資料 (音楽の---	760.267
安全基準 (音楽)	760.289	ヴァイオリン	761.43/764.19368
アカバシ (楽器)	764.1894	ヴァイオリン	766.843
アカバシ形式	764.1894	ヴァイオリン	768.49
袋形ヴァイオリン	767.73	ヴァイオリン	766.872
維持、調律、修理 (楽器)	764.1928	ヴァイオリン文学 (音楽と---	760.0891
イタリヤの音楽	761.771	ヴァイオリン形式	764.1893
イタリヤの音楽 (礼拝)	762.371	ヴァイオリン	767.89
異性愛の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8662	ヴァイオリン	767.94
板 (楽器)	766.82	腕の技術 (楽器)	764.1936
板 (単打奏鳴楽器)	766.8843	腕	767.82
一時課 (音楽形式)	762.324	運搬 (音楽のコレクションと展示のための)	760.753
移調	761.436	映画音楽	761.542
一妻多夫の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8659	英国国教会の宗教音楽	762.3223
一般原理、音楽形式、楽器 (楽器と楽器群		英国国教会の典礼聖歌	762.3223
おおよその音楽)	764.1	英国国教会系教会の音楽	761.713
一般原理 (楽器と楽器群おおよその音楽)	764.11 - .17	詠唱 (音楽形式)	762.3235
一般原理 (楽器と楽器群おおよその音楽)	764.1	イタリア楽器	766.69
一般原理 (室内楽)	765.01 - .07	イタリア楽器 (室内アカバシ)	765
一般原理 (宗教音楽)	761.701 - .706	イタリア楽器 (バンド) およびオーケストラ	764
一般原理 (声楽)	762.01 - .07	イース	761.264
一般原理 (単声の組み合わせ)	763.111 - .117	IS (Eb) 管楽器	768.974
一般原理 (民俗音楽)	761.6201 - .6205	イタリヤ管理 (音楽)	760.682
一般原理および音楽形式	761	ILZ形式	764.18964
一般原理および音楽形式 (単声の組み合わせ)	763.11	艶歌	761.6393
一般的音楽形式 (器楽)	764.182	演歌、艶歌、民謡 (民俗芸能ではないもの)	761.6393
一般の統計 (音楽)	760.21	演奏会	760.78
一夫多妻・一妻多夫の人に関わる音楽の		演奏技術	761.43
歴史と紹介	760.8659	演奏時間	761.432
違反者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8692	演奏用楽譜	760.264
イグゼンション形式	764.1874	応唱	762.292
イグゼンション	768.53	王族に関わる音楽の歴史と紹介	760.8621
印象楽譜	760.263	大太鼓	766.95
印象派 (音楽)	760.904	カサ	768.38
引退者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8696	屋内の音楽	761.534
イタリヤ形式	764.1893	オーケストラ	764.2
イタリヤ形式	761.657	オーケストラ (玩具の楽器を含む---	764.46
イタリヤ形式	764.1876	オーケストラ (軽---	764.4
ヴァイオリニスト	767.2092	オーケストラ (室内---	764.3
ヴァイオリン	767.2	オーケストラ (学校---	764.44
ヴァイオリン協奏曲	764.272196	オーケストラ (弦楽---	764.7
ヴァイオリン奏者	767.2092	オーケストラ (吹---	764.4
ヴァイオリン属	767.2	オーケストラ (ダンス---	764.48
ヴァイオリン (パートワール)	768.98	オーケストラと1以上の独奏楽器	764.23
ヴァイオリン	767.69	オーケストラと1つの独奏楽器	764.25
ヴァイオリン	767.3	オーケストラと2以上の独奏楽器	764.24
ヴァイオリン協奏曲	764.273196	オーケストラと個々の独奏楽器	764.26 - .28
ヴァイオリン・ダ・ガマ	767.65	オーケストラと声楽パート	764.22
ヴァイオリン・ダモル	767.66	オーケストラの関係者	764.2092

オーケストラ・ホール	767.95	会員名簿(音楽団体のー)	760.601 - .609
オーケストラ編成およびパート(その他のー)	764.3 - .9	会員名簿(職業と教育等に関する情報などを 含むー)(音楽)	760.25
オーケストラ・ジョン	761.374	絵画、絵画の図版(音楽)	760.222
雄に關わる音楽の歴史と紹介	760.81	概観(音楽の記述的研究)	760.723
オペラ形式	761.827	概観の方法論(音楽の記述的研究)	760.723
オペラ形式(楽器)	764.1827	解釈(音楽)	761.46
音(音楽の要素)	761.23	外出できない人に關わる音楽の歴史と紹介	760.877
オートグラフ	767.75	解説および設計(楽器)	764.1922
カ(?)	767.73	ガイ	768.49
カクレイト	768.99	街頭音楽	761.532
カノカ(?)	767.78	解答(音楽)	760.76
カハラ	762.1	ガイドブック(博物館などのー)(音楽)	760.74
カハラ歌手	762.1092	開発された地域の労働者に關わる音楽の 歴史と紹介	760.8623
カハラ関係者	762.109	ガイド形式	764.1882
カレクション・リナー(音楽)	760.11	概観および大要(音楽)	760.202
カレラ	762.12	海洋生活の音楽	761.595
カレエ	768.52	カゴ形式	764.1893
カレエ協奏曲	764.2852186	カハル	766.8848
親に關わる音楽の歴史と紹介	760.85	カンタータ	762.86
親指ピアノ	766.85	価値動向(商業関係のー)(音楽)	760.297
カネカ	762.23	科学的原理(音楽)	761.2
カネカスト	766.5092	科学的方法(音楽)	760.72
カネカ(楽器)	766.5	下級中流階級に關わる音楽の歴史と紹介	760.8623
カネカ協奏曲	764.265186	歌曲(宗教ー)	762.25
カネカ奏者	766.5092	歌曲(世俗声乐形式)	762.42
カネカ	766.65	名要素(作曲法)	761.332 - .338
音階および音階組織	761.246	楽音	761.23
音楽	760	角形ハープ	767.94
音楽関係者	760.92	各種のアウトラム(室内楽)	765.2 - .9
音楽関係者の集会的扱い	760.922	学習プログラム(主題別のー)(音楽)	760.7
音楽鑑賞	761.17	学習方式(特殊なー)(音楽)	760.77
音楽技能およびレパートリーの習得	761.42	学習者(音楽)	760.73
音楽形式	761.8	確認(楽器)	764.1927
音楽形式(楽器と楽器群および その音楽)	764.18/764.1	楽譜	760.262 - 760.265
音楽形式(個々のー)	761.82	楽譜(演奏用ー)	760.264
音楽形式(声乐)	762.003	楽譜の校訂	760.149
音楽形式(単声の組合わせ)	763.118	楽譜の書誌および目録	760.164
音楽形式(単声のための音楽)	763.08	楽譜、録音資料、対本に関する著述	760.26
音楽形式および楽器(室内楽)	765.08 - .09	学齢前の子供に關わる音楽の 歴史と紹介	760.833/760.834
音楽言語および伝達手段	760.14	歌劇	762.1
音楽編目	760.1 - .9	歌劇の関係者	762.1092
音楽編目(一般原理および音楽形式)	761.01 - .09	歌詞に関する著述(音楽)	760.268/760.26
音楽編目(楽器と楽器群および その音楽)	764.01 - .09	歌手	762.0092
音楽編目(対本・教宗音楽)	761.71001 - .71009	カ-	763.99
音楽編目(室内楽)	765.001 - .009	カネット	766.873
音楽編目(宗教音楽)	761.7001 - .7009	カストラト	762.86
音楽編目(声乐)	762.001 - .009	火葬	761.588
音楽編目(作曲法)	761.3301 - .3309	課題(音楽)	760.76
音楽編目(単声の組合わせ)	763.101 - .109	語り	762.96
音楽編目(単声のための音楽)	763.001 - .009	語り(単声のー)(声乐)	763.96
音楽編目(民俗音楽)	761.62001 - .62007	カゴ(博物館などのー)(音楽)	760.74
音楽実技	761.4	カゴとカゴカ(商業用ー)(音楽)	760.294
音楽伝統	761.6	楽器	764.19/764 - 768/764
音楽伝統(日本の音楽をのぞくすべての ー)	761 - 768	楽器(楽器と楽器群およびその音楽)	764.1
音楽と関連する他の主題	760.0001 - 760.0099	楽器(室内楽)	765.08 - .09
音楽の要素	761.2	楽器およびその音楽	764 - 768
音楽の歴史と紹介(特定種類の人間の集団に 關わるー)	760.8	楽器製作者	764.1923092
音楽の録音	761.49	楽器と楽器群およびその音楽	764
音楽理論	761	楽器演奏技術	764.193
音楽録音資料	760.266	楽器群	764
音楽家	760.92	楽器群の音楽	764
音楽祭	760.79	楽器数による区分(室内楽)	765.1
音楽史および様式史の名時代	760.901 - .905	楽弓	767.92/767.9
音楽書、論文等の書誌および目録	760.162	学校(音楽)	760.71/760.715
音楽賞	760.79	学校オケストラ	764.44
音高	761.232	学校オケストラと1以上の独奏楽器	764.4423
音色	761.234	学校オケストラと2以上の独奏楽器	764.4424
音程	761.237	学校オケストラと声乐パート	764.4422
オト・マホノ	766.73	学校オケストラと特定の1つの独奏楽器	764.4426 - .4428
音律(楽器)	764.1928	学校オケストラと不特定の1つの独奏楽器	764.4425
音量	761.233	学校、教育課程(音楽)	760.71
音列	761.268	学校、教育課程(高等教育のー)(音楽)	760.711
		学校、教育課程(中等教育のー)(音楽)	760.712

学校・フクロア (成人教育のー) (音楽)	760.7152	器楽形式 (その他のー)	764.189
学校、教育課程 (通信教育のー) (音楽)	760.7154	器楽形式 (典礼音楽から派生したー)	764.1893
学校、教育課程 (放送教育のー) (音楽)	760.7153	企業の創業 (音楽)	760.681
カケウ形式	764.185	器具の使用 (教授・学習のー) (音楽)	760.7
合唱	762.5	技巧的音楽形式	764.1894
合奏協奏曲	764.24	既婚者に関する音楽の歴史と紹介	760.8655
割礼の音楽	761.582	儀式 (声楽形式)	762.3
家庭の音楽	761.535	技術および作業 (個々のー) (楽器)	764.192
ガク形式	764.186	技術者に関する音楽の歴史と紹介	760.8622
ガトツカ	767.6	記述的研究 (音楽)	760.723
鉄敷	766.8843	基準 (安全ー) (音楽)	760.289
鉄床 [カトコ]	766.8843	基準 (音楽)	760.218
カ	767.73	偽声 (楽器)	763.99
カノ形式	764.1878	季節の音楽	761.524
カサ[?]	766.885	規則 (音楽団体のー)	760.601 - .609
仮面劇	762.15	規則 (音楽)	760.1
がらがら鳴る体鳴楽器	766.885	貴族に関する音楽の歴史と紹介	760.8621
カング	767.92	カク	767.87
下流階級に関する音楽の歴史と紹介	760.8624	カク協奏曲	764.2787186
カコ	766.64	カク奏者	767.87092
管楽アンサンブル	765.43	北アフリカの舞曲形式	764.1887
管楽バンド	764.8	バンド	767.87092
管楽バンドと1以上の独奏楽器	764.823	バンド	767.82
管楽バンドと2以上の独奏楽器	764.824	記譜法、略譜法、符号 (音楽)	760.148
管楽バンドと声楽パート	764.822	基本原理 (音楽)	761.1
管楽バンドと特定の1つの独奏楽器	764.826 - .828	基本原理 (作曲法)	761.331
管楽バンドと不特定の1つの独奏楽器	764.825	気鳴楽器	768
管楽器	768	虐待児に関する音楽の歴史と紹介	760.86945
管楽器 (室内アンサンブル)	765	カクネット・カク	766.55
管楽器 (製作)	768.1923	カク形式	764.1884
管楽器 (独奏曲)	768	カク	762.28
管楽器 (バンドおよびオーケストラ)	764	求愛および婚約の音楽	761.586
玩具を含むオーケストラと1以上の独奏楽器	764.4623	休止 (音楽の要素)	761.236
玩具を含むオーケストラと2以上の独奏楽器	764.4624	宮廷の音楽	761.536
玩具の楽器を含むオーケストラ	764.46	教育課程 (音楽)	760.71
玩具の楽器を含むオーケストラと声楽パート	764.4622	教育課程 (高等教育のー) (音楽)	760.711
玩具の楽器を含むオーケストラと特定の1つの独奏楽器	764.4626 - .4628	教育課程 (成人教育のー) (音楽)	760.715
玩具の楽器を含むオーケストラと不特定の1つの独奏楽器	764.4625	教育課程 (中等教育のー) (音楽)	760.712
玩具楽器のオーケストラ	764.46	教育課程 (通信教育のー) (音楽)	760.7154
管弦楽法	761.374	教育課程 (放送教育のー) (音楽)	760.7153
冠婚葬祭のための音楽	761.58	教育、研究、演奏および関連事項 (音楽)	760.7
カクステイ・ジャズ	761.853	教育実習 (音楽)	760.7
鑑賞 (音楽)	761.17	教育方式 (特殊なー) (音楽)	760.77
鑑賞 (作曲法)	761.3317	教会音楽	761.71
同奏形式	764.1893	教会の礼拝 (声楽形式)	762.32
同奏曲形式	764.1893	教会暦 (音楽)	761.72
カクタ	762.24	狂詩曲形式	764.18945
カク形式	764.1875	協奏文響曲形式	764.1845
カク形式 (典礼音楽形式)	762.295	協奏曲	764.23
カトリ	761.642	協奏曲形式	764.186
管理 (音楽関係の資料ー) (音楽)	760.687	兄弟姉妹に関する音楽の歴史と紹介	760.855
管理 (音楽関係の人事ー) (音楽)	760.683	共鳴の技術 (音楽)	761.48
管理 (音楽関係の製品ー) (音楽)	760.685	共鳴の技術 (楽器)	764.1932
管理 (音楽関係の流通ー)	760.688	協和音	761.238
管理 (経営ー) (音楽)	760.68	曲目解説	760.15
管理 (工場ー) (音楽)	760.682	カク (声楽形式)	762.3232
管理 (団体と財政のー) (音楽)	760.681	カク旋法	761.264
管理職に関する音楽の歴史と紹介	760.8622	カク宗教音楽	761.71
記憶法 (音楽)	761.426	カク宗教音楽 (個々の教派のー)	761.711 - .718
機械管楽器	766.68	カク宗教音楽 (礼拝のための声楽形式)	762.32
機械で打つ体鳴楽器	766.64	カク教の各教派の礼拝 (声楽形式)	762.322
機械演奏体鳴楽器	766.65	カク教の年回行事の音楽	761.72
機械化されたカク	766.64	カク教の礼拝 (声楽形式)	762.32
機械楽器	766.64 - .69 / 766 / 766.6	切り込みつきフルート	768.35
機械楽器 (室内アンサンブル)	765	記録 (音楽のコレクションと展示のための)	760.753
機械楽器 (独奏曲)	766.6	琴	767.75
機械楽器 (バンドおよびオーケストラ)	764	金管アンサンブル	765.9
機械楽器および風力楽器	766.6	金管、弦楽、鍵盤楽器のアンサンブル	765.25
機械楽器バンド	764.8	金管、弦楽、打、鍵盤楽器のアンサンブル	765.35
機械鍵盤楽器	766.66	金管、弦楽、打楽器のアンサンブル	765.55
機械弦楽器	766.67	金管、弦楽、電子、鍵盤楽器のアンサンブル	765.295
器楽	764 - 768 / 764	金管、弦楽、電子、打、鍵盤楽器のアンサンブル	765.295
器楽形式	764.183 - .189	金管、弦楽、電子楽器、打楽器	765.595
器楽形式 (宗教音楽から派生したー)	764.18992	金管、弦楽、電子楽器のアンサンブル	765.465
		金管、打、鍵盤楽器のアンサンブル	765.37
		金管、電子、鍵盤楽器のアンサンブル	765.2997

金管、電子、打、鍵盤楽器のアヴァンム	765.297	芸術音楽(西洋一)	761.68
金管、電子楽器、打楽器	765.597	芸術音楽(非西洋一)	761.69
金管と弦楽のアヴァンム	765.45	芸術家、職人のマク(音楽)	760.278
金管と鍵盤楽器のアヴァンム	765.27	芸術的原理(音楽)	761.17
金管と打楽器のアヴァンム	765.57	芸術的原理(セリ作法)	761.3317
金管と電子楽器のアヴァンム	765.467	芸術的雑音曲形式	764.18949
金管楽器	768.9	計量(音楽)	760.287
金管楽器(1種類の楽器グループの室内アヴァンム)	765.9	劇(音楽一)	762.14
金管楽器(2以上の楽器グループからなる室内アヴァンム)	765.2-.5	劇(音楽)	762.14
金管楽器(室内アヴァンム)	765	劇音楽	761.552
金管楽器(独奏曲)	768.9	劇付随音楽	761.552
金管楽器(バンドおよびオーケストラ)	764	障漕フルト、縦吹きフルト、切り込みつきフルト	768.35
金管楽器のみのアヴァンム(1種類の一)	765.92-.99	障漕一、縦吹き一、切り込みつきフルト(日本)	769.8331
近代の音楽	760.903	劇場の音楽	761.538
近世の音楽	760.903	劇的声楽形式	762.1
クカ	766.98	劇的声楽形式の関係者	762.1892
クイ	766.886	テークアップ形式	764.1887
クイトラ[?]	767.85	テラスチア(音楽史研究)	760.722
空気銃	766.99	クチャム[?]	767.85
偶然性による作曲	761.32	結婚の音楽	761.587
偶然性の音楽	761.32	結婚式および結婚の音楽	761.587
偶然性の音楽	761.32	ケーナ	768.35
九時課(声楽形式)	762.324	ケール[?]	767.78
具体音楽	766.75	ケリン[?]	768.52
口オルガン	768.82	ケルト・ハーブ	767.95
口笛	762.98	ケルムの宗教音楽	761.73
口笛(単声の一)(声楽)	763.98	ケルムの宗教の礼拝(声楽形式)	762.33
唇使用法(楽器)	764.1934	ケルム[?]	767.82
国の団体(音楽)	760.603-.609	弦楽、打、鍵盤楽器のアヴァンム	765.38
組曲形式	764.1858	弦楽、電子、鍵盤楽器のアヴァンム	765.2998
組曲および関連形式	764.185	弦楽、電子、打、鍵盤楽器のアヴァンム	765.298
組み立て(楽器)	764.1923	弦楽、電子楽器、打楽器	765.598
クヴァンティ	768.3	弦楽アヴァンム	765.7
クヴァンティ・ハズ形式	761.827	弦楽オーケストラ	764.7
クヴァンティ・ハズ形式(器楽)	764.1827	弦楽オーケストラと1以上の独奏楽器	764.723
クワック音楽	761.68	弦楽オーケストラと2以上の独奏楽器	764.724
グラス・ハーモカ	766.866	弦楽オーケストラと声楽パート	764.722
クハス	766.872	弦楽オーケストラと特定の1つの独奏楽器	764.726-.728
クワネホ	768.82	弦楽オーケストラと不特定の1つの独奏楽器	764.725
クワネホ協奏曲	764.2862186	弦楽と鍵盤楽器のアヴァンム	765.28
クワネホ奏者	768.62892	弦楽と打楽器のアヴァンム	765.58
クワヌの音楽	761.723	弦楽と電子楽器のアヴァンム	765.488
クワヌ・ソーンンの音楽	761.723	弦楽器	767
クワヌ・ソーン	762.281723	弦楽器(1種類の楽器グループの室内アヴァンム)	765.7
クム・ジャズ	761.655	弦楽器(2以上の楽器グループからなる室内アヴァンム)	765.2-.5
クルス	767.78	弦楽器(室内アヴァンム)	765
クムミ[?]	767.82	弦楽器(独奏曲)	767
クムミ	768.5	弦楽器(バンドおよびオーケストラ)	764
グレゴリオ聖歌	762.3222	弦楽器のみのアヴァンム(1種類の一)	765.72-.79
グム(声楽形式)	762.3232	研究(音楽)	760.72
グロックシュテル	766.843	研究における計量(音楽)	760.287
グロリア(声楽形式)	762.323	研究におけるテラップロス(音楽)	760.285
軍楽隊	764.84	顕現(音楽)	761.724
軍楽隊と1以上の独奏楽器	764.8423	検査、測定、確認(楽器)	764.1927
軍楽隊と2以上の独奏楽器	764.8424	原作の声、楽器、楽器群による区分(編曲)	761.382-.388
軍楽隊と声楽パート	764.8422	現職教育と住み込み(音楽)	760.7155
軍楽隊と特定の1つの独奏楽器	764.8426-.8428	減衰(音楽の要素)	761.235
軍楽隊と不特定の1つの独奏楽器	764.8425	鍵盤管楽器	766.5
軍事的音楽	761.599	鍵盤、機械、電子、打楽器パート	764.6
訓練指導者(音楽)	760.7	鍵盤、機械、電子、打楽器パートと1以上の独奏楽器	764.623
軽オーケストラ	764.4	鍵盤、機械、電子、打楽器パートと2以上の独奏楽器	764.624
軽オーケストラと1以上の独奏楽器	764.423	鍵盤、機械、電子、打楽器パート・声楽パート	764.622
軽オーケストラと2以上の独奏楽器	764.424	鍵盤、機械、電子、打楽器パートと特定の1つの独奏楽器	764.626-.628
軽オーケストラと声楽パート	764.422	鍵盤、機械、電子、打楽器パートと不特定の1つの独奏楽器	764.625
軽オーケストラと特定の1つの独奏楽器	764.426-.428	鍵盤と打楽器のアヴァンム	765.39
軽オーケストラと不特定の1つの独奏楽器を	764.425	鍵盤パート	764.6
経営管理(音楽関係の上級一)(音楽)	760.684	鍵盤楽器	766.2-.5
経営管理(音楽)	760.68	鍵盤楽器(1種類の楽器グループの室内アヴァンム)	765.62-.65
経営上の会議・報告書(音楽団体の一)	760.681-.689	鍵盤楽器(2以上の楽器グループからなる)	
形式(音楽)	761.8		
形式(楽器と楽器群およびその音楽)	764.18		
形式(声楽)	762		
形式分析(音楽)	761.8		
芸術歌曲の関係者	762.42168892		

サト・ストリーム・ジャズ	761.657	音楽の歴史と紹介	768.86
サビ・スマク (音楽)	760.275	社会的に不利な立場の人に関わる音楽の歴史と紹介	768.8694
サブリッジ	762.292	弱視者に関わる音楽の歴史と紹介	768.871
サハ	766.85	尺八	769.8331
サランキ	767.6	シエナ形式	761.827
サレレド形式	764.1882	シエナ形式 (器楽)	764.1827
サロス [?]	767.6	ジャズ	761.65
サロ・オーケストラ	764.4	ジャズ (初期のあるいは1914年以前のー)	761.652
サソロ (三弦)	767.85	ジャズ (トランジショナル・ジャズあるいは1915-1934年のー)	761.653
賛歌	762.27	ジャズ (日本のー)	761.6395
賛歌 (音楽形式)	762.324	ジャズ (ハイブリッド・スタイルあるいは1955-1969年およびそれ以後のー)	761.657
サウトス (音楽形式)	762.3232	ジャズ音楽家	761.65032
サガ	766.85	ジャズ・ミュージシャン	761.65032
三時課 (音楽形式)	762.324	三味線	769.793
産褥の音楽	761.582	シメツ	762.43
サティル	767.74	主の祈り (典札音楽形式)	762.295
サト・ペーパ・ロー・ロッソ	766.863	自由気鳴楽器	768.29 / 768.2
サロ形式	764.1888	州の団体 (音楽)	768.603 - .609
三位一体主日の音楽	761.7294 / 761.729	終課 (音楽形式)	762.324
詩に関する著述 (音楽)	768.268	収穫の音楽	761.5246
時課 (宗教)	762.324	什器 (音楽)	768.28
視覚障害者に関わる音楽の歴史と紹介	768.871	宗教音楽	761.7
視覚的技術 (音楽)	761.423	宗教音楽 (歌曲)	762.25
シゴ・フレグ・ウン (ジャズ)	761.653	宗教音楽 (音楽形式)	762.22
詩から派生した世俗音楽形式	762.43	宗教音楽 (その他の宗教のー)	761.74 - .79
時局 (音楽の要素)	761.22	宗教音楽から派生した器楽形式	764.18992
時局の見積 (商業関係のー) (音楽)	768.299	宗教歌曲	762.25
磁気テープ	766.75	宗教音楽曲 (小規模なー)	762.25
ジボ・ジキ	767.92	宗教的グループによる人に関わる音楽の歴史と紹介	768.88
指揮者用スリ	768.264	宗教的原理 (音楽)	761.12
指揮法	761.45	宗教的原理 (器作法)	761.3312
資料管理 (音楽)	768.687	宗教的音楽形式	762.22
資料の見積 (商業関係のー) (音楽)	768.299	宗教的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介	768.8693
死者埋葬の音楽	761.588	終止形	761.254
思春期の音楽	761.583	就任の音楽	761.57
四句節の音楽	761.725	修理 (音楽)	768.298
辞書、辞典、エログラス (音楽)	768.3	備教の音楽	761.79512
シトラ	766.885	手稿譜	768.262
私生子に関わる音楽の歴史と紹介	768.86945	ジュース・ループ	766.887
子孫に関わる音楽の歴史と紹介	768.854	主題 (音楽の要素)	761.248
時代区分 (民俗音楽)	761.6298901 - .6298905	主題と変奏形式	761.825
下書き図 (音楽)	768.221	主題と変奏形式 (器楽)	764.1925
シタル	767.82	主題目録 (音楽)	768.216
シタン	767.85	出産の音楽	761.582
視覚的取扱い (音楽)	768.288	受難曲 (イ・リストのー)	762.23
シリア形式	764.1883	受難節の音楽	761.7255
失業者に関わる音楽の歴史と紹介	768.8694	ユアレバ・ザンク	762.97
実験、計量 (音楽)	768.287	ユアレバ・ザンク (単声のー) (音楽)	763.97
実験・研究 (音楽)	768.72	趣味 (音楽)	768.23
実験室のマニアル (音楽)	768.72	趣味 (音楽美学)	761.17
実験室用マニアル (音楽)	768.287	趣味 (器作法)	761.3317
実験的研究 (音楽)	768.724	しゅろの主日の音楽	761.726
室内オーケストラと1以上の独奏楽器	764.323	紹介 (音楽)	768.9
室内オーケストラと2以上の独奏楽器	764.324	障害者、病人、天賦の才のある人に関わる音楽の歴史と紹介	768.87
室内オーケストラと声楽パート	764.322	音楽の歴史と紹介	768.87
室内オーケストラと特定の1つの独奏楽器	764.326 - .328	昇階唱 (音楽形式)	762.3235
室内オーケストラと不特定の1つの独奏楽器	764.325	上級経営管理 (音楽)	768.684
室内楽	765	商業関係の雑貨料 (音楽)	768.29
辞典 (音楽)	768.3	商業用カタログとゲイルクリ (音楽)	768.294
兒童	762.7	昇天節の音楽	761.728
時局 (宗教)	762.324	消費者レポート (音楽)	768.296
兒童に関わる音楽の歴史と紹介	768.834 / 768.83	商標、サビスマク (音楽)	768.275
自動ピアノ	766.66	商品・サービスのリスト (音楽分野の販売・リス・無料配布用のー)	768.29
兒童用歌劇	762.1	上流階級に関わる音楽の歴史と紹介	768.8821
シオリ (音楽)	762.00269	序曲形式	764.18926
死に伴う音楽	761.588	職業	768.23
自筆スコア	768.262	職業学校 (音楽)	768.712
支部設立許可 (音楽団体のー)	768.601 - .609	職業、趣味としての主題 (音楽)	768.23
詩篇	762.294	職業的・宗教的グループによる人に関わる音楽の歴史と紹介	768.88
シミュレーション (音楽)	768.11		
地面ワタ	767.73		
社会経済的に優勢でないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介	768.8693		
社会的・経済的諸階層に関わる音楽の歴史と紹介	768.862		
社会的・経済的に特色を持つ人に関わる			

職人のマフ (音楽)	760.278	ステリチュアル	762.25
職場での現場教育 (音楽)	760.7155	ステリチュアル (ジュアレゲラツク)	762.97
書誌 (音楽の録音資料のー)	760.166	ステラおよび余暇の音楽	761.594
書誌および目録 (音楽書、論文等のー)	760.162	住み込み (音楽教育)	760.7155
書誌および目録 (楽譜のー)	760.164	スリツク	768.35
庶子、捨子、虐待児、孤児に関わる 音楽の歴史と紹介	760.86945	スナイ	768.52
書誌、目録、索引 (音楽)	760.16	聖金曜日の音楽	761.726
叙情的・描写的形式	764.1896	聖木曜日の音楽	761.726
初心者 (音楽)	760.73	聖歌	762.292
女声	762.6	声楽	762
女声、児童、男声 (単声のー) (音楽)	763.6 - .8	声楽形式	762.1 - .4
女性に関わる音楽の歴史と紹介	760.82	声楽の演奏手段	762.5 - .9
序奏形式	764.1892	声楽家	762.0092
ショーム	768.52	声楽曲から派生した形式	764.1899
所有者マフ (音楽)	760.277	製作 (楽器)	764.1923
笙 [ジョン]	768.92	声質の種類	762.6 - .9
資料 (音楽)	760.28	政治的音楽	761.599
資料源 (教授・学習のー) (音楽)	760.7	聖週間の音楽	761.726
利用者サヒツ (音楽の博物館)	760.755	聖書	762.295
シフト	768.39	聖書 (合唱及び混声合唱)	762.5295
新音楽	760.9032	聖書 (単声のための音楽)	763.09295
新古典派 (音楽)	760.904	聖書以外のマフ (典礼音楽形式)	762.296
ジツクシツト	762.13	聖書のマフ (典礼音楽形式)	762.295
ジツクシツト・バツクパイア	768.49	奇唱	762.5
ジツクシツト楽器	768.6	青少年に関わる音楽の歴史と紹介	760.835
神現祭の音楽	761.724	成人教育の学校、教育課程 (音楽)	760.715
審査 (音楽)	760.79	成人教室 (音楽)	760.715
人事管理 (音楽)	760.683	成人の名時期に関わる音楽の歴史と紹介	760.84
人種の民俗音楽 (個々のー)	761.621 - .629	成人式 (宗教儀式) の音楽	761.583
人種、民族、国民に関係する音楽 (特定のー)	760.89	精神障害者、精神病者に関わる音楽の 歴史と紹介	760.874
人種、民族、国民の民俗音楽 (個々のー)	761.621 - .629	聖体拝領唱 (声楽形式)	762.3235
人種の・民族的・国内的・社会的・宗教的に優勢で ないグループの人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8693	聖長に障害のある人に関わる音楽の歴史と紹介	760.875
親戚に関わる音楽の歴史と紹介	760.85	性的傾向による人に関わる音楽の歴史と紹介	760.866
シツクシツト	766.74	性的傾向のない人に関わる音楽の歴史と紹介	760.866
振奏太鼓	766.96	生徒、学習者、徒弟、初心者 (音楽)	760.73
身体障害者に関わる音楽の歴史と紹介	760.87	成年の音楽	761.584
シバール	766.873	成年期の音楽	761.584
シバニー・オーケストラ	764.2	青年に関わる音楽の歴史と紹介	760.842
シバニー・オーケストラ形式	764.184	整備、修理 (音楽)	760.288
シバニー・オーケストラ	766.65	製品管理 (音楽)	760.685
心理学的原理 (音楽)	761.11	声部数による区分 (単声の組合わせ)	763.12 - .19
心理学的原理 (作曲法)	761.3311	聖務日課 (声楽形式)	762.324
図 (下書きのー) (音楽)	760.221	西洋芸術音楽	761.68
スイツク (音楽)	761.654	西洋の民俗音楽の旋法	761.263
図解 (音楽)	760.223	西洋・ビュ音楽	761.64
スケツク	761.64	西洋・ビュ音楽 (日本のー)	761.6394
スクール・オーケストラ	764.44	聖霊降臨祭および三位一体主日の音楽	761.729
スケツク (音楽)	760.222	聖霊降臨日	761.7293
スケツク帳	760.262	聖霊降臨祭の音楽	761.7293
スコア (演奏用ー)	760.264	世俗カンタタ	762.48
スコア (指揮者用ー)	760.264	世俗形式 (声楽形式)	762.4
スコア (ピアノ・ヴァイオリンー)	760.264	設計 (楽器)	764.1922
スコア (フルー)	760.264	設備 (音楽)	760.28
スコア (サクソフーンー)	760.265	作曲法	761.33
スコア (ミュージアー)	760.265	セルバン (楽器)	768.99
スコアとパ・ト譜の書誌	760.16	セルバン形式	764.1856
スコアとパ・ト譜の書誌および目録	760.164	全音階	761.266
スコアとパ・ト譜の目録	760.16	全音階	761.262
スコアに関する著述 (音楽)	760.26	前古典派 (音楽)	760.9033
スコア・ライティング	761.423	戦争犠牲者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8694
スツァフォン	768.98	前奏曲形式	764.18928
筋書、要約 (声楽)	762.00269	洗足木曜日の音楽	761.726
筋書に関する著述 (音楽)	760.269	洗濯板	766.886
筋書、要約 (音楽)	760.269	旋法	761.263
スツズ [?]	767.92	旋法 (その他のー)	761.264
スツル・トラム	766.843	旋律	761.24
スツルまたはお (単式打奏体鳴楽器)	766.8042	旋律楽器 (不特定ー)	767
捨子に関わる音楽の歴史と紹介	760.86945	洗礼の音楽	761.582
スツア・トラム	766.94	洗礼命名式の音楽	761.582
図版 (音楽)	760.222	檀 (楽器)	766.82
図版、模写、ミチュア (音楽)	760.22	檀 (撥奏体鳴楽器)	766.864
スピネット	766.4	檀 (相互打奏体鳴楽器)	766.874
図表化した資料 (音楽)	760.21	檀 (打奏体鳴楽器)	766.844
		檀 (単式撥奏体鳴楽器)	766.888
		檀 (単式打奏体鳴楽器)	766.8844

槽(複式撥奏体鳴楽器)	766.864	タブラ	766.93
槽(複式打奏体鳴楽器)	766.844	タブラチヤ	760.149
撥奏体鳴楽器	766.896	ダブム・ハース	768.59
相互打奏体鳴楽器	766.87	ダブムハース	767.5
葬式	761.588	ダブムリト・ハック・パイ	768.49
槽状ツター	767.72	ダブムリト楽器	768.5
装飾音	761.247	ダブマー	767.74
會祖父母以上に関わる音楽の歴史と紹介	760.853	タウヅン(楽器)	764.1934
総譜(練習用ー)	760.265	タゴ形式	764.18985
ツル・ミュージック	761.644	単式体鳴楽器	766.88
続唱(声乐形式)	762.3235	誕生および幼年期の音楽	761.582
測定(楽器)	764.1927	ダンス・オーケストラ	764.48
即興演奏	761.36	ダンス・オーケストラと1以上の独奏楽器	764.4823
即興曲形式	764.1894	ダンス・オーケストラと2以上の独奏楽器	764.4824
即興的・技巧の音楽形式	764.1894	ダンス・オーケストラと声楽パート	764.4822
室内オーケストラ	764.9	ダンス・オーケストラと特定の1つの独奏楽器	764.4826 - .4828
ツタ形式	764.183	ダンス・オーケストラと不特定の1つの独奏楽器	764.4825
ツタ・ロト形式	761.824	ダンス・バンド	764.48
ツタ・ロト形式(器楽)	764.1824	男声	762.8
ツタ形式	764.1832	単声	763.2 - .9/763.2
その他の音楽伝統	761.63 - .69	単声(他の種類のー)(声乐)	763.9
その他の金管楽器	768.99	単声電子楽器	766.73
その他の宗教の礼拝(声乐形式)	762.34 - .39	単声電鳴楽器	766.73
その他の主題を反映する音楽	761.59	男性に関わる音楽の歴史と紹介	768.81
ソフト・ロック	761.66	単声の組合せ	763.1
祖父母に関わる音楽の歴史と紹介	760.853	単声のための音楽	763
ツプラー・リコーダー	768.383	団体(音楽)	760.601 - .609
ツプラー	762.66	団体(国、州、地方のー)(音楽)	760.603 - .609
ツプラー(児童)	762.76	団体(国際ー)(音楽)	760.601
ツプラー・ツクツク	768.72	団体と経営(音楽)	760.6
ツプラー・リコーダー	768.364	団体と財政の管理(音楽)	760.601
ツェター	767.75	タハリン	766.95
対主題(音楽の要素)	761.248	タプーラ	767.82
対位法	761.286	タフリン	766.95
対位法形式	764.187	チェロ	767.4
対位法に関する全般的著作(和声とー)	761.25	地域による扱い(音楽)	760.91
退役軍人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8697	地域、場所一般による扱い(音楽)	760.91
大規模声乐形式	762.24	チェリスト	767.4892
体系(音楽)	760.11	チェリス	766.83
太鼓	766.92 - .98	チェロ	767.4
太鼓および打楽器効果用の装置	766.9	チェロ奏者	767.4892
太鼓奏者(音楽家)	766.9092	チェンバロ	766.4
待降節の音楽	781.722	地球外の世界による扱い(音楽)	760.93 - .99
代禱(典礼)	762.292	逐次刊行物(音楽)	760.5
台本に関する著述(音楽)	760.268	地図及び関連形態、配置図(音楽)	760.223
体鳴楽器(振動する発音物質)	766.82	父親に関わる音楽の歴史と紹介	760.851
大要(音楽)	760.202	地方による扱い(音楽)	760.93 - .99
ダイクワリ(個人と団体のー)(音楽)	760.25	地方の団体(音楽)	760.603 - .609
ダイクワリ(商業用ー)(音楽)	760.294	チャム	766.848
高い文化程度の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8631	中声(単声のー)(声乐)	763.4
打楽器	766.8/766	中世音楽	760.903
打楽器(1種類の楽器グループの室内アンサンブル)	765.68	中世教会療法	761.263
打楽器(2以上の楽器グループからなる室内アンサンブル)	765.2 - .5	中程度の文化の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8632
打楽器(室内アンサンブル)	765	中等教育の学校、教育課程(音楽)	760.712
打楽器(独奏曲)	766.8	中年に関わる音楽の歴史と紹介	760.844
打楽器(バンドおよびオーケストラ)	764	中流階級に関わる音楽の歴史と紹介	760.8622
打楽器アンサンブル	765.68/765.6	チューバ	768.98
打楽器効果用の装置	766.99/766.9	調の関係	761.258
打楽器バンド	764.68	聴音および聴覚訓練	761.424
打楽器バンドと1以上の独奏楽器	764.6823	朝課(英国国教会の礼拝のための声乐形式)	762.325
打楽器バンドと2以上の独奏楽器	764.6824	朝課(声乐形式)	762.324
打楽器バンドと声楽パート	764.6822	聴覚技術(音楽)	761.424
打楽器バンドと特定の1つの独奏楽器	764.6826 - .6828	聴覚訓練	761.424
打楽器バンドと不特定の1つの独奏楽器	764.6825	聴覚訓練法	761.424
ダカボ形式	761.8225/761.822	調性	761.258
ダカボ形式(器楽)	764.1822	調組織	761.26
打奏弦鳴楽器	767.7	調律(楽器)	764.1928
打奏太鼓	766.92	長老派教会の音楽	761.7151
打奏体鳴楽器(単式)	766.864	長老派教会の音楽(礼拝のための声乐形式)	762.32251
打奏体鳴楽器(複式)	766.84	ちらし(音楽)	760.294
打奏平板ツター	767.74	地理的扱い(音楽の教育、研究、演奏)	760.781 - .789
タッチの技術(楽器)	764.19368	地理的扱い(音楽)	760.9
縮吹きフルート	768.35	地理的扱い(音楽)	764.194 - .199
他の音楽伝統からの様式上の影響(民俗音楽)	761.6286	地理的扱い(学校、教育課程のー)(音楽)	760.7181 - .7189
他の原理および音楽形式	781.2 - .8	地理的扱い(実験研究のー)	

(音楽)	760.7201 - .7209	電子楽器を含むアンプ	765.46
地理的扱い(博物館、コレクション、展示の—)(音楽)	760.741 - .749	電子楽器アンプ	765.67/765.6
地理的および人間の扱い(民俗音楽)	761.620091 - .620099	電子楽器と打楽器	765.599
和リアン・ツター	767.75	電子楽器と打楽器を含むアンプ	765.59
琴[わ]	767.75	伝達手段(音楽)	760.14
ライター	767.72 - .75/767.7	伝統(音楽—)	761.6
ツインク	768.99	天賦の才のある人に関わる音楽の歴史と紹介	760.879/760.87
ツインロム	767.74	電鳴楽器	766.7
通過儀礼の音楽	761.583	電鳴楽器(1種類の楽器グループの室内アンプ)	765.67
通信教育(放送教育の—)(音楽)	760.7153	電鳴楽器(2以上の楽器グループからなる室内アンプ)	765.2 - .5
通信教育の学校、教育課程(音楽)	760.7154	電鳴楽器(室内アンプ)	765
通奏低音付き	761.47	電鳴楽器(独奏曲)	766.7
筒(楽器)	766.82	電鳴楽器(ハントおよびオーケストラ)	764
筒(標奏体鳴楽器)	766.865	典礼(声楽形式)	762.3
筒(相互打奏体鳴楽器)	766.875	典礼音楽(声楽形式)	762.29
筒(打奏体鳴楽器)	766.845	典礼音楽から派生した器楽形式	764.18993
筒(単式標奏体鳴楽器)	766.888	典礼音楽形式	762.29
筒(単式打奏体鳴楽器)	766.8845	典礼劇	762.298
筒(複式標奏体鳴楽器)	766.885	典礼式(個々の—)(声楽形式)	762.323 - .326
筒(複式打奏体鳴楽器)	766.845	トウマニツエ	769.37
筒形太鼓	766.94	道教の音楽	761.79514
筒形ツター	767.72	道教の音楽(礼拝)	762.39514
通夜(音楽)	761.598	統計学的統計(音楽)	760.21
調査(商業関係の量に関する—)(音楽)	760.299	統計的方法(音楽)	760.72
手の技術(楽器)	764.19365	同性愛の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8664
デュオ・フォルム形式	764.1852	盗難防止(音楽のコレクションと展示のための)	760.753
デュオ形式	764.1876	ドック	768.58
デュオ・ラウト・ジ・ス	761.853	ドック	768.49
抵抗の音楽	761.592	登録(音楽のコレクションと展示のための)	760.753
デュオ・フォルム	763.99	特殊な教育および学習方式(音楽)	760.77
デュオ・フォルム(音楽)	760.166	独身者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8652
低声(単声の—)(声楽)	763.5	独奏楽器	766 - 768
ティンパニ	766.93	独奏楽器(室内アンプ)	765
手書き楽譜	760.262	独奏楽器(ハントおよびオーケストラ)	764
手書き楽譜の書誌および目録	760.164	独奏器楽曲	766 - 768
テキスト(個々の—)	762.294 - .298	独奏協奏曲	764.25
橋奏弦楽器	767.7	特定種類の音楽	761.5
橋奏太鼓	766.97	特定種類の人間(雑)に関わる音楽の歴史と紹介	760.81 - .87
橋奏体鳴楽器(単式)	766.887	特定種類の人間の集団の民俗音楽の歴史および紹介	761.62008
橋奏体鳴楽器(複式)	766.85	特定状況のための音楽	761.53
橋奏平板ツター	767.75	特定タイプの利用者用のもの(音楽)	760.24
橋奏リュート	767.8	特定大陸、国家、地方、または地球外の世界の別による扱い(音楽)	760.93 - .99
テクスチャー	761.28	特定日時のための音楽	761.52
手首の技術(楽器)	764.19364	特定の職業的・宗教的グループの人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8829 - .8899
テグム(音楽)	760.222	特定媒体のための音楽	761.54
テグム・ウ・イ・ム	767.62	特定レベルの教育の学校、教育課程(音楽)	760.711 - .715
テグム・リコダー	768.364	特別な社会的立場の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.869
テグム(音楽)	760.76	特別なヒップ(音楽)	760.4
テグムの作成(音楽)	760.76	トック形式	764.18947
テグムの評価(音楽)	760.76	特許	760.272
テグム・アロイス(音楽)	760.285	特許、種章(音楽)	760.27
テグム・イ・ム	767.64	特権階級に関わる音楽の歴史と紹介	760.8621
テグム・ツクファン	768.74	徒弟(音楽)	760.73
テグム・ム	768.974	トデカフニ	761.268
テグム・リコダー	768.366	トデカフニ	767.72
テグム	762.87	トック・ツクファン	760.148
デビューの音楽	761.584	土曜日の音楽	761.5228
テープ(電鳴楽器)	766.75	ドライブングル	766.8842
テーマ索引(音楽)	760.216	トラス(音楽家)	766.9892
テレビ音楽	761.546	トラス(音楽)	766.9
テレビ	766.73	トランスクリプション(作曲)	761.37
電気楽器	766.7	トランペット	768.92
展示(音楽関係の特定の—)	760.741 - .749	トランペット奏者	768.92092
展示(音楽)	768.74	トリル	761.247
電子および鍵盤楽器を含むアンプ	765.299	奴婢、農奴、日雇い労働者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8625
電子レガフ	766.59	トブレ(児童)	762.76
電子音楽	766.74	トブレ(女声)	762.66
電子、打、鍵盤楽器を含むアンプ	765.29		
電子と鍵盤楽器のアンプ	765.2999		
電子ハント	764.6		
電子楽器	766.7/766		
電子楽器アンプ	765.6		
電子楽器を含まず、打楽器と鍵盤楽器を含むアンプ	765.3		

トランペット(男声)	762.86	ループコト奏者	766.4092
トランペット・ヴァイオリン	767.63	ループコト派の宗教音楽	761.7161
トランペット・リコーダー	768.365	ループコト派の宗教音楽(礼拝のための 声楽形式)	762.32261
トランプ	762.297	ループコト	766.55
トロンボーン	768.93	ループコト	768.82
トロンボーン奏者	768.93092	ループコト・オペラ	762.14
トロンボーン	767.85	ループコト	762.43
ナイ	768.35	ループコト	764.1896
ナイ	768.37	ループコト(作曲)	761.377
内縁の既婚者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8655	ループコトおよびループコト(作曲)	761.377
内部諸団体の逐次刊行物(音楽)	760.5	ループコト形式	761.826
長い神のリュート	767.8	ループコト形式(器楽)	764.1826
夏の音楽	761.5244	ループコト	767.875
ナッカー	766.93	ループコト	762.88
銅形太鼓	766.93	ループコト(アメリカとフランスにおけるBb管楽器の呼び名)	768.975
並の収入がある人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8623	ループコト(イギリスとドイツにおけるBb管楽器の 呼び名)	768.974
西インド諸島のスチールドラム	766.843	春の音楽	761.5242
日時の音楽	761.52	ループコトの音楽	761.583
日曜日の音楽	761.5222	ループコト(音楽の要素)	761.222
日本の子供の歌	761.6397	ループコト・レ・フイストル	767.6
日本のポピュラー音楽	761.639	ループコト形式	764.1854
入会儀式の音楽	761.57	ループコト音楽	761.556
入祭文(声楽形式)	762.3235	ループコト・ジャズ	761.653
乳幼児に関わる音楽の歴史と紹介	760.832	ループコト音楽	760.932
ニューヨーク・ジャズ	761.653	ループコト(作曲)	761.377
ニューヨーク・ジャズ	761.653	ループコト形式	761.826
太平洋諸島およびその他の地域の舞曲形式	764.1889	ループコト形式(器楽)	764.1826
ヌーヴェル・ジャズ	760.9032	ループコト・ジャズ	768.37
ヌカ	760.148	晩課(声楽形式)	762.324
ヌカ	766.93	犯罪者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8692
農奴に関わる音楽の歴史と紹介	760.8625	反社会的・否社会的な人に関わる音楽の 歴史と紹介	760.8692
鏡[ノマリ](音楽)	766.888	ループコト	767.88
ノラン・ライオン・パイ	769.49	ループコト奏者	767.88092
ノイティ・スコラフイー	760.166	伴奏法	761.47
配置図(音楽)	760.223	ループコト(管楽一)	764.8
背面が平らなリュート	767.85	ループコト(機械楽器一)	764.6
背面が丸いリュート	767.82	ループコト(鍵盤一)	764.6
バウンス形式	764.18823	ループコト(鍵盤、機械、電子、打楽器一)	764.6
拍(音楽の要素)	761.222	ループコト(打楽器一)	764.68
バグパイプ	768.49	ループコト(電子一)	761.522
博物館(音楽関係の特定の一)	760.741 - .749	ループコト(フラス一)	764.9
博物館、コレクション、展示(音楽)	760.74	ループコト(マラカス一)	764.83
博物館の活動・仕事(音楽)	760.75	ループコト(木管一)	764.89
博物館学(音楽)	760.75	ループコト(リズム一)	764.68
場所一般による扱い(音楽)	760.91	ループコト(ダンス一)	764.48
バス	762.89	ループコト(単式打奏体鳴楽器)	766.88495
バス・ヴァイオリン	767.65	ループコト	768.84
バス・クラリネット	768.65	ループコト・リコー	764.892
バス・サクソフォン	768.75	ループコト	768.37
バス・フルート	768.34	非劇的声楽形式	762.2
バス・ミュージックの音楽	761.583	非劇的声楽形式(単声の組み合わせ)	763.119
バス・リコーダー	768.387	非劇的声楽形式(単声のための音楽)	763.89
バス	768.58	非西洋芸術音楽	761.69
発音図体(個々の形状の一)	766.842 - .848	日の音楽	761.522
発音図体(個々の形状の一)(複式打奏 体鳴楽器)	766.862 - .868	ピアスト	766.2092
発音図体(個々の形状の一)(相互打奏 体鳴楽器)	766.872 - .878	ピア	766.2
バグパイプ	768.49	ピアノ・アコーディオン	768.865
バグパイプ形式	761.827	ピアノ・ヴァーナル・スア	760.264
バグパイプ形式(器楽)	764.1827	ピアノ・エグゼット	764.262186
発展(音楽)	760.9	ピアノ協奏曲	764.262186
バグパイプ	761.655	ピアノ奏者	766.2092
バグパイプ	762.43	ピアノ	766.66
ルンディ・ガ・ディ	767.69	ピアノ	767.86
バートンク(混声)	762.5	ピアノ	766.86
バートンク(単声)	763.1	悲歌形式	764.18964
バートンク(演奏用一)	760.264	美学(音楽)	761.17
鼻フルート	768.3	美学(創作法)	761.3317
母親に関わる音楽の歴史と紹介	760.852	低い文化程度の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8633
ループ	767.94 - .96	ピザンツ教会旋法	761.264
ループおよび楽弓	767.9	否社会的な人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8692
ループ奏者	767.9092	左手の技術(楽器)	764.19366
ループ・リュート	767.98	ピッコロおよびファゴ	768.33
ループ型ツィター	767.73	ピッコ(琵琶)	767.82
ループコト	766.4	ピッコ	761.655

微分音音階	761.269	ブロッケン・ジトス	761.655
ヒム	762.27	ブロック(楽器)	766.82
日雇い労働者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8625	ブロック(単式打奏体鳴楽器)	766.8843
ビューグル	769.95	文字(音楽とー)	769.88
表、公式、明題(音楽)	760.212	文化発展の程度による人に関わる音楽の歴史と紹介	760.863
評鑑(音楽)	760.13/760.9	分析的解説および曲目解説	760.15
評鑑ユキル、購買ユキル(音楽)	760.297	分類(音楽)	760.12
描写的形式	764.1896	平板フイター	767.74
機組音楽	761.56	バ- (Bb) 管組	768.974
病人、外出できない人に関わる音楽の歴史と紹介	760.877	バケンナ(?)	767.78
病人に関わる音楽の歴史と紹介	760.87	バ-ス	767.5
琵琶	767.85	バダリウク	764.1938
貧困者、種貧者に関わる音楽の歴史と紹介	760.86942	別居・離婚者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8653
ヒズ-教の音楽	761.745	バックルフォン	768.52
ヒズ-教の音楽(礼拝)	762.345	バブローニ	761.283
ファイフ	768.33	バナ(?)	767.6
ファルセット	762.86	バニー・ホイスル	768.35
ファン形式(音楽)	764.1876	バネイック(声楽形式)	762.323
ファンファンおよびリカル形式	764.1876	バム(打奏体鳴楽器)	766.848
ファンファン形式	764.18924	バム(単式打奏体鳴楽器)	766.8848
定旋律形式	761.828	バム(複式打奏体鳴楽器)	766.848
フィンガリング(楽器)	764.19368	編曲	761.38
風習(音楽)	761.58	編曲法	761.37
風力楽器	766.69/766.6	編集法(音楽)	760.149
風力楽器(室内アンサンブル)	765	変声期の声	762.79
風力楽器(バンドおよびオーケストラ)	764	変奏形式	761.825
フェア-オルガン	766.68	変奏形式(器楽)	764.1825
フォーク・ロック	761.66	変奏曲(器楽)	764.1825
フ-ガ形式	764.1872	変奏曲形式	761.825
不確定性による作曲	761.32	棒(楽器)	766.82
不協和音	761.239	棒(撥奏体鳴楽器)	766.883
舞曲	761.554	棒(相互打奏体鳴楽器)	766.873
舞曲形式	764.188	棒(打奏体鳴楽器)	766.843
複管フルート	768.37	棒(単式棒奏体鳴楽器)	766.888
複弦楽弓	767.93	棒(単式掃奏体鳴楽器)	766.887
複式体鳴楽器	766.84 - .87	棒(掃奏体鳴楽器)	766.85
複式打奏体鳴楽器	766.84	棒(複式撥奏体鳴楽器)	766.863
符号(音楽)	760.148	棒(複式打奏体鳴楽器)	766.843
アウテリウム	767.75	棒(複式掃奏体鳴楽器)	766.85
アズキ	767.85	棒、板、ブロック(単式打奏体鳴楽器)	766.8843
舞台芸術(音楽とー)	760.079	奉獻唱(声楽形式)	762.3235
復活日の音楽	761.727	放送教育の学校、教育課程(音楽)	760.7153
復活節の音楽	761.727	棒フイター、筒形フイター、樽状フイター	767.72
復活祭の音楽	761.727	方法論と諸規則(音楽のー)	760.1
仏教音楽	761.743	放浪者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8692
仏教音楽(礼拝)	762.343	保管(音楽のコレクションと展示のための)	760.753
フットボール・ドラム	766.886	ポケット・スコア	760.265
冬の音楽	761.5248	補助技術および作業(楽器)	764.19828
フュージョン(音楽)	761.67	補助的措置; 設備、什器、資料(音楽)	760.28
舞踊音楽	761.554	ホ-タク形式	764.1887
フラジオレット	768.35	ホ-タク・アウティウ	768.863
フラジオレット	768.35	ホップス	761.63
アラブ・バンド	764.9	ホドント(?)	767.92
アラブ・バンドと1以上の独奏楽器	764.923	ホピュラ音楽	761.63
アラブ・バンドと2以上の独奏楽器	764.924	ホピュラ音楽(西洋以外のー)	761.63
アラブ・バンドと声楽パート	764.922	ホピュラ音楽(日本のー)	761.639
アラブ・バンドと特定の1つの独奏楽器	764.926 - .928	経に関わる音楽の歴史と紹介	760.86642
アラブ・バンドと不特定の1つの独奏楽器	764.925	ホフエニ	761.285
アラブ・バンド楽器	768.8	ホリフエニ	761.284
アラビック・ループ	767.98	ホリ形式	764.18844
アラビック・ロックの時代あるいは60年代のロック	761.663	ホリ	768.94
アリファート・ピアノ	766.28	ホリ(インク・リジューー)	768.53
アラブ・バンド	768.97	ホリ(フンチー)	768.94
フル・オーケストラ	764.2	ホリ協奏曲	764.2894186
アラビックに関わる音楽の歴史と紹介	760.8622	ホリ奏者	768.94892
アトス	761.643	ホリス形式	764.1884
ルスタ	760.264	ホリ	766.95
フルート	768.32	埋葬音楽	761.588
フルート協奏曲	764.2832186	マウス・オルガン	768.82
フルート奏者	768.32892	前腕の技術(楽器)	764.19362
フルート属	768.3	膜鳴楽器	766.92 - .98
アリアク	767.93	マクロナリイ	761.265
アリクラー	768.29	スマディアの音楽	761.54
フレンチ・ホルン	768.94	スマリカ形式	764.1884
アラブ音楽教育(音楽)	760.77	マ-チク・バンド	764.83

マニグ・バノと1以上の独奏楽器	764.8323	木管、金管、弦楽、電子楽器のアヴァン	765.462
マニグ・バノと2以上の独奏楽器	764.8324	木管、金管、弦楽のアヴァン	765.42
マニグ・バノと声楽パート	764.8322	木管、金管、鍵盤楽器のアヴァン	765.23
マニグ・バノと特定の1つの 独奏楽器	764.8326 - .8328	木管、金管、打、鍵盤楽器のアヴァン	765.33
マニグ・バノと不特定の1つの独奏楽器	764.8325	木管、金管、打楽器のアヴァン	765.53
マニグ・バノ	762.43	木管、金管、電子、鍵盤楽器のアヴァン	765.2993
マニグ (実験室用ー) (音楽)	760.287	木管、金管、電子、打、鍵盤楽器のアヴァン	765.293
マニグ	766.885	木管、金管、電子楽器、打楽器	765.593
マニグ	766.843	木管、金管、電子楽器のアヴァン	765.463
マニグ	767.84	木管、弦楽、鍵盤楽器のアヴァン	765.24
右手の技術 (楽器)	764.19367	木管、弦楽、打、鍵盤楽器のアヴァン	765.34
未婚の母に関わる音楽の歴史と紹介	760.86947	木管、弦楽、打楽器のアヴァン	765.54
ミシ (音楽形式)	762.323	木管、弦楽、電子、鍵盤楽器のアヴァン	765.2994
ミシ有文 (音楽形式)	762.3235	木管、弦楽、電子、打、鍵盤楽器のアヴァン	765.294
ミシ通常文 (音楽形式)	762.3232	木管、弦楽、電子楽器、打楽器	765.594
短い棒のリユート	767.8	木管、弦楽、電子楽器のアヴァン	765.464
ミスター (音楽の要素)	761.226	木管、打、鍵盤楽器のアヴァン	765.36
見積 (商業関係の労働、時間、資材のー)	760.299	木管、電子、鍵盤楽器のアヴァン	765.2996
(音楽)	760.228/760.22	木管、電子、打、鍵盤楽器のアヴァン	765.296
ミチュア (音楽)	760.265	木管、電子楽器、打楽器	765.596
ミチュア・スア	760.265	木管と金管のアヴァン	765.43
未亡人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8654	木管と弦楽のアヴァン	765.44
ミュージカル	762.14	木管と鍵盤楽器のアヴァン	765.26
ミュージカル・ソ	766.888	木管と打楽器のアヴァン	765.56
ミュージカル・フレ	762.14	木管と電子楽器のアヴァン	765.466
ミュージック・エンクート	766.75	木管バノ	764.89
ミルトン	763.99	木管バノと1以上の独奏楽器	764.8923
民俗音楽の旋法	761.264	木管バノと2以上の独奏楽器	764.8924
民俗音楽家	761.82092	木管バノと声楽パート	764.8922
民族に関係する音楽 (特定のー)	760.89	木管バノと特定の1つの独奏楽器	764.8926 - .8928
民族の民俗音楽 (個々のー)	761.821 - .629	木管バノと不特定の1つの独奏楽器	764.8925
民俗音楽	761.62	木管楽器 (1種類の楽器グループの室内アヴァン)	765.8
民俗的・民族的に優勢でないグループの人に 関わる音楽の歴史と紹介	760.8693	木管楽器 (2以上の楽器グループからなる 室内アヴァン)	765.2 - .5
民謡 (日本のー) (民俗芸能ではない)	761.6393	木管楽器 (個々のー)	768.3 - .8
民謡 (日本のー) (民俗芸能としての)	769.36	木管楽器 (室内アヴァン)	765
グエト	767.73	木管楽器 (製作)	768.21923
無音	761.236	木管楽器 (独奏曲)	768.2
無言歌形式	764.1896	木管楽器 (バノおよびオーボエ)	764
むち	766.99	木管楽器および自由気鳴楽器	768.2
ムリ!	768.62	木管楽器のみのアヴァン (1種類のー)	765.82 - .88
明細 (音楽)	760.212	木琴	766.843
瞑想曲形式	764.1896	モト	762.26
名簿 (音楽分野のー)	760.25	モト (シミュレーション) (音楽)	760.11
名簿 (個人と団体のー) (音楽)	760.25	モディ	761.282
メイストリム・ジャズあるいは1935-1944年のジャズ	761.654	問題 (音楽)	760.76
雌に関わる音楽の歴史と紹介	760.82	野外の音楽	761.532
メソソアラ	762.67	養い親に関わる音楽の歴史と紹介	760.85
メソソアラ (児童)	762.77	夜想曲形式	764.18966
メソソアラ教会の音楽	761.717	やもめ・未亡人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8654
メソソアラ教会の音楽 (礼拝のための音楽形式)	762.3227	洋琴 [ワグ]	767.74
メソソアラ形式	764.18935	有節形式	761.823
メソソアラ	768.863	有節形式 (器楽)	764.1823
メソソアラ	766.843	裕福な人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8622
木魚	766.8843	夕べの祈り (英国国教会の礼拝のための 音楽形式)	762.326
目録 (音楽の録音資料のー)	760.166	夕べの音楽	761.523
目録 (音楽)	760.16	19 th 教の音楽	761.76
目録 (音楽書、論文等のー)	760.162	19 th 教の音楽 (礼拝)	762.36
目録 (楽譜のー)	760.164	エウ・パイア	768.49
目録 (手書き楽譜のー)	760.164	指の技術 (楽器)	764.19368
目録明細 (音楽のー)	760.216	1-フォームおよびバノ (アフリカ)	768.975
模型 (音楽)	760.22	弓の技術 (楽器)	764.19369
模型、ミチュア (音楽)	760.228	弓形ハープおよび角形ハープ	767.94
文字を持たないものに関わる音楽の 歴史と紹介	760.8633	1-エスな扱い (音楽)	760.297
モーター・ホーン	766.99	容器 (楽器)	766.82
モダン・ジャズあるいは1945-1954年のジャズ	761.655	容器 (標準体鳴楽器)	766.866
木管アヴァン	765.8	容器 (相互打奏体鳴楽器)	766.876
木管、金管、弦楽、鍵盤楽器のアヴァン	765.22	容器 (打奏体鳴楽器)	766.846
木管、金管、弦楽、打、鍵盤楽器のアヴァン	765.32	容器 (単式標準体鳴楽器)	766.889
木管、金管、弦楽、打楽器のアヴァン	765.52	容器 (単式打奏体鳴楽器)	766.8846
木管、金管、弦楽、電子、鍵盤楽器のアヴァン	765.2992	容器 (複式標準体鳴楽器)	766.866
木管、金管、弦楽、電子、打、鍵盤楽器の アヴァン	765.292	容器 (複式打奏体鳴楽器)	766.846
木管、金管、弦楽、電子楽器、打楽器	765.592	容器フルト	768.39
		洋琴	767.74
		用具の使用 (教授・学習のー) (音楽)	760.7

様式史の名時代	760.901-909	礼拝式(声楽形式)	762.3
用語法(音楽)	760.14	レグネー	762.14
幼児に関わる音楽の歴史と紹介	760.833	歴史(音楽団体のー)	760.601-609
幼児の洗礼の音楽	761.582	歴史研究(音楽)	760.722
幼年期の音楽	761.582	歴史と紹介(博物館などのー)(音楽)	760.74
曜日の音楽(1週間のー)	761.522	歴史的事件を記念する音楽	761.599
養父母に関わる音楽の歴史と紹介	760.85	歴史的、地理的、個人の扱い(音楽)	760.9
要約(声楽)	762.00269	歴史的、地理的、人間の扱い(民俗音楽)	761.62009
要約に関する著述(音楽)	760.269	レクイエム(声楽形式)	762.3238
余暇の音楽	761.594	レヒアに関わる音楽の歴史と紹介	760.86643
横笛	768.33	レスボソリウム	762.292
横吹きフルート	768.32	連作歌曲	762.47
予想(音楽)	760.112	練習(音楽)	761.44
予備・予想	760.112	練習曲形式	764.18949
夜の折り(声楽形式)	762.326	練習問題、課題(音楽)	760.76
夜の音楽	761.523	練習用楽譜	760.265
ヨーロッパ音楽	760.94	連続	762.292
ヨーロッパの歌劇	762.1094	聖職者に関わる音楽の歴史と紹介	760.872
ヨーロッパの舞曲形式	764.1882	労働、時間、資材の見積(商業関係のー)	
ライア	767.78	(音楽)	760.299
ライトモチーフ	761.248	労働の音楽	761.593
レーガ	761.264	録音資料の書誌(音楽のー)	760.166
ラウレット	766.98	録音資料の目録(音楽のー)	760.166
ラウタム	761.64	録音資料に関する著述(音楽)	760.26
ラケット	768.5	録音資料(音楽のー)	760.268
ライオン音楽	761.544	六時課(声楽形式)	762.324
ラヴェット	766.886	ロココ音楽	760.9033
ラトル	766.885	ロック	761.66
ラテンアメリカの舞曲形式	764.1888	ロック(80年代以後のー)	761.665
ラハープ	767.6	ロック(初期のロックあるいは50年代のー)	761.662
リーガル	766.55	ロック(多様化時代のロックあるいは70年代のー)	761.664
リコーダー	768.36	ロック(日本のー)	761.6396
離婚者に関わる音楽の歴史と紹介	760.8653	ロック音楽家	761.66092
リサイタル	760.78	ロックミュージシャン	761.66092
リサーチ(音楽)	760.72	ロックロール	761.66
リスト(博物館などのー)(音楽)	760.74	ロマ・カトリック教会の音楽	761.712
リスト、目録明細(音楽のー)	760.216	ロマ・カトリック教会の音楽(礼拝のための	
リストム	761.224	声楽形式)	762.3222
リストム(和声ー)	761.256	ロマ形式	764.18968
リストム・アント・ブルース	761.643	ロマン派(音楽)	760.9034
リストム・パント	764.68	ロムボット	766.98
リタニア	762.292	ロラー(楽器)	763.99
リチャード形式	764.1876	ロト形式	761.824
リップ・リット楽器	768.9	ロト形式(器楽)	764.1824
リット・カマンおよびリガル	766.55	和音	761.252
リット楽器	768.4	若い女性に関わる音楽の歴史と紹介	760.8352
リトニル(音楽技術)	761.44	若い男性に関わる音楽の歴史と紹介	760.8351
リアレットに関する著述	760.268	杵太鼓	766.95
略譜法(音楽)	760.148	ワークショップ(成人教育のー)(音楽)	760.7152
流通管理(音楽)	760.688	幹スライダ、地面スライダ、ホープ型スライダ、視形スライダ	767.73
竜笛	769.8322	ワークナー・チューバ	768.98
リュート	767.83	幹ホープ	767.95
リュート属	767	ワークブック(問題付きのー)(音楽)	760.76
利用規約(音楽の博物館)	760.755	和声	761.25
量に関する調査(商業関係のー)(音楽)	760.299	和声構造	761.25
両性愛の人に関わる音楽の歴史と紹介	760.8663	和声付け	761.434
ルーテル教会の音楽	761.7141	和声リズム	761.256
ルーテル教会の音楽(礼拝のための声楽形式)	762.32241	ワグネル形式	764.18846
ルネッサンス音楽	760.9031	ワビ(?)	767.92
ルネッサンス	761.46	ワグネル(?)	767.73
ルネッサンス形式	764.1888	ワグネル(?)	768.38
礼拝(声楽形式)	762.3		

<アルファベットの部>

参照語のみ

18th century music	760.9033	1900-2000 (Music)	760.904
19th century music	760.9034	2000-2009 (Music)	760.905
21th century (Music)	760.905	Abandoned child, History and description	
500-1499 (Music)	760.902	of music with respect to	760.86945
Ca. 1450 to ca. 1600	760.9031	Abbreviation, Musical	760.148
Ca. 1600 to ca. 1750	760.9032	Abused child, History and description of	
Ca. 1750 to ca. 1825	760.9033	music with respect to	760.86945
Ca. 1825 to ca. 1900	760.9034	Accompaniment	761.47
1450- (Music)	760.903	Accordion	768.86

Acid rock	761.66	Asocial person, History and description of music with respect to	760.8692
Activities, Music accompanying	761.57	Atonality	761.267
Adjudication (Music)	760.79	Attack and decay (Musical element)	761.235
Administrative proceedings and report (Music organization)	760.601 - .609	Attainment of majority, Music accompanying	761.584
Adoptive, History and description of music with respect to	760.85	Attainment of puberty, Music accompanying	761.583
Adult education, School and course in (Music)	760.715	Audiovisual treatment (Music)	760.208
Advent, Music of	761.722	Aural technique (Music)	761.424
Advertisement (Music)	760.294	Autograph score	760.262
Aeolian instrument	766.6/766.69	Autoharp	767.75
Aeolian instrument (Band and orchestra)	764	Autumn, Music for	761.5246
Aeolian instrument (Chamber ensemble)	765	Auxiliary technique and procedure (Musical instrument)	764.19028
Aerophone	768	Auxiliary technique and procedure; apparatus, equipment, material (Music)	760.28
Aesthetics (Music)	761.17	Avant-garde (Music)	760.904
Aesthetics (Serialism)	761.3317	Avant-garde jazz	761.656
African dance form	764.1886	Award (Music)	760.79
Afro-Cuban music (Jazz)	761.657	B-flat horn	768.974
Afternoon music	761.523	Bagpipe	768.49
Agnus Dei (Vocal form)	762.323	Balalaika	767.875
Alboka	768.37	Ballad	762.43
Aleatory composition (Music)	761.32	Ballad opera	762.14
Aleatory music	761.32	Ballade	764.1896
Alpenhorn	768.92	Ballet music	761.556
Alphorn	768.92	Ballett	762.43
Alto recorder	768.365	Banc, Dance	764.48
Alto saxophone	768.73	Band leader	764.032
Alto voice	762.68	Band, Brass	764.9
Alto voice, Children's	762.78	Band, Electronic	764.6
Alto voice, Men's	762.86	Band, Keyboard	764.6
Amen	762.295	Band, Keyboard, mechanical, electronic, percussion	764.6
American organ	766.55	Band, Marching	764.33
American popular music	761.64	Band, Mechanical	764.6
Analytical guide and program note (Music)	760.15	Band, Military	764.84
Ancient Greek mode	761.264	Band, Percussion	764.68
Ancient time (Music)	760.901	Band, Rhythm	764.68
Angklung	766.848	Band, Wind	764.8
Angle harp	767.94	Band, Woodwind	764.39
Anglican chant	762.3223	Bandoneon	768.84
Anglican sacred music	761.713	Banjo	767.88
Anglican sacred music (Vocal form for public worship)	762.3223	Banjoist	767.88092
Answer (Music)	760.76	Baptism, Music accompanying	761.582
Anthem	762.265	Baptist sacred music	761.7161
Antisocial and asocial person, History and description of music with respect to	760.8692	Baptist sacred music (Vocal form for public worship)	762.32261
Anvil	766.8843	Bar (Concussion idiophone)	766.873
Appalachian dulcimer	767.75	Bar (Friction idiophone)	766.863
Apparatus (Music)	760.28	Bar (Musical instrument)	766.82
Apparatus in study and teaching, Use of (Music)	760.7	Bar (Percussed idiophone)	766.843
Appreciation (Serialism)	761.3317	Bar (Plucked idiophones)	766.85
Appreciation, Music	761.17	Bar (Set friction idiophone)	766.863
Apprentice (Music)	760.73	Bar (Set percussed idiophone)	766.843
Arched harp	767.94	Bar (Set plucked idiophones)	766.85
Areas, regions, places in general, Treatment by (Music)	760.91	Bar (Single friction idiophone)	766.888
Arm technique (Musical instrument)	764.1936	Bar mitzvah, Music accompanying	761.583
Arpeggio	761.252	Bar, plate, block (Single percussed idiophone)	766.8943
Arpeggione	767.6	Baritone (American and French E-flat horn)	768.975
Arrangement (Music)	761.37	Baritone (British and German B-flat horn)	768.974
Arrangements (Music)	761.38	Baritone voice	762.88
Arrangements of music divided by original voice, instrument and ensemble	761.382 - .388	Baroque music	760.9032
Ars antiqua (Music)	760.902	Bars (Single plucked idiophone)	766.887
Ars nova (Music)	760.902	Basic principle (Music)	761.1
Art music, Non-Western	761.69	Basic principle (Serialism)	761.331
Art music, Western	761.68	Bass	767.5
Art song, Person associated with	762.42168092	Bass clarinet	768.65
Artistic etude form	764.18949	Bass drum	766.95
Artistic principle	761.17	Bass flute	768.34
Artistic principle (Serialism)	761.3317	Bass recorder	768.367
Artists' and craftsmen's mark (Music)	760.278	Bass saxophone	768.75
Ascensiontide, Music of	761.728	Bass viol	767.65
Asian dance form	764.1885	Bass voice	762.89
		Basso continuo, With	761.47
		Bassoon	768.58

Bath mitzvah, Music accompanying	761.583	Brass, percussion, keyboard, Ensemble of	765.37
Bebop	761.655	Brass, string, electrophone, percussion, Ensemble of	765.595
Begana	767.78	Brass, strings, electrophone, Ensemble of	765.465
Bell (Percussed idiophones)	766.848	Brass, strings, electrophone, keyboard, Ensemble of	765.2995
Bell (Set percussed idiophones)	766.848	Brass, strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of	765.295
Bell (Single percussed idiophone)	766.8848	Brass, strings, keyboard, Ensemble of	765.25
Benedictus (Vocal form)	762.323	Brass, strings, percussion, Ensemble of	765.55
Betrothal, Music accompanying	761.586	Brass, strings, percussion, keyboard, Ensemble of	765.35
Bible	762.295	Breathing (Musical technique)	761.48
Bible (Choral and mixed voices)	762.5295	Breathing and resonance (Music)	761.48
Bible (Music for single voices)	763.09295	Breathing and resonance (Musical instrument)	764.1932
Biblical text (Liturgical form)	762.295	Bridge harp	767.98
Bibliography and catalog of music literature	760.162	British rock	761.663
Bibliography and catalog of scores and parts (Music)	760.164	Brother and sister, History and description of music with respect to	760.855
Bibliography of music recorded on phonorecords	760.166	Buddhist sacred music	761.743
Bibliography, catalog, index (Music)	760.16	Buddhist sacred music (Public worship)	762.343
Binary form	761.8222	Bugle	768.95
Binary form (Instrumental)	764.1822	Bull-roarer	768.29
Binary, ternary, da capo forms	761.822	Burial, Music for	761.588
Binary, ternary, da capo forms (Instrumental)	764.1822	Button accordion	768.963
Biodiscography	760.166	Buyers' guide and consumer report (Music)	760.296
Birth and infancy, Music accompanying	761.582	Cabaca	766.885
Bisexual, History and description of music with respect to	760.8663	Cabinet organ	766.55
Biwa	767.85	Cadence	761.254
Blind and partially sighted person, History and description of music with respect to	760.871	Cadenza form	764.186
Block (Musical instrument)	766.82	Cakewalk form	764.1887
Block (Single percussed idiophone)	766.8843	Canon form	764.1878
Blues	761.643	Canas City jazz	761.653
Board zither	767.74	Cantata	762.24
Bodongo	767.92	Canticle (Liturgical form)	762.295
Bongo	766.95	Cantus firmus form	761.823
Pop	761.655	Canzona form	764.1875
Bourgeoisie, History and description of music with respect to	760.8622	Carillons	766.64
Bouzouki	767.85	Carol	762.28
Bow harp and angle harp	767.94	Case study (Historical research on music)	760.722
Bowed string ensemble	765.7	Cassation form	764.185
Bowed stringed instrument	767	Castanet	766.873
Bowed stringed instrument, Other	767.6	Castrato voice	762.86
Rowing technique (Musical instrument)	764.19369	Catalog (Music)	760.16
Brass and electrophone, Ensemble of	765.467	Catalog of museum holdings (Music)	760.74
Brass and keyboard, Ensemble of	765.27	Catalog and directory, Trade (Music)	760.294
Brass and percussion, Ensemble of	765.57	Catalog of manuscript score and parts	760.164
Brass and strings, Ensemble of	765.45	Catalog of music	760.216
Brass band	764.9	Catalog of music literature	760.162
Brass band with more than one solo instruments	764.924	Catalog of music recorded on phonorecords	760.166
Brass band with one or more solo instruments	764.923	Catalog of score and parts	760.164
Brass band with one solo instrument	764.925	Celesta	766.83
Brass band with vocal parts	764.922	Cello	767.4
Brass band, Specific solo instrument with	764.926 - .928	Celtic harp	767.95
Brass ensemble	765.9	Cembalo	766.4
Brass instrument	768.9	Ch'in	767.75
Brass instrument (Band and orchestra)	764	Chaconne form	761.827
Brass instrument (Chamber ensemble)	765	Chaconne form (instrumental)	764.1827
Brass instrument (Mixed chamber ensemble)	765.2 - .5	Chamber music	765
Brass instrument (Single type chamber ensemble)	765.9	Chamber orchestra	764.3
Brass instrument (Solo music)	768.9	Chamber orchestra with more than one solo instruments	764.324
Brass instrument, Ensemble of only one kind of	765.92 - .99	Chamber orchestra with one or more solo instruments	764.323
Brass instruments, Other	768.99	Chamber orchestra with one solo instrument	764.325
Brass, electrophone, keyboard, Ensemble of	765.2997	Chamber orchestra with vocal parts	764.322
Brass, electrophone, percussion, Ensemble of	765.597	Chamber orchestra, Specific solo instrument with	764.326 - .328
Brass, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of	765.297	Chance composition	761.32
		Changing voice	762.79
		Chanson	762.43
		Chant	762.292
		Chapter (Music organization)	760.601 - .609
		Chicago breakdown (Jazz)	761.653
		Child from birth to age two, History and	

description of music with respect to	760.832	Composition, Indeterminacy and aleatory (Music)	761.32
Child six to eleven, History and description of music with respect to	760.834	Compound musical bow	767.93
Child three to five, History and description of music with respect to	760.833	Computer (Electrophone)	766.76
Child, History and description of music with respect to	760.83	Computer application (Music)	760.285
Childbirth, Music accompanying	761.582	Computer composition (Music)	761.34
Children's song of Japan	761.6397	Computer modeling and simulation (Music)	760.113
Children's voice	762.7	Computer music	766.76
Children, Opera for	762.1	Computer science aspect (Musical composition)	761.344 - .346
Chime	766.848	Computer simulation (Music)	760.113
Chitarrone	767.82	Concert	760.78
Choral music	762.5	Concert hall, Music in	761.539
Choral speech	762.96	Concert zither	767.75
Choral speaking	762.96	Concertante form	764.186
Chorale form	764.189925	Concertina	768.84
Chorale prelude form	764.18992	Concertino form	764.1862
Chord (Music)	761.252	Concerto	764.23
Chordophone	767	Concerto form	764.186
Christening, Music accompanying	761.582	Concerto grosso	764.24
Christian church year, Music of	761.72	Concordance (Music)	760.3
Christian sacred music	761.71	Concrete music	766.75
Christian sacred music (Vocal form for public worship)	762.32	Concussion idiophone	766.87
Christian sacred music of specific denomination	761.711 - .718	Conducting	761.45
Christian service (Vocal form)	762.32	Conducting score	760.264
Christian service of specific denomination (Vocal form)	761.322	Confinement (childbirth), Music accompanying	761.582
Christmas carol	762.281723	Confirmation (Religious rite), Music accompanying	761.583
Christmas day, Music of	761.723	Confucianist sacred music	761.79512
Christmas music	761.723	Consonance (Musical element)	761.238
Christmas season, Music of	761.723	Construction (Musical instrument)	764.1923
Church music	761.71	Consumer report (Music)	760.296
Church service (Vocal form)	762.32	Continents, countries, localities, extraterrestrial worlds, Treatment by specific	760.93 - .99
Church year (Music)	761.72	Continuing education (Music)	760.715
Cimbalom	767.74	Continuo, With	761.47
Circumcision, Music accompanying	761.582	Contrabass	767.5
Cittern	767.85	Contrabassoon	768.59
Civil service examination (Music)	760.76	Contralto voice	762.68
Clarinet	768.62	Contralto voice, Children's	762.78
Clarinet concerto	764.2862186	Contrapuntal form	764.187
Clarinetist	768.62092	Convict, History and description of music with respect to	760.8692
Classes, Radio and television (Music)	760.7153	Cool jazz	761.655
Classical Greek religions, Sacred music of	761.73	Cor anglais	768.53
Classical Greek religions, Service of (Vocal form)	762.33	Cornemuse	768.49
Classical Roman religions, Sacred music of	761.73	Cornet	768.96
Classical Roman religions, Service of (Vocal form)	762.33	Cornetist	768.96092
Classical and Germanic religions, Sacred music of	761.73	Cornett	768.99
Classical and Germanic religions, Service of (Vocal form)	762.33	Correspondence course (Music)	760.7154
Classical music	761.68	Correspondence course, Radio and television (Music)	760.7153
Classicism (Music)	760.9033	Counterpoint	761.286
Classification (Music)	760.12	Counterpoint, Comprehensive work on harmony and	761.25
Claves	766.872	Countersubject (Musical element)	761.248
Clavichord	766.3	Countertenor voice	762.86
Collection (Music)	760.74	Countries, Treatment by specific (Music)	760.93 - .99
Collection, Specific (Music)	760.741 - .749	Country music	761.642
Collections and exhibits, Organizing and preparing (Music)	760.753	Course (Music)	760.71
Color (Sound)	761.234	Course in adult education (Music)	760.715
Commercial circular (Music)	760.294	Course in higher education (Music)	760.711
Commercial miscellany (Music)	760.29	Course in secondary education (Music)	760.712
Common of the mass (Vocal form)	762.3232	Course, Correspondence (Music)	760.7154
Communication (Music)	760.14	Court setting, Music in	761.536
Communio (Part of service) (Vocal form)	762.3235	Courtship and betrothal, Music accompanying	761.586
Communion service (Vocal form)	762.3235	Courtship, Music accompanying	761.586
Competition, festival, award, financial support	760.79	Cowbell	766.8848
Completorium (Vocal form)	762.324	Craftsmen's mark (Music)	760.278
Composer	760.92	Credo (Vocal form)	762.3232
Composition (Music)	761.3	Cremation, Music for	761.588
		Criminal, History and description of music with respect to	760.8692

Critical appraisal (Music)	760.9	Duet (Vocal music)	763.12
Crumhorn	768.5	Dulcian	768.58
Crwth	767.78	Dulcimer	767.74
Custom, Music accompanying social	761.58	Dvoynice	768.37
Cymbal	766.873	Dying and death, Music accompanying	761.588
Da capo form	761.8225/761.822	E-flat horn	768.974
Da capo form (Instrumental)	764.1822	Ear training	761.424
Dance band	764.48	Early adulthood, History and description of	
Dance form	764.188	music with respect to	760.842
Dance music	761.554	Easter Sunday, Music of	761.727
Dance orchestra	764.48	Easter season, Music of	761.727
Dance orchestra with more than one solo		Eastertide, Music of	761.727
instruments	764.4824	Echoi	761.264
Dance orchestra with one or more solo		Editing (Music)	760.149
instruments	764.4823	Editing music	760.149
Dance orchestra with one solo instrument	764.4825	Education, research, related topic (Music)	760.7
Dance orchestra with vocal parts	764.4822	Electric instrument	766.7
Dance orchestra, Specific solo instrument		Electronic band	764.6
with	764.4826 - .4828	Electronic instrument	766.7
Data processing (Music)	760.285	Electronic music	766.74
Days of week, Music for	761.522	Electronic organ	766.59
Days, Music for	761.522	Electrophone	766.7
Dead, Music accompanying disposal of the	761.588	Electrophone (Band and orchestra)	764
Deaf and hard of hearing person, History		Electrophone (Chamber ensemble)	765
and description of music with	760.872	Electrophone (Mixed chamber ensemble)	765.2 - .5
Death, Music accompanying	761.588	Electrophone (Single type chamber ensemble)	765.67
Debut, Music for	761.584	Electrophone and keyboard, Ensemble of	765.2999
Decay (Sound)	761.235	Electrophone and keyboard, Ensemble with	765.299
Descant recorder	768.364	Electrophone and percussion, Ensemble of	765.599
Descant viol	767.62	Electrophone and percussion, Ensemble with	765.59
Description (Music)	760.9	Electrophone ensemble	765.67/765.6
Description and design (Musical		Electrophone instrument, Ensemble with only	
instrument)	764.1922	one type of	765.673 - .676
Descriptive form	764.1896	Electrophone, Ensemble with	765.46
Descriptive research (Music)	760.723	Electrophone, percussion, keyboard,	
Design (Musical instrument)	764.1922	Ensemble with	765.29
Destitute person, History and description of		Electrophones (Solo music)	766.7
music with respect to	760.86942	Electrophonic instrument	766
Development (Music)	760.9	Elegy form	764.18964
Diagram (Music)	760.223	Element of music	761.2
Diatonicism	761.262	Elite, History and description of music	
Dictionary, encyclopedia, concordance (Music)	760.3	with respect to	760.8621
Didjeridu	763.99	embellishment (Musical element)	761.247
Directory of employees of specific		Embouchure (Instrumental technique)	764.1934
occupational categories (Music)	760.25	Encyclopedia (Music)	760.3
Directory of persons and organizations		End-blown flute	768.35
(Music)	760.25	Energy management (Music)	760.682
Directory, Trade (Music)	760.294	Engaged person, History and description	
Discography (Music)	760.166	of music with respect to	760.86523
Dissonance (Musical element)	761.239	English horn	768.53
Distribution, Management of (Music)	760.688	Enka	761.6393
Divertimento form	764.1852	Enka and folk song of Japan	761.6393
Divine office (Vocal form)	762.324	Ensemble by size (Music for single voices	
Divorced person, History and description of		in combination)	763.12 - .19
music with respect to	760.8653	Ensemble consisting of two or more	
Dixieland jazz	761.653	instrumental groups (Chamber music)	765.2 - .5
Dodecaphony	761.268	Ensemble technique	761.438
Dombra	767.85	Ensemble without keyboard	765.4
Domestic setting, Music in	761.535	Entertainment (Performance)	761.55
Double bass	767.5	Epiphany, Music of	761.724
Double bassoon	768.59	Equipment (Music)	760.28
Double-reed bagpipe	768.49	Equipment in study and teaching, Use of	
Double-reed instrument	768.5	(Music)	760.7
Drafting illustration (Music)	760.221	Estimate of labor, time, materials (Music)	760.299
Dramatic music	761.552	Ethnic groups, Folk music of	
Dramatic vocal form	762.1	specific	761.621 - .629
Dramatic vocal form, Persons associated		Ethnic groups, Music with respect to	
with	762.1092	specific	760.89
Drawing (Music)	760.222	Etude form	764.18949
Drum	766.9	Etymology (Music)	760.142
Drum	766.92 - .98	Euphonium	768.975
Drum and device used for percussion effects	766.9	Euphonium and baritone (American)	768.975
Drummer (Musician)	766.9092	European dance form	764.1892
Duct, end-blown, notched flute	768.35	European dance form of the nineteenth and	
Duct, end-blown, notched flute, Japanese	769.8331	later centuries	764.1884
Duet (Chamber music)	765.12	European music	760.94

European opera	762.1094	Gavotte form	764.1883
Evaluation and purchasing manual (Music)	760.297	General musical form (Instrumental)	764.182
Evening music	761.523	General principle (Chamber music)	765.01 - .07
Evening prayer (Vocal form)	762.326	General principle (Christian sacred music)	761.7101 - .7106
Evensong of Anglican Church (Vocal form for public worship)	762.326	General principle (Folk music)	761.6201 - .6205
Executive management (Music)	760.684	General principle (Instrument and instrumental ensemble)	764.11 - .17/764.1
Exercise (Music)	760.76	General principle (Sacred music)	761.701 - .706
Exhibit (Music)	760.74	General principle (Single voices in combination)	763.111 - .117
Exhibit, Specific (Music)	760.741 - .749	General principle (Vocal music)	762.01 - .07
Experimental research	760.724	General principle and musical form	761
Extemporization	761.36	General principle and musical form (Single voices in combination)	763.11
Extension department and service (Music)	760.715	General principle, musical form, instrument (Instrument and instrumental ensemble)	764.1
Extraterrestrial worlds, Treatment by specific (Music)	760.93 - .99	General statistics (Music)	760.21
Fair organ	766.68	Geographical and persons treatment (Folk music)	761.620091 - .620099
Falsetto voice	762.86	Geographical treatment (Music)	760.9
Fancy form (Music)	764.1876	Geographical treatment (Musical instrument)	764.194 - .199
Fanfare form	764.18924	Geographical treatment of education, research, related topic (Music)	760.701 - .709
Fantasia and ricercare forms (Music)	764.1876	Geographical treatment of museum, collection, exhibit (Music)	760.741 - .749
Father, History and description of music with respect to	760.851	Geographical treatment of research (Music)	760.7201 - .7209
Female homosexual, History and description of music with respect to	760.86643	Geographical treatment of school and course (Music)	760.7101 - .7109
Female, History and description of music with respect to	760.82	Germanic religions, Sacred music of	761.73
Festival (Music)	760.79	Germanic religions, Service of (Vocal form)	762.33
Fife	768.33	Gifted person, History and description of music with respect to	760.879
Film music	761.542	Gifted person, History and description of music with respect to	760.87
Financial support (Music)	760.79	Glockenspiel	766.843
Financial management (Music)	760.681	Gloria (Vocal form)	762.323
Finger technique (Musical instrument)	764.19368	Gong	766.8843
Fingering (Instrumental technique)	764.19368	Good Friday, Music of	761.726
Flageolet	768.35	Gothic music	760.902
Flat-backed lute family	767.85	Graduale (Vocal form)	762.3235
Flugelhorn	768.97	Grandparent, History and description of music with respect to	760.853
Flute	768.32	Great-grandparent of any degree, History and description of music with respect to	760.853
Flute concerto	764.2832186	Greek mode	761.264
Flute family	768.3	Gregorian chant	762.3222
Flutist	768.32092	Ground bass form	761.827
Folk music	761.62	Ground bass form (Instrumental)	764.1827
Folk music mode	761.264	Ground zither	767.73
Folk musician	761.620092	Guidebook of museum (Music)	760.74
Folk rock	761.66	Guero	766.886
Folk song of Japan	761.6393	Guitar	767.87
Football rattle	766.886	Guitar concerto	764.2787186
Forearm technique (Musical instrument)	764.19362	Guitarist	767.87092
Forecast (Music)	760.112	Gurumi	767.82
Forecasting and forecast (Music)	760.112	Hand bell (Single percussed idiophone)	766.88485
Form of music	761.8	Hand technique (Musical instrument)	764.19365
Form of music (Instrument and instrumental ensemble)	764.18	Handicapped, ill, gifted person, History and description of music with respect to	760.87
Form of music (Vocal)	762	Hardanger fiddle	767.6
Formal analysis (Music)	761.8	Harlem jazz	761.653
Formula (Music)	760.212	Harmonic organization	761.25
Foster parent, History and description of music with respect to	760.85	Harmonic rhythm	761.256
Frame harp	767.95	Harmonica (Mouth organ)	768.82
Frame, ground, harp, raft zither	767.73	Harmonica (Musical glasses)	766.866
Frame-shaped drum	766.95	Harmonium	766.55
Free aerophone	768.29/768.2	Harmonization	761.434
Free reed	768.8	Harmony	761.25
French horn	768.94	Harp	767.94 - .98
Friction drum	766.98	Harp and musical bow	767.9
Friction idiophone (Set)	766.86	Harp zither	767.73
Friction idiophone (Single)	766.888	Harp-lute	767.98
Fugue form	764.1872	Harpist	767.9092
Full orchestra	764.2		
Full score	760.264		
Funeral music	761.588		
Funeral, Music for	761.588		
Fusion (Music)	761.67		
Gadulka	767.6		
Gaita	768.49		
Galliard form	764.1882		
Galop form	764.1884		

Harpichord	766.4	Initiation of business enterprise (Music)	760.681
Harpichordist	766.4092	Initiation rite, Music accompanying	761.57
Harvest music	761.5246	Innomine form	764.1876
Heckelphone	768.52	Institute and workshop in adult education (Music)	760.7152
Heterophony	761.283	Instrument	764./764 - 768
Heterosexual, History and description of music with respect to	760.8662	Instrument (Instrument and instrumental ensemble)	764.1
High solo voice (Vocal music)	763.3	Instrument and instrumental ensemble	764
Higher education, School and course in (Music)	760.711	Instrument and instrumental music	764 - 768
Hindu sacred music	761.745	Instrument and their music, Specific	766 - 768
Hindu sacred music (Public worship)	762.345	Instrument, Technique for playing	764.193
Historical events, Music commemorating	761.599	Instrumental ensemble	764
Historical period (Folk music)	761.6200901 - .6200905	Instrumental ensemble, Music for	764
Historical research (Music)	760.722	Instrumental form	764.183 - .189
Historical, geographical, persons treatment (Folk music)	761.62009	Instrumental form derived from liturgical forms	764.18993
Historical, geographical, persons treatment (Music)	760.9	Instrumental form derived from sacred music	764.18992
History (Music organization)	760.601 - .609	Instrumental form, Other	764.189
History and description of museum (Music)	760.74	Instrumental music	764./764 - 768
History and description of folk music with respect to kinds of persons	761.62008	Interlude form	764.1893
History and description of music with respect to kinds of persons	760.8	Intermediate form	764.1893
Hobby (Music)	760.23	Intermezzo form	764.1893
Hoedown form	764.1887	Interpretation (Music)	761.46
Holy week, Music of	761.726	Interval (Musical element)	761.237
Homophony	761.285	Introductory form	764.1892
Homosexual, History and description of music with respect to	760.8664	Introitus (Vocal form)	762.3235
Horn	768.94	Invention form	764.1874
Horn concerto	764.2894186	Inventory of music	760.216
Horn player	768.94092	Irish harp	767.95
Horn, English	768.53	Islamic sacred music	761.771
Horn, French	768.94	Islamic sacred music (Public worship)	762.371
House organ (Serial publication) (Music)	760.5	Japan, Popular music of	761.639
House-bound person, History and description of music with respect to	760.877	Jazz	761.65
Humorous treatment (Music)	760.207	Jazz musician	761.65092
Hurdy-gurdy	767.69	Jazz of Japan	761.6395
Hybrid style (Jazz)	761.657	Jazz, Early	761.652
Hymn	762.27	Jazz, Traditional	761.653
Idee fixe	761.248	Jew's harp	766.887
Identification mark (Music)	760.275 - .278	Jigi-jigi	767.92
Idiophone (Vibrating sonorous solid)	766.82	Judaic sacred music	761.76
[I] and shut-in person, History and description of music with respect to	760.877	Judaic sacred music (Public worship)	762.36
[I] person, History and description of music with respect to	760.87	Jyeling	768.52
Illegitimate child, History and description of music with respect to	760.86945	Kalangu	767.92
Illegitimate, abandoned/abused child, orphan, History and description of music with respect to	760.86945	Kani	767.73
Illustration (Music)	760.222	Kazoo	763.99
Illustration, Drafting (Music)	760.221	Kerar	767.78
Illustration, model, miniature (Music)	760.22	Keroune	767.82
Impressionism (Music)	760.904	Ketjapi	767.85
Impromptu form	764.1894	Kettle-shaped drum	766.93
Improvisation	761.36	Kettiedrum	766.93
Improvisatory or virtuoso nature, Form of music of an	764.1894	Key relationship	761.258
In-service training and residency (Music)	760.7155	Keyboard and percussion, Ensemble of	765.39
Inauguration, Music accompanying	761.57	Keyboard band	764.6
Incidental dramatic music	761.552	Keyboard electrophone	766.59
Indeterminacy composition (Music)	761.32	Keyboard ensemble	765.62-.65
Index (Music)	760.16	Keyboard idiophone	766.83
Indo-jazz	761.657	Keyboard instrument	766.2 - .5
Indoor music	761.534	Keyboard instrument (Band and orchestra)	764
Indoor settings, Music in specific	761.535 - .539	Keyboard instrument (Chamber ensemble)	765
Infancy, Music accompanying	761.582	Keyboard instrument (Mixed chamber ensemble)	765.2
Infant baptism, Music accompanying	761.582	Keyboard instrument (Single type chamber ensemble)	765.62-.65
Infant, History and description of music with respect to	760.832	Keyboard instrument (Solo music)	766
		Keyboard instrument, Unspecified	766
		Keyboard stringed instrument	766
		Keyboard stringed instrument	766.2 - .4
		Keyboard wind instrument	766.5
		Keyboard, Ensemble with	765.2
		Keyboard, electrophone, percussion ensemble	765.6
		Keyboard, mechanical, electronic, percussion band	764.6
		Keyboard, mechanical, electronic, percussion band with vocal parts	764.622
		Keyboard, mechanical, electronic, percussion band,	

Specific solo instrument with	764.626 - .628	Maintenance, tuning, repair (Musical instrument)	764.1928
Keyboard, mechanical, electrophonic, percussion instrument	766	Majority (Age), Music accompanying	761.584
Kind of music	761.5	Male homosexual, History and description of music with respect to	760.86642
Kinds of ensembles, Specific (Chamber music)	765.2 - .9	Male, History and description of music with respect to	760.81
Kora	767.98	Management (Music)	760.68
Kuitra	767.85	Management of distribution (Music)	760.688
Kyrie (Vocal form)	762.3232	Management of material (Music)	760.687
Labor, time, materials, Estimate of (Music)	760.299	Management of production (Music)	760.685
Laboratory manual for testing (Music)	760.287	Management, Executive (Music)	760.684
Laboratory manual used in research (Music)	760.72	Management, Organization and financial (Music)	760.681
Language and communication (Music)	760.14	Management, Personnel (Music)	760.683
Large-scale vocal work	762.24	Management, Plant (Music)	760.682
Late adulthood, History and description of music with respect to	760.846	Managerial middle class, History and description of music with respect to	760.8622
Latin-American dance form	764.1888	Mandolin	767.84
Laudes (Vocal form)	762.324	Manuscript (Music)	760.262
Lauds (Vocal form)	762.324	Manuscript score and parts, Bibliography and catalog of	760.164
Learner (Music)	760.73	Map and related form, plan, diagram (Music)	760.223
Learning method, Special (Music)	760.77	Maracas	766.885
Left-hand technique (Musical instrument)	764.19366	March form	764.1897
Leg technique (Musical instrument)	764.1938	Marching band	764.83
Leitmotif	761.248	Marching band with more than one solo instruments	764.8324
Lent, Music of	761.725	Marching band with one or more solo instruments	764.8323
Lenten music	761.725	Marching band with one solo instrument	764.8325
Lesbian, History and description of music with respect to	760.86643	Marching band with vocal parts	764.8322
Libretto, Treatise on	760.268	Marching band, Specific solo instrument with	764.8326 - .8328
Light orchestra	764.4	Marimba	766.843
Light orchestra with more than one solo instruments	764.424	Marketing, Management of (Music)	760.688
Light orchestra with one or more solo instruments	764.423	Marriage, Music accompanying	761.587
Light orchestra with one solo instrument	764.425	Married person, History and description of music with respect to	760.8655
Light orchestra with vocal parts	764.422	Masque	762.15
Light orchestra, Specific solo instrument with	764.426 - .428	Mass (Vocal form)	762.323
Lip-reed instruments	768.9	Mass media music	761.54
Lipping (Instrumental technique)	764.1934	Material (Music)	760.28
List of museum holdings (Music)	760.74	Material, Estimate of (Music)	760.299
List, inventory, catalog of music	760.216	Material, Management of (Music)	760.687
Listening and ear training	761.424	Matin (Vocal form)	762.324
Listening training method	761.424	Matin of Anglican Church (Vocal form for public worship)	762.325
Litany	762.292	Matutinum (Vocal form for public worship in Anglican church)	762.325
Literature, Music and	760.08	Matutinum (Vocal form)	762.324
Liturgical drama	762.298	Maundy Thursday, Music of	761.726
Liturgical form	762.29	Mazurka form	764.1884
Liturgical forms, Instrumental form derived from	764.18993	Measure, Safety	760.289
Liturgical music (Vocal form)	762.29	Measurement (Music)	760.287
Liturgy (Vocal form)	762.3	Measurement (Musical instrument)	764.1927
Liturgy, Specific (Vocal form)	762.323 - .326	Mechanical and aeolian instrument	766.6
Local organization (Music)	760.603 - .609	Mechanical band	764.6
Localities, Treatment by specific (Music)	760.93 - .99	Mechanical instrument	766.64 - .69/766
Long-necked lute	767.8	Mechanical keyboard instrument	766.86
Lord's Prayer (Liturgical form)	762.295	Mechanical musical instrument	766.6
Low solo voice (Vocal music)	763.5	Mechanical musical instrument (Band and orchestra)	764
Lower class, History and description of music with respect to	760.8624	Mechanical musical instrument (Chamber ensemble)	765
Lower middle class, History and description of music with respect to	760.8623	Mechanical musical instrument (Solo music)	766.6
Lute	767.83	Mechanical plucked idiophone	766.65
Lute family	767	Mechanical stringed instrument	766.67
Lutheran sacred music	761.7141	Mechanical struck idiophone	766.64
Lutheran sacred music (Vocal form for public worship)	762.32241	Mechanical wind instrument	766.68
Lyre	767.78	Mechanized bells	766.64
Lyric, Treatise on (Music)	760.268	Media, Music for specific	761.54
Macrotonality	761.265	Medieval church mode	761.263
Madrigal	762.43	Medieval music	760.983
Magnetic tape	766.75	Meditation form	764.1896
Mainstream jazz	761.654		
Maintenance and repair (Music)	760.288		

Melodeon	768.863	Music	760
Melody	761.24	Music accompanying public entertainments	761.55
Melody instrument, Unspecified	767	Music appreciation	761.17
Member of nondominant racial, ethnic, national, socioeconomic, religious groups, History and description of music with respect to	760.8693	Music box	766.65
Membership list (Music organization)	760.601 - .609	Music for solo instruments accompanied by one other instrument	766 - 768
Membership list containing directory information (Music)	760.25	Music appreciation	761.17
Membranophone	766.92 - .98	Music box	766.65
Memorizing (Music training method)	761.426	Music for solo instruments accompanied by one other instrument	766 - 768
Men's voice	762.8	Music literature, Bibliography and catalog of	760.162
Men, History and description of music with respect to	760.81	Music recordings, Treatise on	760.26
Mendzan	766.843	Music reflecting other themes and subjects	761.59
Mentally ill and mentally handicapped person, History and description of music with respect to	760.874	Music scores, recordings, texts, Treatise on	760.26
Meter (Musical element)	761.226	Music theory	761
Methodist sacred music	761.717	Musical bow	767.92/767.9
Methodist sacred music (Vocal form for public worship)	762.3227	Musical element	761.2
Mezzo-soprano voice	762.67	Musical form	761.8
Mezzo-soprano voice, Children's	762.77	Musical form (Instrument and instrumental ensemble)	764.1
Microtonality	761.269	Musical form (Instrument and instrumental ensemble)	764.18
Middle adulthood, History and description of music with respect to	760.844	Musical form (Music for single voice)	763.08
Middle class, History and description of music with respect to	760.8622	Musical form (Single voices in combination)	763.118
Middle solo voice (Vocal music)	763.4	Musical form (Vocal music)	762.08
Military band	764.84	Musical form and instrument (Chamber music)	765.08 - .09
Military band with more than one solo instruments	764.8424	Musical form, Specific	761.82
Military band with one or more solo instruments	764.8423	Musical glasses	766.866
Military band with one solo instrument	764.8425	Musical instrument	764.19
Military band with vocal parts	764.8422	Musical instrument (Chamber music)	765.08 - .09
Military band, Specific solo instrument with	764.8426 - .8428	Musical instrument maker	764.1923092
Military music	761.599	Musical play	762.14
Miniature (Music)	760.228/760.22	Musical saw	766.888
Miniature score	760.265	Musical skills and learning a repertoire, Technique for acquiring	761.42
Minuet form	764.18835	Musical sound	761.23
Mirliton	763.99	Musical tradition	761.6
Miscellany (Music)	760.2	Musician	760.92
Miscellany, Commercial (Music)	760.29	Musique concrete	766.75
Mixed voices	762.5	Mvet	767.73
Mode	761.263	Nai	768.37
Mode, Other	761.264	Naker	766.93
Model (Music)	760.22	Naqara	766.93
Model and miniature (Music)	760.228	National groups, Folk music of specific	761.621 - .629
Model for simulation (Music)	760.11	National groups, Music with respect to specific	760.89
Moderate-income person, History and description of music with respect to	760.8623	National organization (Music)	760.603 - .609
Modern jazz	761.655	Nationalism (Music)	760.9034
Modern music	760.903	Nay	768.35
Monody	761.282	Neoclassicism (Music)	760.904
Monophonic electronic instrument	766.73	Neumes	760.148
Monophonic electrophone	766.73	New Orleans jazz	761.653
Morning music	761.523	New York jazz	761.653
Morning prayer (Vocal form)	762.325	Nguru	768.38
Motet	762.26	Night music	761.523
Mother, History and description of music with respect to	760.852	Nkraton	767.73
Motor horn	766.99	Nobility, History and description of music with respect to	760.8621
Motor-impaired person, History and description of music with respect to	760.873	Nocturne form	764.18966
Mourning, Music for	761.588	Non-Biblical text (Liturgical form)	762.296
Mouth organ	768.82	Non-Western art music	761.69
Multiple flute	768.37	Nona (Vocal form)	762.324
Murli	768.62	Nondramatic vocal form	762.2
Museology (Music)	760.75	Nondramatic vocal form (Music for single voice)	763.09
Museum activity and service (Music)	760.75	Nondramatic vocal form (Music for single voices in combination)	763.119
Museum, Specific (Music)	760.741 - .749	Nonet (Vocal music)	763.19
Museum, collection, exhibit (Music)	760.74	Nonet and larger combination (Vocal music)	763.19
		Nonet and larger ensembles (Chamber music)	765.19
		Nonliterate, History and description of	

music with respect to	760.8633	composition)	761.377
North American dance form	764.1887	Paraphrase form	761.826
Northumbrian pipe	768.49	Paraphrase form (Instrumental)	764.1826
Nose flute	768.3	Parent, History and description of music	
Notation, abbreviation, symbol, Musical	760.148	with respect to	760.85
Notched flute	768.35	Parody (Musical composition)	761.377
Note row	761.268	Parody (Musical form)	761.826
Novice (Music)	760.73	Parody form (Instrumental)	764.1826
Nuove musiche	760.9832	Part song (Mixed voices)	762.5
Oba	767.73	Part song (Single voices)	763.1
Oboe	768.52	Partially sighted person, History and	
Oboe concerto	764.2852186	description of music with respect to	760.871
Obukano	767.78	Partita form	764.1854
Ocarina	768.38	Parts, Performance	760.264
Occupation (Music)	760.23	Passacaglia form	761.827
Octet (Chamber music)	765.18	Passacaglia form (Instrumental)	764.1827
Octet (Vocal music)	763.18	Passion of Jesus Christ	762.23
Offender, History and description of		Passiontide, Music of	761.7255
music with respect to	760.8692	Patent (Music)	760.272
Offertorium (Vocal form)	762.3235	Patent and identification mark (Music)	760.27
Office hours (Religion)	762.324	Patriotic, political, military music	761.589
On-the-job education (Music)	760.7155	Pavane form	764.18823
Ondes martenot	766.73	Pedaling (Instrumental technique)	764.1938
One instrumental group, Ensemble		Pena	767.6
consisting of only	765.6 - .9	Penny whistle	768.35
Opera	762.1	Pentatonicism	761.265
Opera singer	762.1092	Pentecost and Trinity Sunday, Music of	761.729
Operations research (Music)	760.11	Pentecost, Music of	761.7293
Operetta	762.12	Peon, History and description of music	
Ophicleide	768.99	with respect to	760.8625
Oratorio	762.23	Percussed idiophone (Set)	766.84
Orchestra	764.2	Percussed idiophone (Single)	766.884
Orchestra with more than one solo		Percussion and keyboard, Ensemble without	
instrumenta	764.24	electrophone and with	765.3
Orchestra with one or more solo instruments	764.23	Percussion band	764.68
Orchestra with one solo instrument	764.25	Percussion band with more than one solo	
Orchestra with toy instruments	764.46	instruments	764.6824
Orchestra with vocal parts,	764.22	Percussion band with one or more solo	
Orchestra, Chamber	764.3	instruments	764.6823
Orchestra, Dance	764.48	Percussion band with one solo instrument	764.6825
Orchestra, Light	764.4	Percussion band with vocal parts	764.6822
Orchestra, Person associated with	764.2092	Percussion band, Specific solo instrument	
Orchestra, Salon	764.4	with	764.6826 - .6828
Orchestra, School	764.44	Percussion effects, Device used for	766.9
Orchestra, Specific solo instrument		Percussion effects, Device used for	766.99
with	764.26 - .28	Percussion ensemble	765.68 / 765.6
Orchestra, String	764.7	Percussion instrument	766.8 / 766
Orchestral combinations and band, Other	764.3 - .9	Percussion instrument (Band and orchestra)	764
Orchestral harp	767.95	Percussion instrument (Chamber ensemble)	765
Orchestration	761.374	Percussion instrument (Mixed chamber	
Ordinary of the mass (Vocal form)	762.3232	ensemble)	765.2 - .5
Organ (Musical instrument)	766.5	Percussion instrument (Single type	
Organ concerto	764.265186	chamber ensemble)	765.68
Organist	766.5092	Percussion instrument (Solo music)	766.8
Organization (Music)	760.601 - .609	Percussion, Ensemble without keyboard	
Organization and management (Music)	760.6	and with	765.5
Organization, International (Music)	760.601	Performance	760.78
Organization, National, state, provincial,		Performance score and parts	760.264
local (Music)	760.603 - .609	Performing arts, Music and the	760.079
Ornament (Musical element)	761.247	Period of stylistic development of	
Orphan, History and description of music		music	760.901 - .905
with respect to	760.86945	Person, Treatment of (Music)	760.9
Ostinato form	761.827	Person associated with music	760.92
Ostinato form (Instrumental)	764.1827	Person associated with opera	762.1092
Oud	767.82	Person by level of cultural development, History	
Outdoor music	761.532	and description of music with respect to	760.863
Outline (Music)	760.202	Person by marriage status, History and	
Overture form	764.18926	description of music with respect to	760.865
Ownership mark (Music)	760.277	Person by occupational and religious groups,	
Pacific Ocean islands and other parts of		History and description of music with	
the world, Dance form of the	764.1889	respect to	760.88
Palm Sunday, Music of	761.726	Person by religious groups, History and	
Pan pipes	768.37	description of music with respect to	760.88
Panpipes	768.37	Person by sexual orientation, History and	
Paraphrase (Musical composition)	761.377	description of music with respect to	760.866
Paraphrase and parody (Musical		Person by social and economic characteristics,	

History and description of music with respect to	760.86	Postlude form	764.1893
Person by social and economic levels, History and description of music with respect to	760.862	Poverty-stricken and destitute person, History and description of music with respect to	760.86942
Person by specific occupational and		Practice teaching (Music)	760.7
Person in specific stages of adulthood, History and description of music	760.84	Preclassicism (Music)	760.9033
Person married in common law, History and description of music with respect to	760.8655	Prelude form	764.18928
Person of high cultural development, History and description of music with respect to	760.8631	Prepared piano	766.28
religious groups, History and description of music with respect to	760.8809-.8899	Presbyterian sacred music	761.7151
Person of low cultural development, History and description of music with respect to	760.8633	Presbyterian sacred music (Vocal form for public worship)	762.32251
Person of medium cultural development, History and description of music with respect to	760.8632	Preschool child, History and description of music with respect to	760.833
Person of special social status, History and description of music with respect to	760.869	Prevention of theft (Collection and exhibit of music)	760.753
Person with developmental disabilities, History and description of music with respect to	760.875	Price tend for collectors (Music)	760.75
Person with no sexual orientation, History and description of music with respect to	760.866	Price trend (Music)	760.297
Personnel management (Music)	760.683	Prime (Vocal form)	762.324
Persons associated with music, Collected treatment of	760.922	Principle and form (Music), Other	761.2 - .8
Philosophy and theory (Music)	760.1	Principle, General (Music for single voice)	763.01 - .07
Phonorecord, Bibliography of music recorded on	760.166	Principle, form, ensemble, voice, instrument (Music)	761 - 768
Phonorecord, Catalog of music recorded on	760.166	Printed music	760.263
Physically handicapped person, History and description of music with respect to	760.87	Procedure, Specific (Musical instrument)	764.192
Pianist	766.2092	Production, Management of (Music)	760.685
Piano	766.2	Products and services offered for sale, lease, or free distribution, Listing of (Music)	760.29
Piano accordion	768.865	Profession, occupation, hobby, The subject as	760.23
Piano concerto	764.262186	Professional middle class, History and description of music with respect to	760.8622
Piano-vocal score	760.264	Progeny, History and description of music with respect to	760.854
Pianola	766.66	Program music	761.56
Piccolo and fife	768.33	Program note	760.15
Pictorial chart (Music)	760.222	Programmed teaching (Music)	760.77
Pictorial design (Music)	760.222	Progressive jazz	761.655
Picture and related illustration (Music)	760.222	Proper of the mass (Vocal form)	762.3235
P'i p'a	767.82	Protest music	761.592
Pitch (Musical sound)	761.232	Psalm	762.294
Places in general, Treatment by	760.91	Psalterium (Latin)	767.75
Plan (Music)	760.223	Psalterium (English)	767.75
Plant management (Music)	760.682	Psychological principle	761.11
Plate (Musical instrument)	766.82	Psychological principle (Serialism)	761.3311
Plate (Single percussed idiophone)	766.8843	Public entertainment, Music accompanying	761.55
Play (Music)	762.14	Public officials, Directory of (Music)	760.25
Play, Musical	762.14	Public worship (Vocal form)	762.3
Player piano	766.66	Pulse (Musical element)	761.222
Playing time	761.432	Purchasing manual (Music)	760.297
Plectral instrument	767.7	Quantity surveying (Music)	760.299
Plectral lute family	767.8	Quartet (Chamber music)	765.14
Plot (Vocal music)	762.00269	Quartet (Vocal music)	763.14
Plot, Treatise on (Music)	760.269	Quena	768.35
Plucked board zither	767.75	Question (Music)	760.76
Plucked drum	766.97	Quica	766.98
Plucked idiophone (Set)	766.85	Quintet (Chamber music)	765.15
Plucked idiophone (Single)	766.887	Quintet (Vocal music)	763.15
Pluriarc	767.93	Rabab	767.6
Pocket score	760.265	Racial, ethnic, national groups, Folk music of specific	761.621 - .629
Poem, Treatise on (Music)	760.268	Racial, ethnic, national groups, Music with respect to specific	760.89
Poetry, Secular vocal form derived from	762.43	Rackett	768.5
Political music	761.599	Radio and television classes (Music)	760.7153
Polka form	764.18844	Radio music	761.544
Polonaise form	764.1884	Raft zither	767.73
Polygamous person, History and description of music with respect to	760.8659	Raga	761.264
Polyphony	761.284	Ragtime	761.64
Poppun	766.99	Raguette	766.98
Pops	761.63	Ratchet	766.886
Popular music	761.63	Rattle	766.885
Popular music of Japan	761.639	Rattle drum	766.96
Popular music, Non-Western	761.63	Rattled idiophone	766.885
		Recital	760.78
		Recorder (Musical instrument)	768.36
		Recording (Collection and exhibit	

of music)	760.753	Rondo form	761.824
Recording of music	761.49	Rondo form (Instrumental)	764.1824
Recording of music, Sound	760.266	Round-backed lute family	767.82
Recording of music, Video	760.267	Royalty, History and description of music	
Recreational music	761.594	with respect to	760.8621
Reed instrument	768.4	Rubato	761.46
Reed organ and regal	766.55	Rumba form	764.1888
Regal	766.55	Ryuteki	769.8322
Regions, Treatment by	760.91	Sacred music	761.7
Registration (Collection and exhibit		Sacred music (Song)	762.25
of music)	760.753	Sacred music (Vocal form)	762.22
Regulation (Music organization)	760.601 - .609	Sacred music, Instrumental form	
Regulation of patrons (Museum of music)	760.755	derived from	764.18992
Rehearsal (Musical technique)	761.44	Sacred song	762.25
Rehearsal and practice (Music)	761.44	Sacred vocal form	762.22
Relation of music to other subjects		Sacred vocal form, Small-scale	762.25
	760.0001 - 760.0999	Sacred vocal form, Specific	762.23 - .29
Relative, History and description of music		Safety measure (Music)	760.269
with respect to	760.85	Salon orchestra	764.4
Religion, Service of other specific		Saltarello form	764.1882
(Vocal form)	762.34 - .39	Samba form	764.1888
Religions, Sacred music of other		San hsien	767.85
specific	761.74 - .79	Sanctus (Vocal form)	762.3232
Religious principle	761.12	Sandpaper block	766.863
Religious principle (Serialism)	761.3312	Santir	767.74
Renaissance music	760.9031	Sanza	766.85
Repair (Music)	760.288	Sape	766.85
Requiem mass (Vocal form)	762.3238	Sarangi	767.6
Research (Music)	760.72	Saroz	767.6
Research, Data processing in (Music)	760.265	Saturday, Music for	761.5228
Residency (Music)	760.7155	Saw (Music)	766.888
Resonance (Instrumental technique)	764.1932	Saxhorn	768.97
Resonance (Musical technique)	761.48	Saxophone	768.7
Resource for study and teaching (Music)	760.7	Saxophonist	768.7892
Responsorium	762.292	Scale and scalic formation	761.246
Rest (Musical element)	761.236	Scalic formation	761.246
Retired person, History and description of		Scenario (Vocal music)	762.00269
music with respect to	760.8696	School (Music)	760.715/760.71
Review and exercise (Music)	760.76	School (Music)	
Revue	762.14	School and course (Music)	760.71
Rhapsody form	764.18945	School and course in higher education	
Rhythm	761.224	(Music)	760.711
Rhythm and blues	761.643	School and course in secondary education	
Rhythm band	764.68	(Music)	760.712
Rhythm, Harmonic	761.256	School child, History and description of	
Ricercare form	764.1876	music with respect to	760.834
Right-hand technique (Musical		School orchestra	764.44
instrument)	764.19367	School orchestra with more than one solo	
Rite (Vocal form)	762.3	instruments	764.4424
Roarer (Musical instrument)	763.99	School orchestra with one or more solo	
Rock (Music)	761.66	instruments	764.4423
Rock musician	761.66092	School orchestra with one solo	
Rock of Japan	761.6396	instrument	764.4425
Rock of the 70's	761.664	School orchestra with vocal parts	764.4422
Rock of the 80's and after	761.665	School orchestra, Specific solo instrument	
Rock'n'roll	761.66	with	764.4426 - .4428
Rock, Early	761.662	Scientific method (Music)	760.72
Rococo music	760.9033	Scientific principle (Music)	761.2
Rod (Concussion idiophone)	766.872	Score	760.262 - 760.265
Rod (Friction idiophone)	766.862	Score and parts, Bibliography and	
Rod (Musical instrument)	766.82	catalog of	760.164
Rod (Percussed idiophone)	766.842	Score and parts, Performance	760.264
Rod (Plucked idiophones)	766.85	Score reading	761.423
Rod (Set friction idiophone)	766.862	Score, Conducting	760.264
Rod (Set percussed idiophone)	766.842	Score, Full	760.264
Rod (Set plucked idiophones)	766.85	Score, Miniature	760.265
Rod (Single friction idiophone)	766.888	Score, Performance	760.264
Rod (Single percussed idiophone)	766.8842	Score, Piano-vocal	760.264
Rod (Single plucked idiophone)	766.887	Score, Pocket	760.265
Roman Catholic sacred music	761.712	Score, Study	760.265
Roman Catholic sacred music (Vocal form for		Score, Treatise on (Music)	760.26
public worship)	762.3222	Scores and parts, Bibliography of (Music)	760.16
Romance form	764.18968	Scores and parts, Catalog of (Music)	760.16
Romantic and descriptive form	764.1896	Scraped idiophone	766.886
Romanticism (Music)	760.9034	Screenplay, Treatise on (Music)	760.268
Rommel pot/Rommelpot	766.98	Sea life, Music about	761.595

Seasons, Music for	761.524	percussion band with one or more	764.623
Secondary education, School and course in (Music)	760.712	Solo voice	763.2 - .9/763.2
Secular cantata	762.48	Solo voice, Other type of (Vocal music)	763.9
Secular Form (Vocal form)	762.4	Sonata form	764.183
Separated and divorced person, History and description of music with respect to	760.8653	Sonata-rondo form	761.824
Septet (Chamber music)	765.17	Sonata-rondo form (Instrumental)	764.1824
Septet (Vocal music)	763.17	Sonatina form	764.1832
Sequentia (Vocal form)	762.3235	Song (Secular vocal form)	762.42
Serenade form	764.1856	Song cycle	762.47
Serf, History and description of music with respect to	760.8625	Song, Sacred	762.25
Serial publication (Music)	760.5	Song-without-word form	764.1896
Serialism	761.33	Sonorous object of specific shapes (Concussion idiophone)	766.872 - .878
Serpent (Musical instrument)	768.99	Sonorous solid of specific shapes (Set friction idiophone)	766.862 - .868
Service (Vocal form)	762.3	Sonorous solid of specific shapes (Set percussed idiophone),	766.842 - .848
Service mark (Music)	760.275	Sopranino recorder	768.363
Service to patron (Museum of music)	760.755	Soprano recorder	768.364
Set idiophone	766.84 - .87	Soprano saxophone	768.72
Set percussed idiophone	766.84	Soprano voice	762.66
Settimino	→ Septet	Soprano voice, Children's	762.76
Setting, Music in specific	761.53	Soul music	761.644
Sexta (Vocal form)	762.324	Sound (Musical element)	761.23
Sextet (Chamber music)	765.16	Sound recording of music	760.266
Sextet (Vocal music)	763.16	Sousaphone	768.98
Shakuhachi	769.8331	Southwest jazz	761.653
Shamisen	769.783	Speaking solo voice (Vocal music)	763.96
Shawn	768.52	Speaking voice	762.96
Sheng	768.82	Special teaching and learning method (Music)	760.77
Shiwaya	768.38	Special topic (Music)	760.4
Short-necked lute	767.8	Specific element (Serialism)	761.332 - .338
Shut-in person, History and description of music with respect to	760.877	Specific level of school	760.711 - .715
Siciliano form	764.1883	Specific miscellaneous kind of persons, History and description of music with respect to	760.81 - .87
Side drum	766.94	Specific performance technique	761.44 - .48
Side drum	766.94	Specification (Music)	760.212
Side-blown flute	768.32	Spinnet	766.4
Sight and score reading	761.423	Spiritual	762.25
Sight reading	761.423	Spiritual (Sprechgesang)	762.97
Silence (Musical element)	761.236	Sports and recreation, Music about	761.594
Simulation (Music)	760.11	Sprechgesang	762.97
Sinfonia concertante form	764.1845	Sprechgesang, Solo (Vocal music)	763.97
Sinfonietta form	764.184	Spring, Music for	761.5242
Singer	762.0092	Staff notation	760.148
Single idiophone	766.88	Stages of the life cycle, Music accompanying	761.58
Single person, History and description of music with respect to	760.8652	Standard	760.218
Single voice, Music for	763	Standard subdivision, Modified (Chamber music)	765.001 - .009
Single voice, Specific types of	763.3 - .9	Standard subdivision, Modified (Christian sacred music)	761.71001 - .71009
Single voices in combination	763.1	Standard subdivision, Modified (Folk music)	761.62001 - .62007
Single-reed bagpipe	768.49	Standard subdivision, Modified (General principle and musical form)	761.81 - .89
Single-reed instrument	768.6	Standard subdivision, Modified (Instrument and instrumental ensemble)	764.81 - .89
Singspiel	762.13	Standard subdivision, Modified (Music for single voice)	763.001 - .009
Siren	766.99	Standard subdivision, Modified (Music)	760.1 - .9
Sistrum	766.885	Standard subdivision, Modified (Sacred music)	761.7001 - .7009
Sitar	767.82	Standard subdivision, Modified (Serialism)	761.3301 - .3309
Size, Ensemble by (Chamber music)	765.1	Standard subdivision, Modified (Single voices in combination)	763.101 - .109
Sketch (Music)	760.222	Standard subdivision, Modified (Vocal music)	762.001 - .009
Sketch book	760.262	State organization (Music)	760.603 - .609
Skiffle	761.64	Statistical graph (Music)	760.21
Slave, serf, peon, History and description of music with respect to	760.8625	Statistical method (Music)	760.72
Snare drum	766.94	Steel drum	766.843
Socially disadvantaged person, History and description of music with respect to	760.8694	Stepparent, History and description of music with respect to	760.85
Soft rock	761.66		
Solo concerto	764.25		
Solo instrument	766 - 768		
Solo instrument (Band and orchestra)	764		
Solo instrument (Chamber ensemble)	765		
Solo instruments, Keyboard, mechanical, electronic			
percussion band with more than one	764.624		
Solo instruments, Keyboard, mechanical, electronic			
percussion band with one	764.625		
Solo instruments, Keyboard, mechanical, electronic,			

Stick (Musical instrument)	766.82	Tabulated and related material (Music)	760.21
Stick or rod (Single percussed idiophone)	766.8842	Tambourine	766.95
Stick, tube, trough zither	767.72	Tambura	767.82
Storage (Collection and exhibit of music)	760.753	Tango form	764.18885
Story, plot synopsis (Vocal music)	762.00269	Taoist sacred music	761.79514
Story, plot, synopsis	760.269	Taoist sacred music (Public worship)	762.39514
Street music	761.532	Tape (Electrophone)	766.75
String ensemble	765.7	Taste (Aesthetics of music)	761.17
String orchestra	764.7	Taste (Serialism)	761.3317
String orchestra with more than one solo instruments	764.724	Teaching method, Special (Music)	760.77
String orchestra with one or more solo instruments	764.723	Technique and procedure, Specific (Musical instrument)	764.192
String orchestra with one solo instrument	764.725	Technique of music	761.4
String orchestra with vocal parts	764.722	Television music	761.548
String orchestra, Specific solo instrument with	764.726 - .728	Temperament (Musical instrument)	764.1928
String, electrophone, percussion, Ensemble of	765.598	Temple block (Single percussed idiophone)	766.8843
String, percussion, keyboard, Ensemble of	765.38	Tenor horn	768.974
Stringed instrument	767	Tenor recorder	768.366
Stringed instrument (Band and orchestra)	764	Tenor saxophone	768.74
Stringed instrument (Chamber ensemble)	765	Tenor viol	767.64
Stringed instrument (Mixed chamber ensemble)	765.2 - .5	Tenor voice	762.87
Stringed instrument (Single type chamber ensemble)	765.7	Terminology (Music)	760.14
Stringed instrument, Ensemble of only one kind of	765.72 - .79	Ternary form	761.8223/761.822
Stringed instruments (Solo music)	767	Ternary form (Instrumental)	764.1822
Strings and electrophone, Ensemble of	765.468	Tertia (Vocal form)	762.324
Strings and keyboard, Ensemble of	765.28	Test construction (Music)	760.76
Strings and percussion, Ensemble of	765.58	Test evaluation (Music)	760.76
Strings, electrophone, keyboard, Ensemble of	765.2998	Testing (Music)	760.76
Strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of	765.298	Testing and measurement (Music)	760.287
Strophic form	761.823	Testing in research (Music)	760.287
Strophic form (Instrumental)	764.1823	Testing, measurement, verification (Musical instrument)	764.1927
Struck board zither	767.74	Text, Specific	762.294 - .298
Struck drum	766.92	Text, Treatise on (Music)	760.268/760.26
Struck stringed instrument	767.7	Texture	761.28
Student, learner, apprentice, novice (Music)	760.73	Theater setting, Music in	761.538
Study program, Subject-oriented (Music)	760.7	Thematic catalog	760.216
Study score	760.265	Theme (Musical element)	761.248
Stylistic development of music, Period of	760.901 - .925	Theme and variations form	761.825
Stylistic influence of other traditions of music (Folk music)	761.6206	Theme and variations form (instrumental)	764.1825
Subject (Musical element)	761.248	Theory (Music)	760.1
Suffrage (Liturgy)	762.292	Theremin	766.73
Suite and related form	764.185	Third stream jazz	761.657
Suite form	764.1858	Thorough bass, With	761.47
Suite form, Dance of the Classical	764.1883	Thumb piano	766.85
Suling	768.35	Tiento form	764.1876
Summer, Music for	761.5244	Timbre	761.234
Sunday, Music for	761.5222	Time (Musical element)	761.22
Surunai	768.52	Time, Estimate of (Music)	760.299
Survey (Descriptive research on music)	760.723	Times of day, Music for	761.523
Survey methodology (Descriptive research on music)	760.723	Times, Music for	761.52
Surveying, Quantity (Music)	760.299	Times, Music for specific	761.52
Swing (Music)	761.654	Timpani	766.93
Symbol (Music)	760.148	To 499 (Music)	760.901
Symphonion	768.65	Tocatta form	764.18947
Symphony form	764.184	Tonal system	761.26
Symphony orchestra	764.2	Tonality	761.258
Synopses, Treatise on (Music)	760.269	Tone color	761.234
Synopsis (Vocal music)	762.00269	Tonguing (Instrumental technique)	764.1934
Synopsis and outline (Music)	760.202	Tonic sol-fa	760.148
Synthesizer	766.74	Totombito	767.72
System (Music)	760.11	Touch technique (Musical instrument)	764.19368
Tabla	766.93	Toy instrument orchestra	764.46
Tablature	760.148	Toy instruments with more than one solo instruments	764.4624
Table, formula, specification (Music)	760.212	Toy instruments with one or more solo instruments, Orchestra with	764.4623
		Toy instruments with one solo instrument, Orchestra with	764.4625
		Toy instruments with vocal parts, Orchestra with	764.4622
		Toy instruments, Orchestra with	764.46
		Toy instruments, Specific solo instrument with orchestra with	764.4626 - .4628
		Tractus (Vocal form)	762.3235
		Trade catalog and directory (Music)	760.294

Trademark and service mark (Music)	760.275	Vessel (Musical instrument)	766.82
Tradition, musical	761.6	Vessel (Percussed idiophone)	766.846
Traditions of music	761.6	Vessel (Set friction idiophone)	766.866
Traditions of music, Other than folk music	761.63 - .69	Vessel (Set percussed idiophones)	766.846
Traditions other than Japanese, Music of all	761 - 768	Vessel (Single friction idiophone)	766.888
Training teacher (Music)	760.7	Vessel (Single percussed idiophone)	766.8846
Transcription (Musical composition)	761.37	Vessel flute	768.38
Transportation (Collection and exhibit of music)	760.753	Veteran of militar service, History and description of music with resp	760.8697
Transposition	761.436	Vibraphone	766.843
Transverse flute	768.32	Vibrato (Instrumental technique)	764.19368
Treble recorder	768.365	Vibrato (Music)	761.43
Treble viol	767.63	Video recording of music	760.267
Treble voice, Children's	762.76	Viella	767.69
Treble voice, Women's	762.66	Vihuela	767.86
Treble voice, men's	762.86	Viol	767.6
Triangle	766.8842	Viola	767.3
Trill	761.247	Viola concerto	764.273186
Trinity Sunday, Music of	761.7294/761.729	Viola d'amore	767.66
Trio (Chamber music)	765.13	Viola da gamba	767.65
Trio (Vocal music)	763.13	Violin	767.2
Trombone	768.93	Violin concerto	764.272186
Trombonist	768.93092	Violin family	767.2
Trope	762.297	Violinist	767.2092
Trough (Concussion idiophone)	766.874	Violoncellist	767.4092
Trough (Friction idiophone)	766.864	Violoncello	767.4
Trough (Musical instrument)	766.82	Virtuoso nature, Form of music of a	764.1894
Trough (Percussed idiophone)	766.844	Visual technique (Music)	761.423
Trough (Set friction idiophone)	766.864	Vocal executant	762.5 - .9
Trough (Set percussed idiophones)	766.844	Vocal form	762.1 - .4
Trough (Single friction idiophone)	766.888	Vocal music	762
Trough (Single percussed idiophone)	766.8844	Vocal music, Instrumental form derived from	764.1899
Trough zither	767.72	Vocalist	762.0092
Trumpet	768.92	Vocational school (Music)	760.712
Trumpeter (Musician)	768.92092	Voice disguiser (Musical instrument)	763.99
Tuba	768.98	Voice instrument, Solo (Vocal music)	763.99
Tube (Concussion idiophone)	766.875	Voice, Other type of	762.9
Tube (Friction idiophone)	766.865	Voice, The	763
Tube (Musical instrument)	766.82	Volume (Musical sound)	761.233
Tube (Percussed idiophone)	766.845	Voluntary form	764.1893
Tube (Set friction idiophone)	766.865	Wagner tuba	768.98
Tube (Set percussed idiophones)	766.845	Wake (Music)	761.588
Tube (Single friction idiophone)	766.888	Waltz form	764.18846
Tube (Single percussed idiophone)	766.8845	Wambi	767.92
Tube zither	767.72	War victim, History and description of music with respect to	760.8694
Tubular drum	766.94	Washboard	766.886
Tulum	768.49	Wealthy, History and description of music with respect to	760.8621
Tuning (Musical instrument)	764.1928	Wedding music	761.587
Twelve-tone system	761.268	Weddings and marriage, Music accompanying	761.587
Type of voice	762.6 - .9	Well-to-do person, History and description of music with respect to	760.8622
Types of users, Works for specific (Music)	760.24	Welsh literature, Music and	760.8891
Tyrolean zither	767.75	West Indian steel drum	766.843
Uilleann pipe	768.49	Western art music	761.68
Ukulele	767.89	Western folk music mode	761.263
Unemployed person, History and description of music with respect to	760.8694	Western popular music	761.64
Union pipe	768.49	Western popular music of Japan	761.6394
Unison voices	762.5	Whip	766.99
Unmarried mother, History and description of music with respect to	760.86947	Whistle (Voice)	762.98
Upper class, History and description of music with respect to	760.8621	Whistle, Solo (Vocal music)	763.98
Uagrant, History and description of music with respect to	760.8692	Whitsunday	761.7293
Value (Music)	760.13	Whole tonality	761.266
Variation form	761.925	Whole-tone scale	761.266
Variation form (Instrumental)	764.1925	Widowed person, History and description of music with respect to	760.8654
Variations (Instrumental)	764.1925	Wind band	764.8
Variations (Musical forms)	761.925	Wind band with more than one solo instruments	764.824
Verification (Musical instrument)	764.1927	Wind band with one or more solo instruments	764.823
Vesper (Vocal form)	762.324	Wind band with one solo instrument	764.825
Vesperae (Vocal form)	762.324	Wind band with vocal parts	764.822
Vessel (Concussion idiophone)	766.876	Wind band, Specific solo instrument	
Vessel (Friction idiophone)	766.866		

with	764.826 - .828	Woodwind, brass, strings, electrophone, Ensemble of	765.462
Wind chime	766.872	Woodwind, brass, strings, electrophone, keyboard, Ensemble of	765.2992
Wind ensemble	765.43	Woodwind, brass, strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble	765.292
Wind instrument	768	Woodwind, brass, strings, keyboard, Ensemble of	765.22
Wind instrument (Band and orchestra)	764	Woodwind, brass, strings, percussion, Ensemble of	765.52
Wind instrument (Chamber ensemble)	765	Woodwind, brass, strings, percussion, keyboard, Ensemble of	765.32
Wind instrument (Construction)	768.1923	Woodwind, electrophone, keyboard, Ensemble of	765.2996
Wind instrument (Solo music)	768	Woodwind, electrophone, percussion, Ensemble of	765.596
Winter, Music for	761.5248	Woodwind, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of	765.296
Women's, child's, man's solo voice (Vocal music)	763.6 - .8	Woodwind, percussion, keyboard, Ensemble of	765.36
Woman, History and description of music with respect to	760.82	Woodwind, string, electrophone, percussion, Ensemble of	765.594
Women's voice	762.6	Woodwind, strings, electrophone, Ensemble of	765.464
Woodwind and brass, Ensemble of	765.43	Woodwind, strings, electrophone, keyboard, Ensemble of	765.2994
Woodwind and electrophone, Ensemble of	765.466	Woodwind, strings, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of	765.294
Woodwind and keyboard, Ensemble of	765.26	Woodwind, strings, keyboard, Ensemble of	765.24
Woodwind and percussion, Ensemble of	765.56	Woodwind, strings, percussion, Ensemble of	765.54
Woodwind and strings, Ensemble of	765.44	Woodwind, strings, percussion, keyboard, Ensemble of	765.34
Woodwind band	764.89	Words and other vocal sounds to be sung or recited with music	760.268
Woodwind band with more than one solo instruments	764.8924	Work music	761.593
Woodwind band with one or more solo instruments	764.8923	Workbook with problems (Music)	760.76
Woodwind band with one solo instrument	764.8925	Working class in developed areas, History and description of music with respect to	760.8623
Woodwind band with vocal parts	764.8922	Workshop in adult education (Music)	760.7152
Woodwind band, Specific solo instrument with	764.8926 - .8928	Wrist technique (Musical instrument)	764.19364
Woodwind ensemble	765.8	Wuj	767.94
Woodwind instrument (Band and orchestra)	764	Xylophone	766.843
Woodwind instrument (Chamber ensemble)	765	Yang ch'in	767.74
Woodwind instrument (Construction)	768.21923	Young adult aged twelve to twenty and over twenty, History and description of music with respect to	760.835
Woodwind instrument (Mixed chamber ensemble)	765.2 - .5	Young adult, History and description of music with respect to	760.835
Woodwind instrument (Single type chamber ensemble)	765.8	Young man, History and description of music with respect to	760.8351
Woodwind instrument (Solo music)	768.2	Young people, History and description of music with respect to	760.83
Woodwind instrument and free aerophone	768.2	Young woman, History and description of music with respect to	760.8352
Woodwind instrument, Ensemble of only one kind	765.82-.88	Zither	767.72 - .75/767.7
Woodwind instrument, Specific	768.3 - .8	Zuzu	767.92
Woodwind, brass, electrophone, Ensemble of	765.463		
Woodwind, brass, electrophone, keyboard, Ensemble of	765.2993		
Woodwind, brass, electrophone, percussion, Ensemble of	765.593		
Woodwind, brass, electrophone, percussion, keyboard, Ensemble of	765.293		
Woodwind, brass, keyboard, Ensemble of	765.23		
Woodwind, brass, percussion, Ensemble of	765.53		
Woodwind, brass, percussion, keyboard, Ensemble of	765.33		
Woodwind, brass, string, electrophone, percussion, Ensemble of	765.592		
Woodwind, brass, strings, Ensemble of	765.42		

④ 別表1:ポピュラー音楽

1-a:ポピュラー音楽の細分の概要

- ・2以上の国(や地方)に関わる*ピュラー音楽作品は、原則として細分しない。ただし、著作物で、様式の影響関係に焦点が当てられる場合は、この限りではない。
- ・外国人が翻訳した歌詞で歌っていても、音楽様式によって判断する。

761.63	*ピュラー音楽
.639	日本の*ピュラー音楽
.6393	演歌など
[.6394]	日本の西洋*ピュラー音楽
[.6395]	日本のジャズ
[.6396]	日本のロック
.6397	日本の子供の歌
.64	西洋の*ピュラー音楽
	アメリカの*ピュラー音楽
.642	カントリー&ウエスタン
.643	ブルース
.644	ソウルミュージック
.65	ジャズ
.66	ロック
.67	ファンク

→ 西洋以外の*ピュラー音楽の細分: 別表1 b参照
 ・西洋以外の国(や地方)に固有の*ピュラー音楽は、資料に現れた地名の地理アセットを用いて細分できる。ただし、多くは*ピュラー音楽より民俗音楽(761.62+)に分類されるので、実際にはあまり使用しない。

→ 別表1 c参照
 → 別表1 d参照
 → **ファンク** 西洋の*ピュラー音楽のうち同時に複数ジャンルに属するもの、既存ヒット曲が同時に何種類かのチャートに登場する現象(クロスオーバー)を、ためのマーケティングに徹した方法論、フュージョンは自分のイメージを般にわたって、〈融合〉という語が現代を象徴する幅広い意味を関係語: MOR ⇒761.64

1-b:ポピュラー音楽(761.63)と西洋のポピュラー音楽(761.64)の細分

分類番号	分類表の項目	主要ジャンル/呼称	特色
761.63	*ピュラー音楽 (一般、非西洋、 ワート・ミュージック)		*ピュラー音楽(大衆の性格の音楽)一般 西洋以外の*ピュラー音楽 西洋以外の限定された文化圏(特定地域、人種、言語)の 大衆的な音楽すべて
		軽音楽 関係語・ジャンル ポップス ポップ・チューン *ピュラー・ ミュージック ホーム・ソング ホーム・ミュージック ワート・ミュージック インストゥルメンタル	聴きやすい大衆的な音楽。ロック、ポップ、ジャズなど。 広く*ピュラー音楽全般のことを指している総称 ワートあふれる音楽。大編成のストリングスのオーケストラが多い 聞き流せる肩のこらない音楽
		ワート・ミュージック	インストゥルメンタル、インストゥルメンタルによる*ピュラー音楽 民俗音楽→761.62+
.63 0933 .63 09331- .63 09335 .63 09339 .63 0935 .63 0936 .63 0937 .63 0939	各国(各地)の*ピュラー音楽(T2) 歴史上の場所 古代中国、イ プト、パレスタイ ント、ほか その他の古代 アジア アフリカ 南米 その他		各国・各地に固有のジャンルのみ
.639	日本の*ピュラー音楽		グループ・ソング→761.663
.64	西洋の*ピュラー音楽 (T2)		世界的広がりをもつ、ジャズ、ロック以外のものすべて 西洋起源または西洋で確立・流行したものでも、影響力が 特定地域に限定されている場合は、原則的にここへ
		レゲエ ブリティッシュ・レゲエ	1960年代末のジャマイカ起源の音楽。政治的、宗教的要素が加味 され完成された。 スカ(レゲエ)、ロックステイの洗練されたもの 70年代以後イギリスの黒人問題を歌う。レゲエの要素が加わり、

西洋の総称は音楽の細分 別表1b参照

- ・ダンス系は、ダンスのファセットを付加する
- ・特別な呼び名を持ち、ひとつの国(や地方)を代表するようなジャンルがある場合には、当該国(または地方)の地理ファセットを付加して、そのジャンルを示す。

例) ジャズ = フランスの*ビュラ-歌曲	762.42	164	09344
歌曲	762.42		
*ビュラ-	761.64		
フランス			760.9344
カヴァー = イタリアの*ビュラ-歌曲	762.42	164	09345
歌曲	762.42		
*ビュラ-	761.64		
イタリア			760.9345

の概念ではジャンルが明確でないもの。
 〈フュージョン・ミュージック〉とよぶようになった。クロスオーバーは音楽を売る
 自由に表現するための新しい様式、ととらえる場合も多い。音楽全
 ち始めたとみることもできる

索引1:ジャンル名

ジャンル名(50音順)	番号
1915-1935のジャズ	761.653
1915以前のジャズ	761.652
1935-1945のジャズ	761.654
1945-1955のジャズ	761.655
1955-1970のジャズ	761.656
1955-1970+のジャズ	761.657
1959以前のロック	761.662
1960-1969のロック	761.663
1970-1979のロック	761.664
1980以後のロック	761.665
80年代以後のロック	761.665
ROR	761.64/761.67
アクトン・ジャズ	761.656
アジア	761.630935
アフリカ	761.663
アフリカ・リズミック・ロック	761.664
アフリカ・ブルース	761.643
アフリカ	761.630936
アロ・キューバン	761.657
アロ・ロック	761.664
アメリカ	761.653
アメリカ合衆国各州	761.6409373-.6409379
アメリカ・ブルース	761.664
アメリカン・ブルース	761.643
アンゴラ・フォーク	761.645
イギリス	761.6409341
イギリス・ロック	761.663
イーストコースト・ジャズ	761.655
イタリア	761.6409345
イタリア半島(*ビュラ-史)	761.6409336-.6409338
イタリア半島・*リソ以外(*ビュラ-史)	761.630939
イグ・エイボン	761.655
インド・ジャズ	761.657
ウエストコースト・ジャズ	761.655
ウエスト・アフリカ・クラシック	761.664
ウイスタン・ミュージック	761.642
ウイスタン・ミュージック	761.642
ウイスタン・ヨーデル	761.642
ウエストコースト・ロック	761.664
ウット・ロック	761.663
オーストラリア・カントリー	761.642
カウボーイ・ミュージック	761.642
各国(各地)の*ビュラ-音楽	761.6309
カリブ・フォーク	761.645
カンザス・シティのジャズ	761.653
カントリー&ウイスタン	761.642
カントリー・ブルース	761.643
カントリー・ロック	761.664(761.642)
北アメリカ	761.640937
キューバ(*ビュラ-史)	761.6409336-.6409338
クラシック・ロック	761.664
クラム・ロック	761.664
クラム・ジャズ	761.655
クレア・サウズ	761.663
クロスオーバー	761.67
軽音楽	761.63
コスモ・ミュージック	761.65
古代(*ビュラ-史)	761.6309331-.6309339
サイケデリック・サウンド	761.663
サイケデリック・ダンス	761.665
サウスウエストのジャズ	761.653
サウソウ・ミュージック	761.642
サウソウ・ロック	761.663
サート・ストリーム	761.657
サーフ・ミュージック	761.663

主要ミュージック	
*ビル・モリア・クラシック・オーケストラ	クラシック・オーケストラ
*ア・マリ&サ・ウイラズ	ヒューマン・トック
ジミー・クラフ	

分類番号	分類表の項目	主要ジャンル/呼称	特色
			都会的で硬質なイメージ。 80年代のジャマイカ→フレコ・テス、ブーアスのリズムによりシンプル
		関係語・ジャンル MOR シティ・ミュージック ラテン・ソウズ・ソウズ ソフト・アクト・メロ テクノ・ポップ テクノクラート トーチ・ソング パワ・ポップ ミュージック・ソウズ	中道の意。聴き易いインストゥルメンタル中心のイージー・リスニング 都会的ソウズの音楽。MOR路線、ハイソサティ風な曲調。 ラテン・ソウズ中心に1960年代に起こった、フォークの流れをくむポップ ・ソウズ(=ソウズ・ソウズ) 柔らかで優しいソウズ。1976年から77年頃に使われた。 シンセサイザー等の機器を多用した音楽。ミュージック生まれのデモ・ソウズ・ ミュージックのスタジオ・ワークが方法論の基点の一つ。 ヨーロッパのアプローチ的な意識とソウズをもった人々で、スタジオ・ ワーク、シンセサイザーを重要視し、実験的なソウズ作りを志向した、 特にドイツの一派。 1920-30年代? 1960年代のR&Bへのスタイル。1970年代後期にイギリスで再生。ソ ウズの流れをくみつつもポップ。 機器を多用し正確無比な、ミュージック起源のデモ・ソウズ。
.64 0933 .64 093336- .64 093338 .64 0934 .64 09341 .64 09344 .64 09345	歴史上の場所 イタリア半島以西・ 以北、イリア半 島、ギリシア ヨーロッパ イギリス フランス イタリア		
.64 0937	北アメリカ	ラグタイム ストロップ	19世紀末にアメリカの黒人が生んだピアノの演奏スタイル 1910年代まで大流行 ベースとドラムを伴ったメロディに特徴 トラディショナルなイージー・ジャズの変形 アメリカ南部のブルースとフォークが混合した形態(ギター、1or2、たまにま まな手製楽器) 1920年代にソウズの黒人達の家賃集めパーティーでの音楽。
.64 09373- .64 09379	アメリカ合衆国各州		下記に含まれないジャンルで、特定地域に限定されるもの
.642	カントリー・ウイスタン		白人系の音楽伝統はここへ
		カントリー・ウイスタン	アメリカに移住したヨーロッパ人が故国の民謡をもとに、アメリカでの 生活・風土から生み出したアメリカの民族音楽、そのスタイルを 受け継いだものの総称。
		ブルース	50年代以後発展したカントリーのひとつのスタイル。ウイスタンスタイル登場 で独自性を失いつつあったカントリーに、伝統的編成を復活させ るとともに新しい演奏法を生み出した。甲高い高音ハーモニウ のウイスタンに特色。バンド編成：フィドル、ギター、マンドリン、 ベース、5弦バンジョー
		関係語・ジャンル カントリー・ロック オールタイム・カントリー ウイスタン・ミュージック マウンテン・ミュージック サウン・マウンテン ナッシュビル・ソウズ カントリー・ソング カントリー・ソング ヒルビリー ウイスタン・ソウズ	→761.664 ブルースが分岐する以前の初期カントリー・ミュージックのスタイル。中心 地はアロ・アメリカやホワイト・フォークの伝統が共存する南部平野地帯。 カントリーのイメージを音楽で表現した、主にテキサス、オクラホマ、ミシ シッピのカントリー・ミュージック。 アパラチア山脈一帯の音楽。カントリー・ミュージックのもとだが、現在も 演奏する人は多い。 アメリカのアパラチア山脈南部地帯のこと。ウイスタン・ミュージックの系統を生 んだ。トラディショナルなオールタイム・カントリーの代名詞。 ナッシュビルのスタジオ・ミュージシャンが演奏するソウズ。軽いリズムと弦 楽器の使用に特長。 カントリーをうたった歌 1930年代のアメリカ不況時代に職を求めて渡り歩いた下層労働者 が歌っていた歌、または彼らについて歌った歌 初期カントリー・ミュージックの名称。1925年に使われはじめる。1930 以後はカントリー・ソウズ・ウイスタンと呼ばれるようになる。

分類番号	分類表の項目	主要ジャンル/呼称	特色
.643	ブルース	ウイスタン・スイング	
		ブルース	黒人系の音楽伝統はここへ 19世紀中期にアメリカ黒人たちが歌いはじめた歌曲とそのスタイル。その音楽的特質は、今日のジャズ表現上の最も重要な精神的要素のひとつ。アメリカのポピュラー音楽に深い影響。カントリー・ブルース、フォーク・ブルース、アーバン・ブルース、リズム・アンド・ブルースなど 広義には黒人の大衆音楽。ゴスペルなどリズム感の強い音楽がブルースに影響して30年代に発生。50年代に白人にも認められるようになり、レイ・ミュージックという呼称からR&Bに変化。ロック・ロールへ影響は大。現在では黒人音楽の広がりに伴い、ソウル・ミュージック、ソウルが一般的呼称
.644	ソウル・ミュージック	ブルース	ミシシッピ州のミシシッピ、アズ、両川のデルタ地帯を中心に発達したカントリー・ブルース。 素朴ないなかつぼいブルース。 都会風ブルースの意。第一次大戦の影響で北上したブルースが、ジャズと交流して洗練されたもの。 本場アメリカのソウルでオート・リックスなスタイルのブルースを、イギリスで独自の発展を遂げたものと区別するための呼称。 ミシシッピのフォーク・ブルースをもとに、シカゴで成長したヒック・シー・ブルース。
		ブルース	1970年代にイギリスで独自のスタイルを生みだしたブルース。 ブルース・ファイリングがたっぷりと盛り込まれた演奏を指す。短調のブルース形式。
.645	フォーク	ソウル・ミュージック	白人と黒人の音楽伝統が融合したもの ジャズや白人音楽の影響を受けつつ、ゴータル中心に発展したアメリカ黒人の音楽。ワラス・セクションを加えたバック・バンドと表情豊かなゴータル・スタイルが特徴。
		ソウル・ミュージック	1970年代初～中期にフィラデルフィアの〈シグ・メソッド・スタジオ〉で製作された一連のソウル・ミュージック。略して「ソウル・サウンド」。ストリングス・サウンドに特徴のある都会的な響き。 1960年代のソウル・ミュージックをリードした、モダン・モダン・レコード系のサウンド。ロックに多大の影響を与えてた。 ⇒761.655 ソウル・ミュージックの変形で、ファンク・ミュージックとロックの結合。 ⇒761.656
.645	フォーク	フォークソング	広義には民謡の意。狭義には民間伝承で、作者不詳の歌。多民族国家アメリカでは様々な民族的伝統・スタイルが入り交じっている。作者が明確でも、アメリカ人に広く国民的に共感を呼び起こし、生活感情に深く訴えかけるようなものが、新たに加わってゆくの、フォーク・ソングにはトラディショナル・フォークとモダン・フォークの両方が含まれる。日本のフォークソングは、1960年代にアメリカに影響されてアメリカ化したもの。
		フォーク・ロック アングラ・フォーク	モダン・フォーク以降の主流を占めるフォークの潮流。ロック・ビートの影響大。エレキサウンドが大勢を占める。 メジャーな商業音楽と無関係なフォーク・ソングたちの歌。日本のフォーク・ソングもこれ。個人的な感情等の表明に力点がおかれ、大学のキャンパス、街頭や公園でのフォーク集会、自主エグゼクティブ等が演奏の場。次の二つの流れに分化。 1) 洗練・商業化・プロフェッショナル化 → ニュー・ミュージック 2) 商業音楽の制限から離れた自由な活動

主要ミュージシャン	
IAウエイズ・プレスリー	
サン・Hワズ スネップ・ジョー・エイズ ライオン・ネフ・エンズ	ヒック・ジョー・ウィリアムズ ジョン・リー・フッカー ジョン・リー・フッカー
ケニー・キング レオン・Hワズ トム・ハレル シュプリームス ジヤクソン・ファイブ	スタニスチックス スリー・ディグリーズ オージョーエイズ
フー・デズ・ライオン・Hワズ ハロー・ラメント	ファンカデリック
ビートルズ キング・ストン・トリオ P・P・M フー・デズ・フォー ネブ・ティラン	
ネブ・ティラン	

フラス・ロック	761.663
フック・ロック	761.665
フランス	761.6409344
フリー・ジャズ	761.656
フリー・フォーム	761.656
フレイッシュ・Hワズ・ロック	761.664
フレイッシュ・Hワズ	761.663
フレイッシュ・ブルース	761.643
フレイッシュ・ブルース・ロック	761.664
フレイッシュ・レガシー	761.64
フレイッシュ・ロックの時代	761.663
フルート	761.643
フルート・ラス	761.642
フルート	761.643
フルース	761.643
フル・ジャズ	761.652
フル・ロック・ジャズ	761.655
フル・ロック・ロック	761.664
フル・ロック・ソング	761.645
ハビタール	761.665
ハット・ロック	761.663
ハット・チューン	761.63
ハット・ジャズ	761.65
ハット・ス	761.63
ハビタール・音楽	761.63
ハビタール・ミュージック	761.63
ハーモニー・ソング	761.642
ハーモニー・ソング	761.63
ハーモニー・ミュージック	761.63
マイナー・ブルース	761.643
マウテン・ミュージック	761.642
ミッドウェスト・ブルース	761.643
ミュージック・サウンズ	761.64
ムートン・ミュージック	761.63
メインストリーム・ジャズ	761.654
メロディ・ソング	761.645
メロディ・ロック	761.663
モータウン	761.644
モダン・ジャズ	761.655
モッズ	761.663
モートン・ジャズ	761.656
ムービー・ロック	761.664
ヨーロッパ	761.640934
ラヴ・タイム	761.640937
ラップ	761.665
リヴァプール・サウンズ	761.663
リズム&ブルース	761.643
リバー・ホート・ジャズ	761.663
レイス・ミュージック	761.643
歴史上の場所（西洋）	761.640933
歴史上の場所（西洋以外）	761.630933
レガシー	761.64
レガシー	761.662
ロック・Hワズ	761.662
ロック	761.66761.663
ロックの起源	761.662
ロック・Hワズ	761.662
ロック・ジャズ	761.656
ロンドン・ソング	761.664
ワイルド・ミュージック	761.63

分類番号	分類表の項目	主要ジャンル/呼称	特色
		カレッジ・フォーク カレッジ・ソング プロテスト・ソング フーテン	1960年代のフォーク・ソング・ブーム（日米とも）のなかで、大学生が歌ったフォーク・ソングやフォーク調の歌。 個人の思想を伝えようとするもの 1960年代のフォーク・ソング集会。平和・公民権運動と結合したものが多く、プロテスト・ソングを生んだ。

別表1c: ジャズの細分(様式と時代の組み合わせ)

分類番号	分類表の項目	含める年代	主要スタイル/呼称	特色
761.65	ジャズ			19世紀末に黒人独特のリズム感覚に影響を受けて生まれた音楽で、ニューオーリンズ周辺のコグロやクリオール達が始めた5~7名の小編成楽団の音楽に始まりダンス・ミュージックとして発達。ワ・ビート・リズムと即興演奏に特色。今日のジャズは、1940年頃のビッグバンドに由来するジャズの俗称。
			関係語・ジャンル ビッグバンド	⇒761.653 ジャズ・オーケストラのこと。近年のビッグバンドは15名以上。1920年代には9~10人くらい。30年代後期~40年代初期から大型化。
			ゴスペルソング	⇒761.71+ 略してゴスペル。1920年前後にジャズの影響を受けた黒人霊歌から生まれた賛美歌、福音歌。新訳聖書に関係したものが多い。黒人教会での使用から、次第に民衆の間に広まった ホプジャズにも喜ばれるような通俗的なジャズ。
.652	初期のジャズ	-1915	ジャズの起源/ アレキサンダー	スピリチュアル(集団宗教歌) ワーク・ソング、ノラ(労働時のかけ声、叫び声)、チェン・キング・ソング(囚人歌) ブルース ラグタイム これらを素材に黒人ブラスバンドが演奏 フレック→即興演奏によるソロ
.653	トラディショナル・ジャズ	1915-1935	トラディショナル・ジャズ 関係語・ジャンル リバーホート・ジャズ	ストーリー・タイム閉鎖(1917)、第一次大戦の終結に伴うミュージシャンの拡散 1)伝統的なニューオーリンズ・ジャズの演奏スタイル 2)1940年代後半のイタリズでニューオーリンズ・ジャズを再現した演奏スタイル。 ミシシッピ・川の豪華船上で演奏したジャズ・バンドの演奏。
			ニューオーリンズ	1910~15年に形成 初期の素朴なジャズ・スタイル。クリオールや黒人のブラス・バンドが基本。集団即興演奏に特徴。レパートリーはブルース、ラグ、マーチなど。 少人数編成の黒人ブラス・バンド 編成・・・コルネット1、クラリネット1、トロンボーン1、バソーン1、ピアノ1(抜ける場合もある)、チェン(ハース)1、ドラム1 コレクティブ・インプロヴィゼーション
			ディキシーランド 関係語・ジャンル アメリカン	1910年代に生まれた演奏スタイル。20年代には黒人のニューオーリンズ・ジャズに対して白人ジャズをディキシーランド・ジャズと呼ぶようになった。40年以降は双方をトラッド・ジャズと呼ぶようになる。5-8人のバンド編成、曲目はブルース、マーチ、ラグ、1910~20年代のホプジャズ・ソング。 メロコのマリッチのサクソフーンとディキシーランド・ジャズを合体したイージー・リスニング。
			サウスウエスト	?
			カンザス・シティ	1927-33年頃にカンザス・シティに住んだジャズ・マンのビッグバンドの演奏スタイル。ホット・アレンジ、ビッグ・バンドに特色。スウィング・ジャズの基礎。 リアを好む。 整然たる編曲よりも即興性を持ったブルース色の強い演奏

主要ミュージシャン	
マヒナ・レイノルズ フィル・ネックス	ホプ・テイラン

主要ミュージシャン	
チャーリー・クリスチャン セロニアス・モンク デヴィッド・ガレスピー チャーリー・パーカー	
フレッチャー・ヘンダーソン楽団 トニー・レックマン ベニー・カーター コルマン・ヘンクス ハン・ウェブスター スタン・カントン楽団 ビート・クワトロ カザロ・オーケストラ	ジーン・キフォート デヴィッド・ガレスピー楽団 クット・ダマロン 秋吉敏子&ルー・ルン・バンド カウト・ベイラー楽団 テューク・リントン楽団 ウディ・ホーム楽団
マリア・ジャクソン	
オイゲン・キカロ	アート・ウァンダム
ロクフリー・リットル ケン・コリアー	クリス・パパー エッカー・ベリク
ルイ・アムストロング	フェイト・マラー&バンド
ジャズ・ジャック・レモン ニック・トロツカ	
ハーブ・アルパート	
カウト・ベイラー楽団 ハン・モーティン デヴィッド・アンダーソン・カーク楽団	ジーン・スワントン楽団 ハン・ウェブスター レスター・ピング

索引2 : アーティスト名

アーティスト名 (50音順)	番号	ジャンル名
1910フルツガム・カンパニー	761.664	ハードボイルド・ロック
AC/DC	761.665	ヘビーマタル
Dr. フィールド	761.664	ハード・ロック
EL&P	761.664	プログレッシブ・ロック/クラシカル・ロック
J. D. サウザー	761.664	シティ・ミュージック
P-MODEL	761.664	テクノ・ポップ
P-P-M	761.645	フォーク
PFM	761.664	1-0-ロック/クラシカル・ロック
Tレックス	761.664	グラム・ロック
XTC	761.665	サイケデリック・ポップ
ZEL-AMのアーティスト	761.664	ニューヨーク・ロック
ZZトップ	761.663	サザン・ロック
アイザック・ヘイズ	761.655	デイズ・オブ・ザ・ニュー・ソウル
アウトローズ	761.664	カントリー・ロック
秋吉敏子& ルー・ルン・バンド	761.65	ジャズ
アーツ・ジャップ	761.656	1955-70のジャズ
アーティスト・ジョウ楽団	761.654	メインストリーム
アート・アンザブル・オブ・シカゴ	761.656	1955-70のジャズ
アート・ウァンダム	761.65	ポップ・ジャズ
アート・ブレイキー	761.655	ハード・ポップ
アート・ブレイキーと ジャズ・メッセンジャーズ	761.655	ソウル/イストコースト・ ジャズ/ファンキー
アリス	761.663	リヴァーブ・ロック/サウソウ
アリス・クーパー	761.664	グラム・ロック
アール・ストラックナス	761.642	ブルーグラス
アール・ヘンクス	761.642	ヒル・ビリー
アール・ポート・アラー	761.656	1955-70のジャズ
アレク	761.664	プログレッシブ・ロック
アンクル・デヴィッド・メロン	761.642	オールド・タイム・カントリー
アンジュ	761.664	プログレッシブ・ロック
イリス	761.664	プログレッシブ・ロック
イロ・マジック・オーケストラ	761.64	テクノ・ポップ
イギー・ポップ&ストゥージーズ	761.664	パンク
イーグルス	761.664	ウエストコースト・ロック
ウイズバンド	761.655	デイズ・オブ・ザ・ニュー・ソウル
ウイリアム・ラッセル	761.655	ニューオーリンズ・ジャズ
ウイム・ジエト	761.653	ジャズ・バンド
ウイロン・ジエングス	761.664	カントリー・ロック
ウディ・ガズリー	761.642	カントリー・ロック
ウディ・ホーム	761.655	プログレッシブ・ジャズ
ウディ・ホーム楽団	761.65	ジャズ
イグ・ペイル・ワン	761.664	アポ・ロック
エッカー・ベリク	761.653	トランス・ジャズ
エディ・コントン・グループ	761.653	シカゴ・ジャズ
エリック・ドゥファイ	761.656	1955-70のジャズ /
エリック・スプリング	761.662 / .643	ロック・ロック/リズム&ブルース
オイゲン・キカロ	761.65	ポップ・ジャズ
オジー・エイズ	761.644	フレンチ・ブルース・サウソウ
オーネット・コールマン	761.656	ジャズ・ファンク/ジャズ / 1955- 70のジャズ / フリー・ジャズ / フリー・フォーム / ニュー・ジャズ

分類番号	分類表の項目	含める年代	主要スタイル/呼称	特色
			ハード	ストライト・ピアノ・ラグタイム・ピアニカが基礎 ビック・バントへの道 ジ・ム・セッション
			白人ニューヨークスタイル 関係語・ジャンル チャールストン シカゴ・ジャズ	20年代 ビック・バント ダンス・ホールで、楽団の規模と特色に合わせて編曲 オーケストラ構成は簡略 1920年代に流行したダンスまたはそのリズム。27年頃、世界的に流行。 50年代後半に、舞台や映画でリグタイム化した。 第一次大戦で失業したニューオーリンズのミュージシャン達が移り住み、1919年頃から約10年間、シカゴがジャズの中心地になった。若い白人達が影響を受け、シカゴ・ジャズと呼ばれる独特のスタイルを作り上げた。シカゴでハードなサウンドと力強いビートが特色。 洗練されたロスベース多→ハード・アヴァンブルの組織化→編曲重視 装飾的な要素を排したシカゴ・ピュアサウンド、力強いビート 使用楽器 ヌグアイー及びハーモニ：アラス、リート リズム及びハーモニ：ピアノ、ベース 「ハード・バント・シカゴ」 ヌグアイー及びリズム：シカゴ、スヌア・ドラム、トム・トム、 リズム：シカゴ、ベース・ドラム、ハイ・リット・シカゴ、スヌア・ドラム コレット→トランペット/ハード・ジョー→サックス/チューン→ベース リクウォーンが重要になる/ドラム・セットの複雑化
			関係語・ジャンル シカゴ・ブレイク・アウト	
			関係語・ジャンル ビック・バント シカゴ・バント ジャズ・リズム	⇒761.65 空ジャック（取っ手付き酒瓶）を楽器に代用した一種のジャズ・バント。 1920-30年代にネオジー、アラバマ、ケンタッキー等の酒場、寄席で演奏された。 元来は南部黒人に特有のダンス・リズム。1920年代にジャズ・リズムの一種として流行。このリズムや、踊り方を指すことが多い。
.654	メインストリーム・ジャズ	1935-1945	スイング	元はジャズ演奏のリズムを形容する言葉だったが、ジャズ独特の躍動感を指すようになった。最も流行した1930年代中期～40年代中期をスイング時代と呼び、ビック・バント編成のダンス音楽が主流だった。 様式的にはシカゴ・スタイルと大きな違いはない 「リチャード・ロジャース」 リフに基づくテーマ プロト・ウェイの歌(カ・ジョーン、ジ・ロ・ム・カース コー・ホー・ター
			関係語・ジャンル メインストリーム	*ピュア音楽で主流のこと。ジャズの場合、トラディショナル・スイング期を指す場合と、ポップ以後のモダン・ジャズを指す場合がある。
.655	モダン・ジャズ	1945-1955	関係語・ジャンル ニューオーリンズ・ジャズ リグタイム イクワイション	1940年代以降のハード・ビートに根ざしたいくつかのジャズのスタイル 1939-40年のニューオーリンズ・ジャズの復興運動。 スタン・ケントンがストリングス・セッションを加えて40名編成に拡大し、＜イバ・イヴァンズ・オブ・モダン・ミュージック＞のソロ・ガンを掲げ＜イバ・イヴァンズ＞と自称した。
			ハード（ビート・アップ）	俗化したスイングを打破して、ジャズに新しい視野と可能性を示した革命的なスタイルの総称。当初の呼称はハード（bebop）、リハード（re bop）。既成の枠を打破し、より自由なものにした。 ハードでのジ・ム・セッションから生まれる リズムの自由化 リフを飛躍の多いフレーズに変える 和声進行に基づく徹底した即興演奏の追求 小編成を好む 和声的、リズム的により複雑な構成 テーマを一新、より豊かなヌグアイーラインの重ね合わせ 非和声音の追求
			ハード・ハード	54年頃 ニューヨークを中心とした東海岸 ハードのイデオロギを充実させ、ジャズの原点であるブルースやゴスペルの精神を生かしたもの。主にニューヨークの黒人の奏法を指す。 技法的にはハード時代より複雑でなくなった
			関係語・ジャンル イストコースト・ジャズ	白人モダン中心の、知的な趣の西海岸のジャズに対し、即興演奏を重視したハード直系のニューヨーク黒人派ジャズのこと。

主要ミュージシャン	
キング・オリヴァー エディ・ゴットフ・グムロー マグ・シュー・スパーニャ ジミー・マクノートランド ハット・フリーマン ジョー・ザロウマン	
クリフォート・ヘイズ ディキシーランド・ジャック・プロヴァース ヘニー・グレンマン トミー・トニー	ウィル・シエイト メンフィス・ジャック・バンド
ウィリアム・ラッセル ルー・ワッターズ スタン・ケントン ホレス・シムクナー	マーク・マフィー
チャーリー・クリスチアン レスター・パング ディキシー・ガレスピー チャーリー・パーカー デニー・クラーク ロニアス・モンク ガレスピー・バンド	
アート・ブレイト ホレス・シムクナー クリフォート・ブロン リー・モーガン	ソニー・ロリス マイルス・デイヴィス マックス・ローチ
アート・ブレイトとジャズ・ メソジヤーズ	ホレス・シムクナー・クインテット

オハイオ・エクスプレス	761.664	ハード・ロック
オリビア・ニュートン・ジョン	761.64	MOR
オーマン・ブラス・バンド	761.663	ジャズ・ロック
カウチ・ヘイシー・バンド	761.65/.653	ジャズ/カンザス・シティ
カサロ・オーケストラ	761.65	ジャズ
カーター・ファミリー	761.642	マウンテン・ミュージック
カラオケ	761.663/.664	ソフ・ミュージック/ハワイアン・ロック
カラ・ブレイ	761.656	1955-70のジャズ/フリー・ジャズ
ガレスピー・バンド	761.655	ジャズ
カンサー・ジュラー	761.657	サート・ストリーム
キム・イヴァンズ	761.655	クール・ジャズ
キング・オリヴァー	761.653	シカゴ・ジャズ
キング・ストリート	761.645	フォーク
クラッシュ	761.664	ロンドン・ソング
クラフワーク	761.664/.64	1-0・ロック/テクノクラート
クランパ・ジョーンズ	761.642	オールタイム・カントリー
クリス・パーマー	761.653	トラディショナル・ジャズ
クリスチアン・クーパー	761.663	スウィング・ロック
クワター・リヴ・タイダル		
クリト・インズ	761.664	ウエストコースト・ロック
クリフォート・ブロン	761.655	ハード・ジャズ
クリフォート・ヘイズ	761.653	ジャズ・バンド
クリム	761.663	サイケデリック・サウンド
クレイトフル・テット	761.663/.664	トランプ・ミュージック/ ウエストコースト・ロック
クレイヴ・ストリングス	761.63	ハード・ミュージック
グレイ・ニューマン	761.64	テクノ・ポップ
グニー・キャンパル	761.644	ファイター・ファイア・サウンド
グニー・クラーク	761.655	ジャズ
グン・コリアー	761.653	トラディショナル・ジャズ
ゴッス	761.664	ロンドン・ソング
ゴット・アーズ	761.655	テキサス・ソウル
ゴット・レーン	761.656	1955-70のジャズ
ゴーマン・ホーボース	761.65	ジャズ
ゴング	761.664	プロク・レバウ・ロック
ゴラート・ジュニッタ	761.64	テクノクラート
グー・フー	761.663	モッズ
グッチャーズ	761.663	リヴァリアン・サウンド
グー・ファーズ	761.663	ネット・ロック
グッド・カウ・マッギー	761.642	オールタイム・カントリー
サム・リヴァース	761.656	ロフト・ジャズ
サン・ハウス	761.643	テラ・ブルース
ジ・エイ・マクソン・バンド	761.653	カンザス・シティ
ジ・エフ・アール・エフ・レイ	761.663	サイケデリック・サウンド
ジ・エフ・アール・スターシップ	761.664	ウエストコースト・ロック
ジ・エリー・マリガン	761.655	クール・ジャズ/ ウエストコースト・ジャズ
ジ・エン・アット・ティーン	761.663	ネット・ロック
ジ・エー・グラフィ	761.64	レゲエ
ジ・エー・ジャズ	761.655	ウエストコースト・ジャズ
ジ・エー・トニー・バンド	761.654	メインストリーム
ジ・エー・リックス	761.663	アシット・ロック
ジ・エー・マクノートランド	761.653	シカゴ・ジャズ
ジ・エフ・アール・ファイブ	761.644	モーダン
ジ・エフ・トリオット	761.642	ネービー・ソング
ジ・エム	761.663	モッズ
ジ・エフ・ダース・ブリスト	761.665	ヘビメタ
ジュー・ブ・リムス	761.644	モーダン
ジ・エー・ザロウマン	761.653	シカゴ・ジャズ
ジ・エー・リー・ウィルソン	761.656	ロフト・ジャズ
ジ・エー・ジ・リアリング・クインテット	761.655	クール・ジャズ
ジ・エー・ジ・アール・ソング	761.64	MOR/ソフ・アット・メロ
ジ・エー・ティ・ロジャース	761.655	ウエストコースト・ジャズ
ジ・エー・フォックス	761.665	サイケデリック・サウンド
ジ・エー・リー・アッカー	761.643	テラ・ブルース/カントリー・ブルース
ジ・エー・レイ	761.655/.657	クール・ジャズ/サート・ストリーム
ジ・エフ・アール・コンパニオン	761.64	ミュージック・サウンド
ジ・エー・キ・フォート	761.65	ジャズ
ジ・エー・リッチ	761.642	マウンテン・ミュージック
スキップ・ジャズ	761.643	テラ・ブルース

分類番号	分類表の項目	含める年代	主要スタイル/呼称	特色
			ファンキー ソウル・ジャズ デイズ・ソウル	元はゴロ独特の体臭を意味する隠語。転じて1950年代中期の黒人ハード・バップの土臭さ、旋律的特色などをさす。 広くは黒人のブルース精神のこと。ジャズ用語としては1950年頃、ジャズ本来のダイナミックな精神面を重視しようとしたことから来た言葉。 土臭いジャズ・フィーリングの演奏(ソウル)のことという。 踊るためのソウル。⇒761.644
			クール・ジャズ	40年代末 バップ派に反発して生まれた知的で洗練されたスタイルのジャズのこと。 不協和の少ない単純なリズムに戻る 技法的にはバップの延長、ないしは拡大解釈 クールトーン(ビバブラトが極端に少ない)が特徴 より内省的な響き
			プロGRESSIVE・ジャズ	バップの手法を、40年代後半のビバップ・バントに適用 マンリ化したスウィングの打破を試みたジャズのサウンドやスタイル。概念上、 クール・ジャズと共通点が多い。
			ウェストコースト・ジャズ	1950年代初頭にロサンゼルスを本拠地として展開したジャズの総称。編 曲を重視したクール系のサウンド。 クール・ジャズのサウンドを受け継ぐ 白人ジャズ・メン プロGRESSIVEの作・編曲方法をややビビュラ化して コンボ(小編成)形式に再適用したもの
.656	アヴァンギャルド・ジャズ	1955-1970		60年代後期までに何らかのかたちで既成のジャズを打ち破ろうとした ジャズメンと実験的な諸活動
			フリー・ジャズ 関係語・ジャンル フリー・フォーム	1960年代の前衛的ジャズの総称。無調性、新しいリズム・コンポジション、ア メリカ以外の国の音楽との積極的な結びつき、集団即興演奏が特色。 調性、モードなどの前提なし コードと小節の制約ない 曲はテーマよりもモチーフによって構成される リズムの一貫性による演奏の統一感 ソロの長さか時間的に決めらる 既成のリズムや和声進行を逸脱した自由なスタイルのジャズ演奏のこと。
			モード・ジャズ	60年代 モードを即興演奏の素材とする 決められたモードによる退屈さへの対策 ・モードは変えずに中心音を変える ・中心音を変えずにモードを変える ・両方変える ・従来のコード進行とモード手法の両立
			新主流派	主流+革新
			関係語・ジャンル ニュー・ジャズ ニュー・ソング ロフト・ジャズ ファンク・ベース	1950年代以降の実験的、前衛的なジャズ。ニュー・ソングとも呼ぶ。 1960年代にニューヨークのロフトを中心に、営利目的でなく創造的な音楽を 探求したジャズの名称。 ファンク的な音楽表現のために、アクセントやうねりを強調して 演奏されるベース・ラインのこと。⇒761.645
.657	ハイブリット・スタイル	1955- 1970+	ハイブリット・ジャズ フュージョン サート・ストリーム イント・ジャズ	ジャズ以外のジャンルとのかけあわせ 他ジャンルとの融合で新生面 フュージョン音楽のスタイルを取り入れたもの クラシックとジャズの融合を目指した音楽 フュージョンやラテン諸国のダンス・リズムをとり入れたジャズ。

主要ミュージシャン	
アート・ブレイキーとジャズ・メッセンジャーズ	ホレス・シルヴァー・クインテット
ホレス・シルヴァー ミルトン・ジャクソン	アート・ブレイキーとジャズ・メッセンジャーズ
アイザック・ヘイズ コーク・アース ウィスパー	スピナス レイディオ
マイルス・デイヴィス キール・イヴァンズ ジューリー・マリガン ジョン・メイ レニー・トリスターノ	リー・コンツ ジョージ・シアリング・クインテット チェット・ベイカー ジューリー・マリガン ピアルス・カサット
スタン・クントン ピート・ルゴロ ウディ・ハーモン	ホイト・レイノーン
ロート・ラムゼイ ライオ・ハズ ジョーティ・ロバート ジミー・ジャリアー ジューリー・マリガン	チェット・ベイカー ボコ・ハミルトン
オーネット・コールマン コロムレン エリック・トムフィー ビル・テイラー アルト・アイル フレッド・サンダース アズター・シェッパ	マリオン・ブライアン トニー・チェリー アート・アンサンブル・オブ・シカゴ スティーヴ・レイシー カール・ブレイ チャーリー・ヘイデン
エリック・トムフィー オーネット・コールマン トニー・チェリー ビル・テイラー カール・ブレイ	
オーネット・コールマン	
オーネット・コールマン	
サム・リヴァース ジョー・リー・ウィルソン ラリー・クラム レイス・ジョンソン	ラジット・アリ マーティ・ミラー
ジョン・メイ モダン・ジャズ・カルテット	カンサー・ジュラー
ディジー・ガレスピー	スタン・クントン楽団

スコビー・ワズ	761.663	ハート・ロック
スタリスティック	761.644	ファイティン・ファイア・サウンド
スタン・クントン	761.655	フロック・レック・ジャズ
スタン・クントン楽団	761.655/ .657/.65	イヴ・エウヨン/イント・ジャズ/ ジャズ
スティーヴ・レイシー	761.656	1955-70のジャズ
スパイダース	761.663	グループ・サウンド
スピナス	761.655	ティスコ・ソウル
スパーキー・トウズ	761.663	ハート・ロック
スリー・デイヴ・リーズ	761.644	ファイティン・ファイア・サウンド
セシル・テイラー	761.663/.664	サーフ・ミュージック/ハワイアン・ロック
セシル・テイラー	761.656	1955-70のジャズ/フリー・ジャズ
セックス・ビストリス	761.664	パノク/ロンドン・パノク
セシル・オ・メンデス	761.66	イント・ジャズ
セロニアス・モンク	761.655/.65	ハップ/ジャズ
ソニー・ロジャース	761.655	ハート・ハップ
タイガース	761.663	グループ・サウンド
ターク・マフィー	761.655	ニュー・オーリンズ・ジャズ
タット・タムロン	761.65	ジャズ
タム・タム	761.664	ロンドン・パノク
タンジエリン・トリム	761.664/.64	フロック・レック・ロック/1-0-0-ロック/ テクノクラート
チェット・ポポフ	761.642	ナッシュビル・サウンド
チェット・ベイカー	761.655	グループ・ジャズ/ウエストコースト・ジャズ
ボコ・ハミルトン	761.655	ウエストコースト・ジャズ
チャック・ベリー	761.662	ロック・ロール
チャーリー・クリステン	761.65/.655	ジャズ/ハップ/ヒー・ハップ
チャーリー・パーカー	761.655	ハップ
チャーリー・パーカー	761.65	ジャズ
チャーリー・ヘイデン	761.656	1955-70のジャズ
チャーリー・マッコイ	761.642	ナッシュビル・サウンド
チャイキ・シラント ジャック・ブローカーズ	761.653	ジャック・ハント
ディジー・ガレスピー	761.655/.65 /.657	ハップ/ジャズ/イント・ジャズ
ディジー・ガレスピー楽団	761.65	ジャズ
ディック・クラーク・ファイブ	761.663	リヴァーブ・グループ
ディープ・パープルス	761.664/.665	フレンチ・ジャズ・ロック/ヘビィ・メタル
ディック・イット・ホワイ	761.664	クラム・ロック
ディック・ニュージエント	761.663	ハート・ロック
ディック・ホーウェル	761.665	サイケデリック・グループ
ディック・エリフソン楽団	761.65	ジャズ
ディック・カズ	761.663	スワップ・ロック
ディック・カズ	761.663	グループ・サウンド
トニー・サマ	761.64	ミュージック・サウンド
トニー・サマ	761.653	ジャック・レック
トニー・サマ	761.644	ファイティン・ファイア・サウンド
トニー・サマ	761.64	グループ・サウンド
トニー・チェリー	761.656	1955-70のジャズ/フリー・ジャズ
トニー・レックマン	761.65	ジャズ
ニック・ロジャ	761.653	ディキシーランド
ニュー・ライヴ・オブ グループ・セイ	761.664	ウエストコースト・ロック
ニューヨーク・ブルズ	761.664	ニューヨーク・ロック
ロウリー・リトル	761.653	トランジショナル・ジャズ
ロウリー・リトル	761.653	シカゴ・ジャズ
ロウリー・リトル	761.664	ニューヨーク・ロック
ロウリー・リトル	761.662	ロウリー
ロウリー・リトル	761.653	ディキシーランド
ロウリー・リトル	761.653	アメリカン
ロウリー・リトル	761.644	ファンク・ロック
ロウリー・リトル	761.655	ウエストコースト・ジャズ
ロウリー・リトル	761.645	ファンク
ロウリー・リトル	761.655	グループ・ジャズ
ロウリー・リトル	761.663	リヴァーブ・グループ
ロウリー・リトル	761.64	レック
ロウリー・リトル	761.663	ネット・ロック
ロウリー・リトル	761.643	ディキシーランド
ロウリー・リトル	761.655	フロック・レック・ジャズ/ジャズ
ロウリー・リトル	761.663	リヴァーブ・グループ

別表1d: ロックの細分(様式と時代の組み合わせ)

分類番号	分類表の項目	含める年代	主要スタイル/呼称	特色
761.66	ロック		関係語・ジャンル ファンク・ロック ソフト・ロック ラテン・ロック	ロック・ロールの短縮形。とりわけ1960年代以降の反体制・反社会音楽。R&B、C&Wの混合に多分野の音楽が入り込んでロックとして定着。 →761.644 ラテン・アメリカ音楽のリズムやスタイルとロック・リズム、フィリクが混合した音楽。
.662	初期のロック カントリー&ウ スタン(白人) &リズム& ブルース(黒 人)の融 合	-1959	ロックの起源はここ ロカビリー(50年代) ロック・ロール (50年代後半) 関係語・ジャンル ロック・ン・ロール ヒップ	1950年代のポップスのひとつ。アメリカン・ミュージック・イッセスをもとに作り上げられた音楽。 ロック・アクト・ロール(rock and roll)の略称。ロカビリー・ロック・ロール・ロックという3段階のヒート・ミュージックの発展過程の中間の呼び名。 シングルで力強いメロディとコード。ゴキウ編成の演奏。 日常的な関心事を歌詞にする。ワイルドなイメージ。 ロック・ロール+甘いロカビリー 1940~50年代アメリカのヒートヒクのスタンク。自らの価値観、行動様式を持つ者、またその意識自体を指す。形容詞的に使われる場合もある。 60年代の〈ヒート〉の語源でもある
.663	フレッシュ・ ロックの時代	-1969	ロック リヴァーブ・ロック フレッシュ・ヒート ヒート・ポップ フォーク・ロック ハード・ロック アム・ロック サイケデリック・サウンド ドラッグ・ミュージック アラス・ロック スパン・ロック ザパン・ロック ニュー・ロック ウット・ストック グループ・サウンド 関係語・ジャンル サーフ・ミュージック ネット・ロック モッズ モッシー・ロック	ロック・ロールとほぼ同義。表現がよりハードで洗練されている。 ヒート・リズムを機に登場したリヴァーブ出身のヒート・ポップ・グループの総称。 ロック・ロール、R&Bがヒートのポップス。リヴァーブ・ロック、モッズが代表。 アメリカ市場へ次々と送り込まれた。 思想的、プロテスト・ソング →761.645 サイケデリックやヒート・ロックの域には入らない、ヒートのきいた激しいサウンドのロック。ギター主導。 60年代中期のLSD(アシッド)流行期にサンフランシスコ中心に起きたロック。LSDによる陶酔感や幻覚を連想させる。躍動感がない。 幻覚を引き起こすような音楽。 幻覚体験をもとにして作られた音楽。あるいはドラッグによる幻覚体験を思い起こさせるような音楽。サイケデリック・サウンドに近い。 ザパン・ロック系の泥臭いサウンド。 アメリカの南部の泥臭いロック。ソロニア・スピリットを思わせるサウンドが多い。 1960年代末にイギリス、ニューヨーク等で同時多発的に登場したサイケデリックなステージングを見せるグループの演奏。 1969年 アメリカン・ロックの総決算 イギリスのヒート派やR&Bグループの影響を受けて続々と登場した和製ロック・グループの総称。 →761.664 ノイズ・ロック サーフィン・爽快感・楽しさにマッチする音楽。 1960年代初頭、アメリカのカリフォルニアで流行。サーフ・ミュージックとも呼ばれる。 1950年代末にイギリスに現われ、60年代に目立った若者の集団。大半は中産階級の若者たちで、短髪、ジャケット、細いストッキングというスタイル。当時暴力的なプレイをしていたサーフをアイドルとしていた。 社会的な抗議・生活信条を歌に託し、積極的に伝えるためのロック。 1960年代後半が最盛期。
.664	多様化時代	-1979	フレッシュ・ハード・ロック フレッシュ・ブルース・ロック	1970年頃イギリスで起きたロック。R&Bを基盤に、ハードでスピード感がある大音量の演奏。ギタリストをメインに押し出したサウンドと、硬質で高音部を強調したヴォーカル。アメリカン・ハード・ロックに比べ、重く、湿った感じ。

主要ミュージシャン	
セルジオ・メンデス	
リトル・チャート ビル・ヘイリー リック・ワイルソン リトル・リチャード チャック・ベリー ホー・ディートリー ファッツ・トミノ	バディ・ホリー エルヴィス・プレスリー ビル・ヘイリー&コメッツ
ビートルズ (初期) デヴィッド・クラーク・ファイブ ビースメイヤーズ	リッツヤーズ アエラス
スプーキー・トゥース フリー ジミ・ヘントリック	スコビー・オンズ テット・ニュージエント
ビートルズ グリーム グレイブル・テット ビートルズ	ジェファソン・エアプレイ
テラコ・8本 レオン・ラッセル エルフ・アラガース・バンド レーナート・スギナート	クリテンス・クリアー・ウォーター リグ・テイワール ZZトップ
タイガース テンアスター	スリイターズ ブルー・コメッツ
セシリア・カネノ カラハナ ジーン・アント・ディーン サーファーズ ザ・フー ジヤム	ビーチ・ボーイズ
ディープ・パープル レッド・ゼッパリン	

ヒューマン・リーグ	761.64	テクノ・ポップ
ビル・ヘイリー	761.662	ロカビリー
ビル・ヘイリー&コメッツ	761.662	ロックンロール
ビル・モロ	761.642	ブルークラス
ビル・リーズ	761.642	ビルドリー
ビートルズ	761.663	サイケデリック・サウンド / トランプ・ミュージック / プロダクション・ロック
	761.664	ニューヨーク・ロック
ファグ	761.664	ロックンロール
ファッツ・トミノ	761.662	1955-70のジャズ
ファラオ・サンダーズ	761.656	ファンク・ロック
ファンカデリック	761.644	フーナシー
フィル・ネックス	761.645	リノ・ホート・ジャズ
フェイト・フアラ・バンド	761.653	アソ・ロック
フェラ・アリカ70	761.664	フォーク
フォークソング	761.645	フォーク
フー・チーズ・バンド	761.644	フォーク・ロック
フー・ザ・バンド	761.645	フォーク
フラス・サバース	761.665	ヘビメタ
フリー	761.663	ハード・ロック
フリンズ・レー・ジュワル	761.664	ハード・ロック
ブルー・クラス・ボーイズ	761.642	ブルークラス
ブルー・コメッツ	761.663	グループ・サウンド
フレッチャー・ハンター・ソノ楽団	761.65	ジャズ
フロイト・クレイマー	761.642	ジャズ・ロック・サウンド
グレイ・アンティ・カーク楽団	761.653	カンザス・シティ
グレイ・カター	761.65	ジャズ
グレイ・グットマン楽団	761.653	ジャズ・ロック
グレイ・モチオン	761.653	カンザス・シティ
グレイ・ハット・アンダー・カウント	761.664	ハード・ロック / ニューヨーク・ロック
グレイ・ウェブスター	761.653 / .65	カンザス・シティ / ジャズ
ハンリー・ガ	761.664	プロダクション・ロック
ホー・ディートリー	761.662	ロックンロール
ホー・ディートリー・バンド	761.655	プロダクション・ジャズ

分類番号	分類表の項目	含める年代	主要スタイル/呼称	特色
			クラム・ロック ガブ・ロック アロケック・ロック パンク グレイト・ アンド・グランド アメリカ・グラム ストリート・ロック	魅惑的なロックの意。1972年頃イギリスを中心にブームを呼んだロック。中性的な雰囲気や派手に装い、激しいステージ・アクションで強烈な視覚的效果を狙った。一種の世紀末的文化。 1972-75年のイギリスのムーブメント。小さな酒場などで簡単な機材によって演奏されたロック。R&B、あるいはビート・ポップ系のものが主体。 エキゾチック主導型のロック（ハード・ロックはギター主導）。おおがかりな機材を用いて演奏され、シンセサイザー類を使用した。
			関係語・ジャンル ノヴァ・ロック アンド・オリエンタル・ ロック アロ・ロック ロンドン・パンク ニューヨーク・ロック クリストマス・ロック カントリー・ロック ヨーロ・ロック クラシカル・ロック ノー・アリン・ミュージック ノヴァ・ロック	⇒761.663 サーフ・ミュージック クリストマス・ロックに影響されて誕生した独自のロック。サーフ・ミュージックが代表。南国特有の明るさと、ゆっくりとしたリズム感覚が特徴。 大人の鑑賞用ロック。従来の若者文化としてのロックに比べ落ち着いたサウンド アフリカ音楽に影響を受けたロック。 100クラブを中心に、ロンドンの若者が生みだしたストーン感最大の武器とするロック。 ニューヨークのロック、とくにニューヨーク・アンド・グランド・ロックを指す。常に新しい時代の先頭を走るサウンド・コンセプトをもったアーティストを輩出。 おもにサンフランシスコ、ロスアンゼルスを起点として生まれたロック。カントリー・サウンドなどと類似の言葉。カントリー・ミュージックの流れを汲むものが多く、ユースなどに特徴。1960年代後半のヒッピー・ムーブメントによってクロス・アップされた、アメリカの新しいサウンド・コンセプトを基本的に抱え続けている。 近年はニュー・ウェイブ系の活動が活発化。 カントリー・アートのリスに、ロック・ミュージックが結合したもの。 イギリス以外のヨーロッパに生まれたロック。全盛期の中心はフランス、ドイツ、イタリア。 古典音楽の手法との結合。アロケック・ロック・アーティスト達が目指した。新楽器やシンセサイザーの使用で、少人数で大編成に匹敵するオーケストレーションを作り上げた。ヨーロッパに多かった。 頭のカッコイイ音楽の意。つまらない音楽に対して冠したもの。 1960年代末のポップ・ロックの一大潮流。ハードで単純な内容の風船がムのような楽しいロックという意。
.665	80年代 以後のロック	1980-	ヒート・メタル スラッシュ・メタル ラップ ヒップ・ホップ ブラック・ロック 関係語・ジャンル サイケデリック・ダブ	ヒートでメタリックなものを感じさせるロック。ギター志向のハード・ロックの流れを汲む。金属的なギターの音、叫ぶヴォーカル、スイング感のないリズム 破壊的・暴力的イメージ 80年代末、黒人 1970年代末のイギリスの音楽潮流。レゲエ・ミュージックの一つの形であるダブ・レゲエがより都市的に発展したもの。サイケデリック・ロックとダブ・レゲエの方法論の一つにしたもの。生音に電氣的処置を施し、より幻想的、心理的サウンドを作り上げる方法論。

主要ミュージシャン	
デヴィッド・ボウイー アリス・クーパー マーク・ボラン Dr. フィールド フリンズ・レー・ジョナル ハンリー・カウ ジョン ビートルズ EL&P ハムレット・ファンク・バンド イギー・ポップ & ストーンズ セックス・ピストルズ ラモンズ	Tレックス EIZ タンジエリン・トリーム フレア アンジュ
カラオケ セリフ&カキノ フェリス・フリガ70 セックス・ピストルズ クラッシュ ハムレット・ファンク・バンド フグス ニューヨーク・ムズ ジエファソン・スターシップ クリトニス クレイトフル・デット ホコ アウトローズ PFM タンジエリン・トリーム ELP PFM 1910ブルーツグム・カパニー オハイオ・イースト	イクゼイル・ワフ サム ゴックス ハチ・スミス ZELベールのアーティストたち イギリス ニュー・ライヴ・ズ・オブ・ ハーフ・サイズ
ホコ アウトローズ PFM タンジエリン・トリーム ELP PFM 1910ブルーツグム・カパニー オハイオ・イースト	クイーン・ジエングス クラフトワーク
レット・ウェット・リン ディープ・パープル ブラス・バンド ジョン・フォックス XTC デニス・ホーグ・エル	ジュダス・アリス AC/DC

ホコ	761.664	カントリー・ロック
ホズ・スキャグス	761.64	ソフト・ロック・バンド
ホア・ディラン	761.645	フーテンー／フォーク／フォーク・ロック
ホー・モリア クランツ・オーグストラ	761.63	ムートン・ミュージック
ホレス・シルヴァ	761.655	ノット・ハップ／ソウル／イマジネーション
ホレス・シルヴァ・クインテット	761.655	イーストコースト・ジャズ／ファンキー
マイク・フランクス	761.64	シティ・ミュージック
マイク・ディヴィス	761.655	ノット・ハップ／クール・ジャズ
マーク・ボラン	761.664	グラム・ロック
マクレー・スピア	761.653	シカゴ・ジャズ
マックス・ローチ	761.655	ノット・ハップ
マリア・ジャクソン	761.65	ゴスペル・ロック
マズ&ハリス	761.64	サンフランシスコ・サウンド
マリアン・ブライク	761.656	アヴァンギャルド・ジャズ／ 1955-70のジャズ
マヒナ・レイナルズ	761.645	フーテンー
ミルトン・ジャクソン	761.655	ソウル
メンフィス・シヤグ・バンド	761.653	シヤグ・バンド
モダン・ジャズ・クオartet	761.657	サート・ストリーム
ライト・ノイズ	761.655	ウェストコースト・ジャズ
ライトニング・ボク	761.643	カントリー・ブルース
ラッシュ・アリ	761.656	ロフ・ジャズ
ラモンズ	761.664	ロック
リー・コング	761.655	クール・ジャズ
リー・モーガン	761.655	ノット・ハップ
リック・ネクソン	761.662	ロカビー
リッチ・キース	761.64	ハワー・ホップ
リトル・リチャード	761.662	ロカビー／ロック・ロール
ルー・ワットス	761.655	ニューオーリンズ・ジャズ
ルイ・アムストロング	761.653	リハー・ホート・ジャズ
レイディ・オ	761.655	デヴィス・ソウル
レオン・ハフ	761.644	フィラデルフィア・サウンド
レオン・ラッセル	761.663	スワップ・ロック
レスター・ヤング	761.653 / .655	カンサス・シティ／ハップ
レット・ウェット・リン	761.664 / .665	アヴァンギャルド・ロック／ハード・ロック
レーナート・スネート	761.663	サザン・ロック
レニー・ヒューズ	761.655	クール・ジャズ
ロイト・グリーン	761.642	ナッシュビル・サウンド

分類索引データ入力マニュアル

全般的事項

項目	説明																																																								
1. 区切り記号の入力方法	<p>■次の原則により入力する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区切り記号</th> <th>フィールド</th> <th>入力方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>, (コンマ)</td> <td></td> <td>後ろ1字あけ</td> <td rowspan="3">・空ける後にすぐ次のサブフィールドの記号がくる場合にはそのスペースは省略する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">() (丸括弧)</td> <td>A7X, C70, E7X</td> <td>前後1字空け</td> </tr> <tr> <td>B7X</td> <td>前後とも空けない</td> </tr> </tbody> </table>	区切り記号	フィールド	入力方法	備考	, (コンマ)		後ろ1字あけ	・空ける後にすぐ次のサブフィールドの記号がくる場合にはそのスペースは省略する。	() (丸括弧)	A7X, C70, E7X	前後1字空け	B7X	前後とも空けない																																											
区切り記号	フィールド	入力方法	備考																																																						
, (コンマ)		後ろ1字あけ	・空ける後にすぐ次のサブフィールドの記号がくる場合にはそのスペースは省略する。																																																						
() (丸括弧)	A7X, C70, E7X	前後1字空け																																																							
	B7X	前後とも空けない																																																							
2. 標目の種類別取扱方法	<p>○…入力する △…場合により入力する ×…入力しない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入力項目</th> <th>分類索引レコード</th> <th>参照レコード</th> <th>項目見出しレコード</th> <th>補助レコード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">固定画面の項目</td> <td>7. 標目レベル(コード)</td> <td>a~j</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>8. 標目区分(コード)</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">タグ付き入力項目</td> <td>標目で使用するTAG</td> <td>A70</td> <td>A70</td> <td>A72</td> <td>A74</td> </tr> <tr> <td>C44 典拠レコード・リンク</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>C70 分類標目を構成するファセット</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>C76 デューイ十進分類番号</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>C77 日本十進分類番号</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>C78 LC分類番号</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>C79 楽器分類番号</td> <td>△</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>E7X 参照語</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	入力項目	分類索引レコード	参照レコード	項目見出しレコード	補助レコード	固定画面の項目	7. 標目レベル(コード)	a~j	a	a	8. 標目区分(コード)	a	b	c	d	タグ付き入力項目	標目で使用するTAG	A70	A70	A72	A74	C44 典拠レコード・リンク	△	×	×	×	C70 分類標目を構成するファセット	△	×	×	×	C76 デューイ十進分類番号	○	×	×	×	C77 日本十進分類番号	△	×	×	×	C78 LC分類番号	△	×	×	×	C79 楽器分類番号	△	×	×	×	E7X 参照語	△	△	△	△
入力項目	分類索引レコード	参照レコード	項目見出しレコード	補助レコード																																																					
固定画面の項目	7. 標目レベル(コード)	a~j	a	a																																																					
	8. 標目区分(コード)	a	b	c	d																																																				
タグ付き入力項目	標目で使用するTAG	A70	A70	A72	A74																																																				
	C44 典拠レコード・リンク	△	×	×	×																																																				
	C70 分類標目を構成するファセット	△	×	×	×																																																				
	C76 デューイ十進分類番号	○	×	×	×																																																				
	C77 日本十進分類番号	△	×	×	×																																																				
	C78 LC分類番号	△	×	×	×																																																				
	C79 楽器分類番号	△	×	×	×																																																				
	E7X 参照語	△	△	△	△																																																				
3. タグ付き入力項目(可変長データ・フィールド)で使用する文字	<p>■下記を厳格に守ること</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サブ・フィールド記号</th> <th>使用する文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字</td> <td rowspan="2">半角(スペースも含めて)</td> </tr> <tr> <td>アルファベット小文字</td> </tr> <tr> <td>アルファベット大文字</td> <td>全角(スペースも含めて)</td> </tr> </tbody> </table>	サブ・フィールド記号	使用する文字	数字	半角(スペースも含めて)	アルファベット小文字	アルファベット大文字	全角(スペースも含めて)																																																	
サブ・フィールド記号	使用する文字																																																								
数字	半角(スペースも含めて)																																																								
アルファベット小文字																																																									
アルファベット大文字	全角(スペースも含めて)																																																								

固定画面の項目

★…システムによる自動入力項目

データ項目	桁数	右 左詰	不使 用桁	ファセット位置	解 説																						
1. ID番号	9	左	なし	001	<p>★ ※データ入力後 [F10] により自動付番される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ファセット番号</th> <th>文字数</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>c=分類索引レコード</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>西暦年の下2桁</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5</td> <td>その年の通し番号</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1</td> <td>「モジュラス11」による</td> </tr> </tbody> </table>	ファセット番号	文字数	説 明	1	1	c=分類索引レコード	2	2	西暦年の下2桁	3	5	その年の通し番号	4	1	「モジュラス11」による							
ファセット番号	文字数	説 明																									
1	1	c=分類索引レコード																									
2	2	西暦年の下2桁																									
3	5	その年の通し番号																									
4	1	「モジュラス11」による																									
2. 引用分類	9	左	6	009	<p>■その分類索引レコードが引用する別の分類索引レコードのレコード識別子 (ID番号) を収める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常、その項目の番号に対してさらに番号を付加する方法を示している分類索引レコードのID番号を入力する。 ・構造は「1. ID番号」と同じ。 																						
3. ステータス	1			RL/5	c=訂正レコード d=削除レコード n=新規レコード																						
4. 入力日	8			100/9a/0~7	★																						
5. 処理日	14			190/9a/0~13	★																						
6. 書誌レベル	1			RL/7	w=分類標目																						
7. 標目レベル	1			100/9a/9	<p>■標目中のファセットの付加レベルを示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>レベル</th> <th>付加ファセット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>主ファセットレベル</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>付加ファセット1レベル</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>付加ファセット2レベル</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>付加ファセット3レベル</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>付加ファセット4レベル</td> </tr> <tr> <td>f</td> <td>付加ファセット5レベル</td> </tr> <tr> <td>g</td> <td>付加ファセット6レベル</td> </tr> <tr> <td>h</td> <td>付加ファセット7レベル</td> </tr> <tr> <td>i</td> <td>付加ファセット8レベル</td> </tr> <tr> <td>j</td> <td>付加ファセット9レベル</td> </tr> </tbody> </table>	レベル	付加ファセット	a	主ファセットレベル	b	付加ファセット1レベル	c	付加ファセット2レベル	d	付加ファセット3レベル	e	付加ファセット4レベル	f	付加ファセット5レベル	g	付加ファセット6レベル	h	付加ファセット7レベル	i	付加ファセット8レベル	j	付加ファセット9レベル
レベル	付加ファセット																										
a	主ファセットレベル																										
b	付加ファセット1レベル																										
c	付加ファセット2レベル																										
d	付加ファセット3レベル																										
e	付加ファセット4レベル																										
f	付加ファセット5レベル																										
g	付加ファセット6レベル																										
h	付加ファセット7レベル																										
i	付加ファセット8レベル																										
j	付加ファセット9レベル																										
8. 標目区分	1			100/9a/11	<p>■そのレコードの種別を示す</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>分類索引レコード</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>参照レコード (説明付き参照レコード)</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>項目見出しレコード (別個に入力する説明つきレコード)</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>補助表レコード</td> </tr> </tbody> </table>	a	分類索引レコード	b	参照レコード (説明付き参照レコード)	c	項目見出しレコード (別個に入力する説明つきレコード)	d	補助表レコード														
a	分類索引レコード																										
b	参照レコード (説明付き参照レコード)																										
c	項目見出しレコード (別個に入力する説明つきレコード)																										
d	補助表レコード																										
9. 固有名	1			100/9a/14	<p>■分類標目に固有名 (個人名、団体名) が含まれているかどうかを示す。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>固有名を主ファセットとして含む</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>固有名を付加ファセットとして含む</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>固有名を分類標目以外のデータとして含む (例: フィールドC70に現れる)</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>固有名を含まない</td> </tr> <tr> <td>x</td> <td>適用外</td> </tr> </tbody> </table>	a	固有名を主ファセットとして含む	b	固有名を付加ファセットとして含む	c	固有名を分類標目以外のデータとして含む (例: フィールドC70に現れる)	d	固有名を含まない	x	適用外												
a	固有名を主ファセットとして含む																										
b	固有名を付加ファセットとして含む																										
c	固有名を分類標目以外のデータとして含む (例: フィールドC70に現れる)																										
d	固有名を含まない																										
x	適用外																										
10. 完全性レベル・コード	1			100/9a/18	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>完全な分類索引レコード</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>メモとして作成した分類索引レコード (資料的根拠のない分類索引レコード)</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>不完全な分類索引レコード</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>分類標目以外が不十分な分類索引レコード</td> </tr> <tr> <td>x</td> <td>適用外 (分類索引レコードでない)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>未定義</td> </tr> </tbody> </table>	a	完全な分類索引レコード	b	メモとして作成した分類索引レコード (資料的根拠のない分類索引レコード)	c	不完全な分類索引レコード	d	分類標目以外が不十分な分類索引レコード	x	適用外 (分類索引レコードでない)	6	未定義										
a	完全な分類索引レコード																										
b	メモとして作成した分類索引レコード (資料的根拠のない分類索引レコード)																										
c	不完全な分類索引レコード																										
d	分類標目以外が不十分な分類索引レコード																										
x	適用外 (分類索引レコードでない)																										
6	未定義																										
11. 標目状態	1			100/9a/19	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>a</td> <td>標目は使用できる</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>標目は改訂中または再考中のため使用できない。 (むすの2274 (加加) も含む) にその標目が使用できないことを知らせる役割をする</td> </tr> </tbody> </table>	a	標目は使用できる	b	標目は改訂中または再考中のため使用できない。 (むすの2274 (加加) も含む) にその標目が使用できないことを知らせる役割をする																		
a	標目は使用できる																										
b	標目は改訂中または再考中のため使用できない。 (むすの2274 (加加) も含む) にその標目が使用できないことを知らせる役割をする																										
12. 地理区分	1			100/9a/20	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>地理区分しない</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>直接地理区分</td> </tr> <tr> <td>i</td> <td>間接地理区分</td> </tr> <tr> <td>x</td> <td>適用外 (すでに地理区分されているものも含む)</td> </tr> </tbody> </table>	6	地理区分しない	d	直接地理区分	i	間接地理区分	x	適用外 (すでに地理区分されているものも含む)														
6	地理区分しない																										
d	直接地理区分																										
i	間接地理区分																										
x	適用外 (すでに地理区分されているものも含む)																										
13. 改変 [レコード・コード]	1			100/9a/20	<p>■マシンのキャラクタ・セットにない文字 (外字) の有無を示す。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>外字なし</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>外字あり</td> </tr> </tbody> </table>	0	外字なし	1	外字あり																		
0	外字なし																										
1	外字あり																										
14. 目録言語	3			100/9a/22~24	■「jpn」を入力する。																						

タグ付き入力項目

タグ	形式	フィールド名	レコードタイプ	説明 (●: フィールドの説明 / ○: フィールド等の典型例)
180	b 0 1 2 3 a b c	レコード作成機関・訂正機関 目録作成機関 機械可読形に変換した機関 訂正機関 頒布機関 国コード (190-3166) (2字) 機関コード (JISコード) 処理日 (8字)	R	■このフィールドには下記の情報を取る。 ・データ作成館 ・機械可読形に変換した機関 ・原レコード/データを訂正した機関 ・そのレコードを頒布した機関 ●180 b0 \$aJP\$bDMS# ●180 b0 \$aJP\$bDMS\$c19900712# 180 b2 \$aJP\$b206100#c19900810# (ダイソメディアサービスが1990年7月12日に作成し、国立音楽大学が1990年8月10日に訂正した。)
A70	0 1 b a T t	分類標目 分類標目としてのみ使用する 分類標目とともに見出しとして も使用する AVMC番号 統一語 (表示用) ディスクリプタ (ヨミ)	N	■このフィールドには分類標目とその項目名の統一語 (ディスクリプタ) を収める。 ◆参照レコードを入力する場合もこのフィールドを使用する。 ■AVMC番号の入力 ◆短縮番号を作成するための区切り箇所を示すプライム (') の挿入 ・合成番号を入力する場合のみ、ファセットの接合箇所へ挿入する。 (ただし、2つ以上の並列的な独奏楽器のファセットを組み合わせている場合、それらの間には挿入しない。) ・プライムがAVMC番号の3桁目と4桁目の間のピリオドと同一の位置になる場合には、プライムをピリオドの前に置く。 ■統一語の入力 別紙「分類索引データの索引語 (統一語および参照語) の入力基準」を目安にして入力する。 ■ディスクリプタの入力 ・ここには統一語の読みを入力する。 ・ヨミ作成 (および分かち書き) の基準 ①AUMARCシステムにおける日本語アクセスポイントのかな表記基準 (「AUMARCマニュアル: フォーマット編」付録-B) ②「日本目録規則1987年版」第II部標目、付則1: 片かな表記法 ●A70 0b \$a764.2'72'186\$Tヴァイオリン協奏曲\$tヴァイリン フォウクホク ●A70 0b \$a764.1825\$T変奏形式 (器楽)\$tヴァンウ ケイシキ ホクク ●A70 0b \$a764.724'283228522858'196\$Tフルートとオーボエ、バスーンの協奏曲 (弦楽オーケストラ)\$tフルート オーボエ バスーン フォウクホク ケンカク オークストラ#

TAG	IND		SF	フィールド名	完 全 レ ン ガ ル	説 明 ／ 実 例 (● フィールドの説明 ● フィールド等の典型例)	
	1	2					
A72	0 1			項目見出し標目 単一番号 範囲を示す複数番号 a --- 最初の (AUC) 番号 b --- 2番目の (AUC) 番号 T --- 項目名 (表示用) t --- ディスクリプタ (ヨミ)	N n n n	<p>■このフィールドにはAUCの項目見出しとして用いる標目を収める。</p> <p>◆オンライン・モードのAV/MARCシステムでは、分類表の利用マニュアルの一部としても機能する。</p> <p>●A72 18 \$a760.262\$b760.265\$t楽譜\$tがワキ</p>	
A74		\$ \$		補助表標目 a --- 番号 T --- 項目名 (表示用) t --- ディスクリプタ (ヨミ) n --- 補助表コード	N n n n n	<p>■このフィールドにはAUCとともに用いる補助表の標目を収める。</p> <p>●A74 88 \$a296\$tユダヤ教\$t1.197m\$y7n7#</p> <p>●A74 88 \$a43214\$tドレスデン地方\$t"レス"ン \$y7n2#</p>	
B70		\$ \$		分類番号の使用に関する注記 A --- 注記の本文 b --- 引用分類番号	R r r	<p>■このフィールドには分類番号の使用に関する注記を収める。</p> <p>■注記の中の分類番号はサブフィールド\$bを使用して半角で入力する。</p> <p>・注記の中の原綴も上記に準じ、\$bを使用して半角で入力する。</p> <p>●B70 88 \$a特定の伝統を強調した著作# B70 88 \$aAV/MARCでは日本伝統音楽(邦楽)以外の音楽伝統を\$b761-768 \$aにおさめ、日本伝統音楽は\$b769\$aに収める#</p>	
B71		\$ \$		分類番号合成に関する注記 A --- 注記の本文 b --- 引用分類番号	R r r	<p>■このフィールドにはその分類標目に別のファセットを付加するための注記を収める。</p> <p>●B71 88 \$b761.2-761.8\$aでの指示に従って付加する#</p>	
C44		\$ \$		典拠レコード・リンク 3 --- 典拠レコードのレコード番号	R n	<p>■このフィールドにはAV/MARCシステム内で分類索引レコードとリンクしている典拠レコード番号を収める。</p> <p>●C44 88 \$a83000860:Concertos (Violin with string orchestra) [LCSH] # ↑この部分は左の番号を入力するとシステムが自動的に表示する</p>	

種別	種別	種別	フィールド名	種別	説明 / 実例 (● フィールドの説明 ● フィールド等の典型例)
C70			分類標目を構成するファセット	R	<p>■このフィールドには分類標目を構成している各ファセットを収める。</p> <p>◆役割…PRECIS索引作成のため。</p> <p>■A70が主ファセットのみから成り、付加ファセットを含まない場合はC70の入力は不要。</p> <p>■入力方法</p> <p>◆ファセットごとに1フィールド使用して入力する。</p> <p>◆レコード単位の入力順序…「広い→狭い概念」(≒分類番号順)</p> <p>◆言葉を入力するサブフィールドは、その言葉の種類に応じて選択する。</p> <p>◆各フィールド内のサブ・フィールドの入力順序…\$a→\$T/\$Y/\$Z→\$t/\$y/\$z→(\$n)</p> <p>●C70 12 \$a764.186\$T協奏曲形式\$tオケストラ\$ケイネチ C70 10 \$a764.76\$T弦楽オーケストラ\$tケガク\$オケストラチ C70 11 \$a767.2\$Tヴァイオリン\$tヴァイオリンチ</p> <p>◆補助表番号の入力方法…次の実例のように入力すること</p> <p>●A70 06 \$a764.72'852'186'0945'09032\$T1600年頃-1750年頃のイタリアのオーボエ協奏曲 (弦楽オーケストラ) \$t1600 年 00 1750 年 00 / イタリア / オ-ホ-I オケストラ\$ケガク\$オケストラチ C70 14 \$a768.9832\$T1600年頃-1750年頃\$t1600 年 00 1750 年 00 年 C70 13 \$a45\$Yイタリア\$tイタリア\$ケガク\$オケストラチ C70 12 \$a764.186\$T協奏曲形式\$tオケストラ\$ケイネチ C70 10 \$a767.72\$T弦楽オーケストラと特定の1つの独奏楽器\$tケガク\$オケストラト\$トライノ\$トノ\$ト\$ケガク\$ガットチ</p>
	0 1		検索項目とはしない 検索項目とする		
	0 1 2		主ファセット 付加ファセット1 付加ファセット2		
	3 4 5		付加ファセット3 付加ファセット4 付加ファセット5		
	6 7 8		付加ファセット6 付加ファセット7 付加ファセット8		
	9 0		付加ファセット9 分類標目中では直接的なファセットではない		
	a	AVMC番号	n		
	T	普通名詞句 (表示用)	n		
	P	固有名詞 (表示用)	n		
	Y	地名 (表示用)	n		
	Z	時代 (表示用)	n		
	t	普通名詞句 (ヨミ)	n		
	p	固有名詞 (ヨミ)	n		
	y	地名 (ヨミ)	n		
	z	時代 (ヨミ)	n		
	n	補助表番号 (長さ1字)	n		
★各種オーケストラと特定の1つの独奏楽器の場合のC70の入力					
各種オーケストラとの番号の合成方法				C70の入力	
				AVMC番号	項目名 (普通名詞句)
764.2	オーケストラ	+ (768-8)	764.2	オーケストラ	} と特定の1つの独奏楽器
764.3	室内オーケストラ	} + (21) + (768-8) ↑ ここまでを主 ファセットと して扱う	764.32	室内オーケストラ	
764.4	軽オーケストラ		764.42	軽オーケストラ	
764.44	学校オーケストラ		764.442	学校オーケストラ	
764.46	玩具を含むオーケストラ		764.462	玩具を含むオーケストラ	
764.48	ダンスバンド		764.482	ダンスバンド	
764.6	鍵盤、機械、電子、 打楽器バンド		764.62	鍵盤、機械、電子、打楽器バンド	
764.68	打楽器バンド		764.682	打楽器バンド	
764.7	弦楽オーケストラ		764.72	弦楽オーケストラ	
764.8	管楽バンド		764.82	管楽バンド	
764.83	マーチングバンド		764.832	マーチングバンド	
764.84	軍楽隊		764.842	軍楽隊	
764.89	木管バンド		764.892	木管バンド	
764.9	ブラスバンド		764.92	ブラスバンド	

ID	Ind.		SF	フィールド名	ルビ タイプ	説明 / 実例 (● フィールドの5桁目 ● フィールド等の典型例)
	1	2				
C76	k	k		デューイ十進分類番号 (DDC)	R n n	<p>■このフィールドにはデューイ十進分類法 (DDC) による分類番号を取める。</p> <p>◆項目見出し機目の分類索引レコードの場合にはこのフィールドの入力は行わない。</p> <p>◆AUMCの大部分はDDC20を基にし、780番台から789番台に移したものであるため、多くの場合AUMC番号を780番台に戻したものがここに入力されることになる。ただし、DDC20:780の体系に変更を加えている次の箇所はそれとは別なので、注意を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・761.63~.67 ポップスの部分 ・764.2~.9 各種オーケストラの部分 ・764.2×××186 (フル・) オーケストラの協奏曲 ・音楽以外の分野の番号と合成された番号 ・その他AUMC独自の部分 <p>■DDC番号を入力する際の、短縮番号を作成するための区切り箇所を示すプライム (') の挿入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成番号を入力する場合のみ、ファセットの接合箇所に挿入する。 ・プライムがAUMC番号の3桁目と4桁目の間のピリオドと同一の位置になる場合には、プライムをピリオドの前に置く。 <p>●C76 k6 \$v20\$a784.7'272'186#</p>
C77	k	k		日本十進分類番号 (NDC)	R n n	<p>■このフィールドには日本十進分類法 (NDC) による分類番号を取める。</p> <p>●C76 k6 \$v88a768.12#</p> <p>◆項目見出し機目の分類索引レコードの場合にはこのフィールドの入力は行わない。</p>
C78	k	k		アメリカ議会図書館分類番号 (LCC)	R r n	<p>■このフィールドにはアメリカ議会図書館の分類番号 (LCC) を取める。</p> <p>●C76 k6 \$aM1004#</p> <p>■複数のLC分類番号にあてはまる場合の入力方法</p> <p>①合致する分類番号に範囲がある場合はサブフィールド\$aを2つ使用する。</p> <p>●C78 k6 \$aM1027\$aM1644# (M1027からM1644)</p> <p>②互いに離れた複数の分類番号にあてはまる場合</p> <p>複数フィールドのC78を入力する。必要ならそれぞれのフィールドに\$cの限定語を入力する。</p> <p>■LCC分類に該当するものがない場合は、LCC番号の入力は行わない。</p>
C79	k	k		ホルンボステル=ザックス 楽器分類番号	R n	<p>■このフィールドにはホルンボステル=ザックス楽器分類表による番号 (HS番号) を取める。</p> <p>●A70 06 \$a767.72\$tヴァイオリン\$tゲイオル# C79 k6 \$a312.22#</p>

TAG	IND	SF	フィールド名	タイプ	説明 / 例 (● フィールドの説明 ● フィールド等の典型例)																																								
E70	5	8	参照語 (非ディスクリプタ)	R	<p>■このフィールドにはA70の分類標目に対する参照語を収める。</p> <p>◆入力対象…次にあげるものをそれぞれ1フィールドとし、この順序で入力する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A70の種類</th> <th>言語</th> <th>入力対象</th> <th>システムコード (※)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1) A70が主ファセットのみによる番号の場合</td> <td>①日本語 jpn</td> <td>AVMCの中の日本語形の参照語</td> <td>入力しない ※(1)-②-b)の翻訳語</td> </tr> <tr> <td>②英語 eng</td> <td>a) AVMCの中の欧米語形の統一語 b) AVMCの中の欧米語形の参照語</td> <td>通常ddc20 通常ddc20</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(2) A70がファセットの合成による番号の場合</td> <td>①日本語 jpn</td> <td>合成番号の統一語への参照語</td> <td>通常avmc</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②英語 eng</td> <td>合成番号の統一語の英語形</td> <td>通常ddc20</td> </tr> <tr> <td>a) ファセットごとに1つのサブフィールドを使用し、その構成順序に配列したもの b) 全体を1語句で表現したもの</td> <td>入力しない (※合成番号の統一語の翻訳語)</td> </tr> <tr> <td>c) 合成番号の統一語への英語の参照語</td> <td>入力しない (※通常(2)-①の翻訳語)</td> </tr> </tbody> </table> <p>■言語コード</p> <p>◆「jpn」(日本語)または「eng」(英語)を入力する。 ・AVMCに一部含まれているラテン語の索引語も、英語の索引語の体系に取り入れられた語として扱い、「eng」を使用する。</p> <p>■参照語</p> <p>◆別紙「分類索引データの索引語(統一語および参照語)の入力基準」を目安として入力する。 ◆ヨミの入力 ・A70の項「ディスクリプタの入力」の「ヨミ作成の基準」を参照のこと。</p> <p>■システムコード (§2) の入力</p> <p>◆参照語の情報源を表すために次のコードを使用する。 ※ある情報源の語を翻訳した語の場合はシステムコードの入力は行わない。 ・入力対象別の標準的なシステムコードについては上の表を参照のこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>参照語の情報源</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ddc20</td> <td>DDC20版</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ndc8</td> <td>NDC新訂第8版</td> <td></td> </tr> <tr> <td>lcc</td> <td>LCC分類表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>hs</td> <td>ホルンボステル=ザックス楽器分類表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>avmc</td> <td>AV/MARC用に制定した参照語</td> <td>上記からの和訳語に対してはこのコードを用いない。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ここには分類標目を構成するファセット (フィールド70) に対する参照語の入力は行わない。</p> <p>◆C70に対する参照語は、そのファセットの番号が分類標目で、付加ファセットのない分類索引レコードの参照語として入力する。(次の実例を参照のこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●A70 05 \$a768.32\$183\$Tフルート・ソナタ\$tフルート \$ツタ\$ C70 11 \$a764.183\$Tソナタ形式\$tツタ \$ツタ\$ C70 10 \$a768.32\$Tフルート\$tフルート\$ E70 05 \$0jpn\$tフルート・ソナタ (無伴奏)\$ツタ \$ツタ\$ E70 05 \$0eng\$tFlute\$tSonata form\$2ddc20\$ E70 05 \$0eng\$tFlute sonata\$ E70 05 \$0eng\$tSonata for flute\$ E70 05 \$0eng\$tFlute sonata (Unaccompanied)\$ <p>●上の分類標目の1ファセットが分類標目であるレコード</p> <ul style="list-style-type: none"> → A70 05 \$a768.32\$Tフルート\$tフルート\$ E70 05 \$0jpn\$t横吹きフルート\$tED\$フルート\$ E70 05 \$0eng\$tFlute\$2ddc20\$ E70 05 \$0eng\$tTransverse flute\$2ddc20\$ E70 05 \$0eng\$tSide-blown flute\$2ddc20\$ <p>◆ただし、分類標目がファセットの合成による番号の場合で、統一語の中の、あるファセットを表す部分をその参照語に置き換えた表現が参照語として有用である場合には、それをここに入力する。</p>	A70の種類	言語	入力対象	システムコード (※)	(1) A70が主ファセットのみによる番号の場合	①日本語 jpn	AVMCの中の日本語形の参照語	入力しない ※(1)-②-b)の翻訳語	②英語 eng	a) AVMCの中の欧米語形の統一語 b) AVMCの中の欧米語形の参照語	通常ddc20 通常ddc20	(2) A70がファセットの合成による番号の場合	①日本語 jpn	合成番号の統一語への参照語	通常avmc	②英語 eng	合成番号の統一語の英語形	通常ddc20	a) ファセットごとに1つのサブフィールドを使用し、その構成順序に配列したもの b) 全体を1語句で表現したもの	入力しない (※合成番号の統一語の翻訳語)	c) 合成番号の統一語への英語の参照語	入力しない (※通常(2)-①の翻訳語)	コード	参照語の情報源	備考	ddc20	DDC20版		ndc8	NDC新訂第8版		lcc	LCC分類表		hs	ホルンボステル=ザックス楽器分類表		avmc	AV/MARC用に制定した参照語	上記からの和訳語に対してはこのコードを用いない。
A70の種類	言語	入力対象	システムコード (※)																																										
(1) A70が主ファセットのみによる番号の場合	①日本語 jpn	AVMCの中の日本語形の参照語	入力しない ※(1)-②-b)の翻訳語																																										
	②英語 eng	a) AVMCの中の欧米語形の統一語 b) AVMCの中の欧米語形の参照語	通常ddc20 通常ddc20																																										
(2) A70がファセットの合成による番号の場合	①日本語 jpn	合成番号の統一語への参照語	通常avmc																																										
	②英語 eng	合成番号の統一語の英語形	通常ddc20																																										
		a) ファセットごとに1つのサブフィールドを使用し、その構成順序に配列したもの b) 全体を1語句で表現したもの	入力しない (※合成番号の統一語の翻訳語)																																										
c) 合成番号の統一語への英語の参照語	入力しない (※通常(2)-①の翻訳語)																																												
コード	参照語の情報源	備考																																											
ddc20	DDC20版																																												
ndc8	NDC新訂第8版																																												
lcc	LCC分類表																																												
hs	ホルンボステル=ザックス楽器分類表																																												
avmc	AV/MARC用に制定した参照語	上記からの和訳語に対してはこのコードを用いない。																																											

桁	種	SF	フィールド名	データ型	説明 / 実例 (● フィールドの説明 ● フィールド等の典型例)
E72	8 8		項目見出しの参照語	R	<p>■このフィールドには項目見出し欄目に対する参照語を収める。</p> <p>◆入力はE70に準じて行う。</p>
		0	言語コード	n	
		A	参照語	n	
		a	参照語(ヨミ)	n	
		2	システム・コード	n	
E74	8 8		補助表欄目の参照語	R	<p>■このフィールドには補助表の分類欄目に対する参照語を収める。</p> <p>◆入力はE70に準じて行う。</p>
		0	言語コード	n	
		A	参照語	n	
		a	参照語(ヨミ)	n	
		2	システム・コード	n	
					<p>A74 株 \$a261\$T/バプテスト教会\$Ln7* \$st \$y074\$7#</p> <p>E74 株 \$0eng\$aBaptist church\$2ddc20#</p>

分類索引レコード・フォーマット

はじめに

- ◆AV/MARC分類索引レコード・フォーマットは、分類標目データを始めとする1件の分類索引レコードに必要な情報を1個のMARCレコードにすべて収録することを目的として開発された。
- ◆書誌レコードとのリンク
 - ・書誌レコードにおいて、分類索引ファイルとのリンク専用のサブフィールド【\$3】を使用し、分類索引レコード番号だけを入力する。コンピュータのシステム・プログラムはこの分類索引レコード番号をキーとして目的の分類索引レコードを検索し、必要な標目データを書誌レコードの該当部分に転送し表示/印刷する。従って、分類索引レコードには、その処理時点での最新のデータが供給されることになる。

分類索引レコードの設計原則

分類索引レコードMARCフォーマットは下記の諸原則に従って設計されている。

項 目	説 明
1. MARCフォーマットの外形式	◆ISO規格「2709-1981 ドキュメンテーション：磁気テープによる書誌情報交換用フォーマット第2版」による。
2. 内容識別法	◆IFLAの「UNIMARC 第2版 1980」を底本としている。ただし、書誌レコードのフィールド・タグとの重複を避けて分類索引レコード専用のタグを採用している。
2.1 フィールド・タグ	◆3桁の英数字タグで識別する。 ◆UNIMARCの原則に従って、ブロック化の手法を用いている。
2.2 インディケータ	◆フィールド・データの追加説明のために2桁のインディケータを使用する。 ・インディケータの意味は各フィールドで説明されている。 ・インディケータに関連して用いる「未定義」は、インディケータには何の値も付与しないことを意味する。
2.3 (サブフィールド) 識別子	◆可変長データ・フィールド内のサブフィールドを識別するために2桁の識別子を用いている。 ・日本語の漢字処理をサブフィールド単位で行うために2桁目のローマ字は大文字と小文字を使い分けている。(大文字の識別子は漢字モードのデータであることを示す。)
3. 固定長コード・データ	◆コード化された固定長データは、そのフィールドまたはサブフィールド内の文字位置で識別する。
4. フィールド、サブフィールドの反復	◆「リピータブル」の権に「R」または「r」の語が記入されているフィールドやサブフィールドは2度以上入力される可能性がある。Rはフィールドの、rはサブフィールドのリピータブルを示す。
5. 必須フィールド	下記のフィールドはMARCレコードに必須である。これ以外のフィールドはそれぞれのレコードに左右される。 001 レコード識別子(分類索引レコード番号) 100 一般処理データ A7X 分類標目フィールド
6. このテキストで用いる機能文字	下記の記号をこのテキスト全体で使用している。 #…レコード・セパレータを示す文字。 @…フィールド・セパレータを示す文字 \$…識別子の第1文字。

分類索引(レコード・フィールド)一覧

	フィールド・ブロック		TAG	フィールド名
				レコードラベル
可変長 フィールド	0XX	識別ブロック	001 009	レコード識別子(分類索引レコードID番号) 引用分類索引レコード識別子
	1XX	データ処理ブロック	100 180 190	一般処理データ レコード作成機関・訂正機関 最終処理日
	AXX	標目ブロック	A70 A72 A74	分類標目 項目見出し標目 補助表標目
	BXX	注記ブロック	B50 B70 B71 B72 B73 B74 B90	カタログ専用注記 分類番号の使用に関する注記 分類番号の合成に関する注記 項目見出しに関する注記 項目の概要に関する注記 補助表標目に関する注記 標目の削除に関する注記
	CXX	関連情報ブロック	C44 C70 C76 C77 C78 C79 C80	典拠レコード・リンク 分類標目を構成するファセット デュエイ十進分類番号(DDC) 日本十進分類番号(NDC) アメリカ議会図書館分類番号(LCC) ホルンボステル=ザックス楽器分類番号 関連レコード・リンク
	DXX	参照ブロック	D70 D74	説明的な「を見よ」参照 説明的な「をも見よ」参照
	EXX	索引語ブロック	E70 E72 E74	参照語 項目見出しの参照語 補助表標目の参照語
	FXX	出典ブロック	F00	標目の出典とした資料

レコードラベル

ISO規格2709-1981の規定に従って構成されている。このデータ要素は24バイトの各種変数からなり、以下のような区分けがされている。

項番	データ・エレメント名	文字数	文字位置	実例	説明	
1	レコード長*	5	0-4	00000	1件の分類索引レコード全体の総バイト数	
2	レコード・ステータス	1	5	n	c = 訂正レコード d = 削除レコード n = 新規レコード	
3	状態誌 況誌 的 的 ID	(1) 未定義	1	6	8	
		(2) 書誌レベル	1	7	w	w = 分類標目
		(3) 未定義	2	8-9	88	
4	インディケータ長*	1	10	2	常に「2」	
5	識別子長*	1	11	2	常に「2」	
6	データの基準位置*	5	12-16	00000	典拠データの実際の開始位置(頒布用MARCにのみ必要) 頒布用MARC作成時にプログラム入力される。	
7	付 加 的 レ コ ー ド 定 義	(1) 入力レベル	1	17	8	MARCレコードの完全度を示す 8 = 完全レベル 分類索引レコードが通常の目録作業の一部として生じた。 分類索引レコードとして必要なデータを含んでいる。 1 = 不完全レベル 分類索引レコードを書誌ファイルの標目から作成した。 分類索引レコードとしては完全でない。
		(2) 未定義	2	18-19	88	
8	ディレクトリ・マップ*	4	20-23	4500	ディレクトリの1項目の構造を指示する。(頒布用MARCにのみ必要)	

可変長フィールド

- タグ … 分類索引レコードでは種目に関係するフィールドの識別にアルファベットで始まるタグを用いている。これらのタグはブロック化されている。
- インディケータ … フィールドに関する追加情報を提供する、可変長フィールド先頭の2つのキャラクター。その内容は各フィールドで定義されている。インディケータを用いない場合はブランクとする。タグが「00」で始まるフィールドではインディケータを使用しない。
- 識別子 … 可変長フィールドは1以上のデータ要素から成っている。識別子はフィールド内のサブフィールドを定義する。各サブフィールドはそれぞれの可変長フィールドで定義されている。
- データ要素 … 可変長フィールドのデータ要素は特別な例外を除きすべて可変長である。

TAG	Ind. 1 2	識別子	フィールド名	レコード タイプ	説明 / 実例 ★ ブロックのまたは全般的な説明 ■ フィールドの説明 ● 実例																									
0XX			【識別ブロック】		★このブロックには分類索引レコードや参照レコードのレコード識別子(分類索引番号)を収める。																									
001			レコード識別子 (分類索引レコード番号) ※インディケータ、サブフィールドは使用しない	N	<p>■このフィールドにはAV/MARC分類索引システムの分類索引レコード番号を収める。 ・分類索引レコード番号はデータ入力時にプログラムで自動的に生成される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>データ要素名</th> <th>文字数</th> <th>文字位置</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>固有のアルファベット</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>c = 分類索引レコード</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>作成年</td> <td>2</td> <td>1-2</td> <td>西暦年の下2桁</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>番号</td> <td>5</td> <td>3-7</td> <td>その年の通し番号</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>チェック数字</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>「モジュラス11」による。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(例) c90003519</p>	項番	データ要素名	文字数	文字位置	説明	1	固有のアルファベット	1	0	c = 分類索引レコード	2	作成年	2	1-2	西暦年の下2桁	3	番号	5	3-7	その年の通し番号	4	チェック数字	1	8	「モジュラス11」による。
項番	データ要素名	文字数	文字位置	説明																										
1	固有のアルファベット	1	0	c = 分類索引レコード																										
2	作成年	2	1-2	西暦年の下2桁																										
3	番号	5	3-7	その年の通し番号																										
4	チェック数字	1	8	「モジュラス11」による。																										
009			引用分類索引レコード識別子 ※インディケータ、サブフィールドは使用しない	N	<p>■このフィールドには分類索引レコードが引用する別の分類索引レコードのレコード識別子を収める。</p> <p>・データの構造はフィールド001と同一。</p> <p>●【レコード1】 001 c89003632# A72 16 \$a761.2\$b761.8#T他の原理および形式# B72 \$b \$aフィールド009で引用している分類レコードは次の番号を付加する# B72 \$b \$b01-09#T標準細目\$b760.1-760.9#aの修正された補助表1による 番号(例) 演奏会\$b070# B72 \$b \$b1#T一般原理#a番号1に続けて\$b761.1-761.7#aの\$b761#aに続く番号を付加する(例)ロック音楽\$b166#a;ロック音楽のリハーサル\$b16614# B72 \$b \$a全般的著作は\$b761#aに分類する#</p> <p>【レコード2】 001 c89004264# 009 c89003632# A70 \$b \$a764.3#T室内オーケストラ#tシカイ オーケストラ# E70 \$b \$beng#aChamber orchestra#2ddc20# ※009の識別子の分類索引レコードにある指示にしたがって番号を付加する項目であることを示す。(↑の項目)</p>																									

TAG	Ind. 1 2	識別子	フィールド名	レコード	説明 / 実例 ★ ブロックのまたは全般の説明 ■ フィールドの説明 ● 実例																																																																																																
1XX			【データ処理ブロック】		★このブロックには コード化された固定長のデータ要素を収める。 各データ要素はサブフィールドの先頭文字をゼロとして数える方法で文字位置を定める。																																																																																																
100	8 8	a	一般処理データ 一般処理データ (35字固定)	N n	■このフィールドには種々のレコードに共通する基本的なコード・データを収める。																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>データ・エレメント名</th> <th>文字数</th> <th>文字位置</th> <th>実例</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>入力年月日</td> <td>8</td> <td>0-7</td> <td>19901205</td> <td>分類索引レコードをファイルに登録した日付 (システム入力)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>未定義</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>標目のレベル</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>a</td> <td>標目中のファセット付加レベルを示すコード a = 主ファセットレベル b = 付加ファセット1レベル c = 付加ファセット2レベル d = 付加ファセット3レベル e = 付加ファセット4レベル f = 付加ファセット5レベル g = 付加ファセット6レベル h = 付加ファセット7レベル i = 付加ファセット8レベル j = 付加ファセット9レベル</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>未定義</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>標目区分</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>a</td> <td>そのレコードの種別を示すコード a = 分類索引レコード b = 参照レコード (説明つき参照レコード) c = 項目見出しレコード (別個に入力する説明つき見出しレコード) t = 補助表レコード</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>未定義</td> <td>2</td> <td>12-13</td> <td>88</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>固有名</td> <td>1</td> <td>14</td> <td>d</td> <td>分類標目に固有名 (個人名、団体名) が含まれているかどうかを示すコード a = 固有名を主ファセットとして含む b = 固有名を付加ファセットとして含む c = 固有名を分類標目以外のデータとして含む (例: フィールドC70に現れる) d = 固有名を含まない x = 適用外</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>未定義</td> <td>3</td> <td>15-17</td> <td>888</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>完全性レベルコード</td> <td>1</td> <td>18</td> <td></td> <td>a = 完全な分類索引レコード b = メモとして作成した分類索引レコード c = 不完全な分類索引レコード d = 標目以外が不十分な分類索引レコード x = 適用外 (分類索引レコードでない) 8 = 未定義</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>標目ステータス (状態)</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>a</td> <td>a = 標目は使用できる b = 標目は改訂中または再考中で使用できない (注)コード「b」はオンラインシステムの利用者 (カタログガーマ含む) にその標目が使用できないことを知らせる。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>地理区分</td> <td>1</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>8 = 地理区分しない d = 直接地理区分 i = 間接地理区分 x = 適用外 (すでに地理区分されているものを含む)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>改変レコード・コード</td> <td>1</td> <td>21</td> <td>0</td> <td>マシンのキャラクタ・セットにない文字 (外字) の有無を示す。 0 = 外字なし 1 = 外字あり</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>目録言語コード</td> <td>3</td> <td>22-24</td> <td>jpn</td> <td>「jpn」を入力する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>キャラクタ・セット</td> <td>4</td> <td>25-28</td> <td>8888</td> <td>レコードで用いたキャラクタ・セットを示す4字コード。 頒布用MARCにのみ必要。(入力時は8)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>未定義</td> <td>6</td> <td>29-34</td> <td>888888</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						項番	データ・エレメント名	文字数	文字位置	実例	説明	1	入力年月日	8	0-7	19901205	分類索引レコードをファイルに登録した日付 (システム入力)	2	未定義	1	8	8		3	標目のレベル	1	9	a	標目中のファセット付加レベルを示すコード a = 主ファセットレベル b = 付加ファセット1レベル c = 付加ファセット2レベル d = 付加ファセット3レベル e = 付加ファセット4レベル f = 付加ファセット5レベル g = 付加ファセット6レベル h = 付加ファセット7レベル i = 付加ファセット8レベル j = 付加ファセット9レベル	4	未定義	1	10	8		5	標目区分	1	11	a	そのレコードの種別を示すコード a = 分類索引レコード b = 参照レコード (説明つき参照レコード) c = 項目見出しレコード (別個に入力する説明つき見出しレコード) t = 補助表レコード	6	未定義	2	12-13	88		7	固有名	1	14	d	分類標目に固有名 (個人名、団体名) が含まれているかどうかを示すコード a = 固有名を主ファセットとして含む b = 固有名を付加ファセットとして含む c = 固有名を分類標目以外のデータとして含む (例: フィールドC70に現れる) d = 固有名を含まない x = 適用外	8	未定義	3	15-17	888		9	完全性レベルコード	1	18		a = 完全な分類索引レコード b = メモとして作成した分類索引レコード c = 不完全な分類索引レコード d = 標目以外が不十分な分類索引レコード x = 適用外 (分類索引レコードでない) 8 = 未定義	10	標目ステータス (状態)	1	19	a	a = 標目は使用できる b = 標目は改訂中または再考中で使用できない (注)コード「b」はオンラインシステムの利用者 (カタログガーマ含む) にその標目が使用できないことを知らせる。	11	地理区分	1	20	8	8 = 地理区分しない d = 直接地理区分 i = 間接地理区分 x = 適用外 (すでに地理区分されているものを含む)	12	改変レコード・コード	1	21	0	マシンのキャラクタ・セットにない文字 (外字) の有無を示す。 0 = 外字なし 1 = 外字あり	13	目録言語コード	3	22-24	jpn	「jpn」を入力する。	14	キャラクタ・セット	4	25-28	8888	レコードで用いたキャラクタ・セットを示す4字コード。 頒布用MARCにのみ必要。(入力時は8)	15	未定義	6	29-34	888888	
項番	データ・エレメント名	文字数	文字位置	実例	説明																																																																																																
1	入力年月日	8	0-7	19901205	分類索引レコードをファイルに登録した日付 (システム入力)																																																																																																
2	未定義	1	8	8																																																																																																	
3	標目のレベル	1	9	a	標目中のファセット付加レベルを示すコード a = 主ファセットレベル b = 付加ファセット1レベル c = 付加ファセット2レベル d = 付加ファセット3レベル e = 付加ファセット4レベル f = 付加ファセット5レベル g = 付加ファセット6レベル h = 付加ファセット7レベル i = 付加ファセット8レベル j = 付加ファセット9レベル																																																																																																
4	未定義	1	10	8																																																																																																	
5	標目区分	1	11	a	そのレコードの種別を示すコード a = 分類索引レコード b = 参照レコード (説明つき参照レコード) c = 項目見出しレコード (別個に入力する説明つき見出しレコード) t = 補助表レコード																																																																																																
6	未定義	2	12-13	88																																																																																																	
7	固有名	1	14	d	分類標目に固有名 (個人名、団体名) が含まれているかどうかを示すコード a = 固有名を主ファセットとして含む b = 固有名を付加ファセットとして含む c = 固有名を分類標目以外のデータとして含む (例: フィールドC70に現れる) d = 固有名を含まない x = 適用外																																																																																																
8	未定義	3	15-17	888																																																																																																	
9	完全性レベルコード	1	18		a = 完全な分類索引レコード b = メモとして作成した分類索引レコード c = 不完全な分類索引レコード d = 標目以外が不十分な分類索引レコード x = 適用外 (分類索引レコードでない) 8 = 未定義																																																																																																
10	標目ステータス (状態)	1	19	a	a = 標目は使用できる b = 標目は改訂中または再考中で使用できない (注)コード「b」はオンラインシステムの利用者 (カタログガーマ含む) にその標目が使用できないことを知らせる。																																																																																																
11	地理区分	1	20	8	8 = 地理区分しない d = 直接地理区分 i = 間接地理区分 x = 適用外 (すでに地理区分されているものを含む)																																																																																																
12	改変レコード・コード	1	21	0	マシンのキャラクタ・セットにない文字 (外字) の有無を示す。 0 = 外字なし 1 = 外字あり																																																																																																
13	目録言語コード	3	22-24	jpn	「jpn」を入力する。																																																																																																
14	キャラクタ・セット	4	25-28	8888	レコードで用いたキャラクタ・セットを示す4字コード。 頒布用MARCにのみ必要。(入力時は8)																																																																																																
15	未定義	6	29-34	888888																																																																																																	
<p>●標目レベル (文字位置9) の実例</p> <p>コード「a」 \$a762.1 コード「b」 \$a764.2'62 コード「c」 \$a764.2'62'186 コード「d」 \$a764.2'62'186'1542</p>																																																																																																					

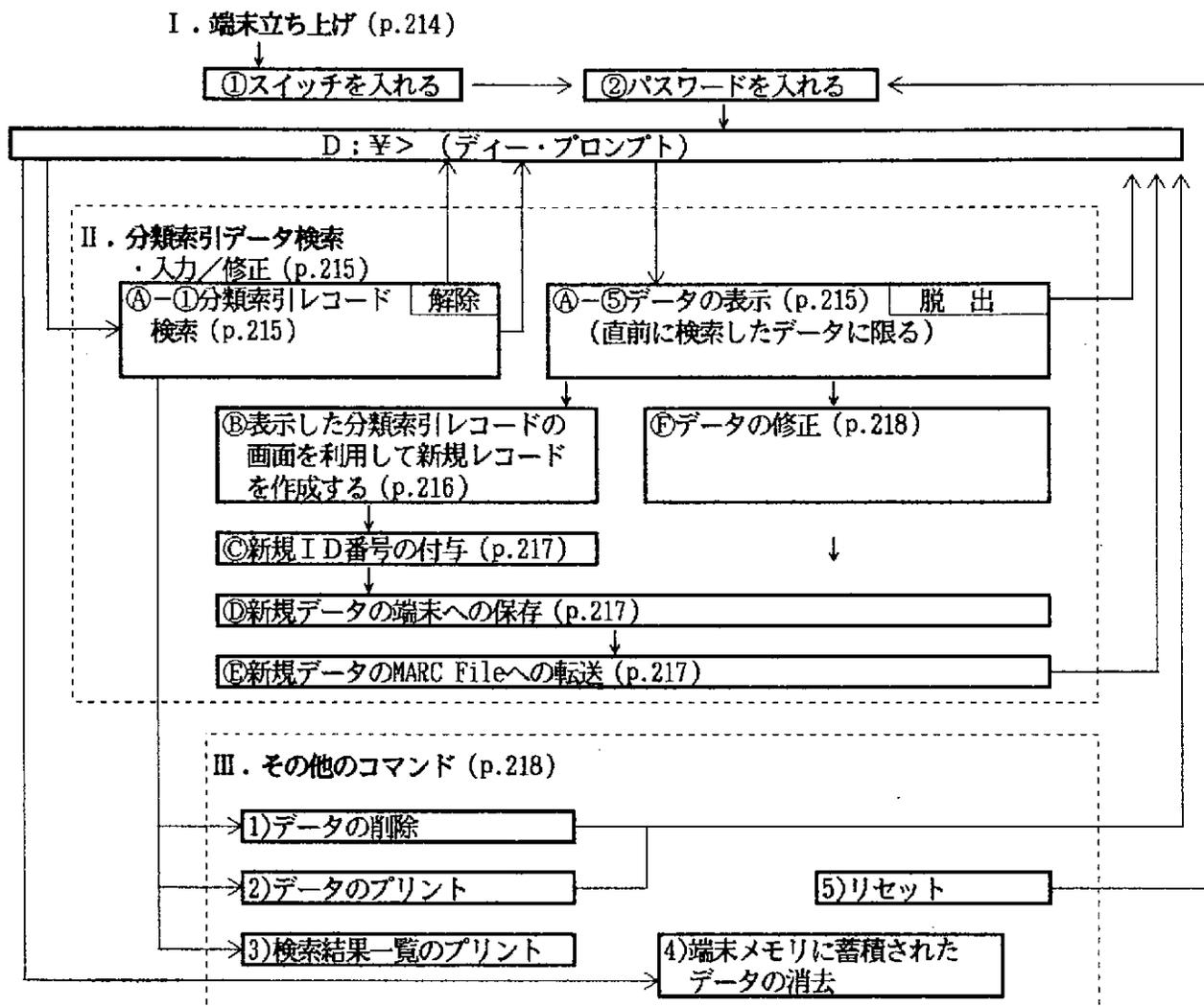
TAG	Ind.		識別子	フィールド名	レコード タイプ	説明 / 実例	
	1	2				★ ブロックのまたは一般的な説明	■ フィールドの説明 ● 実例
<u>BXX</u>				【注記ブロック】			★このブロックには分類索引目録のさまざまな側面を記述する自由な情報を収める。
B50	k	k		カタログ専用注記	R		■このフィールドには分類標目の使用に関するカタログ専用の注記を収める。
			A	注記の本文	r		
			b	引用標目	r		
B70	k	k		分類番号の使用に関する注記	R		■このフィールドには分類標目の使用に関する注記を収める。
			A	注記の本文	r		●A70 06 \$a761.6\$t音楽伝統(オウガク・テントウ) B70 06 \$a特定の伝統を強調した著作 B70 06 \$a (AV/MARCでは日本伝統音楽(邦楽)以外の音楽伝統を\$b761-769\$aに収め、日本伝統音楽は\$b769\$aに収める) に収め、日本伝統音楽は\$b769\$aに収める)
			b	引用分類番号	r		
B71	k	k		分類番号合成に関する注記	R		■このフィールドにはその分類標目に別のファセットを付加するための注記を収める。
			A	注記の本文	r		●A70 06 \$a764.183# B70 06 \$aソナタ・ロンド形式は\$b764.1824\$aに分類する# B71 06 \$b761.2-761.8\$aでの指示に従って付加する#
			b	引用分類番号	r		
B72	k	k		項目見出しに関する注記	R		■このフィールドには項目見出し標目[A72]に関する注記を収める。
			A	注記の本文	r		●A72 16 \$a761.2\$b761.8\$t他の原理および音楽形式# B72 06 \$aフィールド009で引用している分類レコードは次の番号を付加する# B72 06 \$b01-09\$t標準細目\$b763.1-760.9\$aの修正された補助表1による番号(例) 演奏会\$b773# B72 06 \$b1\$t一般原理(番号1)に続けて\$b761.1-761.7\$aの\$b761\$aに続く番号を付加する(例)ロック音楽\$b166\$a;ロック音楽のリハーサル\$b166144# B72 06 \$a全般的著作は\$b761\$aに分類する#
			b	引用標目	r		
			T	引用標目のタイトル	r		
B73	k	k		分類項目の概要に関する注記	N		■このフィールドには分類項目の概要(Summary)を収める。
			a	番号	r		●A70 06 \$a761.6# B70 06 \$a特定の伝統を強調した著作# B70 06 \$a (AV/MARCでは日本伝統音楽(邦楽)以外の音楽伝統を\$b761-769\$aに収め、日本伝統音楽は\$b769\$aに収める) B73 06 \$a761.62\$t民俗音楽 \$a761.63\$tポピュラー音楽 \$a761.64\$t西洋のポピュラー音楽 \$a761.65\$tジャズ \$a761.66\$tロック(ロックンロール) \$a761.68\$t西洋音楽(クラシック)音楽 \$a761.69\$t非西洋芸術音楽#
			T	項目のタイトル	r		
B74	k	k		補助表標目に関する注記	R		■このフィールドには補助表からの標目[A74]に関する注記を収める。
			A	注記の本文	r		●A74 06 \$a261\$tバプテスト教会(バプテスト)の音楽# B74 06 \$a宗教音楽\$b761.7\$aと共に用いる場合には\$b61\$aを付加する#
			b	引用分類番号	r		
B90	k	k		標目の削除に関する注記	N		■このフィールドにはレコードラベルの文字位置5が「rd」で、レコードが削除された理由が必要な場合に用いる。
			A	注記の本文	r		

TAG	Ind.		識別子	フィールド名	リテラ	説明 / 実例		
	1	2				★ ブロックのまたは全般的な説明	■ フィールドの説明	● 実例
CXX				【関連情報ブロック】		★このブロックには欄目に関連する下記の情報を収める。 (1) 典拠レコードへの参照 (2) 分類欄目を構成するファセット (3) 他の分類法による分類番号 (4) 関連する分類索引レコードへのリンク		
C44	8	8		典拠レコード・リンク	R	■このフィールドにはAV/MARCシステム内で分類索引レコードとリンクしている典拠レコード番号を収める。		
			3	典拠レコードのレコード番号 (9文字)	n	●A70 \$a764.7'272'186\$Tヴァイオリン協奏曲 (弦楽オーケストラ)\$tグマイトン \$yウツェク \$cゲンガク オケストラ\$# C44 8 \$a83000860:Concertos (Violin with string orchestra) [LCSH] \$# この部分は左の番号を入力するとシステムが自動的に表示する [典拠レコード] 001 a83000860\$# A4A 8 \$aConcertos (Violin with string orchestra)\$#		
C70	0	1		分類欄目を構成するファセット	R	■このフィールドには分類欄目を構成している各ファセットを収める。		
			0	検索項目とばしない 検索項目とする		◆役割…J-PRECIS索引作成のため。		
			1	主ファセット		◆A70が主ファセットのみから成り、付加ファセットを含まない場合はC70は入力されない。		
			2	付加ファセット1				
			3	付加ファセット2				
			4	付加ファセット3				
			5	付加ファセット4				
			6	付加ファセット5				
			7	付加ファセット6				
			8	付加ファセット7				
			9	付加ファセット8				
			0	付加ファセット9				
			1	分類欄目中では直接的なファセットではない				
			a	番号	n	●C70 12 \$a764.186\$T協奏曲形式\$tホウワケク ケイ\$# C70 10 \$a764.78\$T弦楽オーケストラ\$tホウガク オケストラ\$# C70 11 \$a767.2\$Tヴァイオリン\$tグマイトン\$#		
			T	普通名詞句 (表示用)	n	【補助表番号は次のように入力されている。】		
			P	固有名詞 (表示用)	n	●A70 08 \$a764.72'852'186'0945'09032\$T1600年頃-1750年頃のイタリアのオーボエ協奏曲 (弦楽オーケストラ)\$t1600 \$c 1750 \$c 10ノイリア ノオキ\$E \$yウツェク \$cゲンガク オケストラ\$#		
			Y	地名 (表示用)	n	C70 14 \$a760.9032\$Z1600年頃-1750年頃\$t1600 \$c 1750 \$c 10\$# C70 13 \$a45\$Y-イタリア\$yイタリア\$#		
			Z	時代 (表示用)	n	C70 12 \$a764.186\$T協奏曲形式\$tホウワケク ケイ\$#		
			t	普通名詞句ディスクリプタ	n	C70 10 \$a767.72\$T弦楽オーケストラと特定の1つの独奏楽器\$tゲンガク オケストラトクテイノヒツソト\$クワ ガ\$#		
			p	固有名詞ディスクリプタ	n			
			y	地名ディスクリプタ	n			
			z	時代ディスクリプタ	n			
			n	補助表番号 (長さ1字)	n			
			1	引用する分類索引レコード番号 (番号はフィールド・タグ001と共に入力する)	n			
C76	8	8		デューイ十進分類番号 (DDC)	R	■このフィールドにはデューイ十進分類法による分類番号を収める。		
			a	番号	n	・このフィールドのデータは書誌レコードに埋め込まれ、旗布用AV/MARCのアクセス・ポイントとして用いられる。		
			v	版	n	●A70 08 \$a764.7'272'186\$# C76 8 \$v20\$a764.7'272'186\$#		
			T	普通名詞句 (表示用)	r			
			t	普通名詞句 (ヨミ)	r			

TAG	Ind.		識別子	フィールド名	レコード	説明 / 実例
	1	2				★ ブロックのまたは全般的な説明
<u>DXX</u>				【参照ブロック】		★このブロックには参照標目を収める。
D70	8	8		説明的な「を見よ」参照	R	■このフィールドには定型的でない自由な記述による「を見よ」参照を収める。 ●A70 06 \$a767.74\$T平板ツィター\$ℓ\$i\$Tツィター\$# B70 06 \$a(例)ツィンパロン, ダルシマー, サンティル, 洋琴\$# B70 06 \$a\$T打奏平板ツィターはここに分類する\$# D70 06 \$a\$T横奏平板ツィターは\$ℓ\$b767.75\$aを見よ\$#
D74	8	8		説明的な「をも見よ」参照	R	■このフィールドには定型的でない自由な記述による「をも見よ」参照を収める。 ●A70 06 \$a765.26\$T木管と鍵盤楽器のアンサンブル\$ℓ\$i\$Tカバノガキノアンサンブル\$# B70 06 \$a\$T2以上の木管楽器\$# D74 06 \$a\$T1つの木管楽器と鍵盤楽器のアンサンブルは\$ℓ\$b768.2\$aをも見よ\$#
<u>EXX</u>				【参照語ブロック】		★このブロックにはA70の分類標目に対する参照語を収める。 ・非ディスクリプタには同義語の外国語も含まれる。 ★AV/MARC分類索引システムでは、種々の分類法における項目名も非ディスクリプタとして扱うために、このブロック独自の下記の共通サブフィールドを用意している。 (1) \$0 : 言語コード … コードはAV/MARC言語コード(フォーマット編付録A3)を用いる。 (2) \$2 : システム・コード … 非ディスクリプタの情報源となった下記のカテゴリコード ddc20 DDC第20版 ndc8 NDC第8版 lcc LC分類表 hs ホルンボステル=ザックス楽器分類表 avmc AV/MARC用に制定
E70	8	8		参照語	R	■このフィールドには分類標目に対する参照語を収める。 ■参照語には次のものが含まれる。 ・書誌レコードの作成対象資料に表示されている自然語 ・分類標目と共にA70フィールドに入力される索引語(ディスクリプタ)と同等の英語 ●A70 06 \$a768.32'183\$Tフルート・ソナタ\$ℓ\$i\$Tソナタ\$# C70 11 \$a764.183\$Tソナタ形式\$ℓ\$i\$Tソナタ\$# C70 10 \$a768.32\$Tフルート\$ℓ\$i\$Tフルート\$# E70 06 \$a\$Tフルート・ソナタ(無伴奏)\$ℓ\$i\$Tフルート ソナタ 4バソナ\$# E70 06 \$ℓ\$i\$Tフルート\$ℓ\$i\$Tソナタ form \$ℓ\$i\$Tddc20\$# E70 06 \$ℓ\$i\$Tソナタ for flute\$# E70 06 \$ℓ\$i\$Tフルート sonata\$# E70 06 \$ℓ\$i\$Tフルート sonata (Unaccompanied)\$#
E72	8	8		項目見出しの参照語	R	■このフィールドには項目見出し標目に対する参照語を収める。 0 --- 言語コード n a --- 参照語 n a --- 参照語(ヨミ) n 2 --- システム・コード n

TAG	Ind.		識別子	フィールド名	レベ レベル	説明 / 実例	
	1	2				★ ブロックのまたは全般的な説明	■ フィールドの説明 ● 実例
E74	8	8		補助表標目の参照語	R	■ このフィールドには補助表の分類標目に対する参照語を収める。	● A74 88 \$a261\$Tバプテスト教会\$Hアテド \$bカク\$Hn?# E74 88 \$Deng\$aBaptist churches\$2ddc20#
				0 --- 言語コード	n		
				A --- 参照語	n		
				a --- 参照語(ヨミ)	n		
				2 --- システム・コード	n		
FXX				【出典ブロック】		★ このブロックには、その分類索引レコードが作られるきっかけとなった資料のタイトルやそこに表示されている主題に関する情報などを収める。	
FOO	8	8		標目の出典とした資料	R	■ このフィールドには次のものを収める。	
				a/A --- 資料名	n	◆ その分類索引レコードを作成するきっかけとなった目録対象資料	
				b/B --- 発見した情報	r	◆ 標目を定めるために用いた資料	
					r	● 書誌コード: Symphonie Nr. 41 C-Dur, KV 551 : Jupiter ; Symphonie Nr. 35 D-Dur, KV 385 : Haffner / Wolfgang Amadeus Mozart ...	
					r	FOO 88 \$aSymphonie Nr. 41 C-Dur K. 551 ... [SR] / Wolfgang Amadeus Mozart. 1988	
					r	● FOO 88 \$aLC Name auth. n 81-73730 (RETRO), DLC 18-27-81	
					r	● FOO 88 \$aLC Catalogs (PBM\$R) 1986	
					r	● FOO 88 \$aLiebesfreud & Liebesleid [SR] / Rainer Kuchl, violin; Rudolf Buchbinder, piano. 1988 (container)	
					r	● 情報源の表示: Op. 6 Premiere recreation de musique d'une execution facile (D), 2 vn, bc (1736) [Suite with ov.] FOO 88 \$aNew Grove\$bOp. 6: Premiere recreation de musique d'une execution facile, 2 vn, bc (1736); Suite with ov.	

分類索引データ入力端末操作マニュアル



I. 端末立ち上げ

操作内容	コマンド		コマンド実行後
	短縮形	完全形	
①スイッチを入れる	Quarter L 本体の電源スイッチ→ON ディスプレイの電源スイッチ→ON		
	→ [やや長い間] のあと「Password for dms:」と表示されたら②へ		
②パスワードを入れる			→ [D:¥>]
「D:¥>」(ディー・プロンプト)が表示されれば立ち上げ完了 ※これはコマンドの入力が可能な状態を表す。			

II. 分類索引データ検索・入力/修正 ※新規入力の場合も検索から始める。

操作内容		コマンド		コマンド実行後																								
		短縮形	完全形																									
④ 分類索引レコード検索	① D:Y> → 検索画面	SELC[Enter]	SEARCHLC[Enter]	→【検索画面】																								
	② 検索画面への検索項目の入力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検索項目</th> <th>可否</th> <th>説明</th> <th>検索方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類標目</td> <td>○</td> <td>・A70「分類標目」の\$a「分類番号」(ピリオドは必要、アポストロフィは不要)</td> <td>前方一致</td> </tr> <tr> <td>ファセット</td> <td>○</td> <td>・C70「分類標目を構成するファセット」の\$a番号(ピリオドは必要)</td> <td>前方一致</td> </tr> <tr> <td>索引語</td> <td></td> <td>・A70「分類標目」のディスクリプタ(か) ・E70「参照語」(か、アルファベット)</td> <td>前方一致 下記★参照</td> </tr> <tr> <td>PRECIS</td> <td>○</td> <td>・C70「分類標目を構成するファセット」のディスクリプタ(か)</td> <td>前方一致</td> </tr> <tr> <td>ID番号</td> <td>○</td> <td>・分類索引レコードのID番号</td> <td>前方一致</td> </tr> </tbody> </table> <p>★キーワード(ヨミ)で検索する場合の注意 ・先頭語の前方一致による。・濁点、半濁点、長音は除いて入力する。 ・先頭語より後の分かち書き単位のキも先頭語に加えてそれぞれ前方一致で使用できるが、2番目以降のキの順番は無視される。 (例) 検索キ「セウ カトキ」→「セウクバートオトモウ オウストラ」を検索</p>			検索項目	可否	説明	検索方法	分類標目	○	・A70「分類標目」の\$a「分類番号」(ピリオドは必要、アポストロフィは不要)	前方一致	ファセット	○	・C70「分類標目を構成するファセット」の\$a番号(ピリオドは必要)	前方一致	索引語		・A70「分類標目」のディスクリプタ(か) ・E70「参照語」(か、アルファベット)	前方一致 下記★参照	PRECIS	○	・C70「分類標目を構成するファセット」のディスクリプタ(か)	前方一致	ID番号	○	・分類索引レコードのID番号	前方一致
	検索項目	可否	説明	検索方法																								
	分類標目	○	・A70「分類標目」の\$a「分類番号」(ピリオドは必要、アポストロフィは不要)	前方一致																								
	ファセット	○	・C70「分類標目を構成するファセット」の\$a番号(ピリオドは必要)	前方一致																								
	索引語		・A70「分類標目」のディスクリプタ(か) ・E70「参照語」(か、アルファベット)	前方一致 下記★参照																								
PRECIS	○	・C70「分類標目を構成するファセット」のディスクリプタ(か)	前方一致																									
ID番号	○	・分類索引レコードのID番号	前方一致																									
③ 検索開始	[Enter]		→ ヒット件数の表示 →【D:Y>】																									
検索解除	[Esc]または[Ctrl]+[Z] [Enter]		→【D:Y>】																									
④ 検索結果の一覧	全件	BLC[Enter] ※多数の場合:[Pause]で一時停止、 [Enter]で表示再開。	BROWSELC[Enter]	→ 検索結果一覧の表示 →【D:Y>】																								
	多数の場合の1ページごとの表示	BLC LMORE [Enter]	BROWSELC LMORE [Enter]																									
	各件	BLCn[Enter]	BROWSELCn[Enter]																									
⑤ 分類索引レコードの表示 (1件を指定する)	2件目以降のコマンド入力の省略化:	[Esc] [F3] → (コマンド入力の省略化) 前回と同じコマンドが表示されるので、目標の書誌のEdit no. (n)のみ修正入力する。 [Enter]	EDITLCn[Enter]	→【データ表示画面】																								
	データ表示画面からの脱出	[Esc]		→【D:Y>】																								
	誤って内容に変更を加えた画面からの脱出	[Shift]+[Esc]																										
		・表示したデータを利用した新規レコードの作成 → II-⑧ (p.216)へ ・表示したデータの修正 → II-⑨ (p.218)へ																										

操作内容	コマン ド		コマン ド実行後		
	短 縮 形	完 全 形			
⑥表示した分類索引レコードの画面を利用して新しいレコードを作成する	<p>■現在のところ◎のレコードID番号の自動付番ができないので、最初にID番号の手入力を表を見て行う。</p> <p>・c+西暦下2桁+連番(6桁)+チェックジット(1桁)</p> <p>■入力するデータ及びそのフォーマットについては「分類索引データ入力マニュアル」を参照のこと。</p> <p>■キーボード操作についての説明</p>				
	操 作 の 内 容		操 作 方 法		
	固定入力項目⇄タグ付入力項目の切換		[Home]		
	固定入力項目での項目間の移動		[↓] [→] (後へ) [↑] [←] (前へ)		
	半角入力と漢字入力の切換	半角入力⇄漢字入力(ラインモード)	[漢字]		
		半角入力⇄漢字入力(スクリーンモード)	[Shift] + [漢字]		
	入力を「かな/カナ・モード」にする		[英数 カナ]		
	漢字入力時の入力モードの切換	ローマ字入力を「する⇄しない」の切換		[Ctrl] + [F3]	
		モードの切換	「全角かな」入力モードへ	[Ctrl] + [F1]	この3種のモードの間で相互に切換られる
			「全角カナ」入力モードへ	[Ctrl] + [F2]	
	「半角かな」入力モードへ		[Ctrl] + [F4]		
	漢字入力時の入力した文字の文字種変更	かな入力 ローマ字 入力共通	全角ひらがなへ	[F1]	
			全角カタカナへ	[F2]	
		かな入力	半角かなへ	[F4]	
		ローマ字 入 力	全角アルファベットへ	[F3]	
半角アルファベットへ			[F3] → [F4]		
	半角かなへ	[F1] / [F2] → [F4]			
「\$」の入力		[TAB]			
「,」の入力		[Ctrl] + [F5] ([Esc] で元のモードへ)			
行の挿入/削除	挿 入	挿入する次の行にカーソルを置いて [Insert]			
	削 除	削除する行のTagにカーソルを置いて [Delete]			

操作内容	コマン ド		コマン ド実行後
	短 縮 形	完 全 形	
書誌入力におけるTag単位の移動(Cut)・複写(Copy)の方法 (※現在の段階ではTag単位以外の移動・複写は不可能である。)			
移動 (Cut)	①	移動したいTagの下にカーソルを合わせる。	
	②範囲指定	[F5]キーを押し、[↓]キーにより移動したいTagの範囲を指定する。 (指定を受けたブロックは藍色に変わる。)	
	③移動	[F6]キーを押し、目標の位置の次にあるTagにカーソルを合わせ、[F8]キーを押す。(移動完了)	
複 写 (Copy)	①	複写したいTagの下にカーソルを合わせる。	
	②範囲指定	[F5]キーを押し、[↓]キーにより複写したいTagの範囲を指定する。 (指定を受けたブロックは藍色に変わる。)	
	③複写	[F7]キーを押し、目標の位置の次にあるTagにカーソルを合わせ、[F8]キーを押す。(複写完了) (※[F8]は反復可能なため、リアルタイムのタグを複数作成する場合この方法は効果的である。)	
入力中の 典拠 検索 の方法	1)典拠検索画面	・典拠番号の識別子「\$3」のみ作成し、「\$3≠」のいずれかの桁にカーソルを合わせて、[F9]を押す。	
	2)	・II.の②③と同様の処理を行う。	
	3)検索結果の一覧	・2)の後、自動的に欧文形のみを検索結果一覧の表示が行われる。	
	4)典拠の選択	・選択する典拠に付された連番(半角)を入力する ・[Enter] (※該当する典拠がない場合は任意の1文字を入力し[Enter]すると分類索引画面に復帰する。)	
	5)データ内への典拠入力	・4)の処理により、典拠が入力された書誌画面に自動的に復帰する。	
◎新規ID番号の付与	*MAKE	[F10]	[データ表示画面内]
①新規データの端末への保存	*SAVE	[F1]	
⑤新規データのMARC Fileへの転送	[Esc] RE┘c n [Enter]	[Esc] REGISTER┘c n [Enter]	→【D:Y>】 →【D:Y>】
	※n…画面下部の「c0002.rec:Target authority」 ↑この番号がn (この番号は上記◎の際に変わるので要注意) ※このコマンドの「c」は必ず小文字にする。		
・⑤で[F1]による保存を行わない限り[Esc]で画面をぬけることはできない。			

操作内容	コマンド		コマンド実行後
	短縮形	完全形	
⑥データの修正 手順： データ修正 ↓ ①端末への保存 ↓ ②MARC Fileへの転送	<ul style="list-style-type: none"> ・ I-⑥ (p.216) と同様の方法により修正を行う。 ・ 修正を加えたレコードに対し、①～②の処理を同様にを行う。 ・ 誤ってMAKE/[F10] (③の処理) をしてしまった場合は、[Shift]+[Esc]で画面をぬけることができる。(この際に生ずるレコードID No.の空番は無視するものとする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①で[F1]による保存を行わない限り[Esc]で画面をぬけることはできない。 ・ なお、保存を行わず画面をぬける必要がある場合は →[Shift]+[Esc] 	
★既存データの修正についても⑥の処理を同様にを行う。			

III. その他のコマンド

操作内容	コマンド		コマンド実行後
	短縮形	完全形	
1) データの削除 (不要と判断されたデータについて行う)	分類索引レコード検索後、下記のコマンドを選択する。		
		KILL␣Cn	
2) データのプリント	①プリンタをon lineの状態にする。 ②分類索引レコードの検索後、下記のコマンドを選択する。		
	P␣Cn	PROUT␣Cn	
画面のプリント	[Print Screen]		
3) 検索結果一覧のプリント	①プリンタをon lineの状態にする。 ②書誌検索後、下記のコマンドを選択する。		
		BROWSE␣C>LPT1	
画面のプリント	[Print Screen]		
4) 端末のメモリに蓄積されたデータの消去 (100件以上ためないようにする。)		KILL␣c	
5) リセット	①[Ctrl]+[Alt]+[Delete] ②off		

